Nine Scale World
エヌ2月号 VOL.62 2012年2月1日発行（偶数月1日発行）通巻62号
2012 FEB. VOL.62
Nゲージにこだわる鉄道模型ファンのための専門誌

2 エヌ

N.

つくる、買う、集める、飾る！ 究極のNワールドを大満喫!!



特集 丸わかりボクらの Nゲージをステップアップ

ポイント、レールの拡張やストラクチャーの導入。車両ではメンテ法やドレスアップテクを身につけ、編成術にも磨きをかける…。新年を迎えたらNゲージライフをワンランクUPさせよう！

車両研究 国鉄185系

特急型だけど普通列車でも使える185系は、古くからNゲージの人気車種だ。遊びの幅を大きく広げてくれる、模型で使いやすい定番形式を掘り下げてみよう。

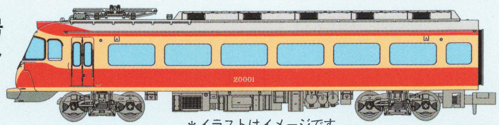
読者が選ぶ 第8回 エヌ・オブ・ザ・イヤー2011 ノミネート発表

2012年3月～5月の新製品



A6880 2代目こうや号・デラックスズームカー！登場時

南海20000系
特急「こうや」号
登場時４両セット
¥17,535(税込)
(本体価格¥16,700)



＊イラストはイメージです。

幅狭

南海電気鉄道株式会社商品化許諾済

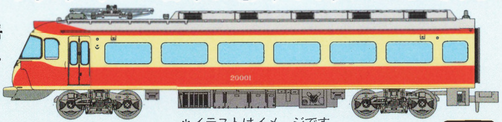
- 600Ｖ時代の床下機器を再現。
- 屋根上ヒューズ箱の形状、車体のクリーム色の色調をA6881とは作り分け。
- 社紋は２世代前の「羽根車」マークをドア・くつずり横に印刷。

モハ20001 | モハ20100 | サハ20801 | モハ20002

＊南海電気鉄道様のイベント会場で製品の先行販売が行われる予定です。

A6881 高野線の看板電車！昇圧改造後

南海20000系
特急「こうや」号
改造後４両セット
¥17,535(税込)
(本体価格¥16,700)



＊イラストはイメージです。

幅狭

南海電気鉄道株式会社商品化許諾済

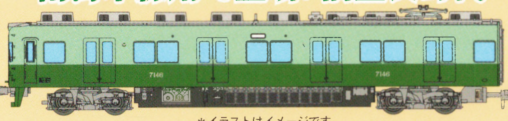
- 1500Ｖ昇圧改造後の床下機器を再現。
- 社紋は１世代前のマークをドア窓横に印刷。
- 列車無線アンテナを取り付け。
- ヘッドライト３灯、愛称板、テールライト点灯。
- 愛称板には「こうや」文字を印刷済。
- フライホイール付動力ユニット搭載。

モハ20001 | モハ20100 | サハ20801 | モハ20002

南海本線用で登場！旧塗装時代

A6366

南海7100系 後期更新車
旧塗装 ４両セット
¥17,535(税込)
(本体価格¥16,700)



＊イラストはイメージです。

南海電気鉄道株式会社商品化許諾済

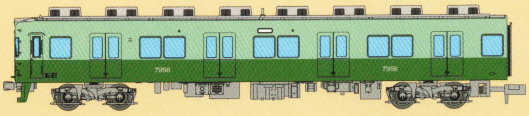
- 更新工事を受けた車両がプロトタイプ。
- 大型化された行先表示器、スカートを取付。
- 前面貫通扉にナンバーが入った姿。

モハ7146 | サハ7882 | サハ7881 | モハ7145

幅広

A6367

南海7100系 後期更新車
旧塗装 ２両セット
¥10,815(税込)
(本体価格¥10,300)



＊イラストはイメージです。

南海電気鉄道株式会社商品化許諾済

- 更新工事を受けた車両がプロトタイプ。
- 大型化された行先表示器、スカートを取付。
- 前面貫通扉にナンバーが入った姿。

クハ7956 | モハ7143

幅広



A6192 小田急9000形 地下鉄乗入仕様車 ４両セット ¥17,325(税込)(本体価格¥16,500)
A6193 小田急9000形 地下鉄乗入仕様車 ６両セット ¥27,090(税込)(本体価格¥25,800)

小田急電鉄商品化許諾済

●地下鉄乗入時代末期の姿を再現。●先頭車にのみシルバーシートマークが貼られ号車番号標記がない姿。●9003、9703には乗入時代の特徴だった屋根上前側の配管、妻板の棒状アンテナを再現(9703の物は後年に撤去)。●A6192、A6193を連結可能。



A3790 小田急8000形・更新車
６両セット ¥27,090(税込)(本体価格¥25,800)

●改造された床下とスカートを新規作成。●A3786/87 8000形とは帯の色を作り分け。●ODAKYUロゴ、ブランドマークを印刷。
●部品共用のため側面方向幕、表示灯の形状は前回商品と同形です。

小田急電鉄商品化許諾済

連結可能！クハ481ボンネット車



A6964 485系 ひたち色 勝田電車区 K10編成タイプ JR東日本商品化許諾済
特急「ひたち」７両セット ¥22,890(税込)(本体価格¥21,800)

●先頭車にマイクロカプラー取付済。●サハ481-307の座席が実車と異なります。

走行改良！シャトルマイハマ



A3974 165系「シャトル・マイハマ」改良品 ３両セット
¥15,225(税込)(本体価格¥14,500)

JR東日本商品化許諾済

幅広

●快速サボ印刷済。
●フライホイール付動力。

登場時塗装！S110編成



Photo:T.T

A3879 711系100・200番台・復活国鉄色・シングルアーム パンタ ３両セット ¥15,225(税込)(本体価格¥14,500)

幅広

JR北海道商品化許諾済 ●前面ホロ・２色に塗り分け。

生まれ変わる国鉄型！3000形第１編成



Photo:TH

A3976 秩父鉄道3000形 試作冷房編成 ３両セット
¥15,225(税込)(本体価格¥14,500) 秩父鉄道承認済

●AU71クーラーを新規作成。●大型スカート新規作成。●フライホイール付動力。

同時発売

- **A3877** 711系100・200番台・新塗装・クールファン装着車タイプ ３両セット ¥15,225(税込)(本体価格¥14,500) JR北海道商品化許諾済
- **A3975** 165系「アルファ」ホリデー快速「アルプ」号 ３両セット ¥15,225(税込)(本体価格¥14,500) JR東日本商品化許諾済
- **A6963** 485系 ひたち色 勝田電車区 K7編成タイプ 特急「ひたち」７両セット ¥22,890(税込)(本体価格¥21,800) JR東日本商品化許諾済

再生産商品

- **A2390** キハ65系 600/1600番台「エーデル丹後・シュプール」6両セット ¥20,790(税込)(本体価格¥19,800) JR西日本承認済
- **A1501** 国鉄EF57-1・宇都宮機関区 ¥8,190(税込)(本体価格¥7,800)
- **A6607** C51-276 お召仕様 ¥10,500(税込)(本体価格¥10,000)
- **A9614** 国鉄C59-108 お召指定機・改良品 ¥15,225(税込)(本体価格¥14,500)
- **A8552** 国鉄 郵便・荷物列車 ６両セット ¥16,275(税込)(本体価格¥15,500)
- **A8502** DD51-1 標準色・秋田機関区 ¥6,720 (税込)(本体価格¥6,400) JR東日本商品化許諾済

がんばろう 日本！

株式会社 マイクロエース
〒335-0001 埼玉県ワラビ市北町5-11-2
TEL 048(444)2944(代) FAX 048(445)3407
ホームページ http://www.microace-arii.co.jp/

MICRO ACE マイクロエース

特集

ボクらのNゲージを丸わかりステップアップ

Nゲージの楽しみ方、もう1歩踏み出してみないか。
ポイントやレールの拡張からストラクチャーの導入。
車両ではメンテ法やドレスアップテクを学んだり、編成術のレベルアップをはかったり…。
楽しさを広げる方法はたくさんある。
2012年、Nゲージライフをワンランク進化させてみよう。

文・構成◎小田切裕介（特記除く）
写真◎金盛正樹（特記除く）



Nゲージを走らせるには

1両の長さが10～15㎝ほどの小さな鉄道模型、Nゲージ。
精巧なメカニズムや造形もさることながら、新聞を広げた程度の
広さがあれば運転を楽しめる点もNゲージの大きな魅力。
車両を集めるだけでなく、実際にレールの上を走らせ、
自分の思い描く鉄道シーンを再現してみよう。

編成の長さと線路長を考える

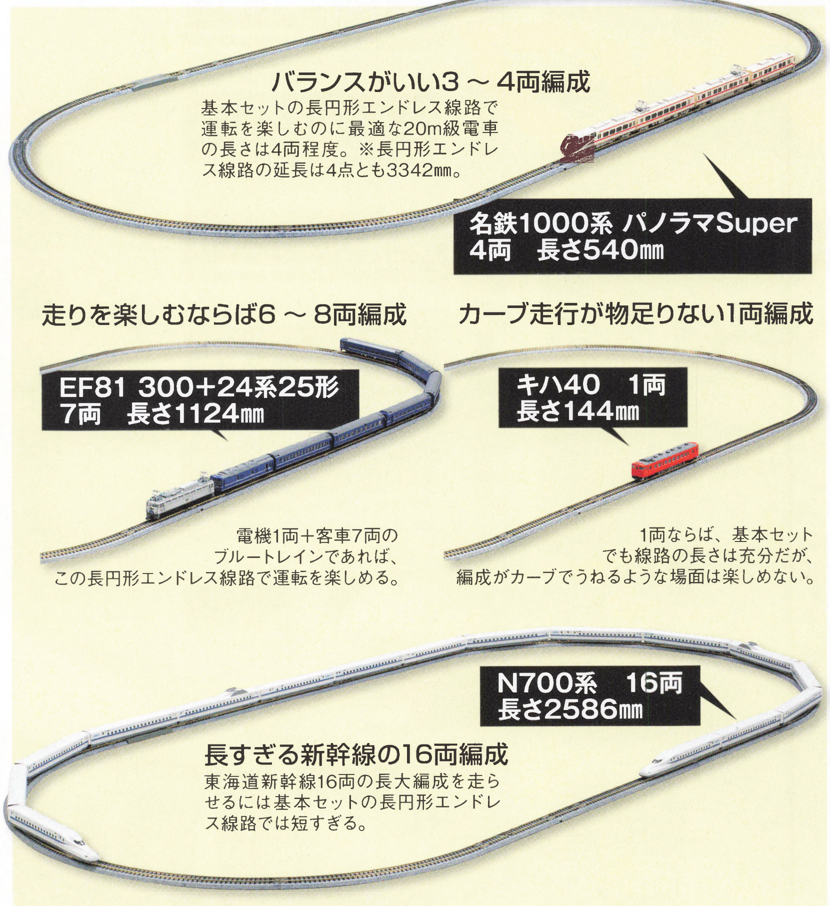
細かいディテールまで再現された精密なNゲージの車両。眺めているだけでも充分楽しいが、Nゲージの醍醐味は、車両を走らせることにある。

Nゲージを走らせるのに必要な物は、モーター車を含む車両と制御機器（コントローラー）、レールの3点。レールは2つの半円に直線を組み合わせた長円形（競技場のトラックに似た形）に組めば、線路延長が短くても走りを楽しめる。

長円形にレールを組むときに、あらかじめ知っておきたいのが、Nゲージ車両の長さ。20m級の電車であれば、1両は13・4cm程度。4両編成で54cmほど。左の写真のような長円形線路の直線部分にすっぽりと収まり、自然な感じがする。

一方、新幹線のように1両が約16cmと長い車両で、実車に即した16両編成を組むと、列車の長さは2・5mを超えてしまう。これでは線路のほとんどの部分に車両が乗ってしまうので、編成を組んだときの長さを考えながら、レール延長を決めるようにしたい。

長円形線路の長さと車両の長さを知る



Nゲージを楽しむための4つのステップ

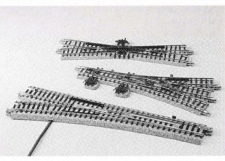
初めてNゲージを買うならば、入門セットがオススメ。制御機器、長円形エンドレスになるレール、3～4両の編成が組める車両などがパッケージされ、これさえあれば、すぐにNゲージの運転が楽しめる入門セットを解説しよう。



小さなスペースでNゲージを走らせて遊ぶならば、3両編成が手軽。入門セットに同梱される人気モデル以外で、好みの車両を選ぼう。また、3両編成ならば1両や2両では味わえないカーブ走行のリアルさも楽しめる。



入門セットのレールにポイントを加えると、待避線を持つ長円形エンドレス線路ができる。2本の列車を交互に走らせれば、臨場感がアップするのは間違いなし。ポイントを使い、Nゲージの楽しみ方を広げよう。

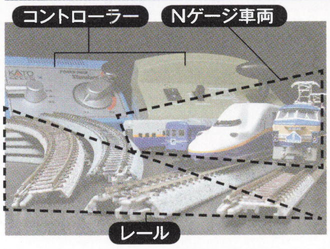


10両を超える長い編成を再現するためには、各社から発売されている車両セットを組み合わせるのが早道。同じ形式でもメーカーによって車両セットが異なるなど、興味深い点を深く掘り下げてみよう。



Nゲージの運転に必要な3つの要素



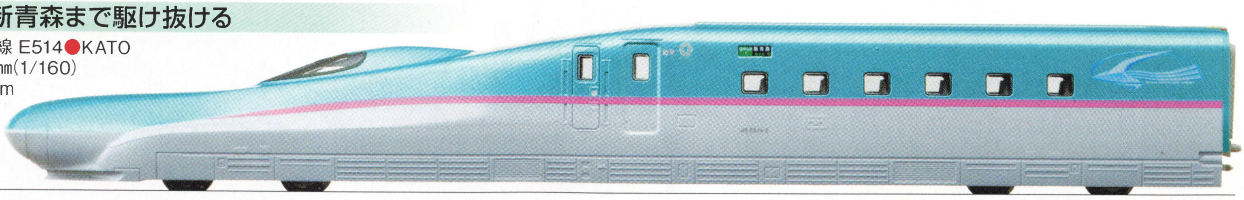


鉄道模型は、金属製の2本のレールに流れる電気を、モーター車が車輪を通して受け取ることで走行する。車両を選ぶ際は、モーター付きの車両を加えることが必要。またレールに加え、レールに電気を流すための制御機器、制御機器とレールをつなぐケーブル（フィーダー）を用意する。

原寸大で見るNゲージ車両

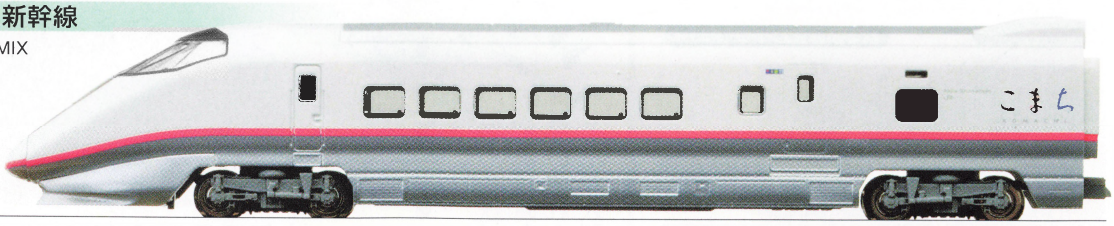
東京から新青森まで駆け抜ける

E5系 東北新幹線 E514●KATO
模型全長：163㎜(1/160)
実車全長：26.5m



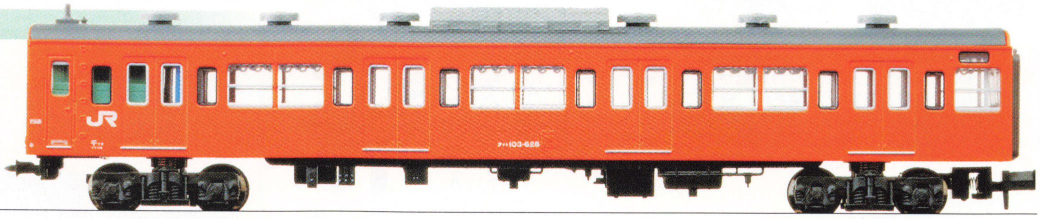
在来線にも乗り入れる新幹線

E3系新幹線『こまち』E311●TOMIX
模型全長：145㎜(1/160)
実車全長：23.07m



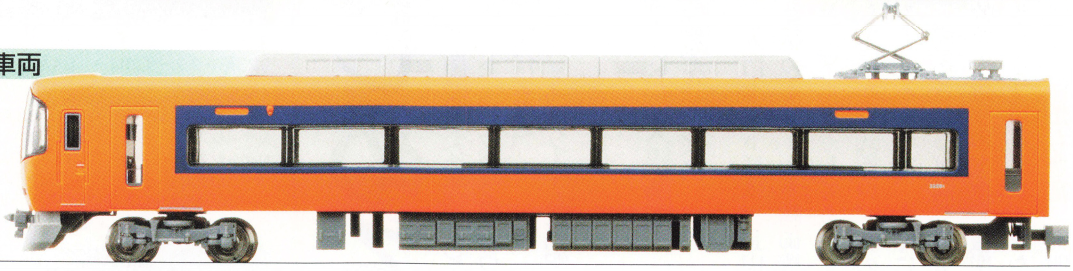
国鉄型通勤電車の傑作

103系 クハ103●マイクロエース
模型全長：134㎜(1/150)
実車全長：20m



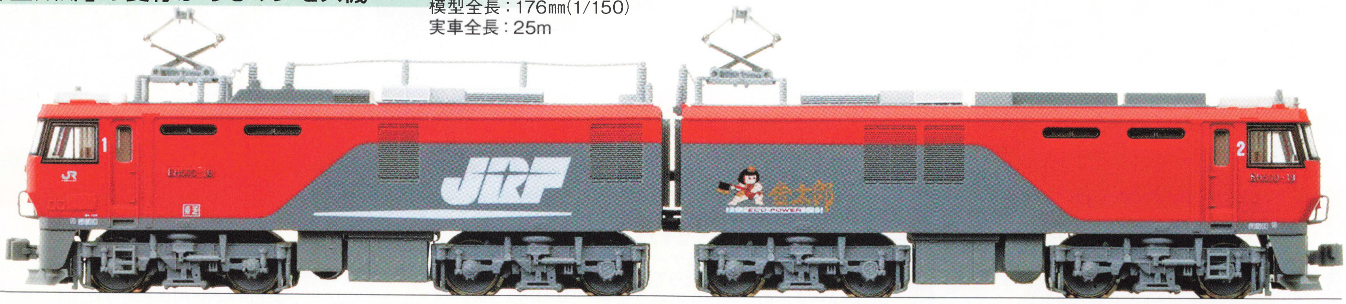
主力として活躍する特急車両

近鉄22000系 ACE モ22100
●グリーンマックス
模型全長：141㎜(1/150)
実車全長：20.8m



「金太郎」の愛称があるマンモス機

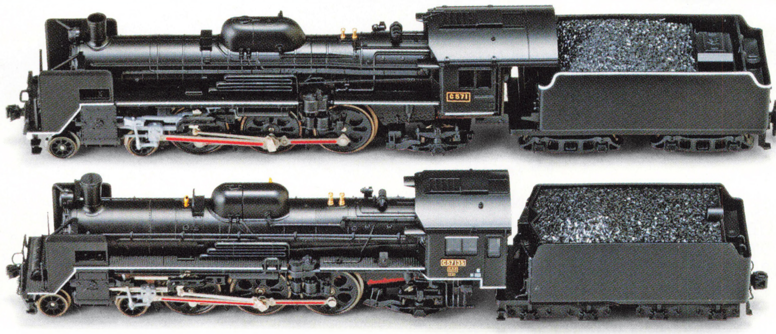
EH500 3次車●KATO
模型全長：176㎜(1/150)
実車全長：25m



貨車の入れ換えで活躍

DE10●TOMIX
模型全長：98㎜(1/150)
実車全長：14.15m





同形式で大きさが異なることも

箱形の電車と違い、円柱形のボイラーや小さな運転室にモーターを収めなければならない蒸気機関車は、1/150という縮尺よりも大きいことがある。写真は2台ともC57だが、上はKATO製で1/140に近い縮尺、下は小型モーターを採用し、ほぼスケールどおりの1/150でつくられたTOMIX製。

入門セットではじめる Nゲージ



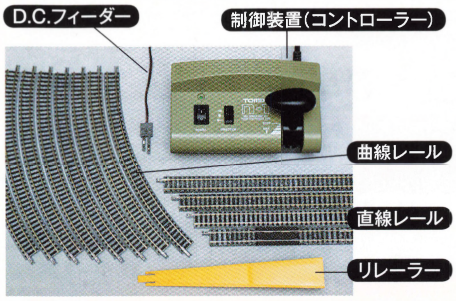
初めて鉄道模型を買うときに、最低限必要な車両・レール・制御装置などが揃っている入門セット。バラバラに買うより安く、買い忘れもないのでNゲージの導入に最適。そんな入門セットの選び方とオススメのアイテムを紹介しよう。

車両・レール・制御装置がすべて揃う入門セット



「ベーシックセットSD E259系 N' EX」(￥16,800)。人気の高いJR東日本のE259系3両編成(M車含む)が同梱された入門セット。もちろんヘッド/テールライトも点灯する●TOMIX

入門セットに同梱されるレールと制御装置



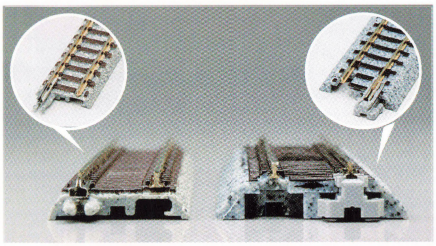
買って、すぐに組み立て、Nゲージの運転が楽しめる入門セット。レールは曲線と直線が用意され、指示どおりにつなげると長円形のエンドレス線路となる。レールにD.C.フィーダーをセットし、ケーブル側を制御装置につなぐ。リレーラーを使い、車両をレールの上に置けば、準備はOKだ。

エンドレス線路で運転を楽しむ

入門セットには、長円形に線路を組めるレールと制御機器、電源ケーブル、そしてモーター車を含む車両が一式揃い、箱の中身を組み上げるだけで、すぐに遊べる。

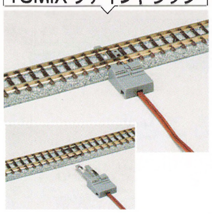
同梱される車両も人気の高い新幹線や新型の電車、機関車に牽引されるブルートレインや貨物列車など、種類も豊富。入門セットに

まず選ばなければならないレールの規格



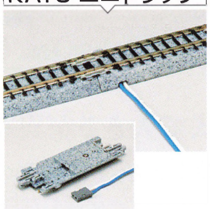
レールの軌間(ゲージ)はいずれも9㎜で共通だが、レールの高さ、道床部分の高さ、レール接続部(ジョイナー)の形状、制御機器との接続ケーブルの端子の規格がメーカーによって違うので、両メーカーのレールを混在させるのは難しい。入門セット購入時に、KATOのユニトラックとTOMIXのファイントラックのいずれかの規格を選ぶ必要がある。

TOMIX ファイントラック



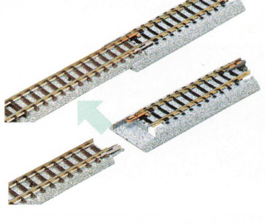
TOMIXのファイントラックはポイントの種類が多く、レイアウトの自由度が高い。レールと制御機器をつなぐ「D.C.フィーダー」は、レールと道床の間の隙間に端子部を差し込んで使用する。ほとんどのレールに付けられ場所を選ばない。

KATO ユニトラック



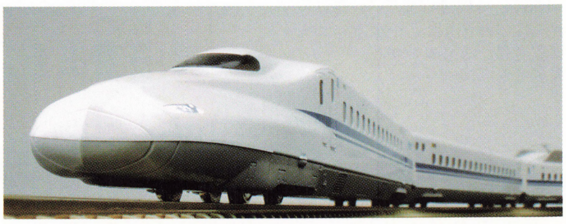
KATOのユニトラックは道床幅が広く、リアルな複線間隔が魅力。レールと制御機器をつなぐためには、専用の端子を背面に持つ「フィーダー線路」(写真)が必要。接続部は道床に隠れ、ケーブルが出るだけなので、見ためがスッキリとする。

2つの規格をつなぐ"裏技"レール



ユニトラックとファイントラックは基本的に混在させることはできないが、写真の特殊なレール(KATOジョイント線路/2本入/￥210)を使うと両者をつなげる。

人気モデルではじめる



入門セットには新幹線が同梱される物が多い。N700系をはじめ、500系、923形ドクターイエロー、E4系がラインナップされている。

製品リスト

Nゲージスターターセット SP N700系『のぞみ』(KATO/4両/ ￥18,900)
Nゲージスターターセット SP 500系『のぞみ』(KATO/4両/ ￥16,800)
Nゲージスターターセット SP E4系『Max』(KATO/4両/ ￥18,900)
ベーシックセットSD N700系のぞみ(TOMIX/4両/ ￥18,690)
ベーシックセットSD 500系のぞみⅢ(TOMIX/4両/ ￥16,800)
ベーシックセットSD ドクターイエロー(TOMIX/3両/ ￥16,800)



E231系やE259系など、身近な電車を同梱した入門セットも選ぶことができる。

製品リスト

Nゲージスターターセット E231系500番台 山手線(KATO/4両/ ￥17,325 ／限定品)
ベーシックセットSD E259系 N' EX(TOMIX/3両/ ￥16,800)



機関車が牽引する列車も人気が高く、入門セットとして幅広くラインナップされている

製品リスト

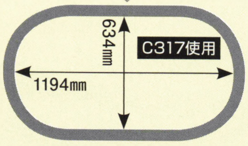
Nゲージスターターセット・SP ブルートレイン『北斗星』(KATO/4両/ ￥18,900)
Nゲージスターターセット・SP EF210コンテナ列車(KATO/4両/ ￥18,900)
Nゲージスターターセット・SP C57『SLばんえつ物語』(KATO/4両/ ￥20,790)
Nゲージスターターセット・SP D51 SL列車セット(KATO/4両/ ￥18,900)
ベーシックセットSD ブルートレインⅢ(TOMIX/5両/ ￥15,750)
ベーシックセットSD トワイライトエクスプレス(TOMIX/3両/ ￥15,750)

半径を変えれば小さなエンドレスも組める

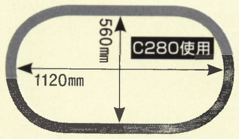
長円形エンドレス線路に必要なスペースを決めるのは、使用する曲線レールの半径。20m級車両がスムーズに走るように、ユニトラックでは半径315㎜の曲線レールをスターターセットなどに採用している。

一方、ファイントラックは半径280㎜の曲線レールをベーシックセットSDなどに使用している。なお、より半径の小さな曲線レールを使えば、さらに小さなスペースに収まるエンドレス線路が組める。

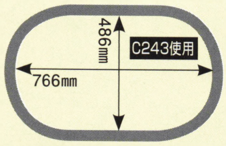
TOMIX ファイントラックのエンドレス線路



半径317㎜の曲線レールを使ったエンドレス線路。直線部分は280㎜を2本つないだ560㎜になっている。下のC280を使ったベーシックセットのエンドレスの外側にセットすると複線エンドレスをつくれる。

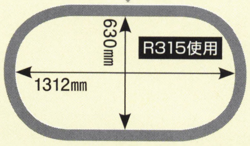


半径280㎜の曲線レールを使ったファイントラックの標準エンドレス線路。ベーシックセットSDやマイプランLTⅢ(F)と同じもの。

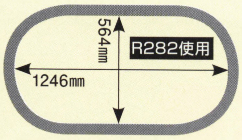


半径243㎜の曲線レールと280㎜の直線線路を使った小さなエンドレス線路。これが20m級車両を走らせるエンドレスとしては最小クラス。

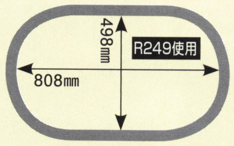
KATO ユニトラックのエンドレス線路



半径315㎜の曲線レールを使ったユニトラックのベーシックなエンドレス線路。直線部分が682㎜と長いのが特徴。スターターセット・SPに入るレールと同じもの。



半径282㎜の曲線レールを使い、上のR315のエンドレス線路の内側にセットすると複線になるエンドレス線路。



半径249㎜の曲線レールに248㎜と62㎜のフィーダー線路を組み込んだ、小さなエンドレス線路。これならば新聞の見開き（813×546㎜）のスペースに収まる。

曲線レールの半径の間隔は、各規格の複線間隔に対応しており、KATOのユニトラックは33㎜間隔で、半径216㎜、249㎜、282㎜、315㎜、348㎜、381㎜の曲線レールがある。TOMIXのファイントラックは37㎜間隔で、半径243㎜、280㎜、317㎜、354㎜、391㎜の曲線レールがある。

短編成の車両セットでスタート



EF510＋E26系『カシオペア』（¥15,540）

EF510と3両の客車で構成された基本セット。入門セットに好みの車両がないときは、こうした4両程度の車両セットとKATOのM1セット、TOMIXのマイプランLTⅢなどのレールセットと組み合わせる●KATO



キハ187-500系セット（¥7,875）

特急用気動車としては珍しい2両編成のキハ187。ディーゼルカーに多い2両セットも、レールセットと組み合わせるのに最適●TOMIX



321系（2次車）基本セット（¥10,395）

車両3両で構成されたセット。増結セット（4両）を追加すれば、リアルな7両フル編成にもなる。TOMIXは3両の基本セットを多くラインナップしており、レールセットと組み合わせるといい●TOMIX

好みの車両がないときには、2〜4両の車両が1パッケージになった「車両セット」と「レールセット」を組み合わせる方法もある。

なお、長円形のエンドレス線路を組むときに知っておきたいことがひとつある。それは曲線の半径。これが小さいとカーブが急になり、車両によってはうまく走らない。入門セットや基本レールセットのカーブはKATOが半径315㎜、TOMIXが半径280㎜。カーブが急な曲線レールを使えば、これより小さなスペースで長円形エンドレスを組めるが、新幹線のような長い車両には向かないので、半径の小さな曲線レールを使うときは、車両の選択や編成に気をつけたい。

車両を選べるレールセット



「マイプランLTⅢ(F)」（¥7,350）。TOMIXのベーシックセットSDから車両を省略した入門セット●TOMIX

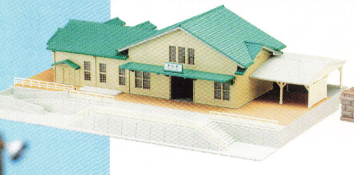


「エンドレス基本セット マスター1(M1)」（¥7,350）。KATOのスターターセットから車両を省略した入門セット●KATO

シンプルな長円形エンドレス線路でも、直線部分にホームと駅舎を置くだけで旅情感のある情景をつくり出せる。



駅舎を置いて情景を演出してみよう



KATOのユニトラックのレール脇に置くなら、同社の「近郊形地上駅舎」（¥5,198）がぴったり。ホームも一部分が一体化されており、「対向式ホームエンド1/2」（いずれも¥420）を追加してホーム長648㎜にして使用する●KATO



TOMIXのファイントラックと組み合わせるのならば、「木造駅舎セット」（¥1,050）がオススメ。列車が1両編成ならば、このセットだけでも楽しめるが、「対向式ホームセット」（¥840）を追加すれば、ホーム長は490㎜になり、20m級3両までカバーできる●TOMIX

コンパクトに楽しむ3両編成

省スペースのお座敷レイアウトでは、短い編成の列車がマッチする。
3両編成の電車や気動車のほか、D級電気機関車やDE10などの
ディーゼル機関車に牽かれた短い客車列車や混合列車など。
さらに、線路際にホームや駅舎を置けば、
雰囲気のあるシーンを再現できるぞ。



実車に即したリアルな短編成

実在するリアルな３両編成の列車は意外と多い。

１０１系や１０３系などの国鉄型通勤電車は大都市近郊の支線で３両編成で活躍したし、近郊型の１１５系や４１７系、急行型の１６５系や４５５系も３両編成が存在した。

編成の自由度の高い気動車は、いずれの形式も３両編成を組むのが容易で、ときには一般型と急行型が混在した編成も見られた。

特急電車では、ＪＲ東海３７３系の『ふじかわ』『伊那路』やＪＲ四国８０００系の『いしづち』がある。模型化されていないが、ＪＲ西日本２８７系の『こうのとり』『まいづる』もある。また、かつて６８１系『サンダーバード』の付属編成３両が富山駅から富山地鉄に乗り入れていた。

ディーゼル特急では、ＪＲ北海道のキハ１８３系による『サロベツ』。ＪＲ東海の『（ワイドビュー）ひだ』（一部区間）、ＪＲ四国のＮ２０００・２０００系による『うずしお』『しおかぜ』『南風』、ＪＲ九州のキハ１８５系による『ゆふ』などがある。

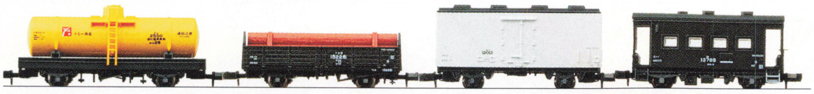


編成はお好みで

2軸貨車や旧型客車などは短くても絵になる編成がつくれる。
機関車が1両あれば貨車や客車を自在に組み合わせて、貨物列車、客車列車、貨客列車などいろいろな楽しみを見つけてみよう！



東北地方を走るED75は、ブルートレインから客車普通列車、貨物列車までマルチに活躍。ED75●TOMIX



タンク車　無蓋車　有蓋車　車掌車



色違いの旧型客車2両



省スペースのお座敷レイアウトでは、短い編成の列車がマッチする。3両編成の電車や気動車のほか、D級電気機関車やDE10などのディーゼル機関車に牽かれた短い客車列車や混合列車など。さらに、線路際にホームや駅舎を置けば、雰囲気のあるシーンを再現できるぞ。

自分好みの短編成を見つけよう

いろいろなシチュエーションに合わせて、どんな3両編成が絵になるかを考えてみるのもおもしろい。短い編成でもイメージをふくらませて特徴をうまくとらえると、走らせる楽しみが新たにみつかるぞ。



ローカル線を駆ける3連の特急（JR東海373系）

JR東海の『ふじかわ』と『伊那路』は、いずれも大きな河川に沿って山あいを走るローカル特急。JR化後に製造されたステンレス車体の373系が使用される●TOMIX



60年代の亜幹線を走る貨物列車（DF50＋貨物列車セット）

さまざまな貨車が、無造作に連なった貨物列車の姿は亜幹線（幹線より線路規格の低い路線）ならでは。今ではボギー台車の貨車が一般的だが、かつては2軸貨車も活躍していた●KATO



山岳路線を走る国鉄型の気動車（キハ58＋キハ52）

山岳路線を中心に活躍してきたキハ58とキハ52。急行列車の減少とともに、普通列車にも使われるようになった急行型キハ58は、キハ52などの一般型と併結される姿もよく見られた●TOMIX



民鉄の短路線に合う2両編成（西武101系）

ローカル私鉄だけでなく、大都市の民鉄でも、支線となると2～3両の短編成が使われることがある。西武101系の2両セットは増結用で、実車も2両だけでの運転はないが、支線のイメージにピッタリの編成だ●KATO

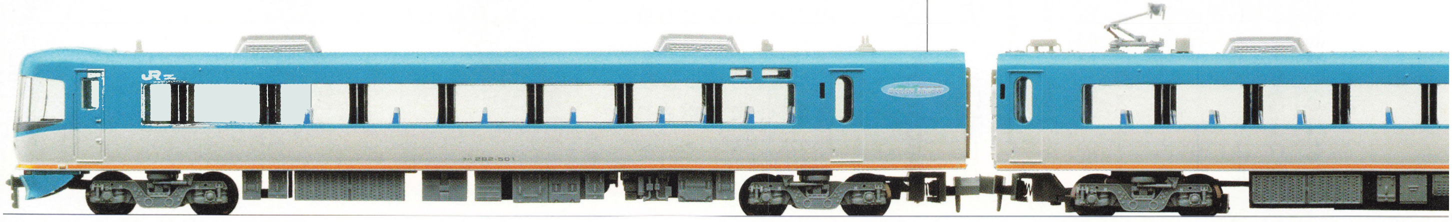


遠いふるさとに思いを馳せる（JR四国8000系）

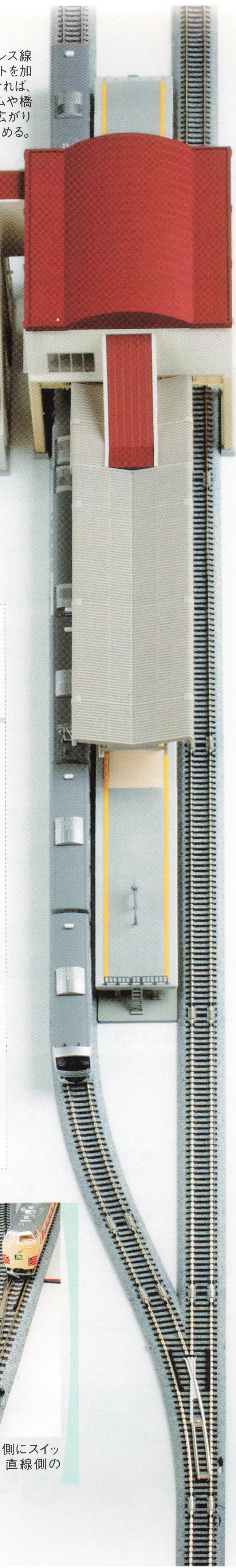
水田や畑が広がる風景の中を走る、あるいは海岸沿いの曲がりくねった線路を走る列車。心の中に浮かぶ"ふるさと"の情景をイメージして、車両を選ぶのもおもしろい。懐かしい風景を思い浮かべながら、模型を楽しんでみては●マイクロエース

3両編成が楽しいぞ！

限られたスペースで走らせるには長編成は不向き。そこで注目を浴びるのが短い編成でも楽しめる列車だ。各メーカーも3両で走らせることができるセット製品を多く出している。283系『オーシャンアロー』●マイクロエース



ポイントをプラスして列車交換を楽しもう



長円形のエンドレス線路に2つのポイントを加え、待避線を設ければ、そこに島式ホームや橋上駅舎を配して広がりのある運転が楽しめる。

**シンプルなエンドレス線路上を走らせるのは1本の列車が基本だが、ポイントを加えて、待避線をつくれば2本の列車を交互に走らせることができる。
また、ポイントを引き込み線に利用すれば、複数の列車を留置できる。
お座敷レイアウトの幅を広げてみないか？**

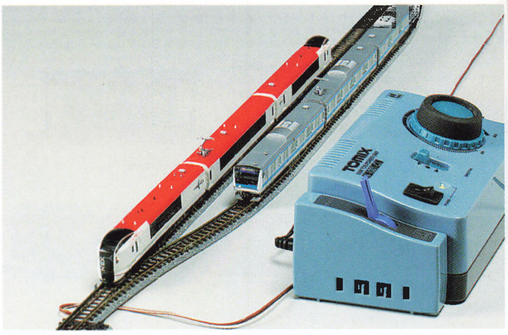
レイアウトに変化がでるレールとコントローラーのセット



「待避線付エンドレス基本セット マスター2（M2）」（¥14,175）。基本エンドレスがつくれる「マスター1（M1）」に2つの電動式ポイントを追加して、待避線を設けられるようにした●KATO



「マイプランNRII（F）」（¥18,900）。基本エンドレスがつくれる「マイプランLTIII（F）」に待避線をつくる電動ポイント類を追加した入門セット。列車交換のできる線路を組むことができる●TOMIX



2本の列車を交互に走らせられる待避線（列車の行き違いができる線路）の追加で、シンプルなエンドレス線路からステップアップしよう。

少しずつレールを加え走らせる楽しみを広げよう

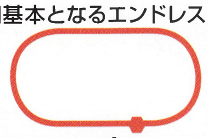
Nゲージのレールは、少しずつ増やしていくと、大きなレイアウトへと発展する。エンドレス線路だけの入門セットに、レールセットや単品のレールを加えていけば、楽しみ方も広がっていく。

KATOとTOMIXの各種レールセットは、このような考え方を元につくられており、特にKATOでは「島式ホーム用待避線セット」「立体交差線路セット」「車庫用引き込み線セット」など、目的別のレールセットが用意され、自分のイメージにあったレイアウトづくりに役立つ。

レールを拡充させるステップとしてオススメなのは、まず、2つのポイントを追加して待避線を設け、2本の列車を交互に走らせること。次のステップは、立体交差線路を導入して、エンドレスの長さを伸ばし、長い距離を走るようにする。

その先は、引き込み線を設け、複数の車両を留置して順番に本線に引き出せるようにすること。さらに、複線線路を導入すれば、より高度な運転を楽しめるようになる。

■基本となるエンドレス



KATOの「スターターセット」や「エンドレス基本セット（M1）」、TOMIXの「ベーシックセットSD」や「マイプランLTIII（F）」などの入門セットでつくることのできる長円形のエンドレス。Nゲージの運転の基本となる線路の組み方だ。

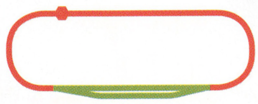
＋

■2つのポイントを使った待避線



2つのポイントを向かい合わせに使い待避線をつくるセットが、各社から発売されている。KATOの「島式ホーム用待避線電動ポイントセット（V1）」、TOMIXの「待避線セットII」がこれにあたる。

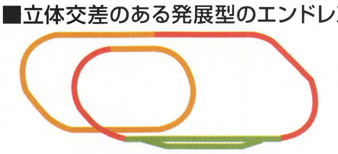
■列車の行き違いができるエンドレス



入門セットに待避線をつくれるポイントのセットを加えると、2本の列車を交互に走らせる線路が組める。なお、KATOの「待避線付エンドレス基本セット（M2）」やTOMIXの「マイプランNRII（F）」は、基本セットの線路に待避線用のポイントセットを加えたもの。

KATOの「立体交差線路セット（V2）」、またはTOMIXの「レールセット立体交差セット」を加える。

■立体交差のある発展型のエンドレス



大小2つの円を描く線路が立体交差することで、長い距離を走れるようになる。勾配区間や鉄橋が加わることで、ダイナミックな車両の動きを見ながら、運転を楽しもう。

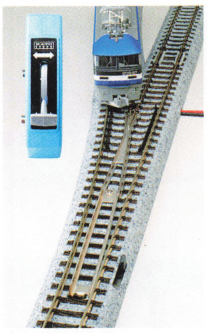
※線路の赤い部分は基本セットに含まれるレール、緑の部分は待避線セットに含まれるレール、オレンジ色の部分は立体交差セットに含まれるレールを指す。

2本の列車を交互に走らせる

エンドレス線路をさらに楽しむために、ポイントを追加してレイアウトを充実させてみよう。ポイントは単体でも販売されているが、オススメはレールセット。2つのポイントを使い島式ホームを設けるときには直線レールも追加購入する必要があるが、レールセットには直線レールも含まれているので、レールの買い忘れもなく安心だ。

手元のレバーでポイントを切り替え

制御装置の脇に取り付けられるポイントスイッチをポイントとケーブルでつなげば、手元で電動ポイントを切り替えられる。同時に電気の流れも切り替わるので、ポイントで選択された側の動力車のみが動くようになる。



ポイントのスイッチを分岐側にすると、分岐側の車両が走り出す。



ポイントの直線側にスイッチを入れると、直線側の車両が動く。

バリエーション豊富なポイントの数々

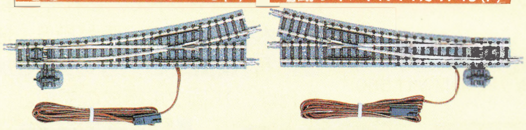
線路を枝分かれさせ、引き込み線や待避線などがつくれるポイント。分岐する側の線路は曲線を描きながら直線側の線路から分かれていくが、この曲線の半径の違いで複数のポイントが存在する。

また、単純に分岐するだけではなく、線路が左右に分かれるY字ポイント、3方に分かれるポイントや複線の間に設けられたダブルクロスなど、バリエーションも豊か。目的に応じてポイントを選ぶことで、Nゲージを運転する楽しみもふくらんでいくだろう。

TOMIX ファイントラックのポイント

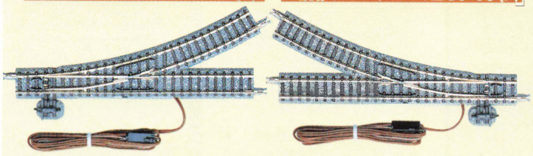
写真◎TOMIX

電動ポイントN-PL541-15(F)　電動ポイントN-PR541-15(F)



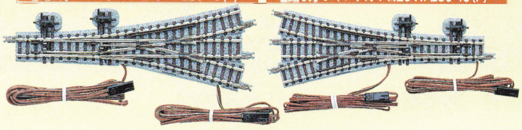
分岐側の曲線の半径が541㎜の標準型ポイント。本線上の分岐から駅の待避線にも使えるオールマイティーな製品。

電動ポイントN-PL280-30(F)　電動ポイントN-PR280-30(F)



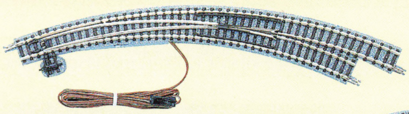
分岐側の曲線の半径が280㎜のポイント。本線から30度と大きく分岐するため、車庫などの引き込み線への進入用に最適。

電動3方ポイントN-PLR541/280-15(F)　電動3方ポイントN-PRL541/280-15(F)



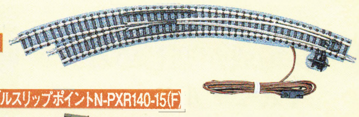
半径541㎜の分岐と、半径280㎜の分岐を一体化させた3方分岐のポイント。狭いスペースで引き込み線を増やしたいときに便利。

電動ポイントN-CPR317/280-45(F)

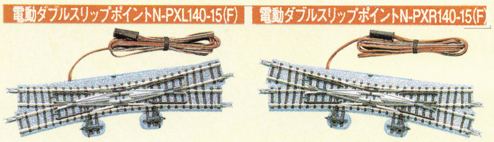


半径317㎜のカーブの内側に、半径280㎜で分岐させたカーブ上のポイント。曲線部分にポイントを設けることで、狭いスペースでもホームを長くとった駅をつくれるなど、工夫次第で楽しみ方が広がる。

電動ポイントN-CPL317/280-45(F)

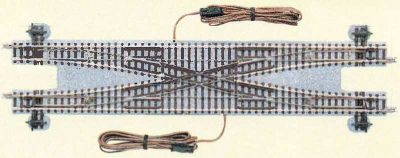


電動ダブルスリップポイントN-PXL140-15(F)　電動ダブルスリップポイントN-PXR140-15(F)



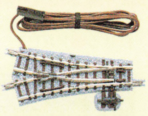
2本のレールが平面で交わるクロスレールに分岐機能を追加した特殊なポイント。

複線ポイントN-PX280(ダブルクロス)



4つのポイントとクロスレールを組み合わせ、隣り合う線路へ自由に移ることができる複線区間用の両渡りポイント。

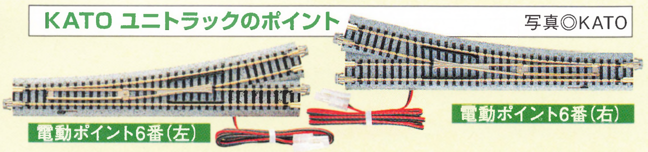
電動Y字ポイントN-PY280-15(F)



左右均等に分岐するY字ポイント。非常に小さく、単線ローカル線の島式ホームがある行き違い駅などの再現に使える。

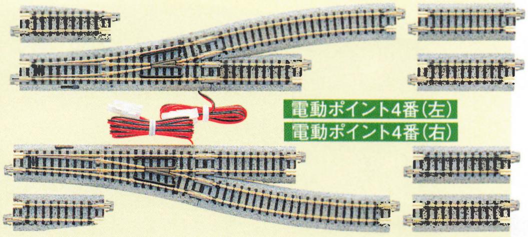
KATO ユニトラックのポイント

写真◎KATO



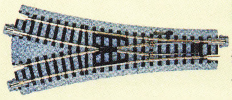
電動ポイント6番(左)　電動ポイント6番(右)

分岐側の曲線の半径が718㎜の大型ポイント。高速での通過も可能で本線上などの分岐に使用する。



電動ポイント4番(左)
電動ポイント4番(右)

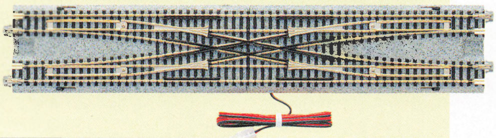
分岐側の曲線の半径が481㎜の標準ポイント。短い補助線路が同梱され、待避線をつくるだけでなく、島式ホームを2本の線路に設けられるように線路間隔を調節できる。



電動Y字ポイント2番

分岐が左右均等に開くY字形をしたポイント。単線のローカル線にある行き違い駅の再現に最適な小型のポイント。曲線レールと組み合わせ、2本のレールの間に島式ホームを設けることができる。

複線両渡りポイント(ダブルクロス)



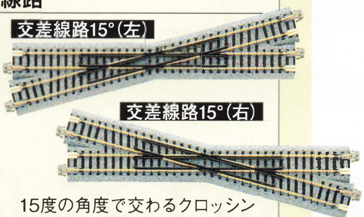
4つのポイントとクロスレールを組み合わせ、複線の隣り合う線路へ自由に移れる両渡りポイント。複線のレイアウトの終端駅などに使いたい大型のポイント。

2本のレールを平面で交差させる線路

狭いスペースで運転できる距離を伸ばすためには、レールを交差させる方法がある。通常は片方の線路を持ち上げて立体交差させるのが一般的だが、平面で2本のレールを交差させることができるのがこのクロッシングレール。

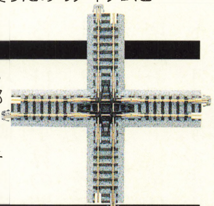
本来はポイントと組み合わせて、本線からの分岐線に使われたり、鉄道線と軌道線（路面電車）を平面で交差させるために使われるが、工夫次第で狭いスペースを有効に使うためのアイテムとして活用できる。

交差線路15°(左)　交差線路15°(右)



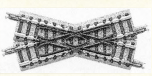
15度の角度で交わるクロッシングレール。電動ポイント6番との相性がよい●KATO

交差線路90°

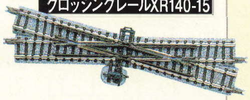


直角に線路が交わる交差線路。クロス部と短い線路4本がセットになっており、複線での交差にも対応可能●KATO

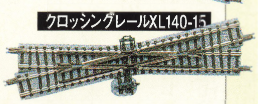
クロッシングレールX72.5-30



クロッシングレールXR140-15

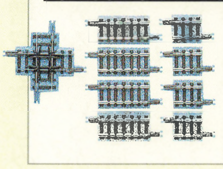


クロッシングレールXL140-15



X72.5-30は30度、XR140-15とXL140-15は15度の角度で交わるクロッシングレール●TOMIX

クロッシングレールX37-90



直角に線路が交わる交差線路。クロス部本体と長短2種類の補助線路8本がセットになっており、複線での交差にも対応可能●TOMIX

多彩なレールを加え、さまざまな鉄道シーンを再現しよう



入門セットでスタートし、バリエーション豊かなレールを追加すれば、複線や立体交差、高架線へと発展させられる点もNゲージの魅力。

曲線の内側に車両が傾くように傾斜を付け、よりリアルなカーブ走行が楽しめるカント付き線路を走らせると、写真のように臨場感のある情景が生まれる。

KATOのスターターセット、あるいはM1セットを持っていれば、「V1 島式ホーム用待避線電動ポイントセット」を追加し、TOMIXベーシックセットSDやマイプランLTⅢを持っているなら「待避線セットⅡ」の追加で、待避線のあるエンドレスを組める。

待避線ができたら、本線上に1本、待避線上に1本、計2本の列車を置き、交互に走らせてみよう。なお、編成が長くなると列車が待避線に収まらないこともあるので、その場合は直線レールを追加して待避線を長くすればOKだ。

ほかにもポイント使うと待避線だけでなく、車庫や終端駅などを設けるための引き込み線をつくることもできる。ポイントは線路に変化を与える重要なアイテム。上手に活用して、Nゲージを楽しく走らせよう。

セットを研究する



少しずつ車両を増やす楽しみ

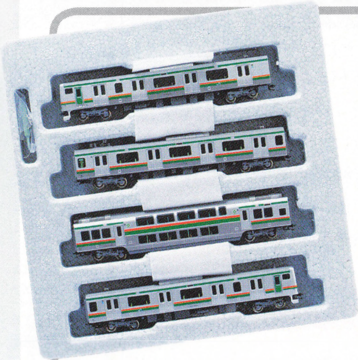
Nゲージをはじめると「いつかは10両を超える長編成の車両を揃えたい」と考える。でも、一気に10両や12両、あるいは16両を揃えるのは、予算の関係もあって躊躇してしまう。そこで、各社とも長編成になる形式は、基本セット、増結セット、単体車両を組み合わせ、少しずつ車両を増やせるようになっている。

例えば、首都圏の近郊型として人気の高いJR東日本のE231系（東海道線用）では、複数のセットを組み合わせることで、基本編成の10両から付属編成を含めた15両フル編成まで、段階的に車両を揃えられる。

KATOのE231系（東海道線用）では、動力車を含む4両で構成される基本セットに2階建てグリーン車1両が組み込まれている。東海道線のE231系らしさを基本セットでも感じられるようにした配慮が感じられる。増結セットAを追加するとM+M'の動力車ユニットが2組、2階建てグリーン車が2両となり、違和感のない8両編成を組むことができる。

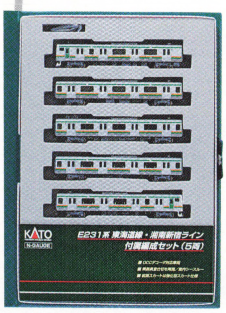
一方、TOMIXのE231系（東海道線用）の基本セットは動力車と2両の先頭車を組み合わせたミニマムな物。増結セットAを追加すると、M+M'の動力車ユニットが2セットの6両編成にな

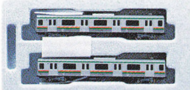
KATOのE231系セットで…15両フル編成を組む



E213系 東海道線・湘南新宿ライン 基本セット（4両セット/M付/ ¥11,550）

「基本セット」は動力車を含む4両で構成。特徴的な姿を持つ2階建てグリーン車1両が組み込まれる。これに加えるのが「増結セットA」の4両。もう1両のグリーン車が含まれ、堂々とした8両編成が組める。増結セットAのブック形ケースの空きスペースには基本セットの4両が収まる。「増結セットB」はサハE231の2両セットで、これで実物の基本編成と同じ10両が揃う。最後に「付属編成セット」の5両を加えれば、15両フル編成の完成。

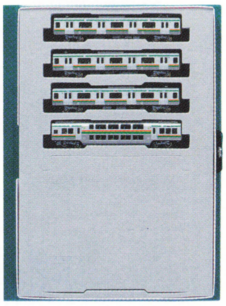




E213系 東海道線・湘南新宿ライン 増結セットB（2両セット/ ¥3,150）

▶E213系 東海道線・湘南新宿ライン 増結セットA（4両セット/ ¥8,505）

◀E213系 東海道線・湘南新宿ライン 付属編成セット（5両セット/ ¥14,910）



E231系（東海道線・湘南新宿ライン）の15両編成図

▼基本編成

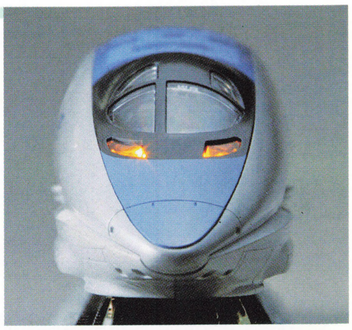
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
クハE230	モハE230	モハE231(M)	サロE230	サロE231	サハE231	サハE231	モハE230	モハE231	クハE231

基本セット　増結セットA　増結セットB　付属編成セット　(M)動力車

▼付属編成

11	12	13	14	15
クハE230	モハE230	モハE231(M)	サハE231	クハE231

長編成が楽しめる人気モデル



新幹線500系『のぞみ』16両編成

『のぞみ』の運用から退いた今も人気のある500系。シャープなデザイン、特徴のある低い車体もリアルに再現されている。16両編成を再現するには、「基本セット」（4両/M付）、「4両 増結セット」、「8両 増結セット」を組み合わせる●KATO



M250系『スーパーレールカーゴ』16両編成

夜の東海道を疾走する特急コンテナ電車。「基本セット」（4両/M付）と「4両 増結セット」で、編成両端の動力車部分が揃う。専用のコンテナ車で構成された「8両 増結セット」を加えれば16両フル編成の完成。なお、搭載するコンテナは着脱も可能●KATO



EF81 寝台特急『トワイライトエクスプレス』11両編成

大阪から札幌までの長距離を走り通す人気の寝台特急。専用牽引機のEF81と編成両端の客車がセットになった「基本セット」（3両/M付）に、「増結セットA」（5両）、「増結セットB」（3両）を組み合わせれば、11両フル編成が完成する●TOMIX

いきなり10両以上の車両を購入し、
長編成を組むのはたいへん。
そこで、ひとつの編成を何両ずつかに分けて販売する
スタイルが普及している。予算に応じて、好みに合わせて、
リアルな編成もオリジナルな編成も自由に組める
「車両セット」について調べてみよう。



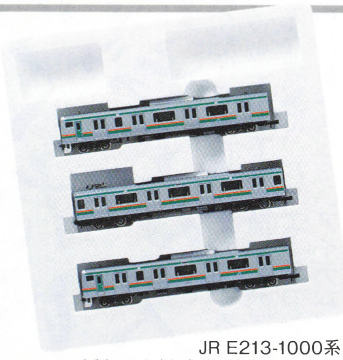
車両

り、特徴的な2階建てグリーン車が2両入った増結セットBを追加して初めて、東海道線を走るE231系をイメージさせる8両編成ができあがる。

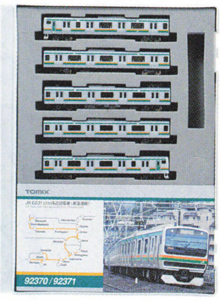
少しずつ車両を買い足し、目指す編成を組み上げていくのも、Nゲージの楽しみのひとつだ。

TOMIXのE231系セットで…15両フル編成を組む

「基本セットA」は動力車を含む3両で構成される。次に加える「増結セットA」も3両で、2つのセットを加えると6両のモノクラス編成になる。「増結セットB」には2階建てグリーン車が2両入っており、これを加えることで、8両編成となる。リアルな10両基本編成にするためには、単品のサハE231を2両追加する。さらに「基本セットB」の5両を加えることができれば、15両フル編成が完成だ。



JR E213-1000系 近郊電車(東海道線)基本セットA(3両セット/M付/ ¥10,395)



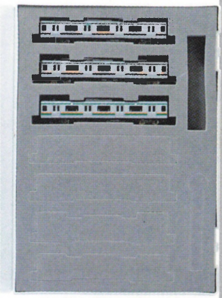
JR E213-1000系 近郊電車(東海道線)基本セットB(5両セット/M付/ ¥15,960)



JR E213-1000系 近郊電車(東海道線)増結セットB(2両セット/ ¥3,990)



JR サハE213-1000形(¥1,785) ※フル編成には2両必要



JR E213-1000系 近郊電車(東海道線)増結セットA(3両セット/ ¥7,350)

E231系(東海道線・湘南新宿ライン)の15両編成図

▼基本編成

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
クハE230	モハE230	モハE231(M)	サロE230	サロE231	サハE231	サハE231	モハE230	モハE231	クハE231

基本セットA　単体　※6、7号車のサハE231は単品
増結セットA　増結セットB　基本セットB　(M)動力車

▼付属編成

11	12	13	14	15
クハE230	モハE230	モハE231(M)	サハE231	クハE231

485系に見るセット構成の違い

製造された時期や使用する路線によって豊富なバリエーションを持つ485系。模型も一般的な仕様の物から特定の編成をモデルにした物まで、さまざまな製品が発売されている。

実車に即したリアルな編成を再現するのも、食堂車やグリーン車など、特徴のある車両を自在に組み合わせ、自分好みの編成が組めるのも模型ならではだ。



8両基本セットは、ボンネット型の先頭車(1971年登場の100番台)2両と2つのM+M' 動力車ユニットに、サロ481、サシ481が加わった物●KATO



4両増結セットは、動力車ユニット(M+M')とサロ481、サハ481からなり、基本セットにプラスすると、国鉄時代の『雷鳥』12両編成が再現できる●KATO

KATOの485系初期型『雷鳥』

2011年3月12日のダイヤ改正で定期運用が終了した485系の『雷鳥』。模型はボンネット型の先頭車、AU12型のキノコ型クーラーを搭載した1979年当時、実在した初期型の編成をモデルにしている。

TOMIXの485系200番台

1972年に登場した先頭車に貫通扉を持つ200番台。列車の分割併合を想定してつくられた。これを期に屋根上にあるクーラーの形状もキノコ型からAU13型分散式に改められ、先頭部の形状とともに、初期型との外観上の大きな違いとなっている。



基本セットは、貫通扉を持つ200番台の先頭車2両とM+M' 動力車ユニットの4両編成。485系にとっては最小単位となり、このまま走らせてもおかしくない●TOMIX



増結2両セットは、M+M' 動力車ユニットをセットにした物。基本セットに加えて、グリーン車のないモノクラスの6両編成が組める●TOMIX



右手前からサロ481、サシ481、サハ481の3種類。いずれも単品で販売され、基本セット、増結セットと組み合わせ、自由に編成を組むことができる●TOMIX

置くだけなのに…何だかスゴイ！

置くだけで"らしく"見えてくる。お座敷運転なのに、鉄道情景が楽しめる。「ウソッ」だって思う前に並べてみようよ！ こんな豊富に、バリエーションが揃うストラクチャーはぜひとも導入したいアイテム。リビングが「スゴイ！」ことになるのは間違いない。

文◎編集部

悩まずに"風景"への第一歩を

入門セットやレールセットでエンドレスを組むだけで、運転の楽しさは充分堪能できる。「でも、何かが足りない！」そう、風景だね。

車両を増やす、線路を拡張する。考え方はいろいろだけど、Nゲージの醍醐味ってやっぱりディオラマなんじゃない？ って思わない…。

だけど"ディオラマ"って、考えすぎると手も足もでないでしょ。そこで、置くだけで"ディオラマ風"な、お気楽テクにトライしよう。

といっても、実はストラクチャーを並べるだけ！ なのに結構"雰囲気"が楽しめる。

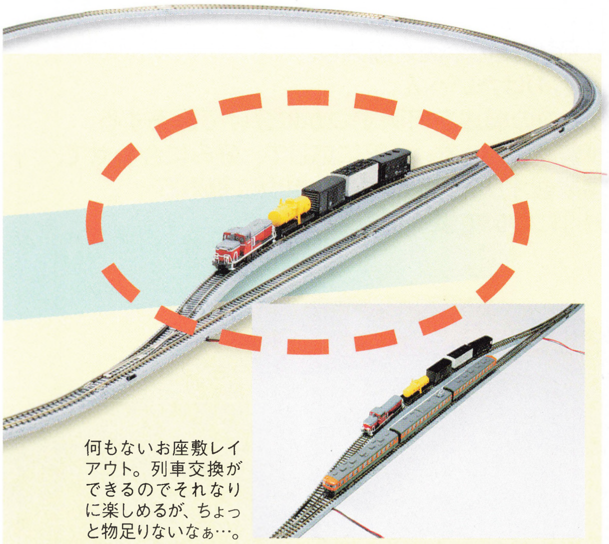
リビング全体がディオラマに？

では、さっそく駅周辺を中心に街をつくってみよう。

まずはホームや駅舎を置く。「うん」いいね。で、駅前の商店街をつくり、ビルを並べれば、あっという間に賑やかな街のでき上がり！

ここでは、エンドレスのごく一部、駅と駅前のみのアレンジだけど、エンドレス全体に、ガソリンスタンド、コンビニ、ファミレスといったアイテムで街を広げ、クルマやフィギュアを配置すれば、リビング全体が楽しいディオラマになる。

出来映えによっては「早くかたづけて！」なんてクレームももらわずに済みそうな…。



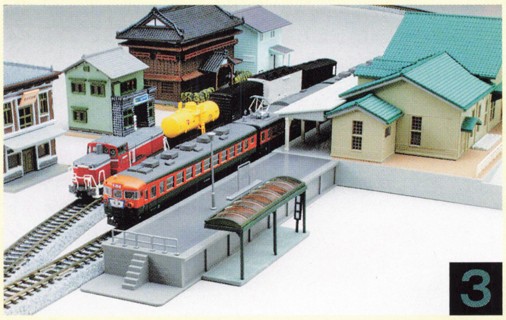
何もないお座敷レイアウト。列車交換ができるのでそれなりに楽しめるが、ちょっと物足りないなぁ…。



駅部分にポイントがあると、列車交換ができて運転も楽しい。



まずは駅を設置。線路の分岐側を待避線の設定にすれば、プラットホームは片側で充分。



商店街やバス停を設置。トミーテックのジオコレなら、建物類も安く揃えられる。

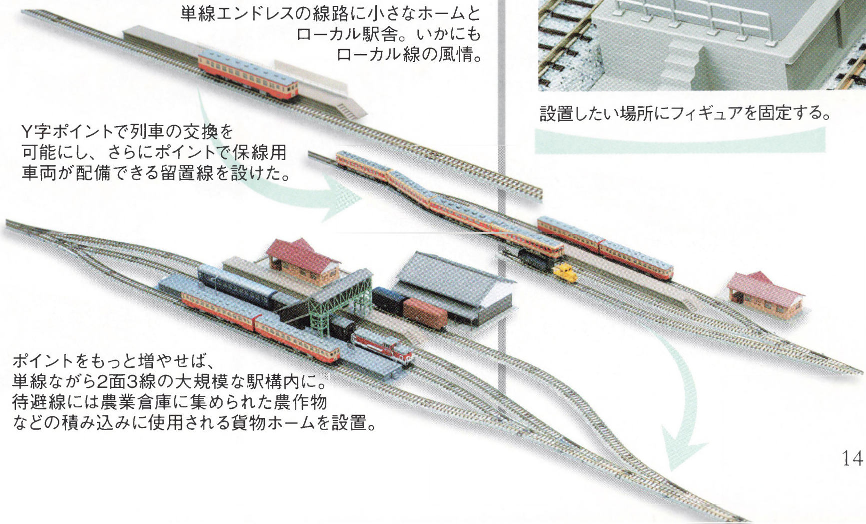


さらにビルを！「値段が張るなぁ」と思ったら、プラ板やボール紙の代用でも様になる。

単線エンドレスからの発展例

入門セットなどで一般的な単線エンドレスなら、線路の発展方法も含めて考えてみよう。

作例はY字ポイントを用いたローカル駅だ。国鉄のローカル駅は、線路パターンが標準化されており、再現の仕方で駅の規模も決まるのだ。



単線エンドレスの線路に小さなホームとローカル駅舎。いかにもローカル線の風情。

Y字ポイントで列車の交換を可能にし、さらにポイントで保線用車両が配備できる留置線を設けた。

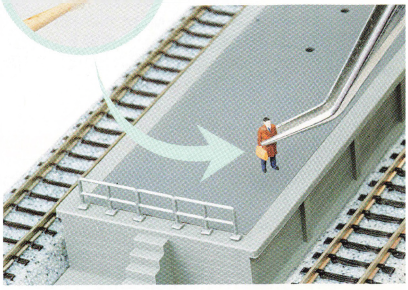
ポイントをもっと増やせば、単線ながら2面3線の大規模な駅構内に。待避線には農業倉庫に集められた農作物などの積み込みに使用される貨物ホームを設置。

フィギュアを固定する

読者ハガキの質問でよくあるのが"フィギュアの固定方法"だ。作業は簡単。透明のゴム系接着剤（Gクリアーなど）を爪楊枝に取り、フィギュアの足に塗布。そのまま固定したい場所に配置すればOKだ。



爪楊枝ですくい取ったゴム系接着剤を、フィギュアの足裏に塗る。



設置したい場所にフィギュアを固定する。



緑のマット上に線路を敷き、茅葺きや白壁の懐かし系の建物を置けば、蒸機の似合うローカルムードが広がる。

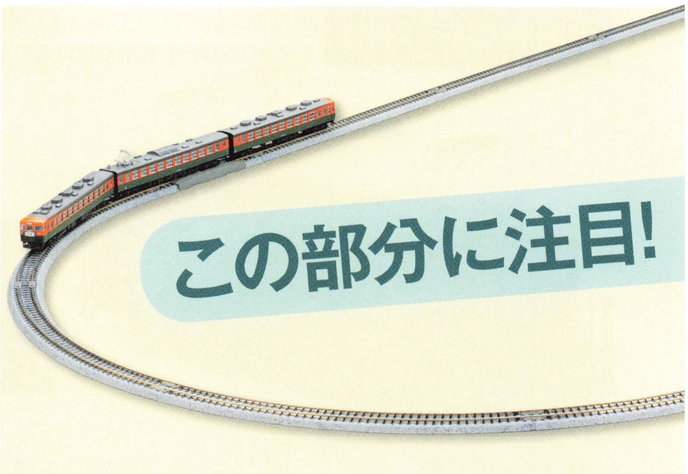


マットが似合うのは、昔の光景ばかりでない。新しい建物や車両に置き換えても、現代的なローカル情景が味わえる。

地面を“らしく”見せよう

建物類が賑わいを見せると、床や畳が気になってくる。そこで地面を演出する。都市部ならグレーの色画用紙や着色したベニア板などを敷くといいだろう。ローカル線なら『草地マット』が便利だ。

KATOの『カラーマット（薄緑）』やTOMIXの『レイアウトマット（グリーン／グリーンミックス）』のほか、画材店などでも似た商品が揃う。広げるだけで一面の草原ができ上がる。床や畳を隠すだけでより実感的な雰囲気が味わえる。





駅前にバスやタクシー、道路上には色とりどりの乗用車やトラックを並べれば、とてもお座敷レイアウトとは思えない。



駅舎右側から覗けばこれまた違う景色が出現。これこそがディオラマの醍醐味。



駅の反対側から眺めると街を行き交う車たちが見え、街の印象はガラリと変わる。



ワム80000ベースの貸倉庫。最近では海上コンテナバージョンもあり、トレーラーコレクションの海コンで再現できる。

貨車もストラクチャーになる!?

国鉄分割民営化（1987年）以降に、余剰化した貨車を利用した貸倉庫が各地で見られた。で、これを再現！　ワム80000の床板を外してボディだけにすればOK。色を塗り替えるとより本格的だ。応用でヨ8000の床板を外せばダルマ駅がつくれる。

モデル・セットアップ術

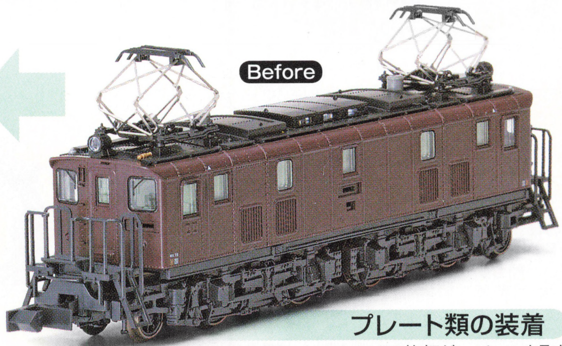
ディテールを構成するパーツ類が選択式になっているNゲージモデルは、好みの車両に仕立てる楽しみがある。慣れるまではちょっと面倒だが、パーツを付けるだけで見栄えも向上し、それ以上に愛着もひとしおになるので、ぜひチャレンジしてみよう。

講師◎宮城幸路
写真◎米山真人

機関車のパーツ付け

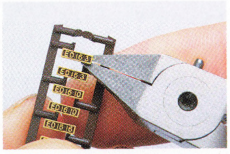
機関車ではナンバープレートが選択式の製品が多い。一部にはインレタ式の製品もあるが、プレートを取り付けるのが一般的だ。KATOのED16を例に紹介していこう。



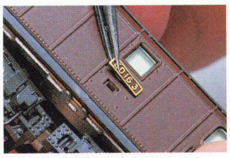


プレート類の装着

車体に穴が開いたままでは不格好だ。パーツを取り付けて、凛々しい機関車に仕立てよう。精密モデルだけに、やっぱり細かい点にもこだわりたい。



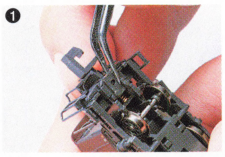
ニッパーやカッターでナンバープレートやメーカーズプレートを切り出す。車番と製造メーカーの対照表は説明書に書かれている。



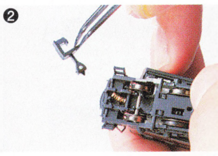
パーツを穴にはめ込む。従来はゴム系接着剤で付けたが、最近のKATO製品は接着剤がいらず、穴もオフセットされて向きが特定される。

カプラーの交換

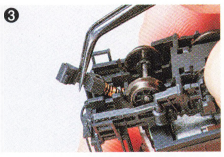
標準のアーノルドカプラーは、万能だが大きすぎる。で、付属のカプラーでに交換！　先頭側の交換で見栄えがよくなり、反対側は牽引しやすさを考慮してそのままに…。



❶ 付属のKATOナックルカプラーに交換するため、まずは裏側のカプラー押さえを外す。



❷ アーノルドカプラーを取り外す。台車側のバネは車体に付けたままにし、紛失に注意。

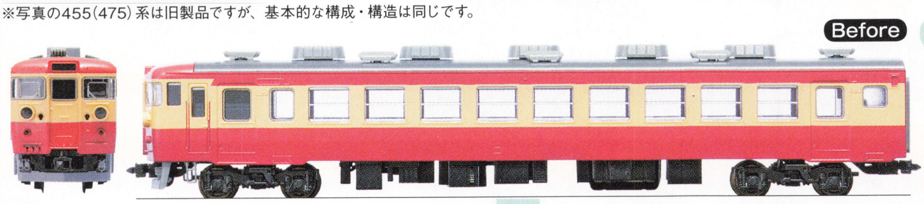


❸ KATOナックルカプラーは、後端の突起をバネに入れて取り付ける。最後にカプラー押さえをはめて完了。

電車のパーツ付け

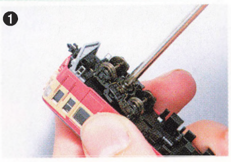
近年、別付けパーツは減少しているが、TOMIXのハイグレード仕様製品では細部を選択式にし、こだわりの姿に仕立てられる。そのパーツ付けをTOMIXのクハ455を例に紹介する。

※写真の455(475)系は旧製品ですが、基本的な構成・構造は同じです。

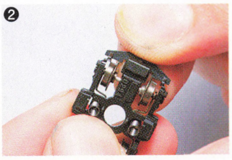




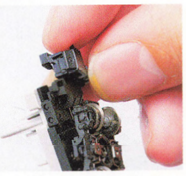
床下パーツの取り付け



❶ 先頭車の台車にはスノープラウが装着可能だ。まずは＋ドライバーで台車を外す。集電バネの紛失に注意。

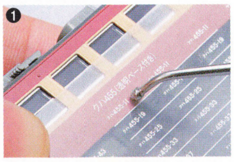


❷ ランナーからスノープラウを切り出し、台車の取り付け穴に装着。取り付けたら台車を床板にネジ止めする。

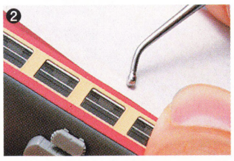


❸ 車体から床板を取り出し、トイレ・洗面所流し管かトイレタンクを溝に装着。時代によって付いていた物が異なるので選択式で対応する。

インレタを貼る

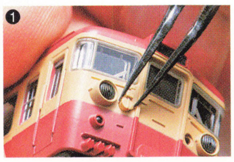


❶ 貼り付け部をきれいに拭き、説明書を参考にインレタを置き、上からバーニッシャーや爪楊枝などで軽く擦る。力を入れすぎると文字が割れたり、形がゆがんだりする。

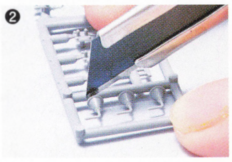


❷ インレタが転写できたら、保護台紙をあててさらに擦ってしっかり貼る。失敗した場合は、セロハンテープを上に貼り、剥がすと外せる。

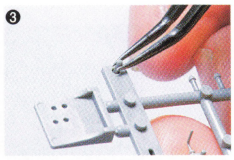
前面パーツの取り付け



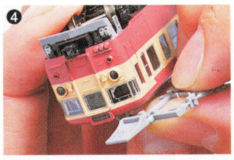
❶ タイフォンは4種類からの選択式。ランナーから切り出し、穴にはめ込む。前面の後退角に合わせてパーツに左右があるので、間違えないように注意。



❷ 検電アンテナも選択式。ランナーの隙間が小さい場合は、よく切れるカッターで切り出し、屋根上の所定の穴に取り付ける。



❸ 小さな信号炎管はランナー端の治具を使う。まずはピンセットで治具に逆さに載せる。



❹ 車体を逆さにし、治具に載せるようにパーツをはめ、上向きにして治具で押し込む。

パーツを付けてグッと本格派に

Nゲージモデルには、細かなパーツ類がユーザー取り付けになっている製品がある。その大きな理由は車番や走っていた時代を選べるようにするため。同じ車両でも時代や地域の設定を変えられるのは、ありがたい配慮だ。

もうひとつには組み立てコストの低減という側面がある。細かなパーツは、工場でもひとつずつ取り付けねばならず、製品価格にも反映する。最近は装着済みの製品も増えてきたが、自分の手でパーツを付けることで「模型」を身近に味わうのもいい物だ。

いつもベストコンディションで運転を楽しむためのメンテナンス

Nゲージ車両を長く楽しむためには、日ごろのメンテナンスは欠かせない。簡単なメンテナンスを心がけるだけで、いつまでもスムーズな走りが得られだけでなく、車両もきれいに保てるので、今すぐはじめてみよう。

まず、気をつけたいのがケースからの車両の出し方。ブック形ケースは、凹みに指を差し込んだり、車端部を持ち上げたりしてから取り出す。単品のケースの場合は、ケースを傾け、自重で出てくるところを手のひらで受け取る方法が、車体を痛めないのでいい。

また、プラスティック製の車体は静電気によってホコリが付きやすいため、静電気防止ブラシで表面を払うようにすると、車両をきれいに保てる。

一番重要なのは車輪とレールのクリーニング。レールを流れる電気は車輪を介して、モーターや照明装置に伝わる。そのため、接点の「レール表面と車輪」の汚れが、通電を悪くし、走りのギクシャクや、ライトや車内灯のチラチラの原因となる。

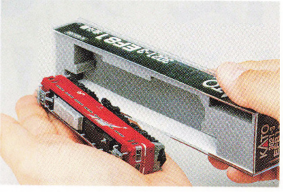
そこで、運転前や運転後に、動力車を中心に各車両の車輪とレール面はキレイにしておきたい。

最初に歯ブラシで台車周辺（主に動力車）に付着したゴミを払い落とし、次にクリーナーを少量付けた綿棒で、車輪一つひとつを丁寧に拭く。

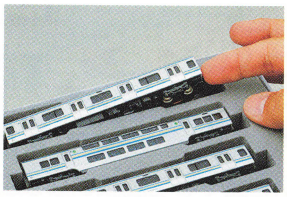
なお、動力車の車輪を拭くときは、一部の車輪に付けられたゴムタイヤはクリーナーの付いた綿棒で拭かないようにしたい。

こうした日ごろのメンテナンスが、スムーズな走行を約束し、車両やレールを長持ちさせるのだ。

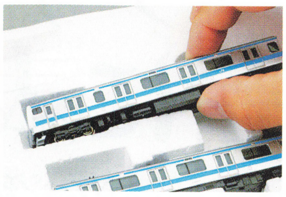
車両ケースからの出し方



単品ケースでは、ケースを傾け、もう一方の手のひらの上に載せるように車両を出す。ケースに入っている透明なセロファンやエアーキャップは、車体を保護する効果があるので、捨てずに使おう。



車体の上下に凹みのないケースでは、車両の妻面側から指先で軽く持ち上げ、車両が浮き上がったところから引き出す。

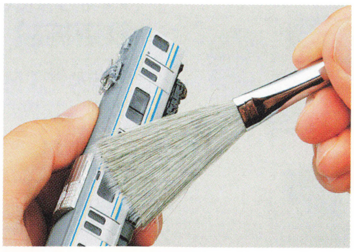


ブック形ケースで指を入れる凹みがあるときは、そこに親指と人差し指を入れ、2本の指ではさむように持ち上げる。

ホコリは静電気防止ブラシで払い落とす



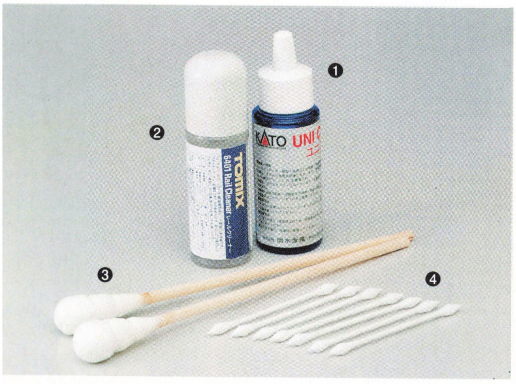
タミヤ製の「モデルクリーニングブラシ」（¥1,575）は、車体全体のホコリを払う大きめのブラシと細部のゴミを取るためのコシの強いミニブラシからなっている。



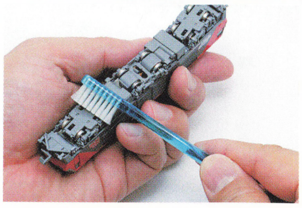
車体に付着したホコリは静電気で吸いついていることが多い。そこで、払い落とすときは毛先の長い静電気防止タイプのブラシを使いたい。

快適に走らせるためのクリーニングアイテム

車輪とレールの両方に使えるクリーナーと綿棒。クリーナーにはKATO「ユニクリーナー」（❶¥420）とTOMIX「レールクリーナー」（❷¥420）がある。綿棒はKATOの「線路クリーニング綿棒」（❸ 2本入り/¥126）、「先端尖りクリーニング綿棒」（❹ 10本入り/¥126）が毛羽立ちにくく、使いやすい。

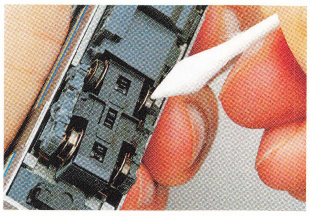


歯ブラシで車輪周辺のホコリを拭く



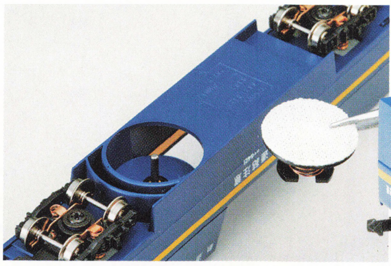
動力車の台車はギアのグリスやオイルによりホコリやゴミが付着する。このホコリやゴミを乾いた歯ブラシで拭き取る。歯ブラシはきれいであれば使用済みの物でもかまわない。

こびりついた汚れは綿棒で丁寧に拭く

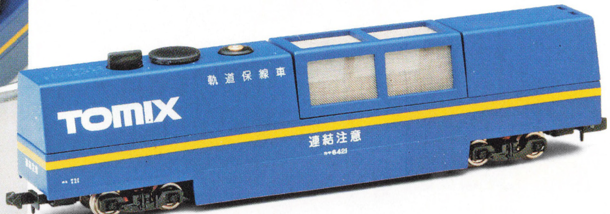


レールと常に接する車輪の踏面とフランジの付け根には、走行時に生じる火花により汚れがこびりつく。そこで、クリーナーをつけた綿棒で車輪一つひとつを丁寧に拭く。

走らせるだけでレールをクリーニング

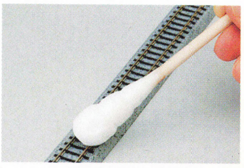


底部の丸い凹みに吸引ファン用ヘッドや写真の湿式クリーニングディスクをセット。車体の切り替えレバーで、クリーニングモードを切り替えられる。

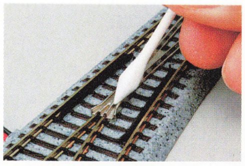


吸引ファンでレール上のホコリやゴミを吸い取り、タンクに入れたクリーナーでレール面を拭くことができる「マルチクリーニングカー」（TOMIX/¥4,410）。動力車に牽引させて、レールをクリーニングする。

クリーナーを付けた綿棒でレール面をきれいに



クリーナーを少量つけた綿棒で、運転前か後にレール面を丁寧に拭こう。レール面が汚れていると、集電効率が悪くなり、走りがギクシャクする原因となる。



ポイントなどの細かい部分は、クリーナーを少量付けた細い綿棒でクリーニングする。可動部を拭くときは力を入れすぎて、壊さないように注意したい。

文◎編集部

ストラクチャーを使って走りの舞台に表情を出そう！

Nゲージを引き立てる名脇役となるさまざまなストラクチャー。
建物、車両、人物、樹木などカテゴリーごとに
いろいろなバリエーションがある。
要所要所にうまく活用すれば、鉄道模型の楽しみがもっと広がるぞ。

駅前広場などに欠かせない乗り物たち クルマ

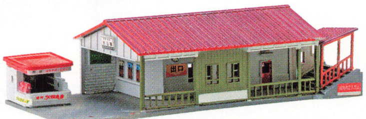
建物の周辺に乗用車やバス、トラックなどがあると情景にさらにリアリティが増してくる。乗用車、緊急車両、時代を感じさせるオート三輪など、設定にあわせて使い分けよう。

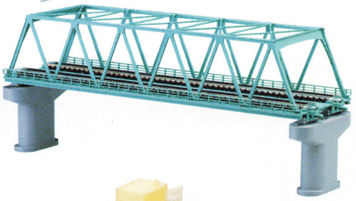


ディオラマにさらに広がりを与えよう 鉄道施設

駅舎だけでなく、詰所、車庫、信号機、踏切、鉄橋など、鉄道を形づくる施設を配していくと、さらに実際の鉄道に雰囲気が近づいてくる。一番効果的に使えるストラクチャーだ。









街に動きを出すために不可欠なアイテム フィギュア

人を配置することでディオラマの中の街が生き生きとして活気づいてくる。普通に歩く人だけでなく、祭りや結婚式などいろいろな状況に合わせた人間セットがあり見ているだけでも楽しい。写真◎トミーテック





風景を彩る自然の風物 樹木

人工的な構造物だけを使うのではなく、自然の風物を取り入れるとより豊かに情景を表現できる。樹木は置くだけで効果を発揮するのでぜひ使ってみたい。写真◎トミーテック





古い街並みを再現しよう

昭和の香りがするような懐かしい街並みを再現するのに最適なのが、トミーテックから出ているジオコレシリーズの活用だ。乗り物、建物、人物などレトロ感覚たっぷりのストラクチャーの宝庫となっている。

写真◎トミーテック

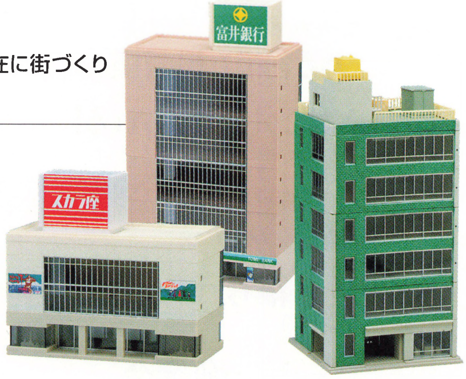




いろんな建物を使って自在に街づくり

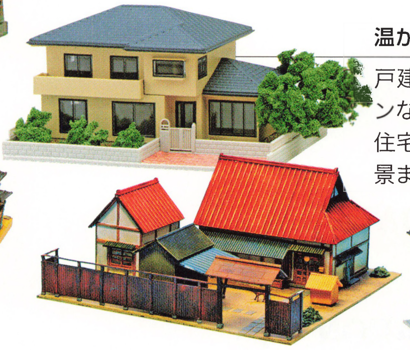
ビル

オフィスビルはいくつか種類が出ている。組み合わせを変えることで大都市の賑やかな駅前から小さな駅のひなびた駅前まで、いろいろな情景が再現できる。



温かみのある情景を生みだそう **住宅**

戸建て住宅、アパート、団地、マンションなどいろいろなバリエーションがある住宅。新興住宅街から懐かしい団地風景まで自分好みの街をつくり出そう。





生活感を出すアイテム

商店

駅前には付き物ともいえる商店街。活気がある商店街をつくり出すか、さびれた商店街にするかはあなた次第だ。







街道のワンポイント

ガソリンスタンド

車を配置したディオラマならぜひ加えたいのがガソリンスタンド。ブランド名が書かれたサインボードやのぼりまで再現されていてリアルな質感が再現されている。

駅前、郊外どこにでも置ける

ファミリーレストラン

今のライフスタイルには欠かせないのがファミリーレストラン。駅前、街中、街道沿いなど、配置できる場所はたくさんある。今風の街をつくるなら必携だ。



ストラクチャーを上手に使う

車両とレールさえあれば、走らせるだけでも結構楽しいNゲージ。でも、そこにストラクチャーを加えるだけで、また違った世界が広がってくる。

ストラクチャーを使うなら、ディオラマを作らなければ…と思うかもしれないが、前の記事でも示したように、お座敷レイアウトに置くだけでも立派な鉄道情景が獲得できるのだ。

KATO、TOMIX、グリーンマックスなど、各メーカーからは、さまざまな製品が発売されているので、自分が作り出したい鉄道シーンに合わせて、チョイスしていくもの楽しい。

置くだけの情景づくりに飽き足らなくなったら、そこではじめて本格的なディオラマ製作にチャレンジしてみよう。

それまでに集めたストラクチャーを活用すれば、先に進むのはそれほど大変ではない。誰もが憧れる自分だけのディオラマの世界をぜひつくり出して欲しい。





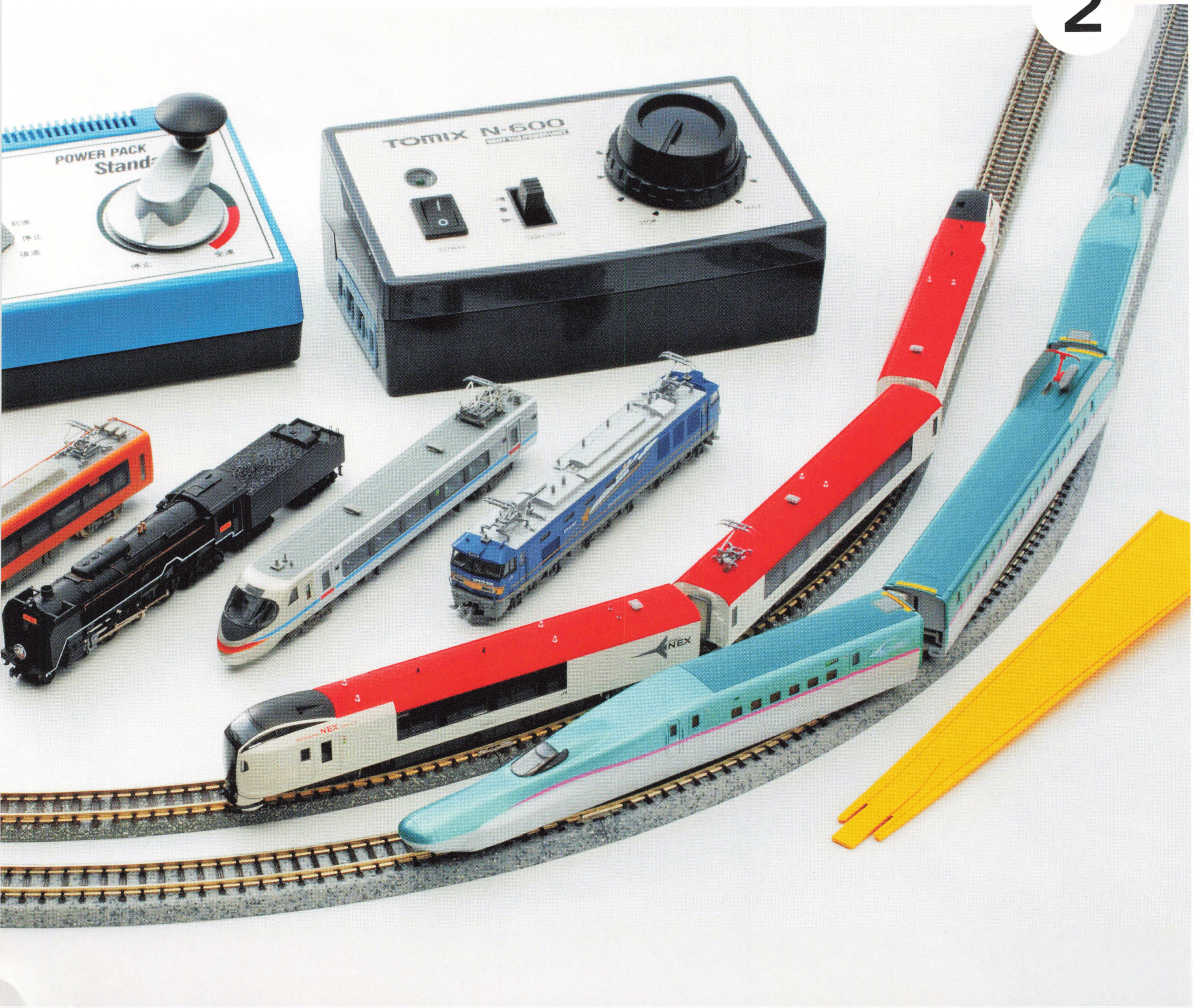
エンドレスの線路にコントローラーをつなげ、お気に入りの車両を運転する。最初はこれだけで、だれもがワクワクしたに違いない。だが、徐々にそれでは飽き足らなくなり、線路を拡張し、ストラクチャーを置くようになる。さらにその先にある夢こそ、表紙のような完成されたレイアウトではないだろうか？ Nゲージ世界にはファンそれぞれが抱く夢を実現してくれる商品と素材が、実に豊富に揃っている。

CONTENTS

表紙撮影――金盛正樹
表紙デザイン――COLUMBUS
印刷――大日本印刷株式会社
発行所――イカロス出版株式会社
〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町2-3

N.
つくる、買う、集める、飾る！ 究極のNワールドを大満喫!!

Nine Scale World 2012 FEB. VOL.62 2
Nゲージにこだわる
鉄道模型ファンのための専門誌



鉄道模型の一番の楽しみはやはり走らせること。今までよりも一歩進んだ、走りを楽しむためのレールやポイント選び、車両の選択、編成の考え方、モデルの集め方に注目。さらに、ドレスアップやメンテナンス、手軽なディオラマ導入まで手を広げれば、Nゲージライフがもっと充実すること間違いなし。新たなNワールドへ踏み込んでいくためのステップアップ術を、今日からキミも実践してみよう!



2011年のノミネートモデル



1 キハ181系
実車が引退した2010年12月に発売。引退時の『はまかぜ』塗色も追加リリースされた。



2 E5系『はやぶさ』
2011年3月デビューの最新鋭を、同月に製品化。扱いやすさを重視した設計方針を採用。



3 813系200番台
九州の主力近郊型を初製品化。黒色前面の福北ゆたか線も追加された。

KATO



5 東京メトロ01系銀座線
「東京メトロシリーズ」の第1弾として、小型車体・第3軌条方式の銀座線を模型化。



4 225系
歴代『新快速』用車両をラインナップするKATOが、最新型をさっそく製品化。



6 C62 2号機 北海道形
東海道形に続くバリエーション第1弾は北海道形。メカもD51の新動力ベースに改良。



8 381系
レジェンドコレクション第5弾は、381系『しなの』。振り子機構も搭載して製品化。



7 ED16
D級の旧型電機をKATOで初の製品化。晩年牽引していたホキ2500も合わせて投入された。

ノミネート発表！

毎年恒例の『エヌ・オブ・ザ・イヤー』。2011年に発売されたNゲージモデルの中から、最高のモデルを読者の皆さんの投票で決定します。今回は、そのノミネートモデルを発表。Nゲージを愛する皆さんの投票で、2011年のベストモデルを選出しよう!

文◎編集部／写真◎金盛正樹・米山真人・編集部

あなたが選ぶ ベスト・ニュー・モデル
第8回 エヌ・オブ・ザ・イヤー 2011



9 485系200/300番台
ハイグレード仕様で定評の485系を、最新仕様にリニューアル。200/300番台から登場。

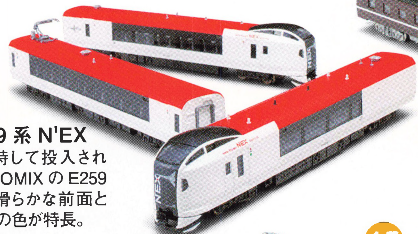
TOMIX



10 N700系 7000・8000番台
2011年3月に全通した九州新幹線の直通用車両。CM撮影用ラッピング車も限定生産。



11 12系『やまぐち号』
C57 1号機に合わせて投入された『やまぐち号』用客車。展望デッキのつくりも注目点。



12 E259系N'EX
満を持して投入された、TOMIXのE259系。滑らかな前面とライトの色が特長。



15 EF64 1001号機
新規開発されたEF64 1000番台の通常品は、茶色の1001号機とJR貨物更新機から。



16 EF60 0（2次形）
好評の動力システムでEF60を初製品化。青色、茶色と19号機復活国鉄色の3種をリリース。



14 113系1500番台
1500番台らしい前面のモデルがようやく登場。実車は2011年9月に引退した。



13 「さよなら北陸」セット
恒例の「さよなら○○」シリーズ。2010年3月に廃止された上り最終列車を徹底再現。

心に残るモデルに投票しよう

本誌主催の『エヌ・オブ・ザ・イヤー』では、読者はがきを通じて、その年に発売された印象的なモデルに投票してもらっています。

これまでは『完全新規部門』と『バリエーション部門』の2部門を設定していましたが、最近では従来品のリニューアル品の増加や塗色変更、一部変更などで金型に手を加えたり、新規金型を起こしている製品も増えて、単純な区分がしにくくなってきたため、前回より賞を一本化。さらに限定品もノミネート対象に加えました。

本ノミネートは、2010年12月から2011年11月までに発売されたNゲージ車両の中から、読者はがきの反応などをもとに編集部で検討し、30点を選別しました。1位に輝いたモデルには『最優秀モデル賞』が授与され、結果は本誌次号で発表いたします。

なお、対象は完成品モデルメーカーとして広く一般に流通しているKATO、TOMIX、マイクロエース、グリーンマックス、MODEMOの5社に限ります。またノミネート点数は、1年間の販売車種数に応じて、配分しています。

※写真には試作品も含まれています。



18 小田急 30000 形 EXE
ロマンスカーで長く未モデルだったEXEを製品化。6両セットと4両セットで併結も可能。



17 DD53 2号機
国鉄随一の強力ロータリー除雪車。1号機と2号機を製品化し、後者は晩年の姿を再現。

マイクロエース



20 キハE131＋E132
JR東日本の新鋭気動車。キハE131＋E132のほか、両運転台のキハE130もリリース。



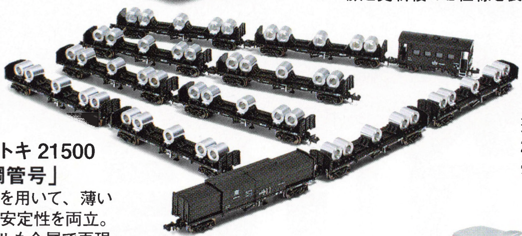
19 12系『パノラマライナーサザンクロス』
国鉄末期に登場した九州のジョイフル客車。専用牽引機のED76とDE10も同時発売。



22 京王 3000 系
2011年12月に引退した井の頭線のステンプラカー。湘南顔と更新後の2仕様を製品化。



21 481系『雷鳥』
481系を初模型化。赤スカートや初期らしいディテール、配管などの細密な再現も特長。



23 国鉄トキ21100＋トキ21500「コイル鋼管号」
ダイキャストを用いて、薄い荷台と走行安定性を両立。荷台のコイルも金属で再現。



24 近鉄 22600 系 Ace
近鉄の最新汎用特急。4連と2連を動力の有無で計4種発売。22000系とも併結可能。

Present!

投票された方の中から抽選で20名様に、エヌ・オブ・ザ・イヤーの投票結果が掲載された『エヌ』Vol.63を進呈いたします。なお、抽選は投票していただいたモデルのランキングなどは関係ありません。また、定期購読をされている方でも当選・発送される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。



26 阪神 9000 系新造時
阪神久々のステンレス車となった9000系を、登場時と改造後の2仕様でラインナップ。



25 東武 50090 系 TJライナー
グリーンマックスの東武50000系シリーズ第1弾として、東上線の有料快速を製品化。

あなたの投票で賞が決まります！

◉ 開催要項
『エヌ』Vol.62に掲載されたノミネート候補30点の中から、『最優秀モデル賞』をお選びください。

◉ 投票方法
本誌112ページの読者アンケートはがき裏面に、あなたがふさわしいと思うモデルのノミネート番号とその理由を簡潔にご記入の上、関連する質問にもお答えください。なお、お手数ですが、50円切手の貼付を忘れずにお願いします。

◉ 投票締め切り
集計の都合上、2012年1月10日編集部到着分までとさせていただきます。（プレゼントコーナーについては1月31日到着分まで有効です）。

★ 投票の注意 ★

- 投票は各賞1点ずつでお願いします。複数の記入のあるものについては無効となります。
- はがきへの記入は、商品の名称ではなく、ノミネート番号を記入してください。（無効にはなりませんが、分類作業の効率化にご協力ください）
- 商品名を記入された場合、ノミネートされた名称の商品が複数メーカーにあり、特定できない場合は無効になります。
- ノミネートされたもの以外への投票はすべて無効となります。
- 番号と品名を併記されても、合っていない場合は無効になります。
- その他、票の分類のできないものについては無効となる場合がありますので、ていねいに記入してください。
- 投票理由、自由回答について、本誌に掲載させていただく場合があります。表面のお名前の掲載方法についてもチェックを入れてください。

グリーンマックス



27 JR211 系 5000 番台
板キットだったJR東海の211系を完成品化。2連・3連・4連を動力の有無で揃える。

東急 6000 系
5000系ベースの大井町線専用車。個性的な前面や「くの字」形の帯も鮮やかに再現。



28

広島電鉄 50000 形グリーンムーバー
MODEMO初のLRV。5連接車体で、しかも2・4車体は台車のない独特な構造を再現。



30

MODEMO

29 江ノ電 100 形 108 号車
MODEMOが小型電車を扱いはじめた頃に製品化した100形を、現在の技術で完全一新。



新幹線が本州北辺から九州南端まで縦貫した今日、南九州観光の拠点として脚光を浴びる鹿児島中央駅。九州新幹線が部分開業を迎える2004年3月13日までは西鹿児島駅で、地元では「西駅」の通称で親しまれていた。今回は鹿児島本線全線電化後3年を経過し、電車特急の運転も軌道に乗った1973年10月当時の西鹿児島駅を振り返り、国鉄黄金時代の駅を巡る旅を締めくくりたい。

国鉄黄金時代へ…。

西鹿児島駅 1973

駅から辿る〝列車・編成〟ものがたり

文・編成図資料・実車写真◎寺本光照
模型写真◎奈良岡 忠
編成図イラスト◎江口明男

ローカル駅が一大ターミナルに転身

鹿児島本線は、1909年11月21日、人吉〜吉松間の開通により門司(現・門司港)〜鹿児島間の全通を迎える。八代以南は現在の肥薩線経由が本線ルートだった。

ちなみに鹿児島駅は、それより少し前の1901年6月10日、鹿児島〜国分(現・隼人)間に官設鉄道が開通した際、県内最初の駅のひとつとして開業を果たしている。

鹿児島本線全通後、川内線を建設することになり、その第1期として1913年10月11日に東市来間までの路線が開通。途中鹿児島〜饅頭石(現・上伊集院)間に武(たけ)駅が開業する。「武」は現在の鹿児島中央駅付近の地名であり、単なるローカル線の中間駅としてのスタートだった。

しかし、開業直後の1915年、駅に隣接して鹿児島工場の前身となる鹿児島検車区西鹿児島電灯所が設置されたことで、駅としての存在感が高まる。

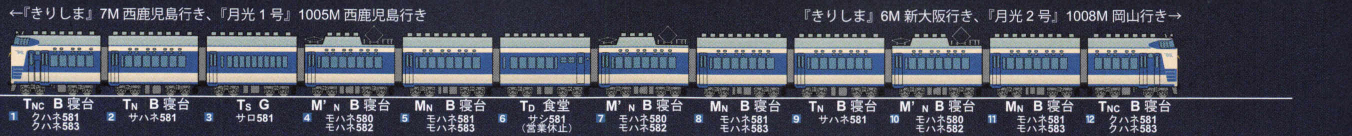
川内線は1914年4月の川内町(現・川内)開通後、さらに川内本線として熊本県側に延長され、

右から24系24形●TOMIX、キハ82系●KATO、ED76、583系(クハネ581)、キハ58系●すべてTOMIX
※当時、九州内のブルートレイン牽引機はヘッドマーク未掲出でしたが、列車のイメージとして取り付けています。



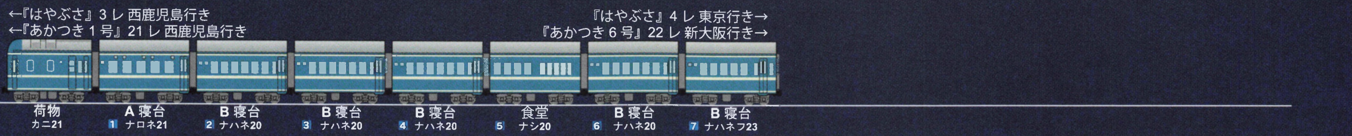
1973年10月における西鹿児島駅発着優等列車――鹿児島本線夜行特急編

※編成の向きは西鹿児島駅を基準にした。



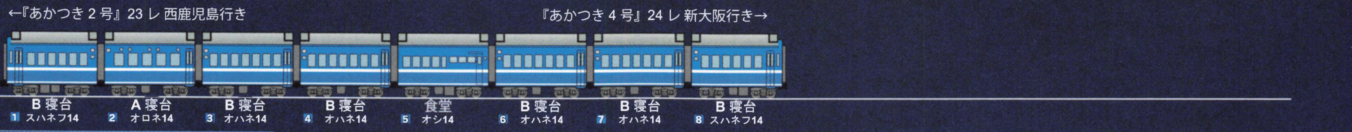
特急『きりしま』『月光1・2号』

一時期には関西〜九州間の電車特急を独占したような感があった583系だが、西鹿児島へ寝台列車として直通するのは『きりしま』と『月光1・2号』の2往復のみ。これは両特急とも運転距離が長く、昼行の相棒を探すにも苦心するほか、西鹿児島着9時58分の『きりしま』では走行中に寝台を座席に変えなければならないのが理由。寝心地のよい583系のB寝台だが、構造が複雑でセット・解体は大変だった。



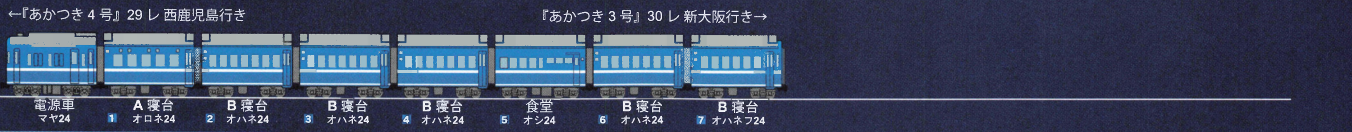
特急『はやぶさ』『あかつき1・6号』

記すまでもなく『はやぶさ』は東京から、『あかつき1・6号』は新大阪から西鹿児島へ乗入れる。両列車が20系で、しかもまったく同じ編成なのは、下り『はやぶさ』として14時19分に到着した車両を、19時40分発の上り『あかつき6号』に使用するため。博多駅では堂々15両の両特急も、分割や付属編成切り離しにより、西鹿児島駅には“尻切れトンボ”のような姿で入ってくる。



特急『あかつき2・4号』

1973年当時の寝台特急にあって、飛ぶ鳥を落とす勢いだったのが、東の『ゆうづる』と西の『あかつき』。新幹線が東京〜岡山間だけなので、長距離のビジネス・観光旅行に便利な夜行列車は重宝されたのだ。『あかつき』は6往復のうち、西鹿児島行きは3往復。この下り2号・上り4号は分散電源型の14系による編成で、新大阪発車時は14両だが、付属編成に当たる9〜14号車は途中の熊本駅で切り離される。



特急『あかつき4・3号』

幅の広いベッドが好評だった14系だが、1972年11月に起こった北陸トンネル内列車火災の影響で、1973年からの増備車は14系をそのまま集中電源方式に戻したような24系になる。この24系は1973年10月1日改正で、関西〜九州間特急『あかつき』『彗星』各2往復に投入。西鹿児島へも『あかつき4・3号』として1往復が乗り入れた。もちろんピカピカの新車で、ブルトレ最後の新製食堂車オシ24も営業。

１９２７年10月17日に八代からの肥薩線(旧)とドッキング。ここに八代〜鹿児島間は線路名称の交換がおこなわれ、川内経由が鹿児島本線、人吉経由が肥薩線(新)になる。

同時に武の駅名も西鹿児島に改称され、ルート変更された門司〜鹿児島間急行2往復の停車駅に抜擢。１９３０年12月には西鹿児島から分岐する指宿線も五位野まで開通する。

この西鹿児島駅は１９４５年６月の大空襲により、鹿児島駅ともども駅本屋や構内を焼失するなど、大被害を受けるが、戦後１９５０年に駅に隣接して鹿児島鉄道管理局が設置されたほか、鹿児島の市街地が南部に発展したことで乗降客が増加し、鹿児島市内の中心駅の座を鹿児島駅に取って変わる。

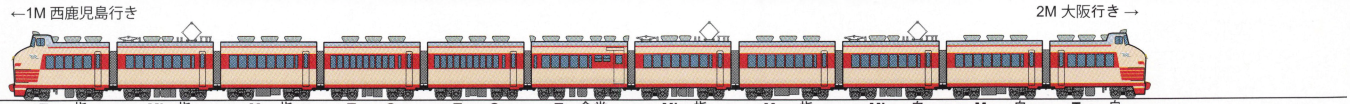
１９６０年７月20日の特急『はやぶさ』20系化に際し、下り方始終着駅が鹿児島から西鹿児島に変更さ



戦後の復興計画で鹿児島市の新たな玄関口と位置づけられ、都市化が進められた西鹿児島駅。三角屋根の瀟洒な駅舎は1952年に建てられ、九州新幹線の開業準備で1996年に解体されるまで使われていた。写真◎小川金治(RGG)

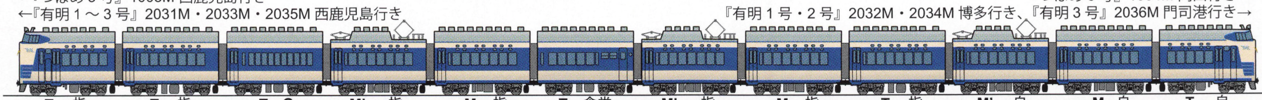


1973年10月における西鹿児島駅発着優等列車——鹿児島本線昼行列車編



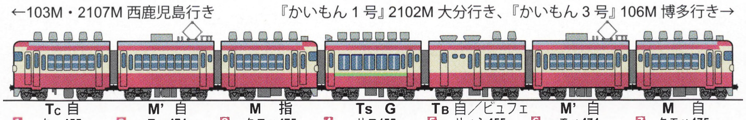
特急『なは』

1970年9月の鹿児島本線全線電化後も、併結列車との関係で気動車のままだった『なは』も、1973年10月1日改正で晴れて電車化。車両は向日町運転所の485系。西鹿児島駅に同系がお目見えするのは、これがはじめてだ。ただ、向日町所の485系は山陽・九州をはじめ北陸・上越特急にも広域運用されるため、『なは』用先頭車にはボンネット車のほか、貫通型や非貫通型も入る。どの"顔"が来るかは、その日のお楽しみ。



特急『つばめ3・6号』『有明』

1973年10月当時、熊本〜西鹿児島間を走る電車特急は『なは』以外すべて583系で運転。同改正では『つばめ』が西鹿児島に進出。これにより東京〜西鹿児島間は、新幹線博多開業を待つことなく日着が実現する。しかし、『つばめ』といえど自由席利用の短距離客が増加した当時、583系のボックスシートは評判がよくなかった。583系が島内特急『有明』3往復に使用されるのは、寝台運用との兼ね合いが理由。



急行『かいもん』

▼下り1・2号
▲上り1・3号

九州縦貫急行『かいもん』のうち、博多(一部大分)〜西鹿児島間の2往復には475・457系電車が使用される。このうち50/60Hz対応の457系は、1970年の鹿児島本線全線電化に際して配置された、急行型車両としては最後の新車。当初は60Hz帯が入った475系との識別が容易だった。そうした475・457系も特急中心となった1973年10月改正では、ビュフェ営業を廃止。熊本以南7両の編成が物悲しさを誘う。

れたのはその象徴的な出来事で、以後も優等列車は鹿児島・日豊両本線とも西鹿児島を起終点として設定された。

1973年10月当時の西鹿児島駅は、戦後に再建された大きな三角屋根が特徴の駅舎のほか、駅前広場には蛇口12本からなる噴水塔、傍にはフェニックスの木が植えられ、明るく広々とした空とともに南国ムードを醸し出していた。

ホームは3面6線。鹿児島・日豊・指宿枕崎線の大部分の列車は、ここを始発駅としてそれぞれの方面へ旅立っていった。

存在感のあった昼行・夜行特急

門司〜博多間では線路容量が飽和に近く、新幹線建設が急がれていた鹿児島本線だが、南下するにつれて輸送量が減少するため、八代〜西鹿児島間では単線区間が目立っていた。

しかし、そうはいっても九州最重要幹線の座は揺るぎなく、特急だけでも昼夜合わせて11往復が西鹿児島駅に乗り入れていた。

うち3往復は島内運転の『有明』だが、残る8往復は、東京・大阪・岡山から直通。長距離輸送では航空機の台頭が著しかったが、値段の面では鉄道のほうが圧倒的に安く、大阪はもとより、東京・名古屋からの通し旅客の利用も多かった。

本州からの列車は大半が夜行で、中でもED76牽引の『はやぶさ』『あかつき』は食堂車を営業するなど、華やかさに満ちていた。特に『あかつき』には20・14・24系と、寝台特急用客車のフルキャストが集結。今にして思えば、ブルートレインにとってクライマックスといえた時期でもあった。

華やかな特急群に対し、急行は定期に限れば6往復のみ。鹿児島本線の全線電化とほぼ同時期に急行用車両の製造が打ち切られた事実からは、ある意味致し方ない数字かもしれない。



急行『高千穂』

←4102〜1102レ 東京行き　　1101〜4101レ 西鹿児島行き→

14	13	12	11	10	9	8
ナハフ10	ナハ10	ナハ10	ナハ10	ナハ10	オロ11	ナハフ10
自	自	自	自	自	G	自

東京から28時間をかけ、ようやく鹿児島県入りした急行『高千穂』。山を下り国分からは平坦線。ゴールも間近だ。『桜島』と同じ編成ながら、西鹿児島では逆方向に発車するため、編成が逆向きなのがおもしろい。

もうひとつの西鹿児島発着

西鹿児島駅からは編成図に示した『桜島』以外に、もう1本東京行き急行が発車していた。日豊本線経由の『高千穂』である。編成は『桜島』と同じグリーン車1両込みの7両だった。

この両列車は門司から併結で東京を目指した。遠まわりになる『高千穂』の所要は何と28時間14分。そのため、旧盆や年末年始の帰省シーズンの西鹿児島駅では『桜島』が満員になることがあっても、『高千穂』には空席が見られた。新幹線博多開業前とはいえ、"偉大な長距離急行"だった。



485系初期型●TOMIX

しかし、東京～西鹿児島間をロングランする『桜島』以下、編成図に示すように電車・気動車・客車のすべてが揃い、どの列車も個性が溢れていた。

遠まわりが敬遠された日豊本線直通列車

門司～西鹿児島間の距離は鹿児島本線経由が390・8㎞に対し、日豊本線経由は471・4㎞。この距離の違いが災いし、本州からの結び付きはいいところ宮崎までで、以南は都市間連絡のローカル線的性格が強かった。

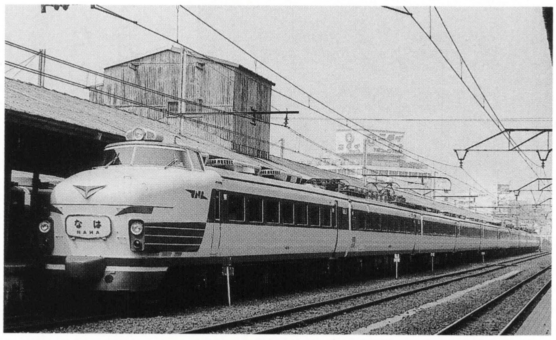
電化も小倉～大分(幸崎)間だけで、幹線的使命を有する幸崎～南宮崎間については、1974年4月を目標に工事が進捗中だった。

そうしたことで、本州からの直通列車は特急『富士』と急行『高千穂』『青島』のみ。その他はすべて九州内運転の気動車列車で、特に急行はかつての準急からの格上げ組が大半だった。グリーン車の連結がない『大隅』や『錦江2・1号』『えびの2・3号』などは2～4両の短編成で走っていた。

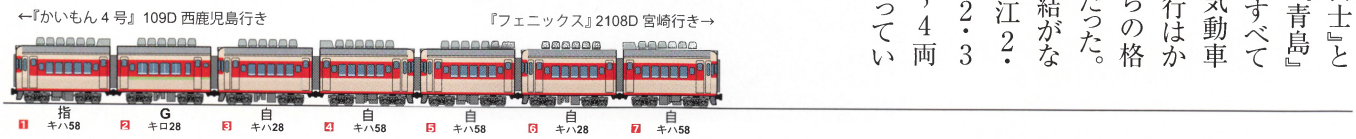


オハネフ14●TOMIX


鹿児島本線電化の1970年10月に電車化された特急『有明』は、車両運用との関係で中距離特急にも関わらず583系の時代が長かった。写真は新幹線博多開業後の西鹿児島発小倉行きの特急『有明9号』。伊集院～薩摩松元間にて　1976年3月27日

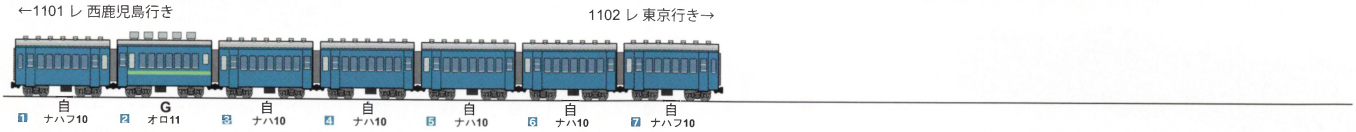

1973年10月改正でようやく電車化された特急『なは』。485系での活躍は短期間だったが、いろいろな顔を見せてくれた。写真は大阪発西鹿児島行き特急『なは』の485系11連。下関にて　1974年8月23日

1973年10月における西鹿児島駅発着優等列車――
鹿児島本線気動車・客車急行編



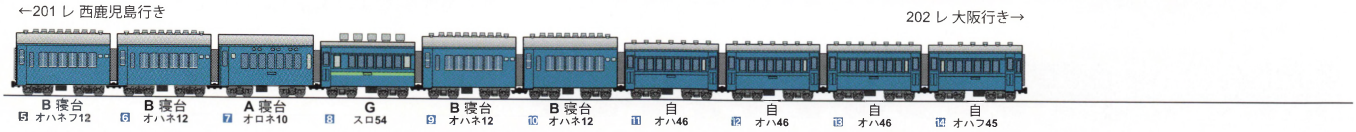
急行『かいもん』▼下り4号 『フェニックス』▲上り

九州には運転経路が複雑な優等列車が多いが、『フェニックス』もそのひとつ。宮崎～西鹿児島間を小倉経由の馬蹄型ルート(723.5km)で丸1日がかりで結んだ。1973年10月改正では下りが博多で二分され、博多～西鹿児島間は『かいもん4号』に改称。このため、全区間架線の下を行く気動車急行になる。上りは日豊本線にも出入りするが、ハネムーン客の流れと時間帯が逆のせいか、7両編成中グリーン車は1両のみ。



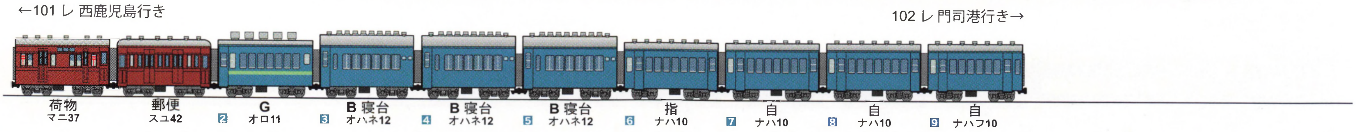
急行『桜島』

1950年代には、わが国を代表する列車群だった東京～九州間直通急行も、東京～西鹿児島間の1往復を残すのみ。『桜島』は1970年10月改正までは『霧島』の名で運転されていた由緒ある急行だが、寝台特急などに押され座席車のみの編成で、設備的にはかつての不定期急行並み。しかし、全区間で運転時間帯が良好なため、区間旅客を中心に利用客は多かった。10系軽量客車で統一された美しい編成も傷みが目立っていた。



急行『屋久島1・2号』

関西始終着で鹿児島地区を結ぶ唯一の急行。山陽地区での利用を配慮したため、西鹿児島での時刻は早朝・夜間となるのがダイヤ上の特色。夜行急行にふさわしく、寝台・座席とも2クラス制を採用。普通車は周遊券利用客で賑わった。編成が①号車ではなく、⑤号車からはじまるのは、大阪～佐世保間急行『西海1・1号』と共通運用されるのが理由。したがって車両の配置は佐世保に近い早岐客貨車区である。



急行『かいもん5・4号』

少し前の1968年10月改正で、北九州～鹿児島地区間の急行には『かいもん』の総称ネームが採用されたため、寄合い世帯となった同列車には、電車・気動車・客車のすべてが存在。夜行運転の下り5号・上り4号は郵便・荷物車以外10系で編成される客車列車である。上り方が門司港始終着なのは、九州が名実ともに"島"だった戦前の名残か。夜行としては短距離のため、A寝台車の連結がないのもうなずける。



特急『富士』の日豊本線大分～西鹿児島間は大分運転所のDF50がロングラン。ヘッドマークが嫌われた九州内にあっても、DF50は南宮崎電化の1974年4月までヘッドマークを装備していた。写真はDF50 553が牽引する東京発西鹿児島行き特急『富士』の20系8連。田野～門石（信）間にて　1972年5月31日



日豊本線を堂々のキハ80系9連で走る特急『にちりん』。撮影当時は車両数との関係で9両と7両編成が隔日に運転された。通年9両化が実現するのは1972年10月だが、短期間に終わった。写真は博多発西鹿児島行き特急『にちりん1号』9両編成。田野～門石（信）間にて　1972年5月31日



右からDF50、ナハネフ23●ともにKATO

そのような日豊本線だが、1973年当時は新婚旅行先として別府温泉や南九州が脚光を浴びていたため、宮崎～西鹿児島間もハネムーンをはじめとする観光客の利用が多かった。だから、別府～宮崎～鹿児島（指宿）間を移動するのに時間帯のいい『青島』『錦江1・2号』は、2連キロの堂々たる編成で走っていた。

その中でも、『青島』と『しいば2・2号』（当時は『南風2・2号』）、それに『フェニックス』の3本は全国の気動車急行に先駆け、1969年7月に普通車を含む編成全体の冷房化がはかられた。日豊本線も鹿児島本線とは別の意味で活況を呈していたのである。

新婚旅行ブームと指宿枕崎線

鹿児島本線と日豊本線との実質的な境界駅のイメージが強い西鹿児島駅だが、分岐する指宿枕崎線の始終着駅としての機能も持ち合わせていた。この指宿枕崎線は1936年3月までに指宿線として西鹿児島

現役だった蒸機牽引列車

1960年代半ばまでは蒸機牽引列車の中心地だった西鹿児島駅だが、鹿児島本線は1970年10月の電化で、指宿枕崎線も1972年3月の気動車化で、旅客列車からC60・C61・C12といった機関車が姿を消した。

しかし、日豊本線の鹿児島口では旅客牽引はDF50が主体ながらも、肥薩線直通を中心にC57が最後の活躍を繰り広げていた。南九州のC57は門デフ装備車が多いほか、C59の小型版といえる4次車も在籍し、ファンの間で人気があったが、1974年4月の日豊本線南宮崎電化でDF50に置き換えられ、引退を余儀なくされた。



C57が牽く日豊本線南部の普通列車。最後尾のオハユニ61を含めても4両の短編成に、地域の過疎性が伺える。都城発西鹿児島行き1543レ。国分～南霧島（信）間にて　1972年2月25日

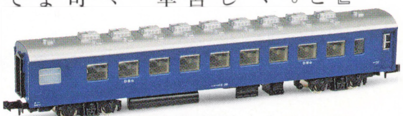


8620の置き換えとして配備されたため、C57とはいえ貨物列車の牽引もしていた。C57門デフ●KATO

普通列車として西鹿児島へ

鹿児島本線の『かいもん5・4号』同様、日豊本線にも島内夜行急行として『みやざき』が運転されていた。運転区間は門司港～西鹿児島間で、始終着駅だけは『かいもん』と同じだが、北九州からの旅客の大半は宮崎で下車するため、以南は普通列車として西鹿児島を目指した。

こういう変則運転になったのは、1972年3月改正で、従来の門司港～西鹿児島間普通列車の宮崎までを急行に格上げしたのが理由である。ただし、都城付近までは直通客の需要があったため、B寝台1両が西鹿児島まで連結された。



普通列車なのに寝台車があるのは奇異だが、宮崎までは夜行急行として運転されたためだ。門司港～宮崎間ではオハニ36、オロ11、オハネ12、オハネ12の4両を1～4号車に連結していた。オハネ12●KATO

普通1521・1522レ

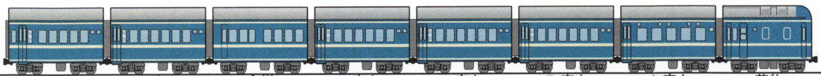
←1522～502レ 門司港行き　　501～1521レ 西鹿児島行き→

9	8	7	6	5	
ナハフ 10	ナハ 10	ナハ 10	ナハ 10	オハネ 12	スユニ 61
自	自	自	自	B寝台	郵便・荷物

※門司港～宮崎間急行

1973年10月における西鹿児島駅発着優等列車
日豊本線特急編

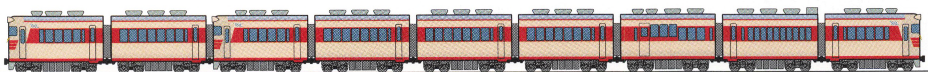
←8 レ 東京行き　　7 レ 西鹿児島行き→



B寝台	B寝台	食堂	B寝台	B寝台	B寝台	A寝台	荷物
7 ナハネフ23	6 ナハネ20	5 ナシ20	4 ナハネ20	3 ナハネ20	2 ナハネ20	1 ナロネ21	カニ21

特急『富士』
東京～西鹿児島間を日豊本線経由で結ぶ。走行距離1595.9km、所要24時間24分（下り）は特急日本一。編成内容は『はやぶさ』と同じだが、向きが正反対なのは、小倉以南の鹿児島・日豊両本線は門司方からそれぞれ直進し、西鹿児島には逆方向から入るため。『富士』の九州内は完全な昼行列車で、西鹿児島着は18時24分。駅近くの鹿児島運転所で整備を受け、翌日の9時40分発に備える。何と寝台車が車両基地で睡眠を取るのだ。

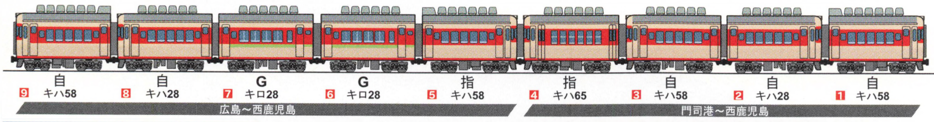
←4012D レ 博多行き　　4011D 西鹿児島行き→



自	自	指	指	指	指	食堂	G	指
9 キハ82	8 キハ80	7 キハ82	6 キハ80	5 キハ80	4 キハ80	3 キシ80	2 キロ80	1 キハ82

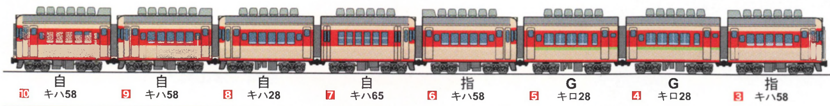
特急『にちりん1・1号』
『有明』誕生1年後の1968年10月1日改正で登場した九州島内第2特急。『有明』は1970年10月に583系電車化されるが、『にちりん』は幸崎以南が未電化の日豊本線を走るため、80系気動車のまま。『なは』なき後は西鹿児島発着気動車特急の孤塁を守る。博多からの長距離ランナーだが、北九州とのつながりはいいところ宮崎までで、以南は9両の編成を持て余し気味。都城～西鹿児島間は安い特定料金で乗車できた。

1973年10月における西鹿児島駅発着優等列車――日豊本線急行編



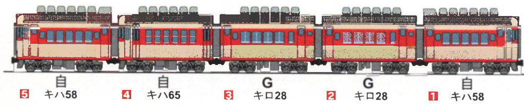
急行『青島』

かつて"九州に『ひかり』あり"といわれたほどの名列車・準急(のち急行に格上げ)『ひかり』の血統を受け継ぐ気動車急行。広島・門司港～西鹿児島の全区間で運転時間帯が良好で、ビジネスや観光に便利とばかり大好評。特に別府を中心にハネムーン客の利用が多く、基本編成にはグリーン車2両を連結。使用車種がキハ58系故にビュフェや食堂車の連結がないのが惜しまれた。



急行『しいば2・2号』

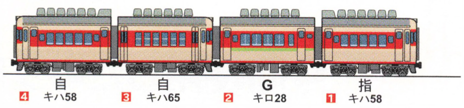
『しいば』のネームは、ひえつき節で知られる宮崎県北西部の椎葉村にちなむ。愛称からはローカル急行がイメージされるが、実体は2連キロ連結の堂々たる観光急行。特に別府～宮崎間の移動に便利な下り列車は、ハネムーン客で賑わった。別府～宮崎間は10両編成だが、①②号車は宮崎で分割後日南線に入り、大隅線の鹿屋まで直通するので、西鹿児島まで入るのは8両。1972年3月までは『南風』の列車名を名乗っていた。



急行『錦江1・2号』

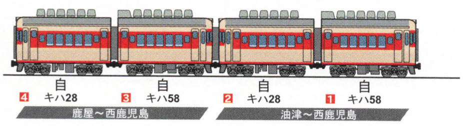
下りは宮崎→山川間、上りは西鹿児島→宮崎間運転の短距離急行だが、1960年代半ばから別府～宮崎～指宿を結ぶルートが新婚旅行の人気コースとなったため、変哲もないローカル急行にハネムーン客が殺到。その結果5両編成中、グリーン車(指定席)は2両連結となる。一方、普通車3両は地元用務客の利用が主体なので、すべて自由席。運転区間が上下で異なることもそうだが、設備面も列車名とは裏腹に"不均衡"だった。

1973年10月における西鹿児島駅発着優等列車――肥薩線・志布志線編



急行『やたけ』

熊本～西鹿児島間を、1927年まで鹿児島本線だった肥薩線経由で結ぶローカル急行。『はやとの風』や『しんぺい』『いさぶろう』の先輩に当たる列車でもある。『やたけ』は、1965年11月の設定時はキハのみの編成だったが、1972年10月から11月にかけてキロ28とキハ65が入り、急行列車の風格が整った。この編成は同時期における四国の予讃・土讃本線急行と同じで、両線ではこの4両を基本とし、1～3両が増結された。



急行『大隅』

大隅半島の志布志と県都を結ぶ、鹿児島県内のビジネス急行。元来は志布志線(西都城～志布志間)経由の2両編成だが、1972年9月の大隅線(志布志～国分間)全通により、1973年10月1日から国分～西鹿児島間で大隅線経由の編成を連結。図のようなキハ58系4両編成になる。しかし、両編成とも快速を含む普通列車として走る区間もあるなど、運転形態は複雑。しかも志布志・大隅の両線はその後廃止されて、今や幻の列車だ。

～山川間が開通。その後1963年10月31日には枕崎へ延長。指宿枕崎線に改称されるとともに、伊集院～枕崎間の南薩鉄道(のち鹿児島交通枕崎線、1984年に廃止)と合わせ、"薩摩半島環状線"が形成された。

線路規格が簡易線(純ローカル線)で、C12の牽く客・貨列車の姿も見られた同線だが、指宿温泉を擁する西鹿児島～山川間は観光路線としての機能を有し、1960年から気動車準急(のち急行に格上げ)が運転を開始している。

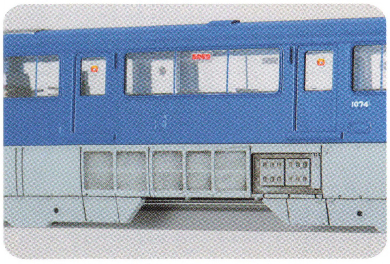
1960年代半ば頃からは、南九州が新婚旅行先として脚光を浴び、特に別府～宮崎～指宿間はモデルコースに浮上。中でも宮崎～指宿間の移動に格好な時間帯を走る急行『錦江』はハネムーン客の利用が多く、1973年10月当時も2両のグリーン車が連結されていた。指宿駅の狭いホームに大勢の新婚カップルが降り立つ様子は圧巻だった。



宮崎平野のたばこ畑を行く、全車両冷房搭載の急行『青島』。車両が広島局持ちのため、当時の気動車急行としては珍しくヘッドマークを付けていた。写真は西鹿児島発広島・門司港行き急行『青島』9両編成。東都濃～都濃間にて　1972年6月1日



オロ10●KATO





新ジャンルにチャレンジ!!!

講師◎岡 竜也
（レールマイスター）
写真◎米山真人

プラキット製作にチャレンジ

ビギナーでも簡単！手軽に楽しめる！

フジミ模型 東京モノレール1000形

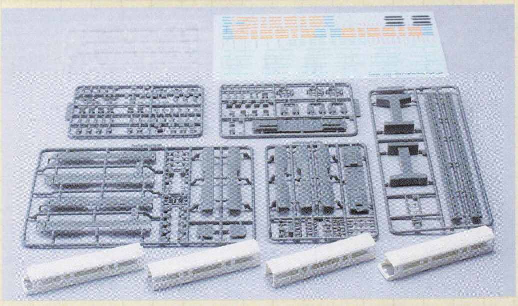


2011年7月に松屋銀座で開催された『鉄道模型ショウ』。
グリーンマックスブースに出品されていた東京モノレール1000形のフジミ模型版が先に発売された。が、すでに売り切れ続出！
その後、再生産もされた人気モデルを、エヌ的に製作してみた。

工作One Point 今回使用したキット

プラモデルメーカーのフジミ模型がはじめて発売したNゲージスケールの車両キット。走行はできないので、ディスプレイモデルとしての形態になる。

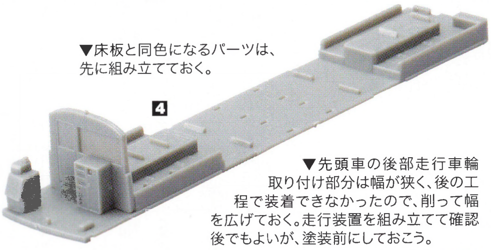
このキットは未塗装で、現行塗色の帯デカールが付属。説明書には旧塗色や塗色変更車の色番号も入っているので、さまざまな時代や塗色でつくり分けができる。



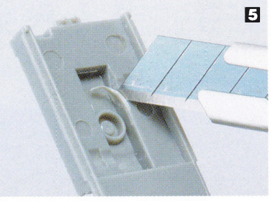
▲基本キットに含まれる4両分の車体と1両分のパーツ。説明書などはプラモデルの形態なので、鉄道以外の模型をつくったことのない人にはやや見にくい。

Stage1 車体と内装の組み立て

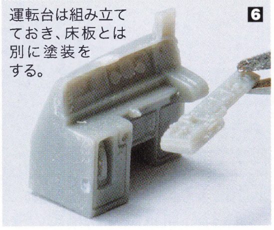
一体成型の車体は成型もよく、細かなバリ取りだけでよい。一方、内装は細かいので、間違えないように効率よく組み立てたい。床板と同色になる部分は先に組み立てておく。1脚ずつ成型された座席はこのキットの特徴。似たパーツが多いので、よく確認を。



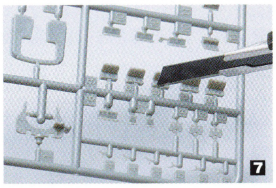
4 ▼床板と同色になるパーツは、先に組み立てておく。



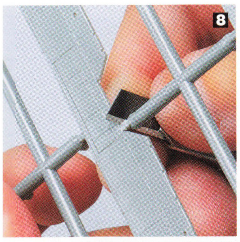
5 ▼先頭車の後部走行車輪取り付け部分は幅が狭く、後の工程で装着できなかったので、削って幅を広げておく。走行装置を組み立てて確認後でもよいが、塗装前にしておこう。



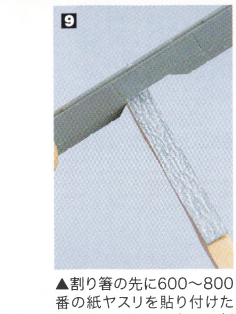
6 運転台は組み立てておき、床板とは別に塗装をする。



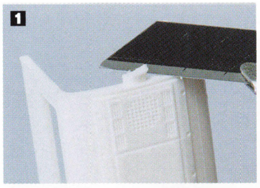
7 ▲座席パーツは、形状ごとにゲート処理をして治具に取り付けておくと間違いを防げる。別パーツの肘掛けは、座席を単色塗装するならこの段階で付けておく。



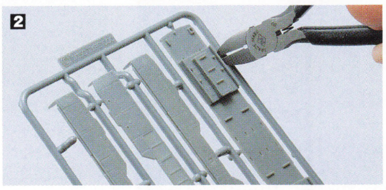
8 ▼スカートも似た形状が多いので、よく確認を。入り組んだ部位にあるゲートは、まずカッターで大まかに切り出す。



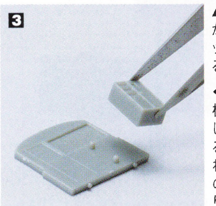
9 ▲割り箸の先に600～800番の紙ヤスリを貼り付けた道具をつくると、細部まで削れて処理できるのできれいに仕上げられる。



1 ▶車体は一体成型なので、車端、窓フチ等の細かなバリを取り除けばOK。別パーツの車側灯は、作例では別塗装して取り付けるが、この段階で取り付けて後から色差しでもよい。



2 ▲内装パーツをランナーから切り出す。パーツにニッパーの背をぴたりと付けるときれいに切れる。



3 ◀運転室と客室の仕切り板を切り出し、バリ取りをしたら機器箱を取り付ける。取り付け穴と突起が合わない場合は、機器箱裏の穴を広げるか、突起を削り取る。

待望のモノレールが登場

フジミ模型が未塗装プラモデル、グリーンマックスが塗装済みプラキットというコラボレーションで開発された東京モノレール1000形。なかなか模型化されなかったジャンルだけに、注目度は抜群だ。

ディスプレイモデル（走行しない）という位置付けだが、走行装置はタイヤが回転するように組み立てられるので、レール上を手で動かすことはできる。

フジミ模型版は箱や、説明書などがいかにも「プラモデル」風。クルマや戦艦などのプラモデルもつくる人には違和感ないだろうが、鉄道模型オンリーのモデラーだと、少し手こずるかもしれない。

なおグリーンマックスからは、塗装済みキットとして現行塗色と旧塗色の2仕様を2012年2月以降に発売予定。窓はスモークガラスを再現する。

工作 One Point 使用する塗料

作例では、塗装済みキットで発売される塗色を避け、シンプルなブルー単色塗色とした。また、シートを細かく塗り分けたので、使用した塗料は多くなっている。

説明書ではGSIクレオス（文中はクレオスと略）の塗料が中心だが、車体色はグリーンマックス（文中はGMと略）16番『青20号』のほうがしっくりくる。

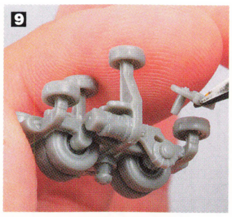


▶外観で使用した塗料。左から車体のGM16番『青20号』、調色のクレオス5番『ブルー』、スカートの35番『明灰白色』、クーラーのSM04番『スーパーステンレス』。



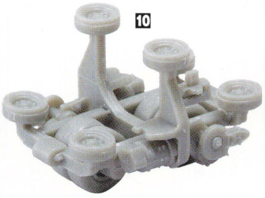
◀室内で使用した塗料。左からシートモケットのGM26番『マルーンA（旧・近鉄マルーン）』、枕カバーの37番『白3号』、肘掛け表面のクレオス41番『レッドブラウン』、脚と背面の45番『セールカラー』。

9



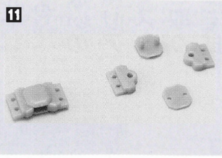
▲案内輪の側面に減速機のパーツを取り付け、さらにディスクブレーキを装着する。

10



▲HAF-18 誇座式2軸ボギー台車の完成！ 単体で転がし歪みがないか確認。歪んでいるとレールに載せた際に傾いてしまう。

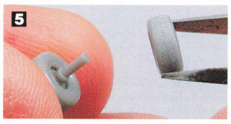
11



▲中間連結器は渡り板のような構造。右の4つのパーツを左のように組み立てる。

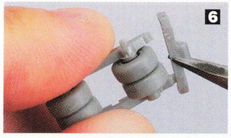
▼まずは車軸に走行輪の大タイヤを差し込む。表面が外側になるように確認。タイヤは回転するように、軸に通すだけで固定はしない。

5



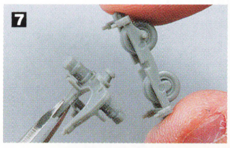
▼側面の台車枠を車軸に取り付け、両端に梁を装着し、プラモデル用接着剤で固定する。

6



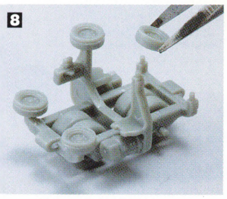
▼安定輪を取り付けるフレームは、台車枠の溝にきれいにはまって取り付けられる。

7



▼台車枠の横に付く4つの案内輪と、フレームの安定輪を取り付ける。これらの小タイヤは共通だ。

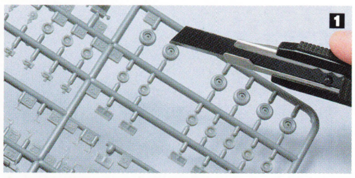
8



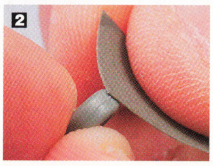
Stage2 走行装置の組み立て

下まわりの走行装置も目玉のひとつ。ディスプレイモデルなので、工作を省略して線路に固定、と割り切ってもよい。大部分が車体のスカートで隠れてしまうので、手を抜いてサッと組み立てるか、ていねいな組み立てと色差しでこだわるかは各人の技量次第で。

1



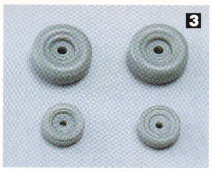
2



▲タイヤが縦横にたくさん付く走行装置。まずは紛失しないように、大小のタイヤを切り出す。

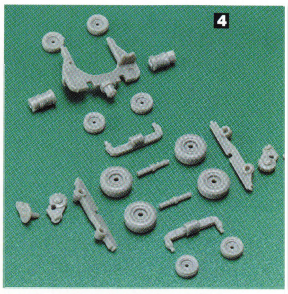
◀タイヤの表面にパーティングラインがあるので、800〜1000番の紙ヤスリで仕上げておくと、安定した走行ができる。

3



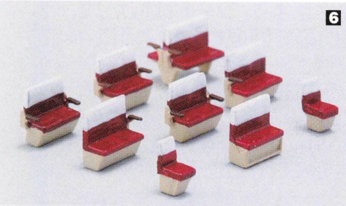
◀タイヤにはホイール部分のモールド成型で表裏があるので、しっかり確認しよう。写真は左側上下が表、右側上下が裏。

4



▲切り出された走行装置を構成するパーツ類。Nゲージのプラキットでは考えられないほど、細かなパーツ構成だ。

6



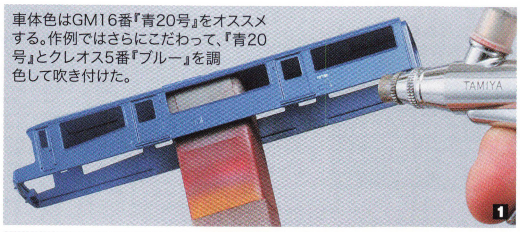
▲説明書は更新後のブルーモケットの色が指定されているが、実車は更新前のエンジ色なので4色で塗り分けた。詳細はコラム参照。



7

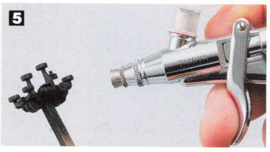
◀運転台をGM41番『ブルーC』、メーターパネルと計器盤はつや消し黒で塗装。

車体色はGM16番『青20号』をオススメする。作例ではさらにこだわって、『青20号』とクレオス5番『ブルー』を調色して吹き付けた。



1

5



▲走行装置をクレオス33番『つや消しブラック』で塗装。割り箸の先端に丸く穴を凹ませ、両面テープを貼り付けた治具をつくると作業しやすい。

▼車体をマスキングし、クーラーをSM04番『スーパーステンレス』で塗り分ける。

2



Stage3 塗装をする

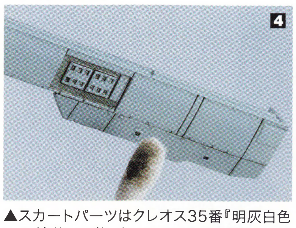
車体色は、グリーンマックス16番『青20号』を調色して吹き付けた。スカートパーツはグレー単色でメリハリに乏しいが、筋彫りがしっかりと成型されているので、スミ入れで立体感を出した。座席パーツはていねいに塗り分けると、やっただけの出来が得られる。

3



▲『マークセッター』を塗布した上に車番などのデカールを貼り付け、『マークソフター』で固着。半光沢を全体に吹き付けて、表面をコーティングする。

4



▲スカートパーツはクレオス35番『明灰白色1』で塗装した後、クレオスのスミ入れペン『リアルタッチグレー3』で塗り、専用の拭き取りペンか水を付けた綿棒で拭き取る。

シートは何と1脚ずつ製作！

最新のプラモデルだけに成型もよく、一体成型のボディは一部のバリを取り除くだけで充分だ。

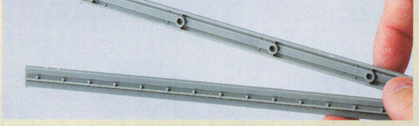
車体色はグリーンマックスの塗装済みキットでラインナップされず、かつ塗りやすい塗色として、ブルー単色を選んだ。これはクールミントガムのラッピング広告車として塗り替えられた車両で、広告終了後もブルー単色のまま活躍していた。

このプラモデルの特徴のひとつは室内パーツ。Nゲージでは床板に一体成型されるのが当たり前だが、このモデルではHOゲージさながらに1脚ずつ組み立てる。着色窓なら省略しても目立たないが、大きな透明窓なので最低限でも組み立てたい。

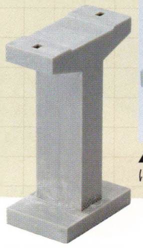
位置によりシート形状が異なるが、パーツ自体はよく似ているので、切り出し後は部品の種類ごとに塗装治具（割り箸など）を用意して間違えないようにしよう。

工作 One Point レールの組み立て

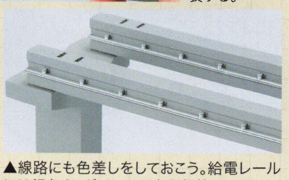
キットには、専用のレールと橋脚が付属している。基本セットの内容は4両編成が乗る分の直線だけなので、長くしたい場合やカーブがほしいなら、レールのみのセットを購入しよう。



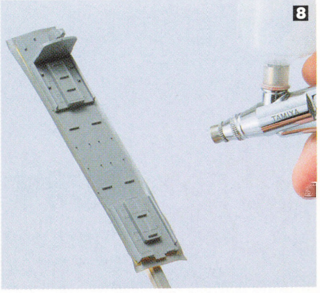
◀レールは左右側面の2パーツ構成。はめ合わせて1本にして接着し、合わせ目を仕上げて全塗装する。

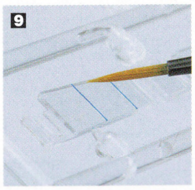


▶橋脚も同様に2パーツをはめ合わせる。表面に合わせ目が出るので、写真のように紙ヤスリで削って滑らかに仕上げる。この後、全塗装する。



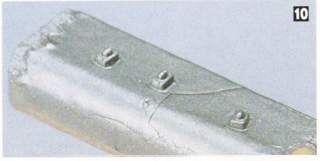
▲線路にも色差しをしておこう。給電レールには銀色を、ガイシには白を色差しした。





▲床板全体をクレオス35番『明灰白色1』で塗装する。

◀窓枠も車体色に塗られていたので、面相筆でていねいに車体色を筆塗りしていく。前面窓の窓枠も忘れずに。



▲車側灯は小さいので、治具に付けて銀色で塗装。同様に、小パーツ類も塗装しておく。

構造がよくわかる下まわり

もうひとつの特徴が下まわり、特に走行装置（HAF-18跨座式2軸ボギー台車）だ。目立たない部分ながら、細かなパーツの組み合わせでできている。

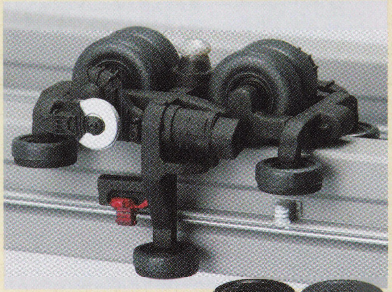
一般的なNゲージのプラキットなら、別売の台車を取り付けて完了！ という部位だけに、余計面倒に感じるだろうが、レールに安定して載せるためにも必要だ。もし面倒だしディスプレイモデルだから、と割り切るのなら、省略して車両を線路に接着すればよい。

ブルーの車体色は、キット指定の色では明るすぎるので、GM16番『青20号』のほうが印象に近い。スカートは筋彫りがよくできているが、グレー単色では活きないので、GSIクレオスの『リアルタッチグレー3』でスミ入れをし、専用の拭き取りペンか水を付けた綿棒で拭き取る。

工作 One Point 車輪も模型になるぞ

スカートに隠れてしまう走行装置だが、1組余計に組めるだけパーツが入っているので、組み立てて展示用にしてもおもしろい。

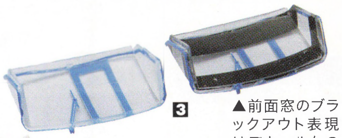
全体をクレオス33番『つや消しブラック』で塗装し、タイヤはクレオス137番『タイヤブラック』で塗り分け。集電コレクター、ディスクブレーキも色差しをすると、立派な部品模型の出来上がり。



◀緑の下の力持ちも、ここでは主役。面倒に思えたパーツ構成も、こうなるとディテールが光る。

▶同じ黒でも、塗料を使い分けると質感が変わってくる。左からクレオス33番『つや消しブラック』、クレオス137番『タイヤブラック』。

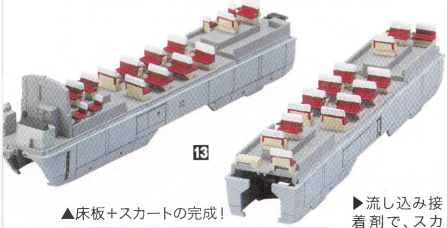




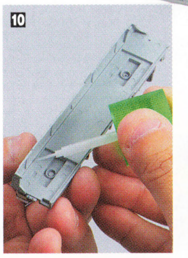
▲前面窓のブラックアウト表現はデカールなので、裏面から右のように貼る。表面にも社紋などを貼る。



▲床板に座席を取り付ける。似たパーツが多いので、配置を間違えないように。シート背面も塗り分けたので、その効果が出ている。

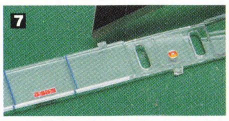


▲床板＋スカートの完成！



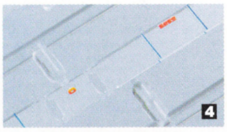
▶流し込み接着剤で、スカートの裏側から床板に固定する。

▼台車が付く部分にボスを取り付け、車体中央部のスカートが浅くなった部分から走行パーツを入れる。



▲窓パーツのゲートはフチにあるため、刃を入れると白化しやすい。よく切れるカッターで切り出そう。

▼ゴム系接着剤で窓パーツを取り付ける。のりしろがないので、ドア間の窓柱に塗布して付ける。

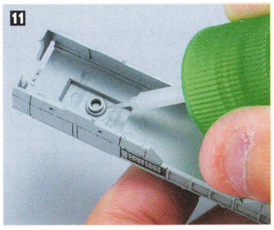


▲側窓パーツに、行先表示器やドアの注意表示などのデカールを貼る。なぜか印刷が表裏逆になっている。

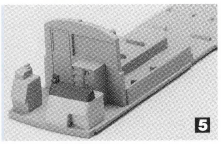


▲ライト部分を銀色で塗り、テールライトにクリアーレッドを色差ししたら、窓をはめ込む。

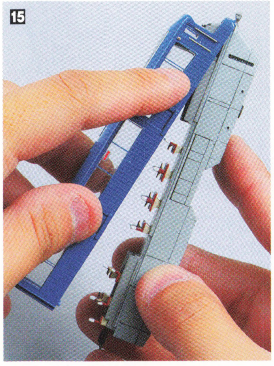
▼車体と床板を合体させ、前面窓も取り付ける。

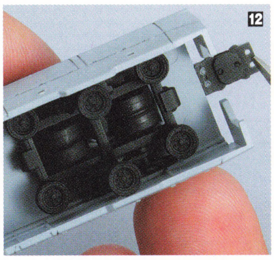


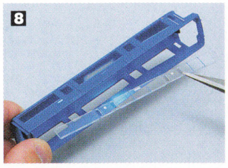
▼中間連結器を取り付ける。前面の連結器も装着しておこう。

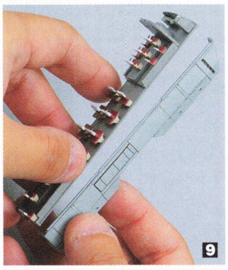


▲運転室に運転台を取り付ける。仕切りは床板と一体で塗装したが、『セールカラー』などで塗り分けてもよい。





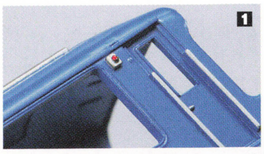




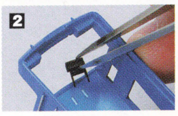
▲スカートパーツは、説明書では「床板取り付け後に車体に接着」となっているが、作例では床板に取り付けた。

Stage4 仕上げ

塗装した各パーツを取り付けて、模型を完成させよう。シートは似たパーツが多いので間違わないように。窓パーツはゲートが窓のフチなので、切断時に白化しやすい。こればかりは切ってみないとわからないので、新しいカッター刃を用意するなど、最善を尽くしておこう。



▶車側灯を所定の位置に装着し、ランプ部分を『クリアーレッド』で色差し。乗務員扉の手スリも銀色を色差ししておく。



▶計器盤を運転席の天井に取り付ける。

工作 One Point 座席を引き立たせよう

面倒な工作だった座席だが、それだけに引き立たせたくなる。作例では床板にスカートパーツを付けて、Nゲージ車両のように床下と車体を分割できるようにした。説明書とは異なる製作法だが、完成後も内装を外して楽しめるので、一部車体を外して展示したり、フィギュアを乗せて楽しんでもいいだろう。



▶フィギュアを乗せるとシートも引き立つ。先頭車の前部走行車輪上の座席は、脚を短くして実車のシアターシートを再現した。



完成！ FINISH! 東京モノレール1000形 ブルー塗色の完成！

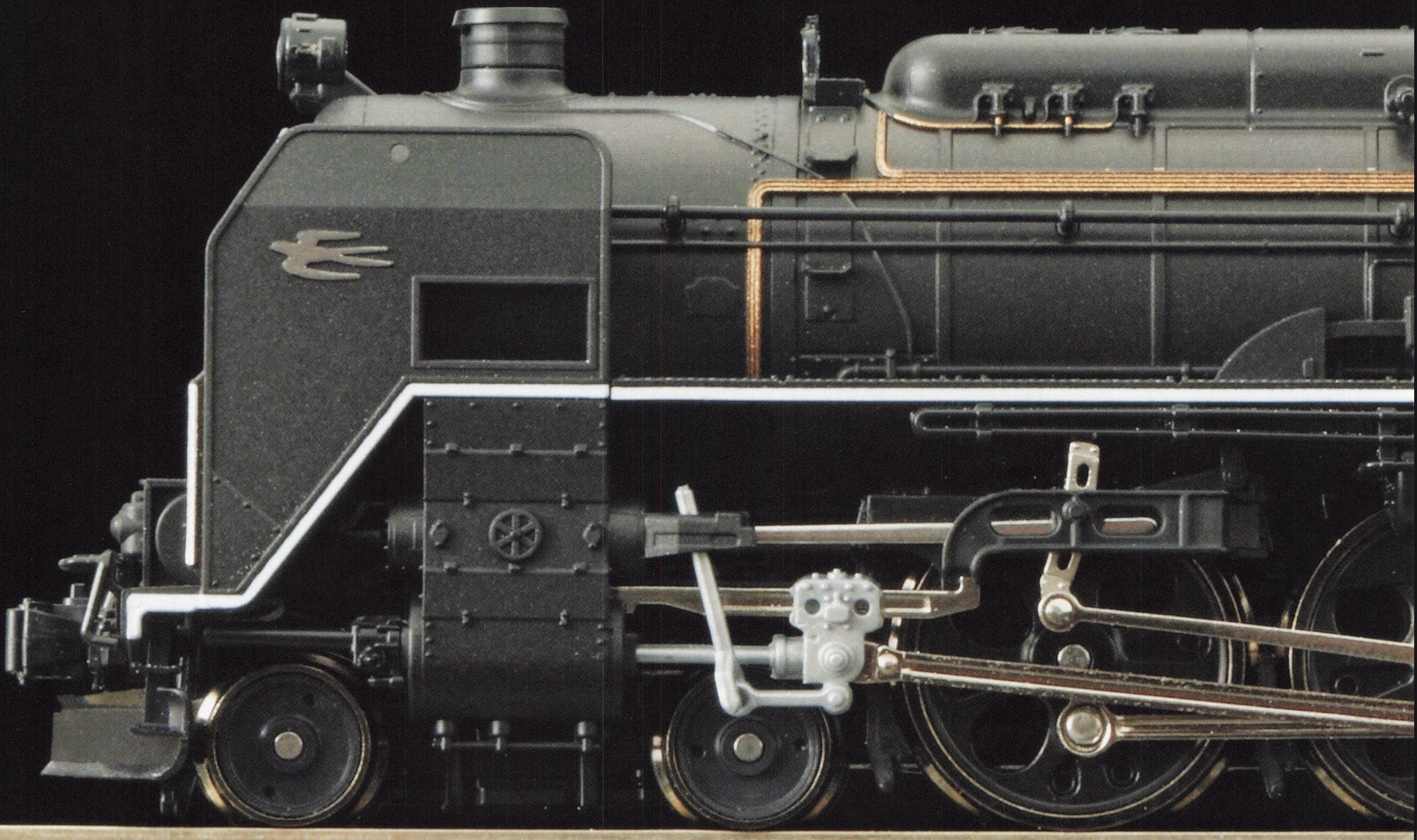
北海道型

シロクニ

KATO

C62の中でも一番人気の2号機がついに模型化された。
時代設定は北海道で急行『ニセコ』を牽引していた頃。
多くのファンが熱狂した、あの列車が再現できるのだ。

模型写真◎金盛正樹　実車写真◎荒川好夫（RGG）　文◎編集部



C62の本命が満を持して模型化！

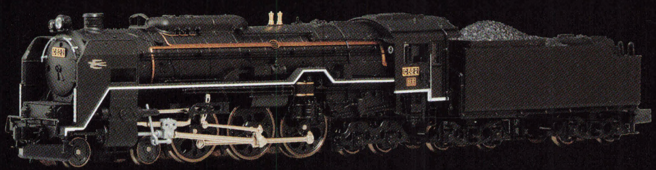
1948年に登場したC62は、日本最大のボイラーを持つD52から旅客用に改造された蒸気機関車である。

強力なパワーを武器に、主要幹線たる東海道本線で特急『つばめ』『はと』などを牽引。華々しい活躍で多くの鉄道ファンを魅了した。

しかし1956年11月19日に東海道本線が電化されると、山陽本線のほか、軸重軽減改造を受けて、常磐線や函館本線に転属していった。

そして北海道、小樽築港機関区には2、3、27、30、32、42、44号機の7両が配備された。

今回、KATOが製品化したのは、このうちの2号機だ。



東海道時代からの「つばめマーク」とランボード側面の白帯が特徴の2号機。煙室扉上部の手スリも銀色で再現されている。



スワローエンゼル、ついに登場

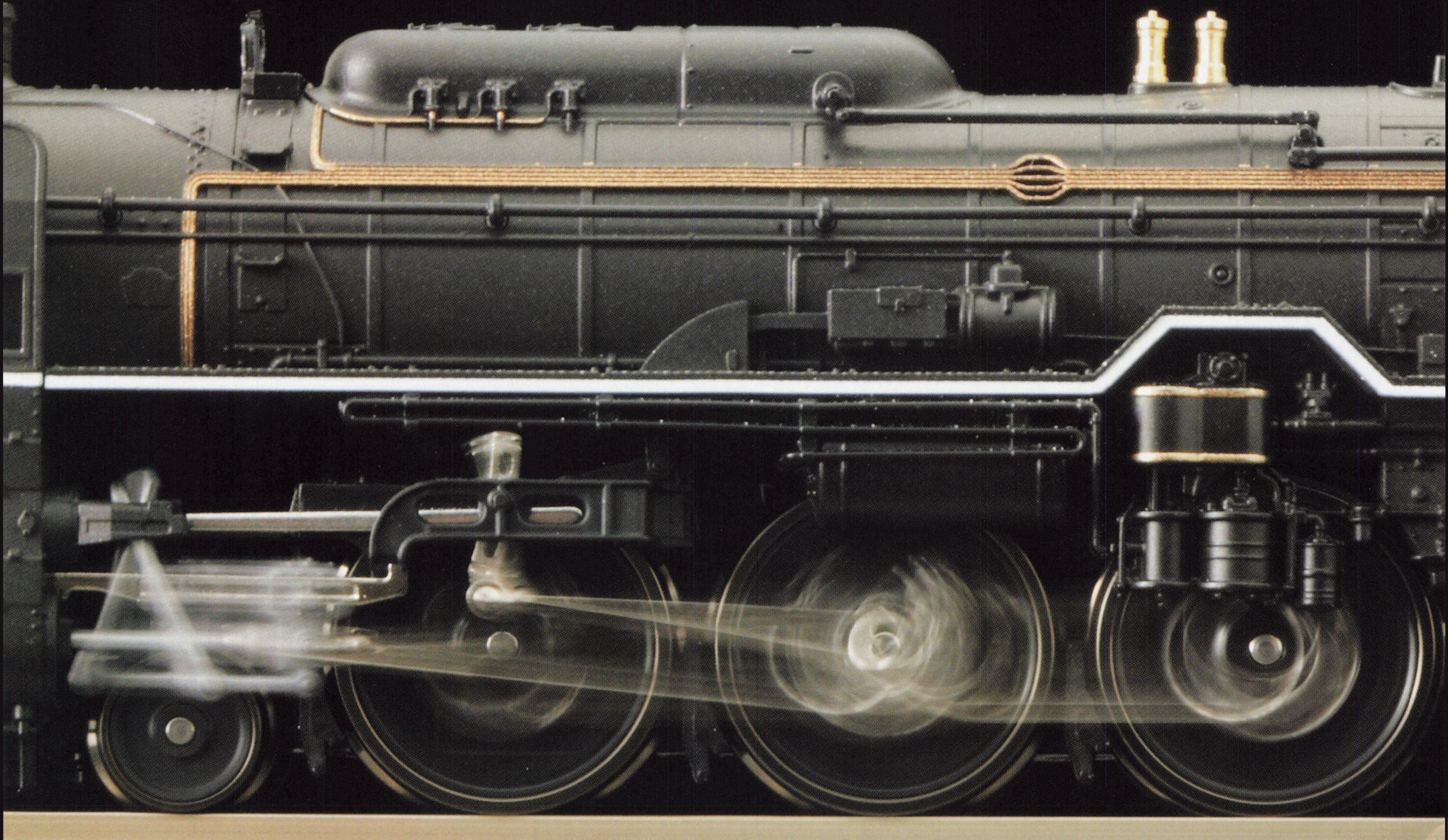
北海道に渡ったC62のうち、42号機は仙台に転属、27・30号機は1968年に廃車、32・44号機は検査切れで1971年6月に廃車、代わりに呉線から15・16号機が転属してきた。

C62が引退した時に残っていたのは2・3・15・16号機の4両。2号機はデフの「つばめマーク」で東海道時代から人気のカマだけに、待ち焦がれていたファンも多いだろう。

商品としては「東海道形」のバリエーションだが、その中身はD51 498で好評の新動力を搭載。重連運転での相性を高めたほか、足まわりやボイラーまわりなど、メカの新規化に合わせて新設計された部位も多い。

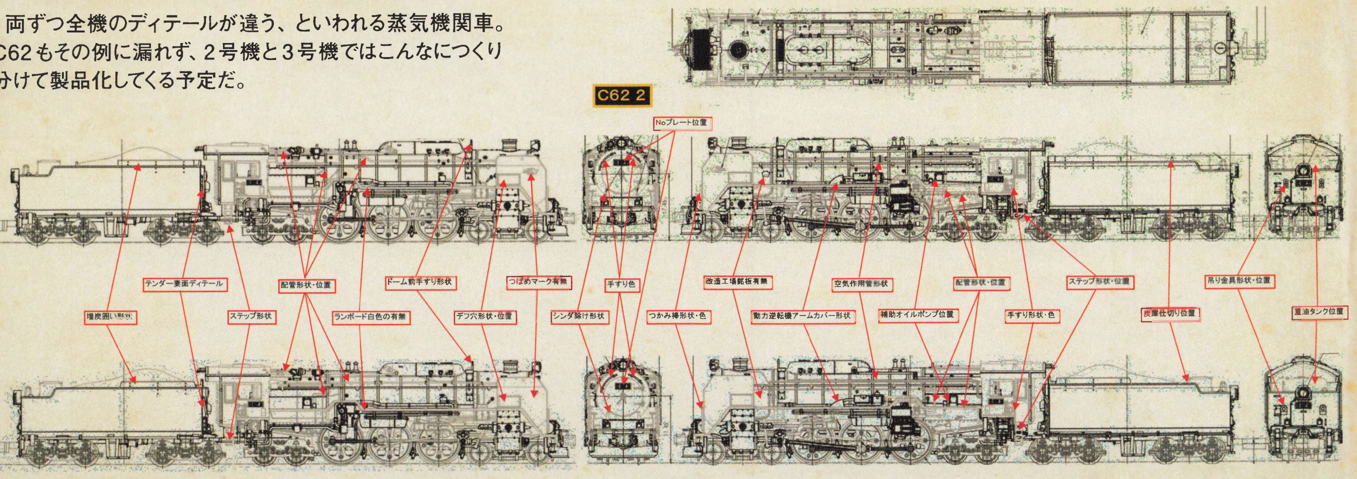


テンダー背面も物々しい2号機。ツヤのない表面仕上げが、現役時代を再現したモデルらしい。



２号機と３号機はこんなに違う!

１両ずつ全機のディテールが違う、といわれる蒸気機関車。C62もその例に漏れず、２号機と３号機ではこんなにつくり分けて製品化してくる予定だ。



C62 2+C62 3

KATO提供の図版にデザイン加工を施し掲載したため、原図とは見栄えが異なります。



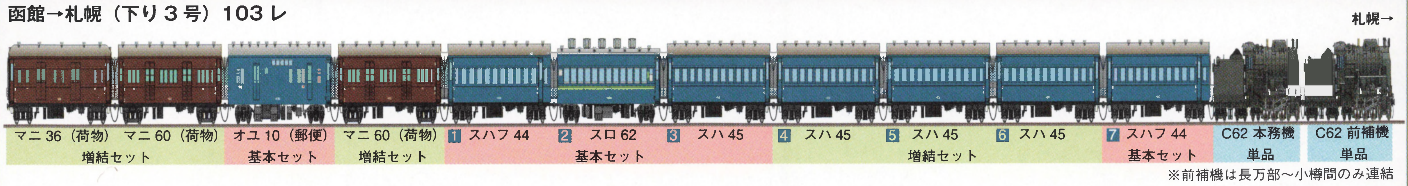
列車名の由来ともなったニセコアンヌプリを背に、重連で駆け抜ける『ニセコ』。先頭の3号機はスノープラウのない夏姿。前灯・副灯のほかにナンバープレート上にも副灯が付いている。倶知安～小沢間にて

盟友とともに重連運転を再現

KATOではC62 2号機に続き、渡道以来の盟友たる3号機も12月に製品化する。デフの「つばめマーク」の有無以外にも形状の差違は多く、メーカー提供の上図のように、1／150スケールの小さな世界ながら、細かくつくり分けてくる。

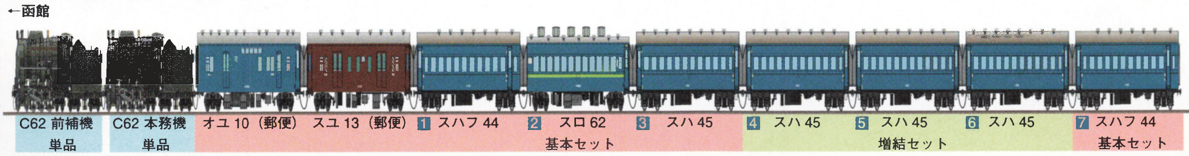
また、牽引される『ニセコ』の客車セットも12月に発売予定。北海道向けのスハフ44・スハ45はKATOでは初の製品化だが、2等車のスロ62は1969年からの充当で、まさに晩年の編成だ。ここはぜひ、前任のスロ52の製品化も期待したい。

函館→札幌（下り３号）103レ



※前補機は長万部～小樽間のみ連結

函館←札幌（上り１号）104レ



イラスト◎江口明男

※前補機は小樽～長万部間のみ連結



最終運転までに、国鉄は3重連という粋な計らいをしてくれた。C61よりも大きな機関車が3重連で、しかも全速力で走る迫力はどんなものだったろうか…。倶知安にて（1971年9月15日）

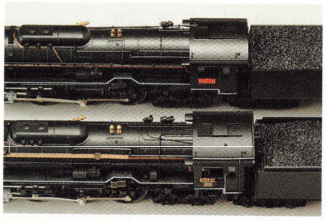
ファンを熱狂させた『ニセコ』

北海道に転属したC62は、急行『大雪』『まりも』の函館～小樽間に充当。特に勾配の厳しい函館本線山線の長万部～小樽間では重連運用が組まれた。大型蒸機が重連で、しかも猛スピードで走る雄姿は多くのファンを熱狂させた。

『まりも』は後に『ていね』となり、1968年10月1日のヨンサントオ改正で『ニセコ』に改称。この改正では小樽～滝川間が電化され、同区間の『ニセコ』もED76 500に交代した。

無煙化は着々と進み、C62にも引退が迫る。1971年7月18日、8月22日と3重連運転を実施。9月15日にも最後の3重連運転がされ、急行『ニセコ』の牽引機はDD51に完全に交替した。これは国鉄の定期急行列車から、蒸機牽引が消えた瞬間でもあった。

東海道形と北海道形を比較



「東海道形」（奥）に対し、2号機（手前）はボイラー上部の配管がにぎやか。増設されたタービン発電機やキャブ屋根後端の散水管も再現。



「東海道形」（左）に対し、副灯や尾灯、スノープラウを装備。ランボードにも網目が再現され、印象を大きく変えている。



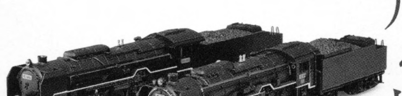
テンダー背面の違いも大きい。きわめてシンプルな「東海道形」（左）に対し、2号機（右）は前灯、尾灯、ハシゴなども再現する。



「東海道形」は、特急『つばめ』などを牽引していた1954年頃がプロトタイプ。すっきりとした機関車部やテンダー床下に、早期の姿を感じる。



スノープラウをはじめとした耐寒耐雪装備や本数の増えた空気作用管など、「北海道形」らしく重厚感あふれる外観が特徴だ。重油タンクの位置も異なる。



左からC62 2 北海道形、C62 東海道形。同じC62でも、北海道形は物々しい重厚感がある。

2008年に発売され、ファインスケールのボディと秀逸なディテールで、蒸機モデルの新時代を拓いたC62東海道形。精密に再現されただけに、2号機との違いも当然ある。

ここではメーカーが2つのC62をどうつくり分けたのか、さまざまなアングルから見くらべてみよう。

レストア工房

眠っているモデルを再起せよ!



Before ▸ After

押し入れにしまいっぱなしの懐かしいモデル。
中古ショップで手に入れた安売りのジャンク旧製品…。
旧作ではあるが、Nゲージの名品と称されるモデルの数々を、
限られたお小遣いの中でリファインする
「プロの業」にいざ学ぼう!

講師◎宮城幸路　写真◎米山真人



簡単な工程で見栄えを一新

DD51は、KATOの鉄道模型の中で長期間に渡って再生産されたアイテムのひとつだ。2004年にリニューアル版の「DD51 後期 耐寒形・暖地形」が発売されて以来、中古品でだいぶ出まわっている。

この旧製品の形状は、当時の水準を考えれば非常に素晴らしいが、リニューアル品とくらべると大きめで淡白な出来の部分が多々ある。そこで、難しい改造をおこなうよりは、誰でもできそうな工程で、程よくディテールアップしてみよう。

もとの素材がいいモデルなら、色差しなどを加えるだけで、旧製品といえども見栄えがするものになってくる。皆さんのご家庭に眠っている旧製品たちを、自分の手で現代風に蘇らせてみては?

今回のサンプル

2004年にリニューアルされるまで、長期生産されたKATOのDD51。それだけに、製造時期により一部メカ的な仕様が異なる。

また、バリエーションとして、前帯なし(7002-1)、ユーロライナー(7002-2)、北斗星色(7002-3)が発売され、特に前帯なしとユーロライナーは一時期かなりのプレミアになった。



▼オリジナルは、旋回窓の付く寒地仕様。当初の販売価格は4200円で、消費税が加わる以外に値段は変更されなかった。



◀製造時期が長いだけに、パッケージも歴代のものがある。奥は初期の白黒台紙。品番も702と3桁だ。手前はその次の銀色台紙。赤いロコに、青いスポンジがカッコイイ!





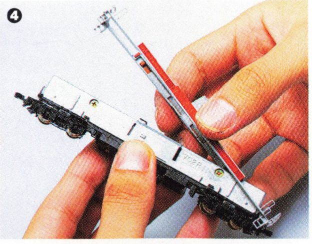
◀バリエーションモデルのユーロライナー(手前)と北斗星色(奥)。北斗星色はカプラーを交換してある。

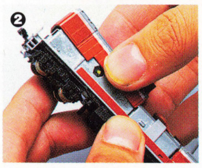
車体の分解

車体は立体パズルのような構造なので、分解には気を付けよう。まずはキャブ部分から。少し動かすと浮き上がるので、マイナスドライバーなどをかませて戻らないようにし、ダイキャストをロックしている窓パーツのツメを外せば、あとは簡単に分解できる。

ダイキャスト側面のネジを緩めると、動力台車が簡単に引き抜ける。ただし、2個とも外すとバラバラになってしまうので、注意しながら外していこう。

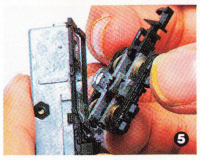






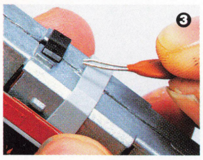
▲キャブを少し動かして浮き上がらせ、マイナスドライバーをかませて窓パーツのツメを外す。

◀運転室を外すと、前後のボンネットも引き抜ける。



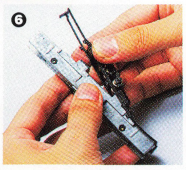
▲デッキを外し、ライトユニットも外す。古いモデルでは、ダイキャストの前後にU字形の真ちゅう線（台車ストッパー）が付くものもあるので外しておく。

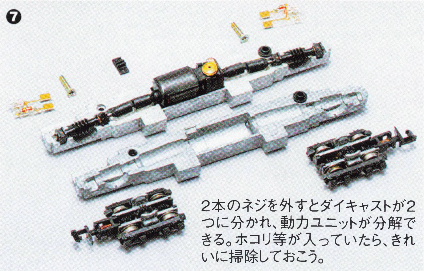
▶コンデンサーは、時代によって固定方法が異なる。写真のストッパーで止めるタイプは引き抜くだけ、ハンダ付けの場合は足の折損に注意。



▲ダイキャストは側面の2個のネジで合わせられている。ネジを緩め、動力台車を引き抜く。

▶床下機器の部品は、前後のツメを外し、機器の部分を引き抜くと外れる。





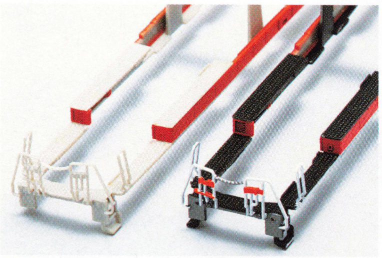
2本のネジを外すとダイキャストが2つに分かれ、動力ユニットが分解できる。ホコリ等が入っていたら、きれいに掃除しておこう。

デッキの塗装

リファイン度 5

旧製品のデッキ部はグレー単色の一体成型なので、非常に淡白な印象だが、分解したデッキを黒く塗るだけで、現行品にかなり近くなる。

ただ、デッキは軟プラ製で塗料が乗りにくいので、プライマー処理してからツヤ消し黒で塗装した。全体が黒くなるので、手スリなどの色差しも忘れずに。



▲デッキはプライマー処理をしてからツヤ消し黒で塗装。手スリ（白）やジャンパ栓掛け（朱色）などの色差しも忘れずに。ステップ側面にも白を色差しすると精密感が増す。



▶テールライトもモールドされているので、タミヤX-27「クリアーレッド」を色差しすると印象が引き立つ。

ボンネットの掃除・色差し

リファイン度 5

ボディに薄汚れがある場合は、オイルライター用のジッポーオイルを使うと、塗装を傷めずに汚れを拭き取れる。

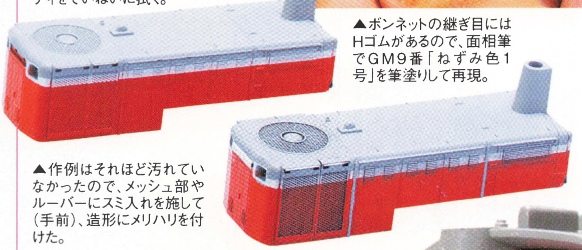
きれいにならない場合は「ディーゼル機関車は汚れているもの」と開き直り、薄く溶いたエナメル塗料でヨゴシを入れてみては？

また、ボンネットにはHゴムの継ぎ目がモールド成型されているので、面相筆で色差しした。



▲ジッポーオイルを塗布した綿棒で、ボディをていねいに拭く。





▲ボンネットの継ぎ目にはHゴムがあるので、面相筆でGM9番「ねずみ色1号」を筆塗りして再現。

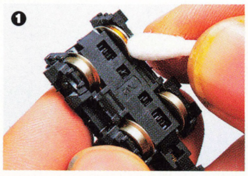
▲作例はそれほど汚れていなかったので、メッシュ部やルーバーにスミ入れを施して（手前）、造形にメリハリを付けた。

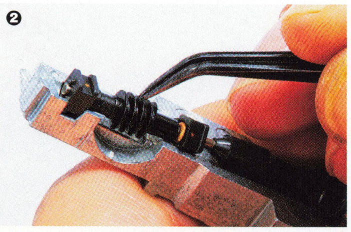


台車の掃除・加工

リファイン度 4

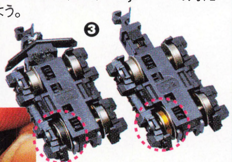
▼分解したら、ユニクリーナーを塗布した綿棒で車輪を掃除。ギアのホコリも除去しておこう。





◀ダイキャストを分解したなら、ギアに絡んだホコリや汚れもきれいにしておこう。

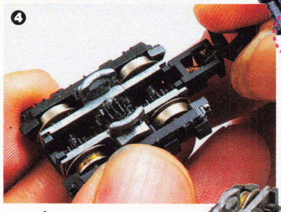
▼旧製品の中には、右のようにゴムタイヤが透明のものもあるので、ゴムが切れていると早合点しないように。本当に切れている場合は、Assyパーツで対応しよう。



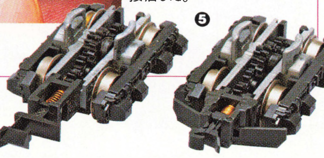
▼加工前の台車（左）とKATOカプラーに交換した台車（右）。さらにAssyパーツの「キハ58単線用スノープロウ」を合うように小加工し、ハンダごてで軽く溶かして接着した。

動力台車を掃除しておこう。旧製品なら分解も再組み立ても難しくない。ゴムタイヤが切れている場合は、Assyパーツで対応可能。ギアがかなり摩耗している場合は、メーカーに修理を依頼しよう。

分解ついでに、KATOカプラーに交換すると見栄えも向上する。旧製品はスノープラウがないので、作例では小加工した「キハ58単線用スノープロー」をハンダごてで溶かして接着した。凛々しさは増すが、ここは自分の技量と相談してみよう。



▲カプラーは、ひねり出せば簡単に取り外せる。

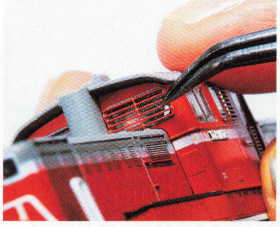


プロテクターの装着

リファイン度 4

キャブの各部にプロテクターを装着した。パーツを組み戻してからでないと、接着しても外れてしまうので加工手順に注意。銀河モデルの『DD51プロテクターセット』は塗装済みのエッチングパーツなので、説明書の指示に従って貼り付ければよい。

このパーツはステンレス製で少し硬いので、エッチングハサミなど、金属用の工具を使って切り出すと失敗しにくい。ゴム系または瞬間接着剤で取り付ける。



▲窓に銀河モデルの『DD51プロテクターセット』を装着。乾燥後に無色になる瞬間接着剤がオススメ。点付けではみ出さないように。心配なら透明のゴム系接着剤でも可。

▼前面窓のツララ防護用、側面各部のタブレット防護用のプロテクターを装着。精悍さが増した。



Diorama Project II

ディオラマプロジェクト

講師◎永光哲史
写真◎奈良岡 忠



1作目
(Vol.54)
線路沿いに広がる海岸が特徴。切り通しには勾配も付けられている。

『海岸の風景』



4作目
(Vol.57)
電車庫はこのモジュールで。線路を挟んでビルが並ぶ近代的な風景を展開。

『電車庫・街並みの風景』

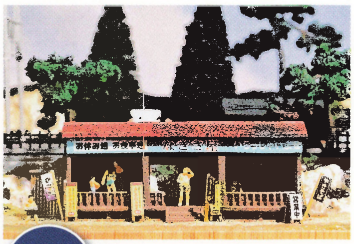


モジュール×8

予告編も含め、９回に渡って連載してきた『モジュール×８』も、前号の『山の風景』をもって全ピースが完成。今回は８つのモジュールを実際に連結して見える情景を紹介しよう。



3作目 (Vol.56) 駅前なので平らな地形だが、ストラクチャーで立体感を出した。



2作目 (Vol.55) ホームに隣接する海岸は、実際にも見られる光景。ホームは２台で１駅となる。



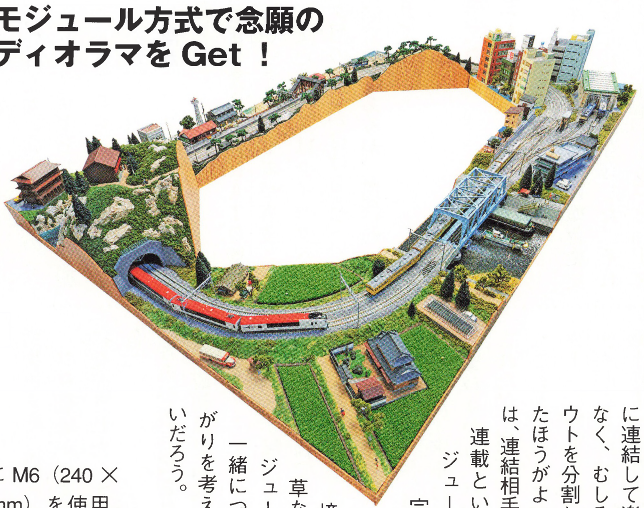
8作目 (Vol.61) モジュールの大半を覆う巨大な岩山は、トンネルになっている。

6作目 (Vol.59) 魅力的なトラス橋のある河川は、情景の味付けを区切る役割も果たしている。



7作目 (Vol.60) 懐かしい情景が広がる水田地帯を、緩やかな傾斜の付いた築堤が横切る。

モジュール方式で念願のディオラマを Get！





5作目 (Vol.58) 車庫につながるポイントや渡り線といった、線路配置が楽しいモジュール。

分割収納の便利さがGOOD！

モジュールパネルは、直線部分にM6（240×410mm）、カーブ部分にB3（364×515mm）を使用。実際に連結すると1548×1030mmと、ベッドと大差ないサイズになる。山あり川あり車庫ありと、ディオラマの人気要素が盛り込まれている。

これが部屋に鎮座すると家族のクレームを受けそうだが、モジュール方式なら大きめの本棚などに収納できる。

固定式に迫る現実的レイアウト

固定式のディオラマレイアウトはNゲージ趣味のひとつの到達点だが、実際に所有するとなると、製作時間やコスト以上に大変なのが、物理的な設置場所だ。

本連載のモジュールは、模型サークルでよくある「規格に沿って自由につくって自在に連結して楽しむもの」ではなく、むしろ「固定式レイアウトを分割したもの」といったほうがよい。作例については、連結相手はつねに同じだ。

連載という都合上、各モジュールは毎号ごとに完結しているが、実際につくるなら、例えば境界のバラストや草などは隣接するモジュールができてから一緒につくるなど、仕上がりを考えて作業するといいだろう。

珍品・奇品・骨董品
秘蔵モデル再見
KATO ED75の巻

KATOのED75なんて現行品じゃないか！と思う読者もおられるかもしれない。しかし、古いモデルと並べてみると、細かな改良が加えられているのがわかる。かつてラインナップされていた塗色変更車ともども紹介していこう。

文◎編集部
撮影◎奈良岡 忠
取材協力◎ポッポ屋



通常品として発売された「オリエントサルーン塗色」の711号機を24系客車と組み合わせ、『あけぼの』を牽引していた姿を再現。東北本線経由だった頃にしばしば見られた。

改良を重ねるKATOの長寿モデル

1982年の発売以来、改良を重ねながら現在もラインナップされているKATOのED75。現代の目で見ると長い車体や窓パーツが気になるが、車両の雰囲気のとらえ方はさすがだ。

製品は東北・常磐線で活躍した0・1000番台の「一般形」、ツララ切りの付いた50～100号機の「耐寒形」、奥羽本線の700番台の「奥羽線形」の3種類。このうち「奥羽線形」は現在「ED75 700」と商品名が変更されている。

ED75は発売から30年近く経つが、ボディは今も初代製品と基本的に同じだ。そのためHゴムは車体に表現され、前面窓もはめ込み式ではなく奥まった位置にある。

同じように古くからの定番製品にEF65があるが、こちらはボディの金型が数回変更されており、30年も変化がないED75とは対照的だ。

大きく変わった動力ユニット

大きな変化のないボディに対して、動力は大きく改良されている。発売当初の動力は大きく重たいもので、スカートもカプラーとともに首を振る当時のKATOらしい構造。カーブに差しかかるとボディとスカートが大きく離れ、リアリティーに欠けるものだった。

だが最新の製品ではKATO機関車標準のフライホイールが搭載されていて、また前面にはクイックヘッドマーク用の磁石が付けられている。さらに簡素ではあるが、運転台の表現もされている。

JR時代のバリエーションモデル

ED75には、このほかに塗色変更車を再現した製品が存在した。それが「オリエントサルーン色」と「JR貨物色（赤／黒）」だ。

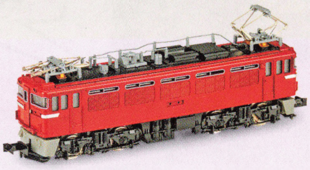
実車登場から間もない1987年に発売された「オリエントサルーン色」。「客車が製品化されていなかったので、最初は売れ残っていたように思います」とポッポ屋店主の加藤さん。旧製品の追加仕様で、711号機のナンバーが装着済みだった。

一方「JR貨物色」はかつて存在した試験塗色で、1991年に限定発売された。実車は4両存在し、黒い窓まわりから「パンダガマ」と親しまれたが、後にすべて塗り戻された。

こちらの製品はボディマウントスカートに変更されているが、動力はフライホイールがない旧製品のままで、現行製品への過渡期の仕様だった。



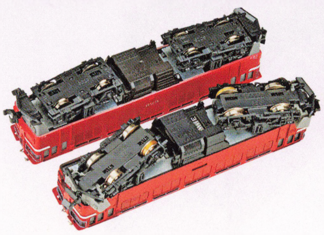
「奥羽線型」の700番台は、奥羽・羽越本線電化用の耐雪・耐塩害仕様。下枠交差型のPS103パンタグラフが特徴だ。



大きなPS101パンタグラフを搭載した「一般型」。ナンバープレートには何と300番台も含まれている！



前面窓の上にツララ切りが付いた50～100号機を再現した「耐寒型」。実車は現在、全機廃車となった。



現行品（奥）と並べると、初代（手前）はスカートも首を振るため、台車の振れ幅が大きい。一方で、台車間の床下機器は変化がない。旧製品の透明素材の車輪ゴムにも注目。



初代（左）のパンタグラフは現行品（右）よりも大きく、シューの成型もやや大まか。パンタグラフの下にはバネが挟まれていた。



初代（手前）と現行品（奥）を並べると、台車やスカート、パンタグラフ、表記の印刷などは改良されているものの、ボディは変更されていないのがわかる。

車両ケースにも注目

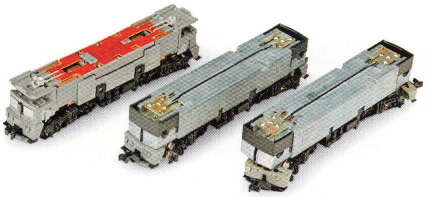
模型だけでなく、ケースも改良されている。現在の緑色のスリーブになる前は、銀色に青い文字のスリーブだった。さらにその前はサイドのスリーブがなかった。同じ製品でもケースの形態が異なるのは、ロングセラー商品ならでは。



手前からスリーブが前面のみ、銀色、緑色旧タイプ。前面のみの時代は品番も3ケタだった。スリーブは変わってもプラケースは大きな変更がないので、収納には重宝する。



限定品で発売された「JR貨物色（赤／黒）」では、スカートがボディマウントに変更された。122・126・1004・1005号機の4両がこの塗色になり、ナンバープレートもこの4機分を収める。



右から初代、JR貨物色、現行品の動力ユニット。JR貨物色ではスカートがボディマウントになったものの、動力ユニットの基本構造は初代と同じ。現行品では一新され、運転台内部が再現されたり、クイックヘッドマークの磁石が付く。

Nモデルで遊ぶための…

機関区 sansaku

電車や気動車の華やかな活躍の影に隠れがちな機関車だが、存在感や重量感は見る者を圧倒する。
国鉄型からハイテク満載の最新鋭ロコまで、数々の形式が貨物輸送の最前線で活躍中だ。
機関車の魅力に迫るとともに、彼らの「ねぐら」機関区まわりを模型でも存分に楽しまないか？

文◎松尾よしたか　模型写真◎金盛正樹　実車写真◎松尾よしたか、編集部



EF510-500番台の投入に合わせて、田端運転所で公開された新旧『北斗星』『カシオペア』牽引機。ブルトレ牽引機もEF81からEF510の時代になり、顔ぶれに変化が訪れた。写真◎J-train



一般公開は絶好のチャンス

ふだんは立ち入り禁止の機関区も、イベントなどで一般公開されることがある。

その時は各種設備を含め、間近で観察できる。鉄道の月刊誌などに掲載される告知をチェックしておこう。

車両基地の一般公開では、実車を間近に見られるだけでなく、敷地内の施設や線路配置を観察するにも好適だ。写真は尾久駅構内の2010年の一般公開。

実物の機関区を見にいこう

日頃鉄道を利用していても、なじみのない機関区。それがどんなものなのかを知るには、実際に見てみるのが一番だ。

複雑な配置の線路に機関車たちが並び、本線の運用に出て行くもの、仕事を終えて戻ってくるもの、みんな人間のようにドラマを展開している。

首都圏の例では、新鶴見や田端の機関区は敷地外の安全な場所から見学できる。

実際のシーンを眺めていると、それを模型で再現するイメージが頭に浮かんでくるはずだ。



中京地区の貨物用機関車の要衝、愛知機関区。稲沢機関区から1994年に改称された。EF64、DD51、DE10が所属するほか、EF66やEF65なども留置されている。



機関区は地方私鉄にもある。秩父鉄道では、車両工場でもある広瀬川原車両基地に車庫機能もある。C58 363は背景の矩形庫で保管されているため、屋根に煙排出用の煙突がある。



EF65やEF66に代わり、EF210の姿が目立ってきた現在の新鶴見機関区。EF66のまわりにある屋上点検台や線路下のピットなど、機関区らしいシーナリーにも注目。

機関区の近くに跨線橋があれば、ぜひ徒歩で渡ってみよう。普段はじっくり見られない機関車の屋上を観察でき、加工やウェザリングの参考になるはずだ。





右からEH500 3次車●KATO、EF65 1000番台JR貨物更新車●TOMIX、EF510-500番台北斗星色●TOMIX、EF64 1000番台JR貨物更新車●KATO、EF66JR貨物更新車●TOMIX、EF81北斗星色●KATO





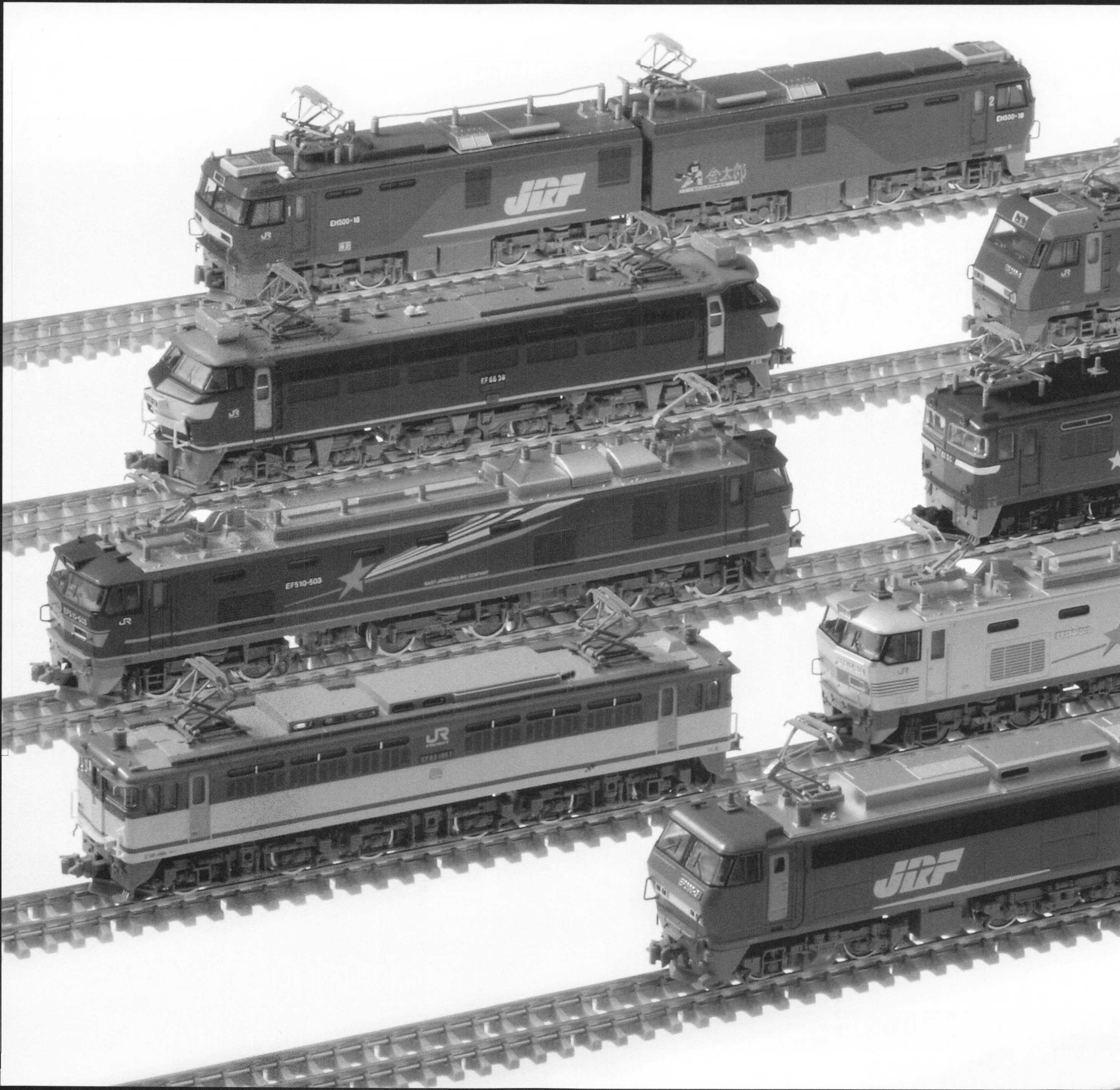
新鶴見機関区に集まるロコをコレクション

モデルの並べ方にも一工夫

模型で機関区を再現するにあたり、実物そのままではスペースを取りすぎるので、取捨選択してシンプルにする必要がある。ただし、機関車のメンテナンスをする機関庫、本線に接続する線路など、省略してはならない箇所もあるので注意しよう。

実物の機関区を訪ねた際は、線路配置や機関車の動き、そして周辺の設備もよく見ておきたい。そうすると、どの部分を模型の情景に採り入れるべきかが、おのずとわかってくる。

模型のコレクションも、機関区をイメージして並べるだけで、生き生きとしてくるに違いない。



手前線左からEF210-100番台●KATO、EF200●KATO、DE10JR貨物更新車●TOMIX、EF65 1000番台JR貨物更新車●TOMIX、EF510-500番台カシオペア色●KATO、EF64 1000番台JR貨物更新車●KATO、EF510-500番台北斗星色●TOMIX、EF81北斗星色●KATO、EF66 100番台●KATO、EF66JR貨物更新車●TOMIX、EH200●KATO、EH500 3次車●KATO

「ご当地」機関車にも注目

JR 貨物は全国をカバーしているが、地理的、気象的な環境条件、電化／非電化、電化方式などの違いにより、地域独自の車種も見られる。

模型でも国鉄時代の仕様から更新車、JR 貨物の新造車まで多数揃う。

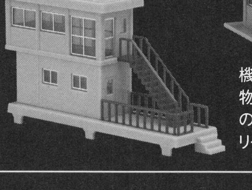


北から南まで、全国で活躍する機関車たち。右からDF200●KATO、ED75 1000番台JR貨物更新車●TOMIX、EF510●KATO、EF67 100番台●マイクロエース、EF81 300番台●KATO

現代の機関区の設備アイテム

機関区には旅客駅とは異なる建物や設備があり、模型でも雰囲気の演出に欠かせない。

構内のポイントを操作する信号所は、視界確保のため2階にしたものが多い。●TOMIX





機関区に関係した各種事務所が入った建物を詰所と呼ぶ。いろいろなスタイルのものがあるが、現代の機関車には鉄筋コンクリートの近代的なものが似合う。●TOMIX

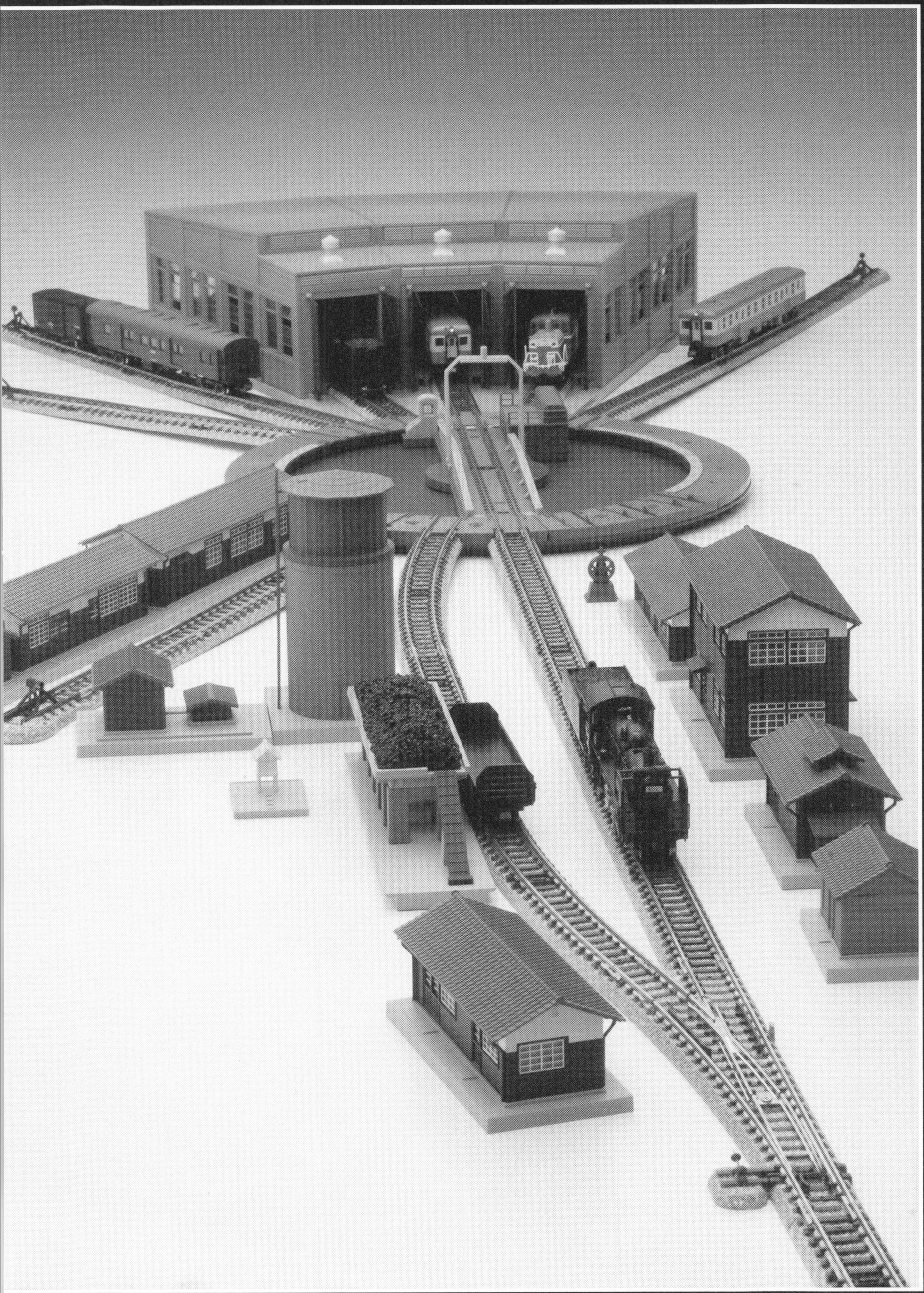
蒸機時代の機関区を再現しよう！

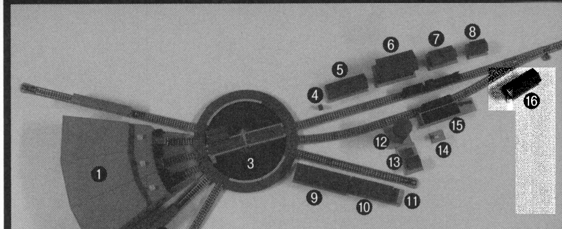
Nゲージの豊富なストラクチャーを使って、蒸機時代の機関区を再現してみよう。ぜひ設置したい扇形庫とターンテーブルを中心に並べるだけで、魅力的な世界が広がってくる。

雑多な設備が盛りだくさん

動力近代化以前、国鉄の機関区といえば、蒸気機関車がたむろする基地のことだった。電気機関車やディーゼル機関車と違い、蒸機は水と石炭を使い方向転換も必要で、メンテナンスにも多大な手間を要する。

そのため働く人の数も設備の種類も多かった。また、建物も古い時代ゆえのクラシックな外観で、現代のものとはまったく別世界の趣だ。

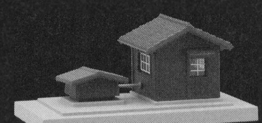




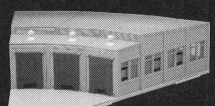
①扇形庫 ②救援車 ③ターンテーブル ④モニュメント ⑤休憩室 ⑥乗務員詰所 ⑦浴室 ⑧油庫 ⑨線路班詰所 ⑩工作室 ⑪物置 ⑫給水塔 ⑬ポンプ小屋・井戸 ⑭百葉箱 ⑮石炭台 ⑯燃料係室



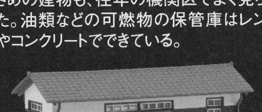
ターンテーブルを中心に、扇形庫が広がる新見機関区。蒸気機関車は走行する向きが特定されるので、機関区にターンテーブルは必須だった。手前に並ぶ大量のドラム缶は、機関車用の潤滑油。1969年8月　写真◎長谷川 章



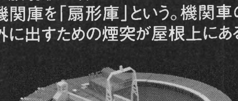
物置・保管庫 物置、資材置場などの小さめの建物も、往年の機関区でよく見られた。油類などの可燃物の保管庫はレンガやコンクリートでできている。



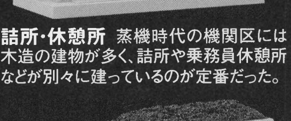
扇形庫 ターンテーブルのまわりには線路が放射状に伸び、それに合わせた形状の機関庫を「扇形庫」という。機関車の煙を外に出すための煙突が屋根上にある。



詰所・休憩所 蒸機時代の機関区には木造の建物が多く、詰所や乗務員休憩所などが別々に建っているのが定番だった。



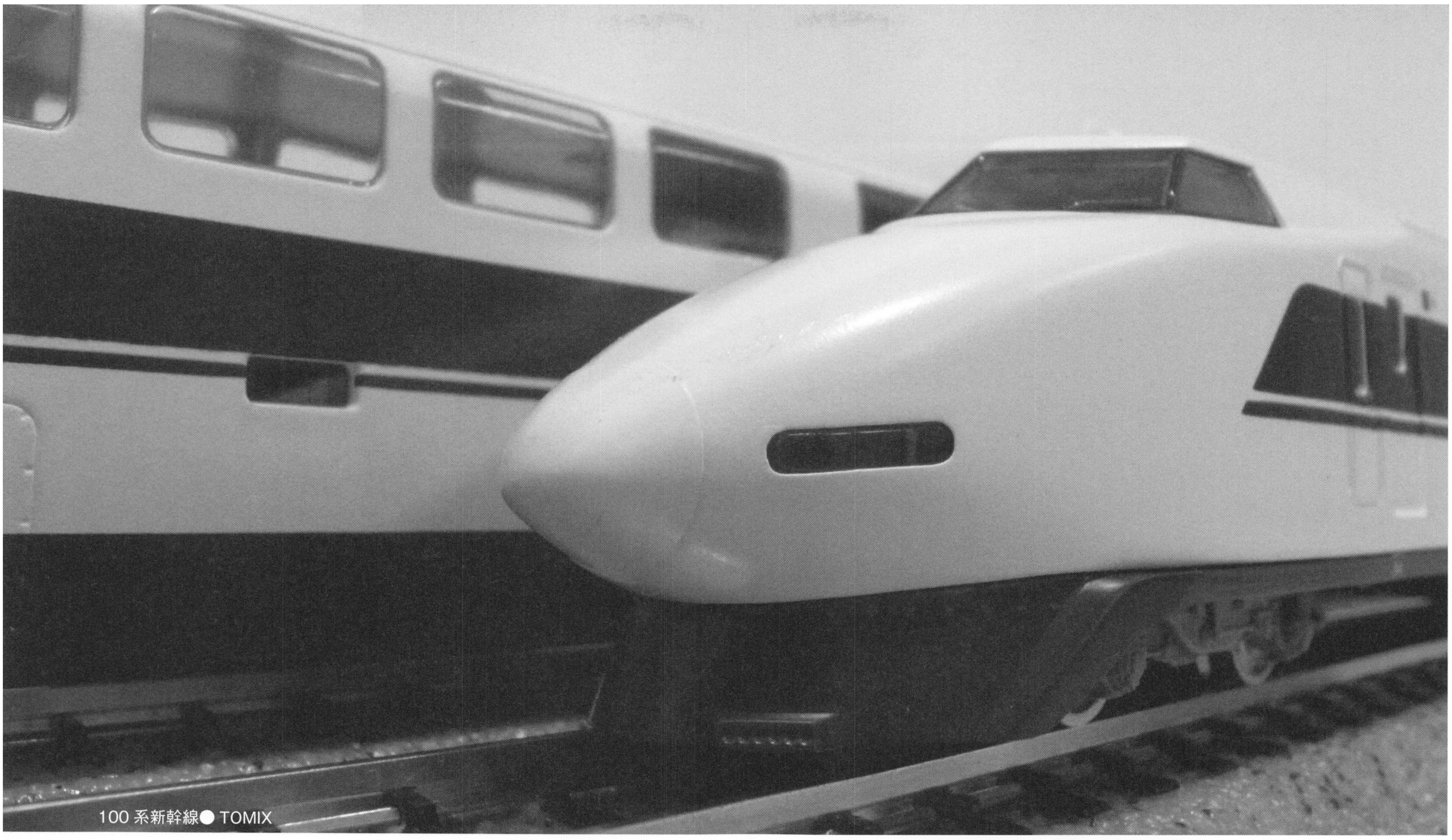
ターンテーブル 機関車の向きを変えるターンテーブル（転車台）は、蒸機時代の象徴的な設備だった。



給炭台 石炭を機関車に積み込むための給炭台も蒸機ならではの設備。写真のようにスコップで積み込むタイプのほか、大規模な機関区では自動的に石炭を落下させる給炭塔があった。



給水塔 大量に水を消費する蒸機のために、大きな給水塔が置かれていた。土台は模型のようなレンガづくりのほか、コンクリートや鉄のものもあった。



100系新幹線● TOMIX

食堂車から見る優等列車

編成のウマ味

第12回　誰もが認める日本最高の食堂車

国鉄特急の黄金時代…。それは食堂車が「格」であり「核」だった時代。食堂車から、名門優等列車の全盛期の形式と編成を再現してみよう。

文◎岩成政和／模型写真◎米山真人

皇室用列車や団体・臨時扱いの豪華列車を別にして、日本の定期列車の食堂車で史上どれが一番すばらしかったかと聞けば、多くのファンが「新幹線2階建て食堂車」と即答するであろう。今回はいよいよ、日本を代表する列車にあった日本最高の食堂車のお話だ。

日本一の列車の全面見直し決まる

東海道・山陽新幹線の車両は、１９６４年の開業以来20年以上、延々と０系が製造されてきた。最高峰・最優秀の車両が、日進月歩の高度成長期にまったく一新されずにつくられ続けていたのは不思議だが、それだけ新幹線の完成度が高かったといえよう。

１９８２年の東北・上越新幹線開業で２００系が登場しても、まだ東海道・山陽新幹線では０系が製造されていたが、さすがに20年を超えた１９８５年になると、新系列が登場することとなった。

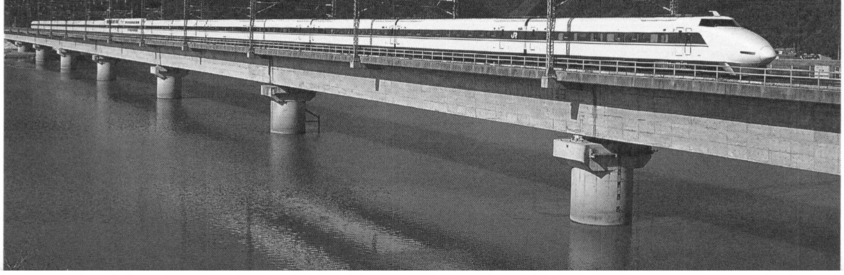
楽しい旅をしてもらおう

新しい車両が開発される時のポイントは何であろうか？　まずその車両の目的を考える、そして安全性、さらに製造と運用の両コストだ。

東海道・山陽新幹線の場合、その目的は０系の時代からＮ７００系の時代である現在まで、日本国の繁栄を支えるビジネス輸送の維持であり、そのために必要なものは「速度」そして「座席数確保」である。ある意味、国を代表する列車がイコール最豪華列車ではないということが、日本という国の繁栄の秘密なのである。

しかし、１００系開発の時に限っては、いろいろな時代背景と国鉄の事情から、それ以前、そして、それ以後にもない、ユニークな目標が存在していた。それは「新幹線にも楽しい旅を」であった。

当時の開発グループは、実際、「楽しい旅とは何だろう」を模索していた。これまでの０系のコンセプトとは「真逆」のような１００系のコン

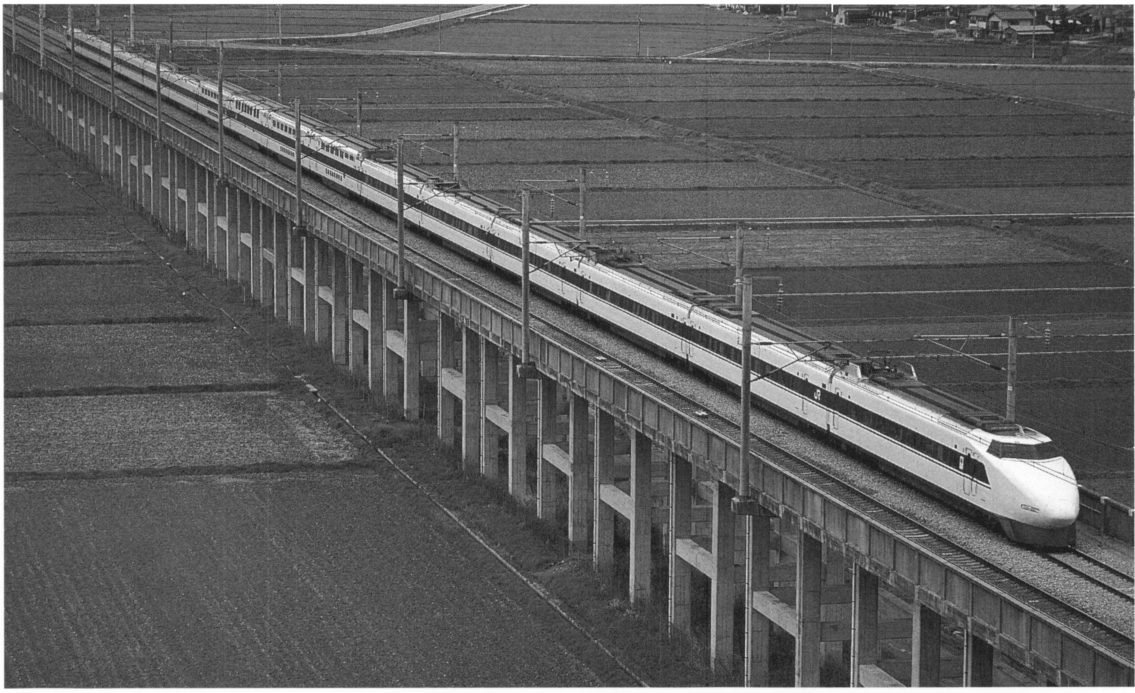


古臭いイメージになっていた東海道・山陽新幹線を一気に革新した100系。X編成の2両連なる2階建て車両のうち、2階の窓が屋根まで届いているのが食堂車だ。相生～岡山間にて　1989年2月12日　写真◎荒川好夫(RGG)

セプトは、開発スタッフが、すべるように静かにかっとぶ高級外車も、デラックス化競争が顕著だった観光バスも、ホテル並み個室と華やかなショウがついた豪華な食事のついたクルーズ客船も味わった結果の産物なのである。

国鉄最末期の厳しい時期である。もちろん遊んでいたわけではない。それらと同じ楽しさを、ビジネス需要の多い新幹線でどう見せるかが、開発の一番の苦労であった。その苦労は見事に報われ、１００系の登場には、もはやどよめきに近い驚きがあったのである。

その後の東海道・山陽新幹線の車両にも、もちろん画期的な進歩が見られる。しかし、「楽しさ」の衝撃で１００系を超えるものは出ていない。いや、もう出る余地はないのかも知れない。



普通の100系と同じようだが、2階建て車両が4両も連なるV編成『グランドひかり』。E5系と異なり、100系の豪華さは編成すべてに貫かれているのが特筆される。岡山～相生間にて　1990年4月5日　写真◎松本正敏(RGG)



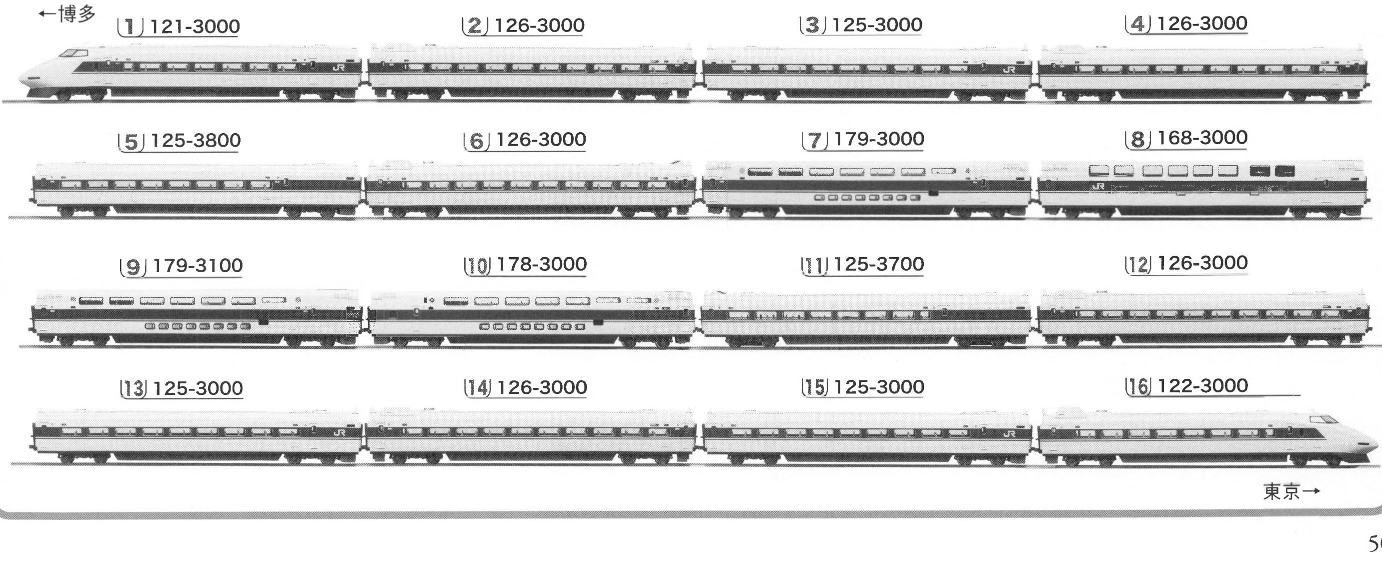
報道公開された、完成したての9000番台の食堂車168-9001。9000番台の窓は普通の透明ガラスで青っぽく見えたが、0番台と3000番台は熱線吸収ガラスを採用したため、金色に見えた。側面のNSマークも懐かしい。写真◎小野田 滋

編成のポイント

100系V編成『グランドひかり』

100系新幹線の中でも、1988年に登場した100系3000番台V編成は、贅を極めた車両。2階建て車両が4両連なる『グランドひかり』は圧巻だった。グリーン車はすべて2階建て車両の2階に集中。1階は普通車となる合造車だった。

0番台では両先頭車は付随制御車だったが、3000番台では2階建ての中間付随車が4両となったため、両先頭車も電動車化し、MT比率を維持した。これが後の短編成化にも有効となり、現在は6両で最後の活躍をしている。



楽しさの頂点「食堂車」

100系の楽しさには、抜本的に改良された普通車座席、夢のようなグリーン個室もあるが、何といっても2階建て車両となったグリーン車と食堂車、その中でも食堂車がその頂点であったことは言うまでもないであろう。

あの窓の大きさ、洗練された食堂のインテリアなどは、今も忘れることができないものである。時速200㎞を超える速度で走る2階建ての本格的食堂車は、世界にたった1つしか存在しなかった。その眺めと味を知る者は、世界の食堂車ファンの中で第一級の幸せ者であるといえよう。

2000年3月改正で最後まで残っていたV編成（JR西日本所有）の定期食堂車営業が休止された後も、同年12月、そして2002年11月の『さよなら100系V編成』で食堂車が復活営業している。やはり100系といえば2階建て新幹線、そしてその食堂車なのである。今、6連で細々と山陽路を『こだま』で走る姿に、全盛期の面影は薄い。

もう一度 あの景色を見たい

100系食堂車168形の内装や運転史などの細かい内容は、すでに数多く紹介されているのでここでは省略する。現在、X編成用の1両（9001番）がJR東海の『リニア・鉄道館』で公開され、またV編成用も1両（3009番）がJR西日本の博多総合車両所に保管されている。

公開行事でしか出会えない3009は別として、X編成用はいつでも会うことができ、中を見ることもできる。現役時代を知らない方は、ぜひ一度名古屋に行って見てほしい。しかし、残念ながら屋内に停まっている車両では、その2階の高さと大きな窓の魅力は、半分も感じることはできない。

さすがに今、東海道新幹線の線路にこれを走らせることはできないであろう。しかし、現在の日本の映像技術を駆使すれば、あの大きな窓にリアルな景色を映し出すことはできるはずだ。あの窓から見る富士山の美しさ、夜の通過駅を抜ける迫力を、バーチャルであっても再現していただければ、言うことはないのだが。

食堂車形式解説

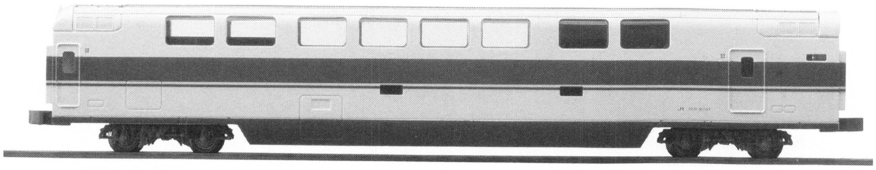
168系2階建て食堂車は、X編成用が1985年に登場した量産試作編成用（9000番台）1両、量産編成用（0番台）6両の計7両、そしてJR化後にJR西日本が『グランドひかり』用に製作したV編成用が9両、合わせて16編成分の16両が存在した。

X編成の試作編成と量産編成では、側窓が小窓か大窓かという決定的な違いがあるのだが、食堂車168形だけは試作段階から大窓であったため、168形については16両全部が外観の差異は小さい。

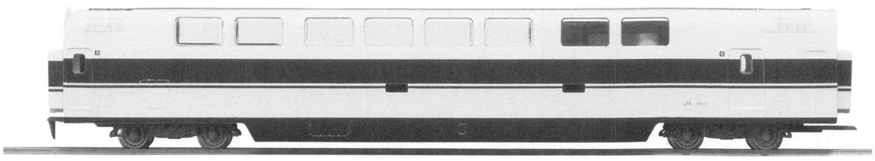
しかし試作の9001は、1階売店や2階待合部分の内装が他のX編成168形とは若干異なっており、量産化改造されても差異は残っていた。意外な違いとして、X編成独特のエッチング壁（別コラム参照）の100系の側窓が、9001は小窓、他の0番台は大窓できちんと描き分けられている。

営業については当時新幹線の食堂車営業をしていた会社すべてが担当しており、最終時点ではジェイダイナー東海とJRウエストラン（ジェイアールウエストレストラン）の2社がおこなっていた。

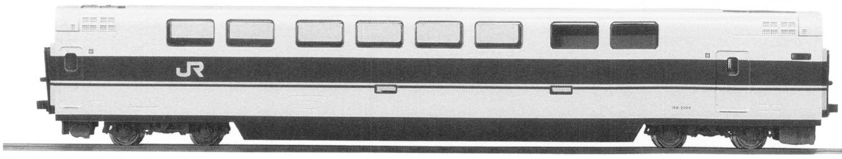
しかしこの2社も、その後のJR東海・JR西日本の関連会社の統廃合で、会社名としては残っていない。



9000番台の168-9001のサイドビュー。登場時は「New Shinkansen」を意味するNSマークが入れられていた。写真は晩年の仕様。●マイクロエース



0番台の168-0のサイドビュー。食堂車の外観は各番台とも大差ないのがわかる。JR東海の後年の増備車は、カフェテリアとグリーン車の144形に変更された。●TOMIX



JR化後の1988年に登場した3000番台の168-3000のサイドビュー。外観は大差ないが、内装は椅子を含め明確に異なるので、V編成を容易に見分けられる。●KATO

忘れていなかったリスペクト

X編成の168形食堂車の大きな特徴に、内壁のエッチング仕上げの金属壁がある。よく見ると、明治時代からの東海道本線を走った「看板列車」の側面が描かれており、鉄道好きにはこたえられないものになっている。151系『こだま』、20系ブルートレイン、0系そして100系新幹線などが精緻に描かれている。

一般の乗客が通る場所でこのデザインは、過去100年以上に渡って東海道線を発展させてくれた先輩たちへの感謝を示したものであろう。

原画は国鉄の戦後黄金期の機関車ヘッドマークやワンポイントデザイン（グリーン車マーク、国鉄バスつばめマークなどが有名）を手がけた、国鉄車両設計事務所のデザイン担当、故・黒岩保美氏（1921−1998）の作であり、彼が国鉄で最後に担当した車両デザインであった。

もちろんすでに黒岩氏は国鉄を退職していたが、国鉄最後の豪華列車に「これをやるなら黒岩さん」と後輩から依頼されたものである。そのすばらしさは、『リニア・鉄道館』の保存車両でじっくり見てほしい。



X編成168形0番台の食堂車車内。時速220km/hで走る2階建て食堂車からは、すばらしい眺めが楽しめた。妻面の壁が東海道線歴代代表車両のエッチング仕上げなのが、X編成の168形の特徴。1990年撮影　写真◎岩成政和

フロアレイアウト道場 SeriesⅡ

今回のテーマ
スムーズに出入りできる8の字エンドレス
～TOMIX編～

**複雑な線路配置も分解していけば
いくつかの基本形に分類される。
今回はその基本形の一つ、
複線の８の字エンドレス
＋単線小判型エンドレスのパターンを
基に発展させよう。**

師範◎江口明男

リバーススイッチ不要の方向転換

８＋０の基本プランは図１のようになる。これは図２のように分割してみるとわかりやすい。進行方向を変えることなく８の字エンドレスをどちらの方向へも走らせられるが、すべての線が一方通行となるため、リバーススイッチが必要ないことがわかる。

しかし限られたスペースで基本プランを実現しようとしても、交差部を平面交差としない限りそのままの姿で実現はできない。そのためポイントの位置を、勾配区間を考慮して決めていく。そして各々の８の字エンドレスは、ダブルスリップとダブルクロスのポイントを使って、それぞれ１か所で外周のエンドレスと接続する構造とした。

２つのコントローラーで２列車同時運転

コントローラーは２台使用して２列車同時運転が可能。ダブルクロスを渡るときは、２つのコントローラーの方向と速度を合わせておく。

ダブルスリップは直線側を定位として２周まわりを基本とするが、反位に切り替えると外周のみの運転も可能。非力な車両のために、勾配のないルートを確保しておくと役立つ場合もある。

留置線は８両編成４本が収納できる規模。スペースに余裕があるので、さらに増やすことも可能だろう。留置線へはバックで進入することになるが、対向する引き揚げ線に進入してから折り返すと、本線上で向きを変えることのないリアルな運転ができる。



ファイントラックの高架複線セット、レールパターンHCを中心に組み立てられる。ダブルスリップ以外のポイントは手前側なので、手動転換でも不自由ない。

図1

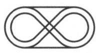
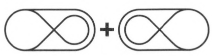
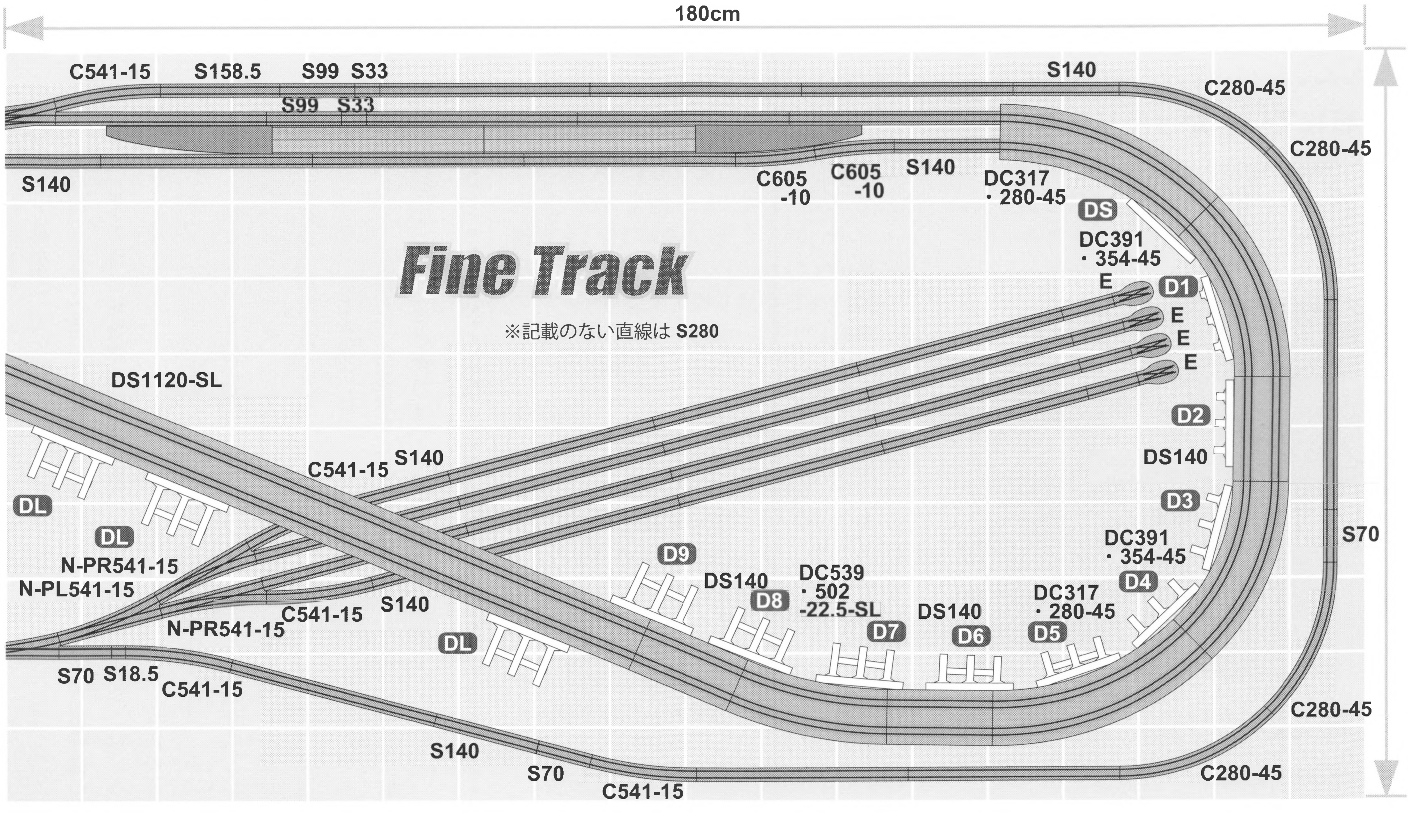


図2

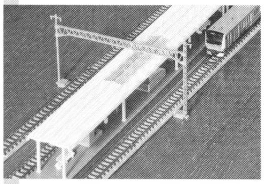




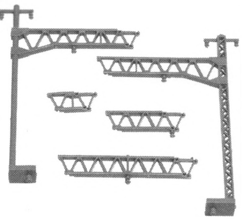
キーポイント

「長さが自由に調整できる架線柱」

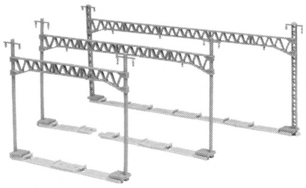
多くのラインナップを持つファイントラック用の架線柱に、新しい仲間が加わった。マルチ複線トラス架線柱（品番3007）は大きさを自由に調整できる構造が特長。ポイント付近やプラットホームのある区間など、従来の2線、3線、4線用では収らなかった半端な寸法の場所にもフィットする。



プラットホームの位置に設置した架線柱。柱は鉄骨タイプとコンクリートタイプがあり、写真のように片側だけコンクリート化された姿もつくれる。



ビーム部分の部品を組み合わせるだけで、自由な長さに調整できる。組み立てに接着剤は必要ないが、塗装は難しい材質だ。



自由な長さで組み立てた一例。長さによっては左右の専用ベースが連結できない場合もある。

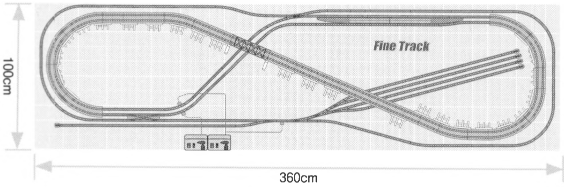


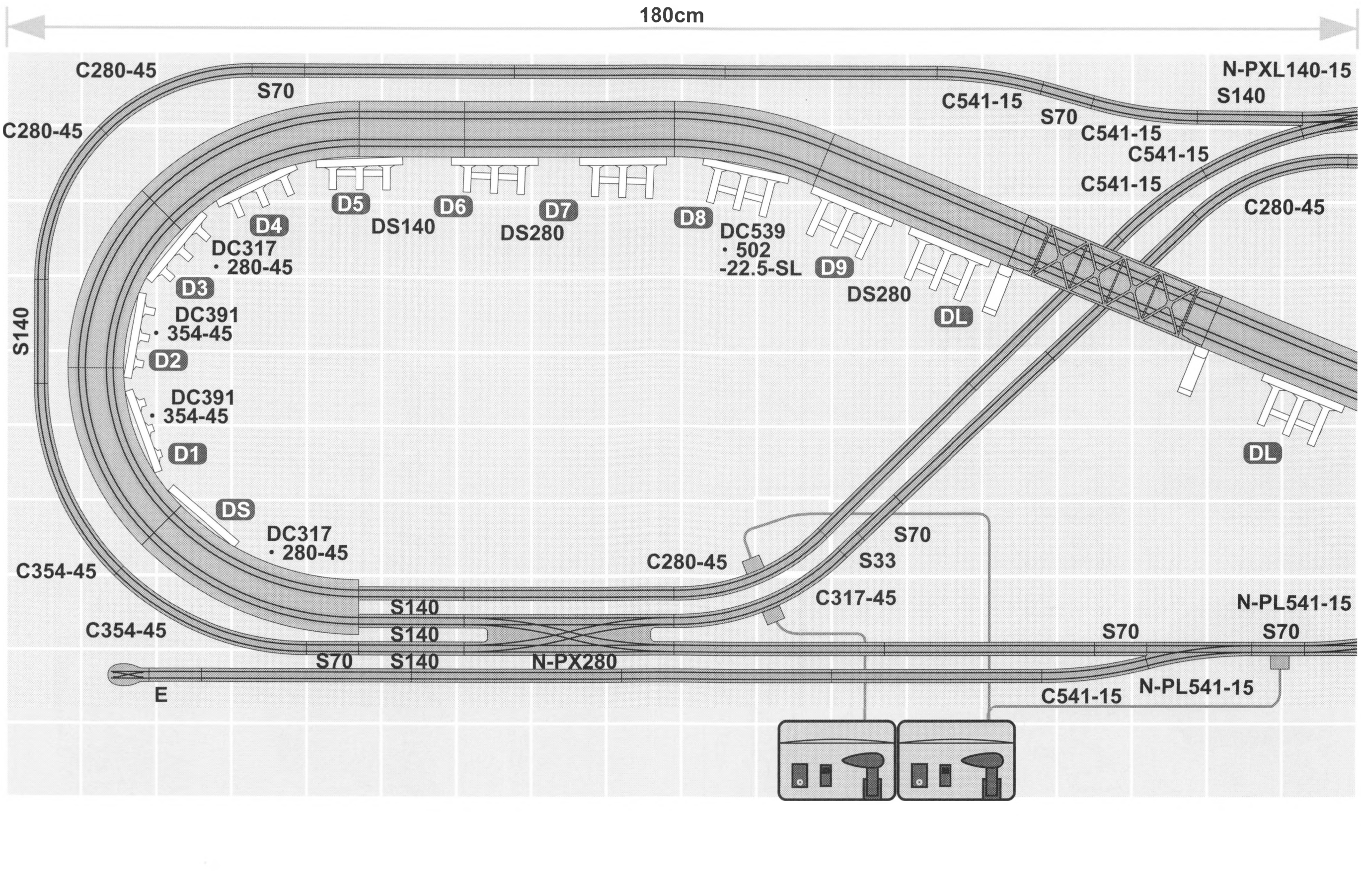
備えておきたいアクセサリー、ベーシックな橋上駅舎

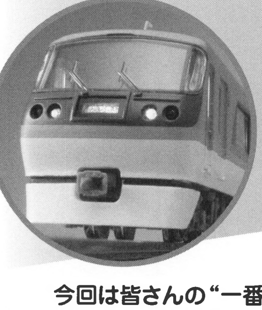
長い歴史を持つ橋上駅舎は、派手さはないが使いやすいストラクチャー。レール主体のフロアレイアウトでも、運転を演出するアクセサリーとしてぜひ備えておきたい。



TOMIX『ニュー橋上駅舎』（品番4040）は片側の通路を付属のパーツで延長できるので、このような場所にも設置できる。







本音 De トーク ADVANCE
やっぱNが大好き!

読者の皆様の生の声。
言いたい放題を大紹介!

今回は皆さんの“一番好きな列車の塗色”を聞いてみました。

■E257系 あずさカラー

派手すぎず、地味すぎず、個性があって好きです。

（長野県　青砥哲也さん）

■横須賀色
飯田線の旧国のイメージが強いため。
（埼玉県　本田智洋さん）

■踊り子旧塗色
当時、車体の上下方向に線が引かれた電車を見たことがなかったから。
（埼玉県　高見澤元秀さん）

■広島色（キハ58・47系）
地元の塗装で、密接に関わりがあるから。
（山口県　小林れいさん）

■東海道新幹線の色
新幹線といえばこのイメージ。多少の色の違いやラインの太さなど変化はありますが、このイメージカラーを続けてほしい。
（愛知県　太田勝幸さん）

■キハ58系の急行型気動車色
朱とクリーム色の取り合わせがよい。緑の中や海岸べりでも、とてもよく似合う。レイアウトの中でもコントラストがよく、走らせた時カッコよい。
（京都府　ＹＵさん）

■113系阪和線色（ブルーライナー）
1972年、天王寺～和歌山間に走った『新快速』の登場が、私の「鉄」の原点です。これなくして「鉄」はありえません。あと3編成。最後まで頑張ってほしいです。
（大阪府　白石浩之さん）

■横須賀色
中央東線の各駅といえばこれしかありません。長野色が増えたので今はあまり見られなくなりました。
（山梨県　すのきちさん）

■湘南色
成人するまで東海道線の沿線で育ったため。
（千葉県　Ｂｕｂｏｏさん）

■新津色
地元、羽越本線で活躍しているから。
（山形県　小林正則さん）

■首都圏色（朱色5号）
僕の好きなキハ40系はこの色で落成したから。
（神奈川県　金子敬典さん）

■183系たんば色
海自に入隊した時の思い出の車両だから。
（京都府　坂本修平さん）

■青大将色
当時は斬新なカラーだったと思います。
（神奈川県　Ｅ655系さん）

■阪急マルーン
伝統を感じる。
（東京都　ビスタ2世さん）

■ブルトレ色
子どもの頃のブルトレブームの影響です。
（神奈川県　ＴＯＳＨＩさん）

■湘南色
宇都宮・高崎線の沿線で小さい頃からのイメージがあるから。
（神奈川県　ＨＡＲＵさん）

■長野色
115系の長野色が好きだから。
（東京都　鉄道大好きさん）

■湘南色
子どもの頃、国鉄の線路が見える所に住んでいて、毎日毎日見ていたから。
（大阪府　吹田のおっちゃんさん）

■気動車標準色
物心が付いた頃に見慣れていた。鮮やかでローカル線の象徴だった。首都圏色化された時はショック!
（福岡県　筑肥人さん）

■221・223系などのアーバンカラー色
住んでいる所を走っていて、日頃お世話になっているから。
（滋賀県　まめたんさん）

■国鉄特急色
53年前にデビューした151系「こだま型」のインパクトのあるデザインとカラーが今でも脳裏に焼き付いていることと、その後長く特急色として受け継がれてきたため。
（東京都　塚原寿記さん）

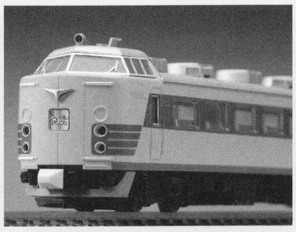
■阪急マルーン
関西の私鉄といえばやっぱり阪急のマルーン色でしょう。あの渋さは他には真似できないでしょう。阪急沿線に住んでいる私は好きです。
（京都府　中井睦行さん）

■湘南色
生まれた時から見ている色だから。
（岐阜県　堀場純嗣さん）

■381系『くろしお』現行色
南国イメージカラー。今までの『くろしお』の中でベスト。
（大阪府　北川武巳さん）

■直流電機標準色
10系や20系ＰＣ、貨物の先頭に立って走る姿が一番魅力的ですね。
（栃木県　ゴハチさん）

■東急のステンレス「無塗装」車両
8500系やそれ以前の無塗装に「コルゲート」を装備した側面が好き。30年前、幼少の頃はそれが斬新に思えて好きだった。今も…。
（神奈川県　伊藤 宏さん）



■国鉄特急色
485系をはじめ、181系やキハ80系等で使用された塗色で、憧れの塗色です。
（青森県　柏山浩之さん）

編 電車も気動車も、特急は全国で同じ塗色を採用した、というのがわかりやすいシンボルでしたね。今はみんなが憧れる列車、というのがなくなってしまいました。

国鉄特急色の模型は、電車も気動車も今なお人気です。485系200番台●TOMIX

■国鉄特急色
ホームで見かけると特別な存在だった。
（青森県　ＴＥＴＳＵＪＩ-Ｎさん）

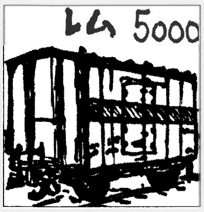
■成田エクスプレス色
赤・白・黒の使い方が上手くてとてもきれいだ。
（千葉県　荒井隆司さん）

■ウグイス色
山手線で育ったから。
（神奈川県　二葉 博さん）

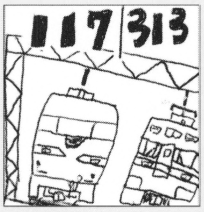
■新『踊り子』色
湘南カラーであるオレンジと緑がブロック形になっていておもしろいから。
（千葉県　むさしのドリームさん）

■関空・紀州路快速の223・225系色
1本の太いラインだけなのですが、グラデーション的な白→青ラインがとても似合っていると思います。
（富山県　大江数成さん）

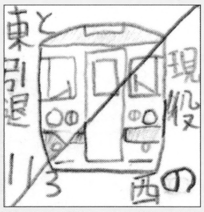
ミニNギャラリー 1号館

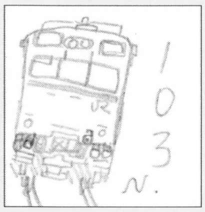


北海道
若松祐樹さん



三重県
中山颯太さん

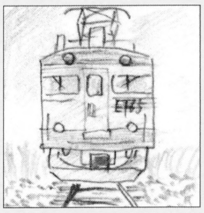

神奈川県
オッキーさん

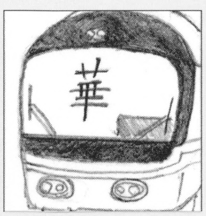


大阪府
やっぱり「N」さん

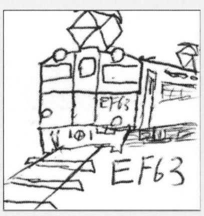


愛知県
原 忠嗣さん

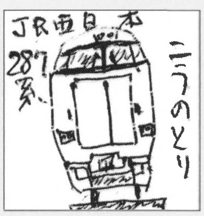

千葉県
EF65 まくはりさん



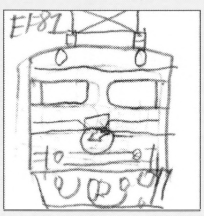
神奈川県
トマトくんさん



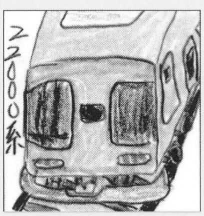
東京都
三井大雅さん



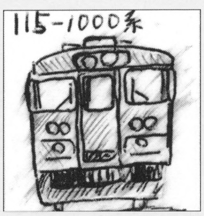
東京都
ココッペさん



東京都
山川浩輝さん



奈良県
Kuk さん



福岡県
匿名希望さん

あなたがよく運転する機関車は?

本音Deトーク ADVANCE Special ❶

→有効回答数：785票

本誌61号の特集は「編成を極める！客車・貨車編」。ということで、牽引させる側で一番使われている車両をリサーチしてみた。

1位：EF65	156票
2位：EF81	93票
3位：EF64	79票
4位：EF66	67票
5位：EF510	54票

1位になったのはEF65。さまざまな番台、また牽引する車両の種類も多いため、幅広い世代からの支持を得た。番台で見ると0番台が最も票が多く、意外にも特急機500番台が一番少なかった。メーカー別では、0番台、500番台はKATO製品が多く、1000番台はKATO製品とTOMIX製品が同数だった。

2位は交直流電機EF81。こちらもブルトレから貨物までの幅広い活躍に加え、交直流機ゆえに見られる範囲も広く、多くの票を集めた。『北斗星』からは撤退したが、『日本海』『あけぼの』といったブルトレは、今も牽引している。

3位はEF64。0番台、1000番台とまったく同じ得票数だった。この人気は近年TOMIXやKATOから相次いで製品化されたのも理由として挙げられるだろう。4位はEF66だった。元々貨物用だが、ブルートレイン牽引機として人気があり、『あさかぜ』『富士・はやぶさ』の牽引は記憶に新しい。

5位にようやくJR化後の機関車であるEF510がランクイン。いまや数少ない客車列車である『カシオペア』や『北斗星』のほか、貨物も牽引するマルチ機だ。3メーカーから相次いで発売されたので、どのメーカーの製品を買うか悩んだユーザーも多い。

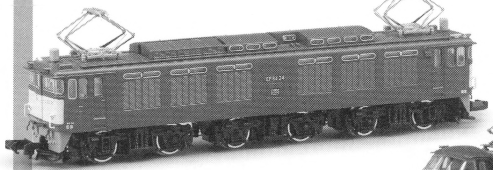
このように、両数や活躍内容も関係あるだろうが、全体的に国鉄電機の人気が高い。ちなみに6位がC57と、ここでようやく蒸気機関車が登場。メーカーは最新のTOMIX製品より、KATO製品のほうが多かった。7位に旧型電機のEF58、8位9位にはディーゼル機関車のDD51とDE10が続いている。



1位：156票　EF65



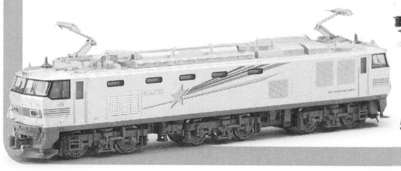
2位：93票　EF81



3位：79票　EF64



4位：67票　EF66



5位：54票　EF510

■名鉄スカーレット
地元で小さい頃から今まで乗っています。名古屋によく合う色です。
（愛知県　ラジャー!さん）

編 名古屋といえば、国鉄・JR以上に名鉄のスカーレットが思い浮かびますね。それだけ印象的です。



パノラマカーはなくなりましたが、スカーレットだけはこれからも残してほしいですね。名鉄7000系
●TOMIX

■エメラルドグリーン
103系の他の4色（オレンジ・カナリヤ・ウグイス・スカイブルー）は他の線でも使われたのに、エメラルドグリーンは常磐線だけだったから。
（茨城県　杉山正和さん）

■名鉄スカーレット
地元でパノラマカーなどの印象が強いから。
（愛知県　ヤスマサさん）

■青15号
しっとりと落ち着いた感じがよいから。
（広島県　しおじ57号さん）

■長野色
115系・169系etcの爽やかさは、信州路にマッチしている。183・189系『あずさ』色もいい！
（長野県　井領真浩さん）

■寝台電車色
昔は特急が特別な列車であり、その中でも583系は品があって憧れだった。
（三重県　S.E.R81-95さん）

■横須賀色
若かりし頃、飯田線の旧型国電を追っかけていました。
（石川県　ハリアーさん）

■ぶどう色2号
国鉄車両に多く使われているから。
（大阪府　櫻さん）

■横須賀線色
長年113系スカ色の走る路線を利用していたので。クモハユ74もなつかしい。
（千葉県　千葉正幸さん）

■横須賀色
清楚なイメージを感じるから。
（神奈川県　根本俊明さん）

■北越急行681系『スノーラビット』色
雪中を走る白に赤いラインが印象的。
（滋賀県　ムラサキさん）

■長野色
色調がすごく綺麗なので。夏にも冬にもマッチする色です。
（茨城県　吉山勝治さん）

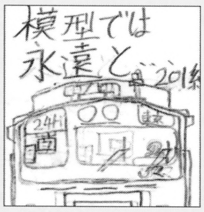
■大糸線色
ローカル線にしては斬新でいいから。
（栃木県　なすのさん）

■トワイライトエクスプレス色
EF81のトワイライトエクスプレス色は退職記念に乗った列車。忘れられません。
（大阪府　桑原一彦さん）

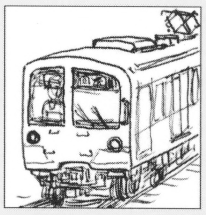
■国鉄特急色
私の年代は少年時代に在来線の特急・急行が最盛期で、中でも特急への憧れは最も大きいものがありました。
（神奈川県　吉田 修さん）

■113系の関西線快速色
沿線住民であることも理由だが、国鉄が路線で色分けしたことに意義があると思う。（関西だけの地域カラー）天ナラの表記まで朱色3号だった。
（奈良県　中道英希さん）

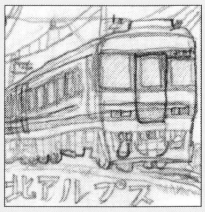
ミニNギャラリー 2号館



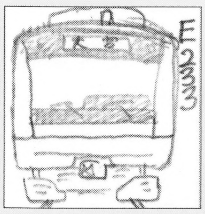
北海道
北海道の201系ファンさん



東京都
匿名希望さん



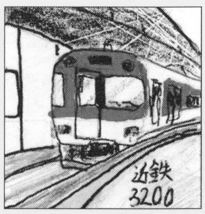
東京都
小松丈晃さん



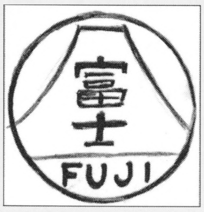
神奈川県
畠 有佑さん



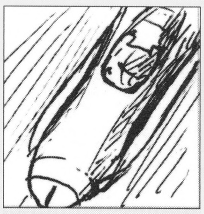
神奈川県
小田秀太郎さん



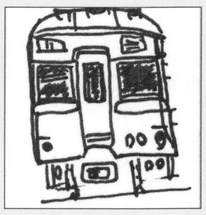
石川県
水上直人さん



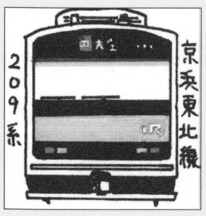
大阪府
ホネホネロッコツさん



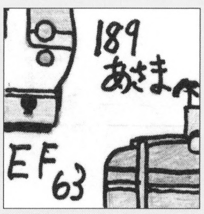
石川県
細川 勝さん



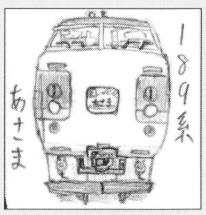
愛知県
山田祐司さん



栃木県
P.K ポッカさん



東京都
辻 稀成さん



千葉県
ジミーさん

2011年に発売されたモデルの中で印象に残るのは？

本音 De トーク Special ❷

→有効回答数:823票

1 位：E5 系（KATO） 65 票
2 位：トワイライトエクスプレス（KATO） 53 票
3 位：「さよなら雷鳥」セット（TOMIX） 43 票
4 位：「さよなら北陸」セット（TOMIX） 39 票
5 位：225 系（KATO） 34 票

多くの商品が登場した2011 年のＮゲージ界。読者の皆さんにとって、どのモデルが強く印象に残ったのだろうか?

大方の予想通り、1 位はKATO のE5 系『はやぶさ』だった。実車の運用開始と同月に発売され、3 両基本セットという手軽さもあり爆発的な人気を得た。東日本大震災で客足が遠のいていた模型店に、再びお客さんを呼び戻し、業界の起爆剤にもなった。

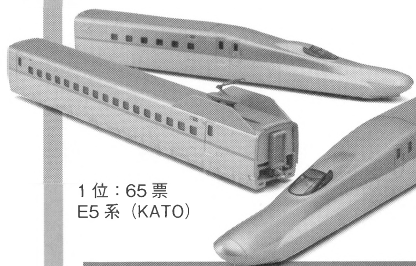
2 位はKATO の『トワイライトエクスプレス』セット。発売からまだ日が浅いが、多くの票を集めた。TOMIX からも発売されているが、プロトタイプとなった編成が異なるので共存できるのもポイントだ。

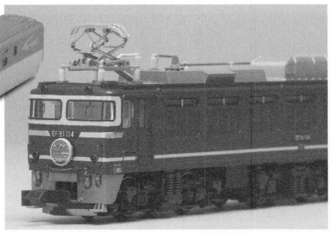
3 位は TOMIX の『さよなら雷鳥』セット。同社定番の『さよなら○○』シリーズだが、特定編成を再現するために新たに金型をつくるなど、こだわりが見られる製品だ。

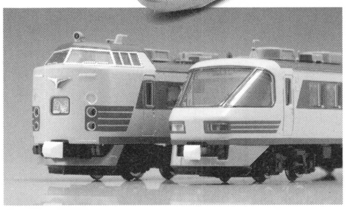
4 位は同じシリーズから『さよなら北陸』セットが入選。このセットのために EF64 1000 番台が新規製作され、EF81 とともにセットに収まっている。3 位・4 位とさよならセットが続くが、名列車の引退という少々寂しい時代の流れを感じざるを得ない。

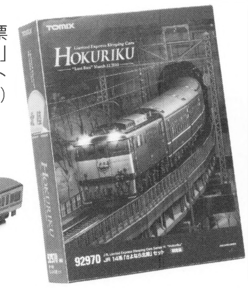
5 位はKATO の 225 系。特急が多い中、唯一の近郊型だ。これも登場後間もない製品化で、223 系と連結させるために買ったユーザーもいるだろう。

6 位にはKATO の東京メトロ01 系銀座線と、TOMIX のC57 1 号機が同数でランクイン。ここまでは 2011 年の話題の新型車や引退した列車だったが、従来からある車両をプロトタイプにした製品がここで選ばれた。

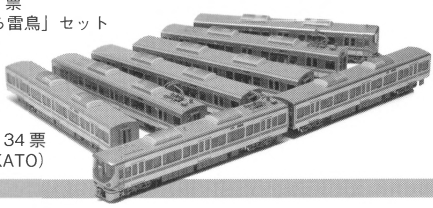

1 位：65 票
E5 系（KATO）


2 位：53 票
トワイライトエクスプレス（KATO）


3 位：43 票
「さよなら雷鳥」セット
（TOMIX）



4 位：39 票
「さよなら北陸」
セット
（TOMIX）


5 位：34 票
225 系（KATO）

■1次新潟色 あの複雑な塗装がなんかいい。

（東京都　佐俣裕太さん）

■長野色
色がきれいだから。中央線沿線だから。
（東京都　児玉武史さん）

■横須賀色
旧国からE217系までなじみが深い。
（神奈川県　中澤一浩さん）

■京葉ピンク
晴れた日の江戸川橋梁を通過するE233系の帯の発色がよく、非常に鮮やかな色味を出している。
（千葉県　Jonathan.Eさん）

■国鉄特急色
とりわけ、485系が思い出深いです。東北・上越新幹線開業前、大宮駅で屋根に雪を載せた特急電車が到着すると、長旅お疲れさまと声をかけたくなりました。この色を見ると、東北・北陸の風土までも運んでいるように感じます。
（埼玉県　NRAさん）

■トワイライトエクスプレス色
JR羽越線沿いに住んでいるので、たまに寝台特急『日本海』の牽引車として活躍するのもみているから。
（秋田県　仁部正紀さん）

■首都圏色
現在、北海道根室線で滝川～釧路間で走っているから。
（北海道　明石高昌さん）

■福知山色（キハ47）
単純な塗色ですが、グリーンに白がすごく鮮やか。
（埼玉県　秋元 勉さん）

■京浜急行のブルースカイ
他の赤に混じりブルーですごく目立つし、あの鮮やかなブルーが好き。
（東京都　155さん）

■シーサイドライナー色（キハ67）
長崎旅行で出会い、きれいなブルーが気に入っていたから。
（神奈川県　シロクロさん）

■京阪　通勤車カラー
卵型車体にマッチしているカラーリングで小さい頃から見慣れているから。
（神奈川県　花本祐紀さん）

編 京阪といえば、黄色と赤のツートーンの特急車と、濃淡グリーンのツートーンの通勤車でしたね。

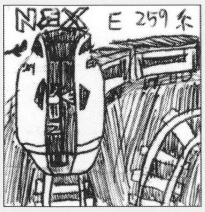

塗色変更が進行中の京阪。新塗色もグリーンをテーマにしてますが、だいぶ印象が変わってきました。京阪 5000 系●マイクロエース

本音 De トーク ADVANCE
あなたの言いたいコト、書いてみませんか？

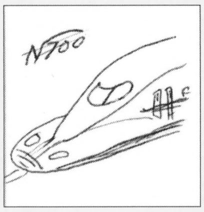
アンケートはがきの最後の質問「○○について、ご自由にお書きください」という項目に、あなたもコメントを書いてみませんか? 毎回異なるお題に関して、日頃あなたが思ったり考えたりしていることを自由にご記入ください。ミニイラストも OK！本名かペンネームで応募（はがき表面に記入）してもらえると、もっとうれしいです。

掲載された方には、抽選で 5 名様に掲載誌をプレゼント! あなたの声で、エヌの誌面を飾ってください。また、『本音 De トーク Special』は、Vol.61 のアンケートを集計したものです。今後も皆さんの声を集計していきますので、ぜひ回答してください。

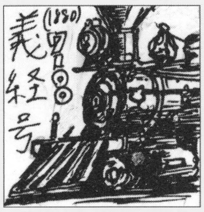
ミニ N ギャラリー【3号館】

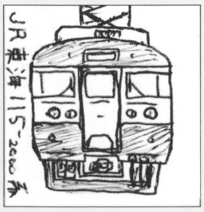


東京都
豊田亮太さん



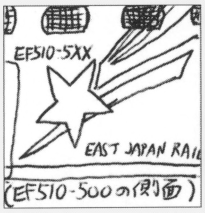
京都府
KTR さん


大阪府
EH50 さん

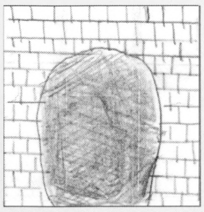

山梨県
シュガーさん

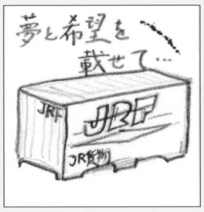


熊本県
つばめさん

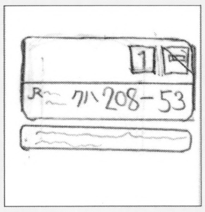


神奈川県
久保居 進さん

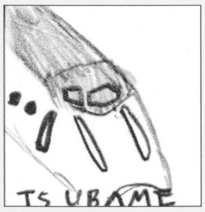

岡山県
片山一重さん



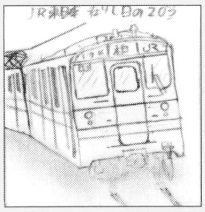
北海道
いのきさん

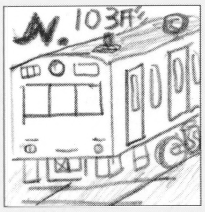


埼玉県
京浜 209 さん



静岡県
嘉茂篤志さん


神奈川県
大野雄佑さん



千葉県
土屋智洋さん

鉄道模型
鉄道古書

ポポンデッタ

popondetta



ポポンデッタには巨大レンタルレイアウトが併設されています。ご自身の車両を走行させるのも良し、レンタル車両もありますので手ぶらでお越しいただいても運転を楽しめます。料金は1時間600円から。今なら平日はその半額になります。休日に、会社帰りに、ちょっとした空き時間に、都会派Nゲージャーを応援します！ ただいま秋葉原店で19時以降は夜景レイアウトでの運用を行っています!!

Nゲージ誠実買取!!

中古品は買取が命!!
誠実な価格で買取いたします。
ぜひ他店と比較してみてください。

HOゲージ買取強化中!!

状態良好品はもちろん、ダメージ品も積極的に買取。HOゲージ、レール・ストラクチャー・制御機器・キット・パーツも買い取ります。

●店頭での買い取り

- 各店店頭に直接お持込ください。
- 即日、即金にて買取いたします。
- 20分～1時間のスピード査定。
- メール、FAXによる事前査定も承ります。

●ご来店いただかなくても大丈夫

1. お客様は各店に佐川急便の着払いで発送していただくだけ!!
2. 商品を査定し、買取額をお知らせします。
3. 買取額をご了承いただけましたら、お客様ご指定の口座に入金いたします。

※事前見積りをご希望のお客様は、各店までメールまたはFAXにてお問合わせください。
※各店の買取混雑状況がホームページに掲載されています。ご参照下さい。

ポポンデッタ全面プロデュース!

STEAM LOCOMOTIVE CAFE & BAR

JR・地下鉄の有楽町駅から徒歩1分。

NEW OPEN!

カフェ&バー スチームロコモティブ

東京都千代田区有楽町1-12-1
新有楽町ビル1F
TEL.03-3211-0610

中米ホンジュラスでSLの機関士たちが愛飲する「幻のコーヒー」をご堪能下さい!



SLコーヒー列車セット(KATO製)発売中!

ポポンデッタwith 京急レッドトレインガーデン OPEN!



東京都港区高輪3-13-3 シナガワ グース内2F TEL：03-5422-9207
営業時間 11:30～20:00

京急電鉄とのコラボレーション店舗が品川にオープン!

鉄道史料を集めた「京急レッドトレインガーデン」を併設しています。※ポポンデッタと京急は別事業主体です。

通販本店 http://www.popondetta.jp/

ポポンデッタの通信販売は秋葉原店の在庫と完全連動。全国から、ポポンデッタ秋葉原店の膨大な商品を確認、ご購入いただけます。発送もスピーディー。即日発送承ります。新製品は通常よりお得な先行予約を受付中です!



◆中古も新品もまとめて10000円以上で送料無料です。
◆中古品の状態表示により品質を保証。
◆16:00より前のご注文はほぼ即日発送!!
★ご来店お待ちしております

秋葉原店

4F イベントスペース
3F 各社Nゲージ、書籍
2F レンタルレイアウト 各社Nゲージ
1F ストラクチャーレイアウト用品
B1F 外国型車両、通販部

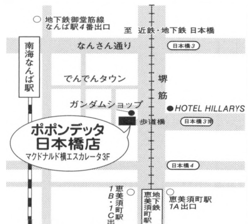


ビルが丸ごと鉄道模型のお店!!

東京都千代田区外神田3-3-3 TEL:03-5297-5530 FAX:03-5297-5538
E-mail:tu-han@popondetta.com 平日:12:00～20:30 定休日:第3水曜日

大阪日本橋店

「NHK趣味悠々 ゼロから創る鉄道模型レイアウト」で監修の諸星昭弘氏が製作したHOレイアウトの実物を大阪日本橋店の4Fで展示しております。



大阪府大阪市浪速区日本橋4-10-3雅光産ビル3F
TEL:06-4396-5010 FAX:06-4396-5110
平日:12:00～20:00 土日祝:11:00～19:00 定休日:第3水曜日

ペルチ土浦店
茨城県土浦市有明町1-30-510ペルチ土浦5F
TEL:029-875-7643 FAX:029-875-7646
営業時間:10:00～21:00 年中無休

越谷レイクタウン店
埼玉県越谷市東町4-21-1 イオンレイクタウンkaze3F
TEL:048-999-6590 FAX:048-999-6591
営業時間:10:00～22:00 年中無休

ポポンデッタwith 小田急トレインギャラリー
神奈川県海老名市中央1-18-1 ビナウォーク6番館2F
TEL:046-236-0750 FAX:046-236-0751
営業時間 10:00～21:00 年中無休

ポポンデッタwith 京王トレインパーク
東京都八王子市明神町3-27-1 京王八王子駅ビル(K-8)5F
TEL:042-656-7242 FAX:042-649-3545
営業時間:11:00～21:00 年中無休

モリシア津田沼店
千葉県習志野市谷津1丁目16番1号
モリシア津田沼レストラン棟7F
TEL:047-409-4320 FAX:047-409-4830
営業時間:10:00～21:00 年中無休

トレッサ横浜店
横浜市港北区師岡町700番地 トレッサ横浜南棟1F
TEL:045-330-2973 FAX:045-834-7209
営業時間:10:00～21:00 年中無休

イオンモール鶴見緑地店
大阪府大阪市鶴見区鶴見4-17-1 イオンモール鶴見緑地4F
TEL:06-6914-2550 FAX:06-6914-2560
営業時間:10:00～22:00 年中無休

ダイエー三宮駅前店
兵庫県神戸市中央区雲井通6-1-15ダイエー三宮駅前店8F
TEL:078-200-5991 FAX:078-200-5993
営業時間:10:00～21:00 年中無休

GLOBO蘇我店
千葉市中央区川崎町1-34 GLOBO1F
TEL:043-209-7601 FAX:043-209-7602
営業時間:10:00～20:00 年中無休

横浜ビブレ店
横浜市西区南幸2-15-13 横浜ビブレ8F
TEL:045-328-3601 FAX:045-328-3602
営業時間:11:00～21:00 不定休

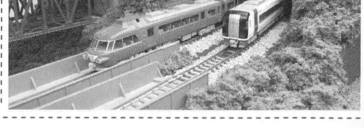
イオンモールKYOTO店
京都府京都市南区西九条鳥居口町1番地4F
TEL:075-644-9220 FAX:075-644-9221
営業時間:10:00～21:00 年中無休

イオンモール川口店
埼玉県川口市安行領根岸3180 イオンモール川口別棟1F
TEL:048-285-7888 FAX:048-285-7898
営業時間:10:00～21:00 年中無休

イオンモール木曽川店
愛知県一宮市木曽川町黒田字南八ツヶ池25-1
イオンモール木曽川1F
TEL:0586-84-3622 FAX:0586-84-3633
営業時間:10:00～22:00 年中無休

アミュプラザ博多店
福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1
JR博多シティ アミュプラザ博多内8F
TEL:092-409-6810 FAX:092-409-6811
営業時間 10:00～21:00 年中無休

あなたの街のポポンデッタへ!

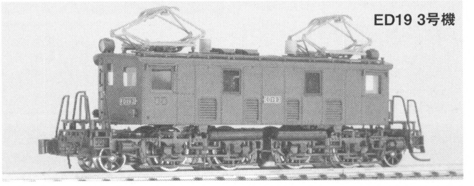


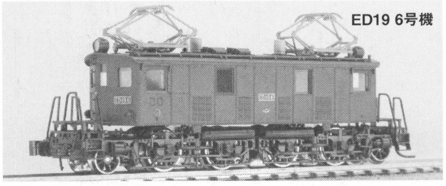
謹賀新年 2012年 本年もよろしくお引き立ての程お願い申し上げます。

新製品のご案内

Nゲージ（1/150・9mm）

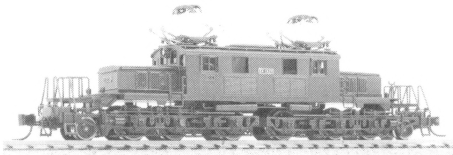
■国鉄ED19Ⅱ3/4号機、6号機　組立キット（各）¥16,800





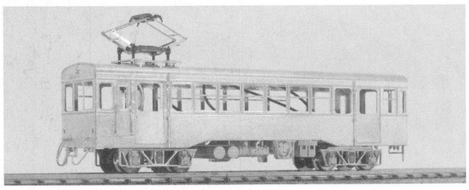
動力装置を始め、車体構成等すべてを一新した製品です。全金属製PS15パンタグラフを新規製作し、下回りも砂撒管付の軸箱を使用して、小粒ながら精密感あふれる製品です。正面窓が小窓で、屋根板の選択により作り分けが可能な3、4号機と、原形のエアーフィルターが特徴の6号機を今回製造いたします。

■国鉄EF13上越線仕様、25号機、29号機の3種発売です。
組立キット（各）¥16,275



25号機は丸ボンネット、29号機は横型エアーフィルターが特徴です。
上越線仕様はスノープロー付となります。写真は29号機です。

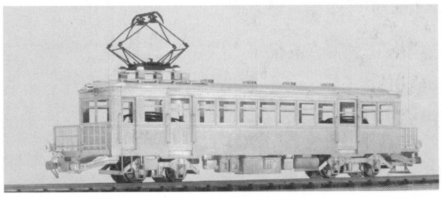
■日立電鉄モハ13（改装後）　組立キット¥14,175



三角電車を昭和40年切妻型に改造された直後のワンマン化改造前のタイプです。

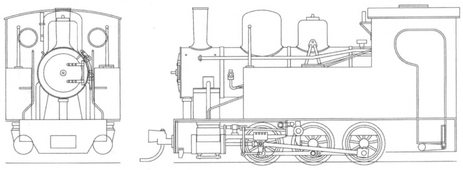
HOナロー（1/87・9mm）

■下津井電鉄モハ52　組立キット¥24,150



「加藤車輌」のガソリンカーを戦後電車化したもので、前後の鮮魚台が気動車時代の面影を残しております。

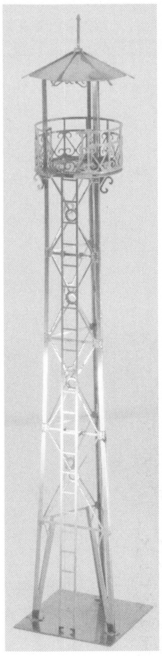
■耶馬渓（やばけい）鉄道10号



汽車会社製14.5t Cタンク。やわらかい窓まわりのカーブが特色の好ましくまとまったスタイルです。

イベント企画品のご案内

※詳しくはHPをご覧下さい。
※イベント企画品は、イベント会場と直販限定の商品です。

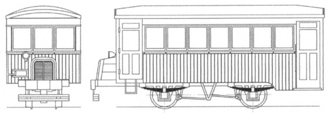


HOナロー（1/87）

■火の見やぐら
組立キット¥3,800

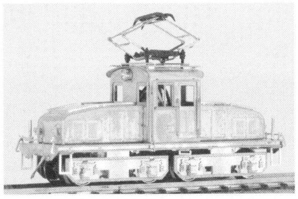
Nナロー（1/150・6.5mm）

■九十九里鉄道キハ104木製仕様
組立キット¥6,500

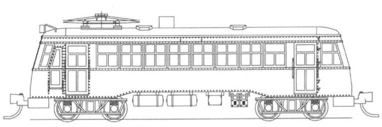


Nゲージ（1/150・9mm）

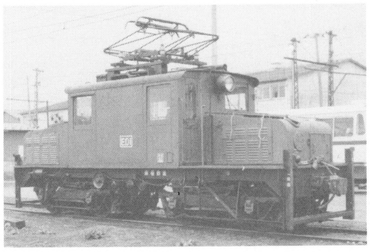
■越後交通ED26
組立キット¥8,500



■日立電鉄モハ13（改装前）パンタ仕様
組立キット¥10,000



■蒲原鉄道ED1　組立キット¥8,500



さいたま鉄道模型フェスタWinter

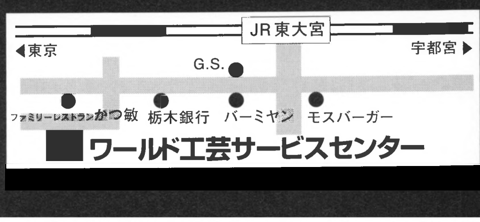
日時：平成23年12月23日（祝）11時〜16時
24日（土）10時〜16時
会場：大宮ソニックシティ地下1階 第3・第4・第5展示場
（JR大宮駅西口下車徒歩5分）
＊皆様のお越しをお待ち申し上げております＊　**入場無料**

ワールド工芸

〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮7-46-6
サービスセンター　Tel.048-687-7193

［営業時間］
平　日　14:00〜18:00　★毎週火曜
土・日　10:00〜18:00　　定　休

製品の発売時期は当社ホームページをご覧下さい。
http://www.world-kougei.com



機関車・原点への回帰

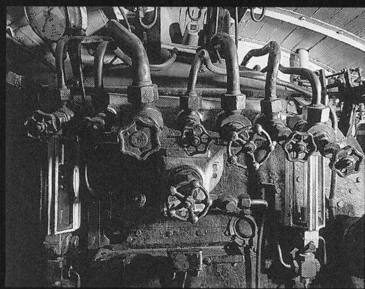
蒸機読本

形式 C59 C60

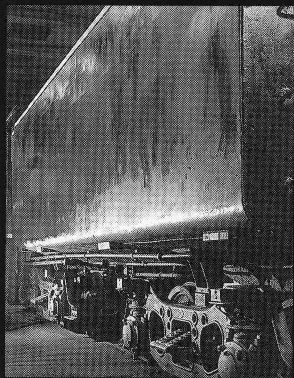
2C1/2C2 旅客用テンダー機関車

高性能ながら整備性に難があった3シリンダーのC53に代わり、2シリンダーで同等以上の性能を発揮したのがC59だ。軸重軽減のため2軸従台車化した改造機C60とともに、本州と九州でエースとして君臨した。

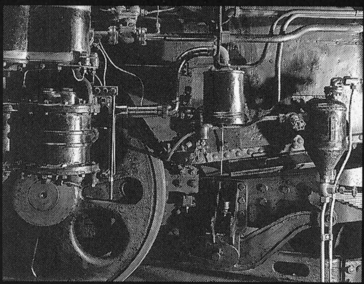
文●松尾よしたか
モデル撮影●奈良岡 忠
実車写真・同キャプション●米山真人



人間工学に基づき整然と並んだバルブ。下向きに角度が付けられているのは、大型蒸機ならでは。



独特のフォルムが浮き立つ船底型テンダー。フレームを省略したモノコック構造で強度を確保している。



車体を這うように取り付けられたパイプや補機。まるで走る工場だ。



C53に代わる重量級旅客機関車

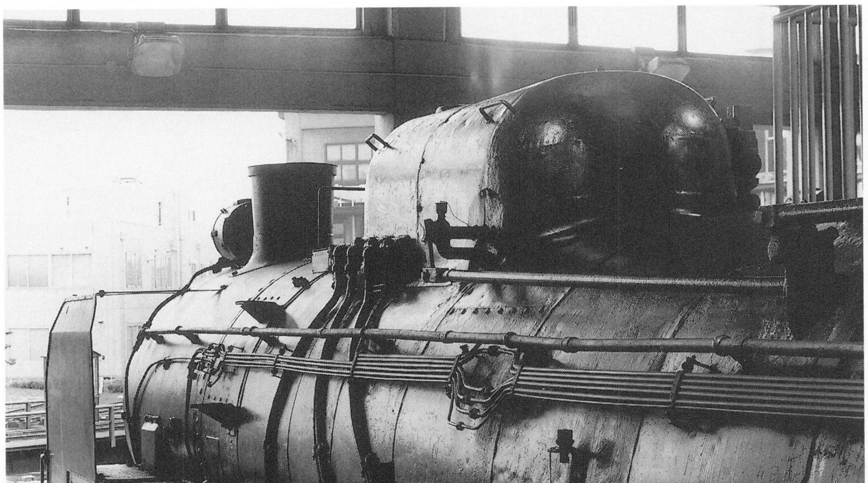
C51にはじまった動輪直径1750㎜、車軸配置2C1の旅客用蒸機は、軽量級のシリーズがC54、C55、C57と改良を重ねたのに対し、重量級は3シリンダーのC53の独壇場がしばらく続いた。しかし、3シリンダーにはメンテナンスに多大な手間を要するという弱点があった。

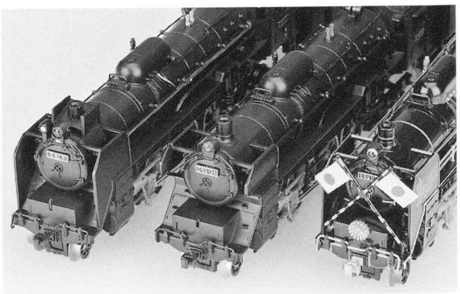
そこで、輸送需要の拡大に対応して重量級の旅客用蒸機を増備するため、2シリンダーでC53と同等以上の性能を発揮する新形式が設計される。それがC59で、1号機は1941年に落成。動輪直径と車軸配置はC57と同じながら、ボイラーをD51並みの太いものに改めている。

大型化されたボイラーの圧力は16気圧で、C53の14気圧より高い。高まった蒸気圧とともにシリンダーの径も大きくなり、2シリンダーでも十分な性能が得られる。

C53より13年、C57より4年も後に製造を開始したC59は、まさに「満を持して」のデビューとなった。テンダーも大型化され、外観スタイルは貫禄に満ちている。1943年までにちょうど100両（1〜100号機）が製造され、東海道・山陽本線で活躍を開始。優等列車に多く充当され、C53は普通列車主体の運用へ移行した。

3シリンダーのような特殊な機構を用いず、信頼性のある技術を積み上げ、このような高性能機を生み出したところに、日本の鉄道技術の底力が感じられる。


程よくボリュームのあるボイラーと大型動輪の組み合わせが、均整のとれたプロポーションを形成している。

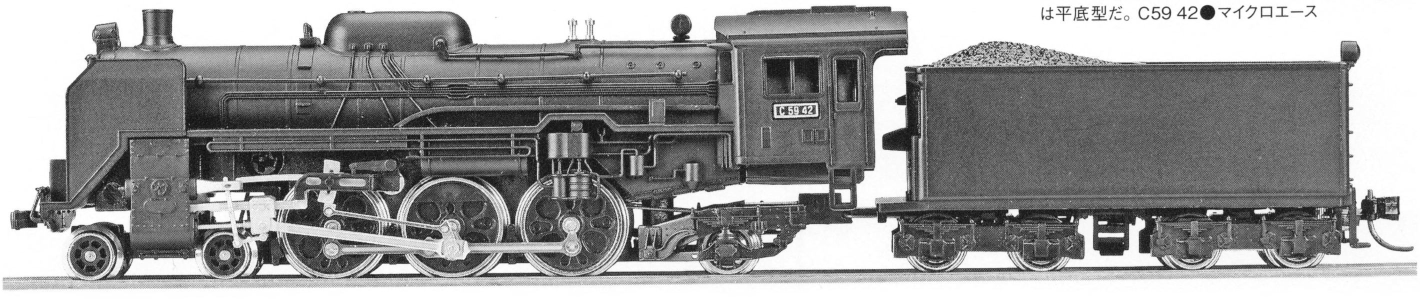

C59は東海道・山陽本線でお召列車を牽引することもあった（右）。九州で活躍したC59 124は、C60を含め唯一の門鉄デフ装着機（中）。東北のC60は煙突に整流板を付けた（左）が、そのままの姿で九州に転属した例もある。



C59のキャブは密閉式で、前妻板に後退角がある。その外観は戦前製と戦後製ともに同等で、C57四次型のキャブもよく似ている。


戦前製の平底型テンダー（右）と戦後製の船底型テンダー（左）。後ろから見ると、車体底の断面形状の違いがよくわかる。

▼車軸配置が2C1で、C57より太いボイラーを持つC59は、煙突がシリンダー中心より前方に位置するのも特徴。テンダーのサイズも大きく、戦前製は平底型だ。C59 42●マイクロエース



改良を加えて再開された増備

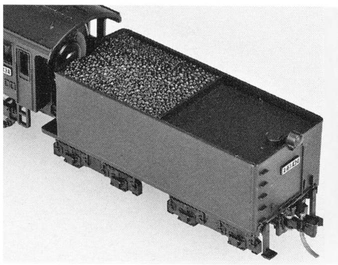
戦時中は機関車の製造を貨物用主体にシフトしたため、C59の増備は中断されたが、終戦の翌年には早速製造を再開する。その際、ボイラー内に燃焼室を設け（外観ではわからない）、テンダーを平底型から船底型に改めるなどの変更がおこなわれた。

増備は1947年まで続き、101～132・156～196号機の73両（133～155号機は欠番）が製造された。このグループは番号が101からはじまり、戦前製と容易に区別できる。

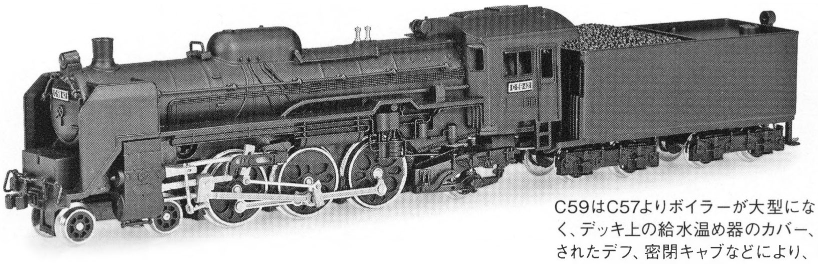
こうして勢力を拡充したC59は、戦後運転を再開した特急の運用に就くなど、存在感をますます高めていった。軸重が大きいため、当初の運用範囲は東海道・山陽本線に限定されたが、やがて軌道強化が実施された東北本線（上野～仙台間）や鹿児島本線（門司港～熊本間）へも進出する。また、幹線規格の呉線にも入線している。

順調に活躍したC59だったが、新形式C62（1948年登場）の増備や電化の進ちょくで、将来は安泰とはいえなかった。そこで、入線範囲を拡大するために軸重を軽減する改造が一部で実施される。

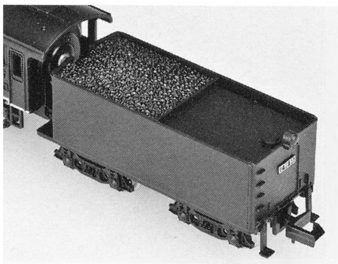
その手法はD60などと同様、従台車を2軸にするというもの。改造は1953年にはじまり、車軸配置を2C2化してC60という形式になった。その際、種車が戦前製のものは番号が0番台（1～）、戦後製のものは100番台（101～）という区分を



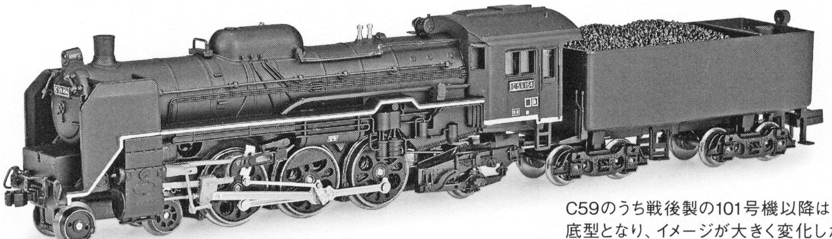
戦前製のテンダー車体は直方体に近い形状で、石炭10t、水25.0m³と大型のもの。当初は台車が板台枠だった。



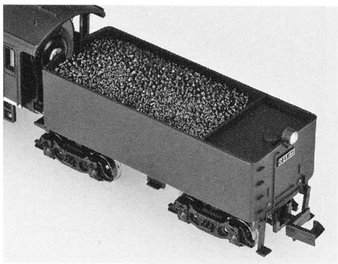
C59はC57よりボイラーが大型になっただけでなく、デッキ上の給水温め器のカバー、斜めにカットされたデフ、密閉キャブなどにより、独自のスタイルになった。C59 42●マイクロエース



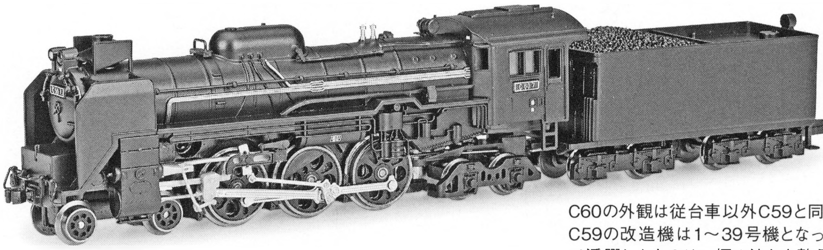
大型化されたテンダーに対し板台枠の台車は強度に余裕がなく、途中で鋳鋼台枠に変更された。



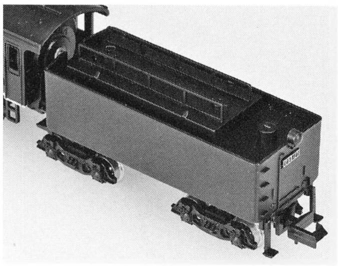
C59のうち戦後製の101号機以降はテンダーが船底型となり、イメージが大きく変化した。機関車本体の外観には、戦前製と戦後製で目立つ違いはない。C59 164●マイクロエース



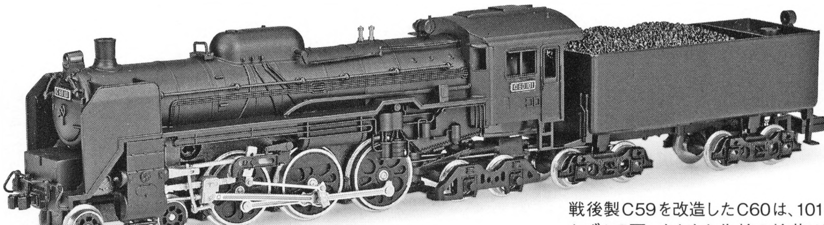
戦後製のテンダーは船底型で、台車はコロ軸受け付きの鋳鋼台枠となり、近代的な印象だ。



C60の外観は従台車以外C59と同等で、戦前製C59の改造機は1～39号機となった。東北方面で活躍したものは、煙の流れを整える整流板を煙突に付けていた。C60 7●マイクロエース

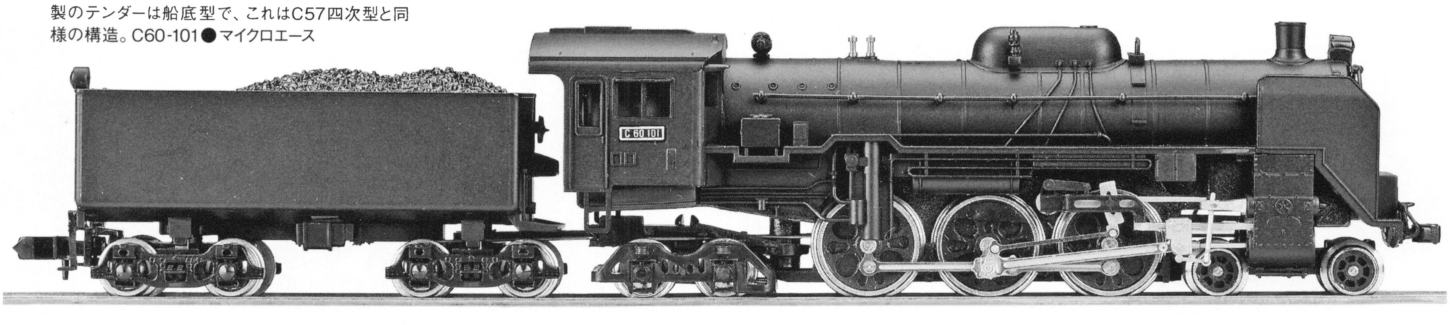


C59 127は1953年に試験的に重油焚きに改造され、炭庫が重油タンクに置き換えられた。重油のみを燃料とした蒸機は、これが国鉄唯一の例。



戦後製C59を改造したC60は、101～108号機のわずか8両。もともと先輪の輪芯は戦前製が補強付きスポーク、戦後製がプレートだったが、交換された例も多い。C60 101●マイクロエース

▼従台車を2軸化したC60は、C59より外観の重量感が増したのに反し軸重は軽減している。戦後製のテンダーは船底型で、これはC57四次型と同様の構造。C60-101●マイクロエース





今にも走り出しそうな164号機は、梅小路蒸気機関車館で手厚く保護されて現役時代の面影を色濃く留めている。

C59から踏襲している。

そして、1961年までに前者が39両(1〜39号機)、後者が8両(101〜108号機)改造され、東北本線、常磐線、奥羽本線、鹿児島本線、長崎本線、佐世保線などに投入された。

2形式が同時に迎えた終焉

幹線用のC59と亜幹線用のC60という体制となり、ともに存分に性能を発揮した。前者は山陽本線で特急『かもめ』を牽引したほか、鹿児島本線では20系ブルートレインの先頭にも立っている。

さらに特筆すべきなのは、C59が東海道・山陽本線でたびたびお召列車を牽引したことだ。C62がお召列車に抜擢されることはなく、これはC59の扱いやすさと信頼性の高さの証しである。

C60も東北本線で特急『はつかり』や『はくつる』の前補機を担当し(本務機はC61)、長崎本線ではブルートレインも牽引している。また、両形式とも本来は旅客用だが、牽引力も十分なため高速貨物列車の運用に就くこともあった。

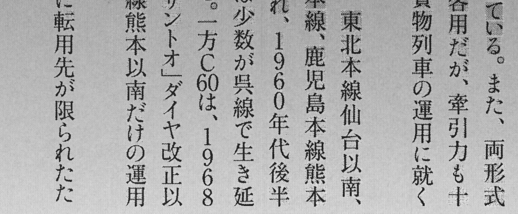
時代が流れ、東北本線仙台以南、東海道・山陽本線、鹿児島本線熊本以北が電化され、1960年代後半になるとC59は少数が呉線で生き延びるのみとなる。一方C60は、1968年の通称「ヨンサントオ」ダイヤ改正以降、鹿児島本線熊本以南だけの運用となっている。

大型機ゆえに転用先が限られたため、両形式とも国鉄蒸機全廃より早い時期に引退する運命にあった。そして、奇しくも1970年10月のダイヤ改正で、呉線と鹿児島本線全線が同時に電化され、C59とC60が揃って終焉を迎えた。

呉線で最後まで残っていたC59のうち、164号機は梅小路蒸気機関車館に収蔵されたが、残念ながら当初より静態で保存され、走る姿は見られない。

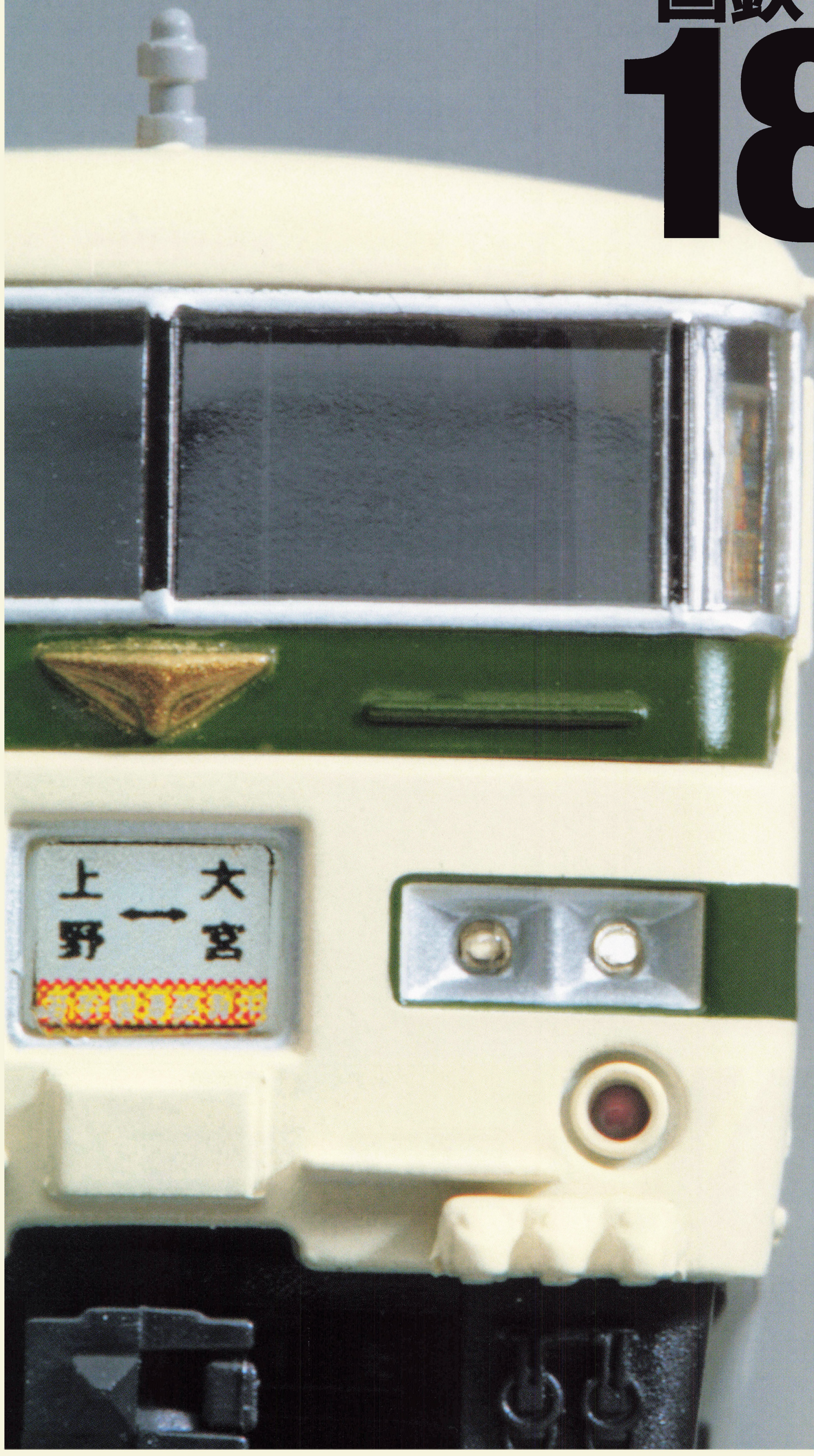
ブラウンとグリーンのC59

1954年、広島第一機関区配置のC59 67と広島第二機関区配置のC59 79が広島工場で特別な整備を受け、前者はブラウン、後者はグリーンに塗装された。黒以外の塗装の蒸機は明治時代の輸入機にあったが、国産機ではきわめて異例だった。



モノクロ写真でわかりにくいが、C59 67(手前)はブラウン、C59 79はグリーンに塗装された。衝撃的な製品だったが、いずれも実在したのだ。●ともにマイクロエース(参考品)





185系200番台●マイクロエース

国鉄185系 車両研究

クリーム地に斜めに走るグリーンのストライプ。１９８１年、斬新な姿で登場した１８５系は、２２７両が製造された。登場後、30年を経た今も全車がＪＲ東日本エリアで活躍。近年、湘南色への塗色変更や国鉄色への塗り戻しなどで、再び注目を集める同形式にスポットをあてる。

文◎編集部
模型写真◎金盛正樹

特急への転換期を象徴する電車

特急列車運用を前提としながらも、153系、165系などと同様に普通列車にも充当したい…。そんな難しい課題を抱えて開発されたのが185系だ。特急型ながら、既存のグレードに微妙に到達しないユニークな側面から検証していこう。

これまでの特急車両にないコンセプト

1970年代も後半になると、1958年に登場した153系の老朽化が目立ちはじめた。

関西地区では『新快速』として使われていたが、置き換え用として1979年に117系が登場。関東地区では『東海』『伊豆』などの急行で使われていたが、新車両への置き換えにあわせて特急格上げが決まっていたため、新形式は特急型として計画された。

しかし、その前提となる開発コンセプトは、従来の特急型車両とは大幅に異なり、次のような特急用と通勤輸送用という相反する要素が盛り込まれた。

・特急電車としてふさわしい構造
・通勤輸送に使える構造と性能
・117系を基本とした走行性能
・アコモデーションの改善

これは、それまでの153系が急行のほか、間合いで普通列車にも使われていたためで、185系では車格は特急になるものの、車両の運用は従来通りにしたいと考えられたのだ。

普通列車運用も考慮した設計

こうして1981年に登場した185系は、車体断面が117系と同様になり、183系などの特急専用車よりも車高が高くなっている。前面形状は非貫通で、特急型ほどではないが高めの位置に運転台を設置。片側2か所の客用扉の幅は、本来の特急型の700㎜から1000㎜に拡大された。また、乗

185系のルーツ？157系

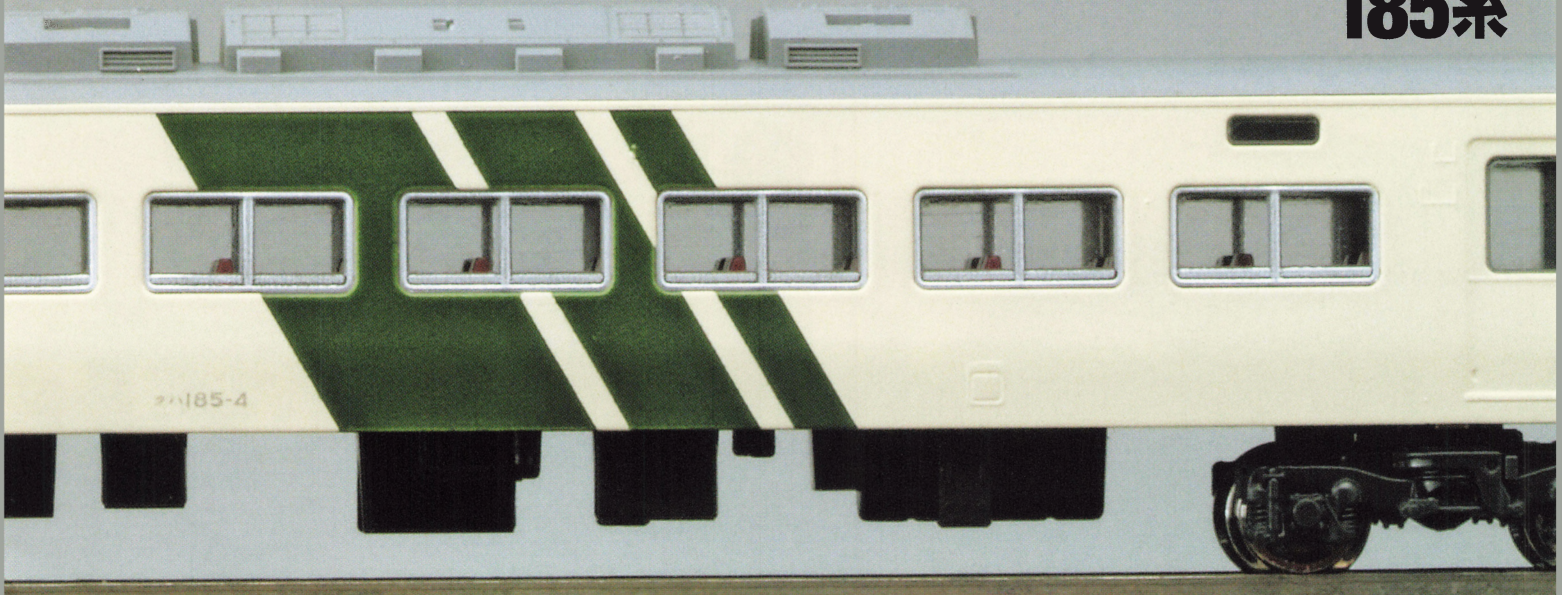
形状や運用から185系に「似ている」といわれるのが、1959年にデビューした157系だ。この車両は日光への観光輸送を目的としたデラックス準急『日光』用に、特急並みの豪華設備を誇った。

1964年からは東京と伊豆を結ぶ急行『伊豆』や特急『あまぎ』(69年)で活躍したほか、71年からは不定期特急『白根』にも充当された。いずれも後に185系に置き換えられた列車たちだ。



185系とは逆に「準急ながら特急並みの設備」を持つ157系。国鉄にしては異色の存在だ。晩年の特急『あまぎ』は、後に183系を経て185系『踊り子』になる。157系●KATO

国鉄
185系



降口にはデッキが設けられ、特急型らしい静粛性を確保した。

普通車の座席は0系新幹線普通車や117系と同様の転換式クロスシートとなり、183系などで簡易リクライニングシートが普及した時代にしては、やや見劣りのするものとなった。

側窓は、普通列車での使用を考慮して、上方に開閉可能なユニット窓を新開発。151系以降の特急型車両では、はじめて開閉可能となった。

普通列車運用への考慮は、走行性能にも現れている。歯車比は183系の1対3・50よりも大きな1対4・82と、近郊型と同じ比率（急行型より大きい）を採用。加速性能を重視した設定で、停車駅の多い普通列車でも扱いやすくされている。

そのため、最高速度は一般的な特急型の120km／hに対して、急行型の153系などと同じ110km／hに留まっている。

なお、当初は循環式汚物処理装置が準備工事とされていたが、これは車両基地の地上設備が間に合わなかったために、1982～83年にかけて取り付けられている。

兄弟車、117系

185系の技術的なベース車は、近郊型ながら転換式クロスシートを備える117系（京阪神地区の『新快速』用として1979年に登場）だ。

最高速度110km／h、歯車比は113系などと同じ1対4・82で、技術的には153系とも併結できるスペックだったが、117系＋153系の併結営業運転は実現しなかった。



戦前の流電を彷彿させる塗色も注目を集めた。非貫通・高運転台の前面は185系と似ているが、側面は同じ片側2扉ながら、デッキのない1300mm幅の両開き扉が近郊型らしい。手前から117系、185系（参考品）●ともにKATO

イロイロ検討された色

既存の概念を払拭した塗色は大いに注目を集めたが、このデザインに決定するまでには紆余曲折があった。従来の国鉄色のほか、「斜線」の形状や配色パターンまで、微に入り細にわたって検討されたのだ。



マイクロエースでは、2003年の4月と7月に試案塗色のうち10色を製品化。ここで紹介するのは、そのうち湘南色、ブルー、国鉄特急色の3色。●マイクロエース

Model Guide マイクロエース 185系

2010年3月に「ベストリニューアル」として、動力の最新仕様化とモハ185への搭載車の変更、クハ前面の汽笛カバー再現などの改良を施した製品が発売になった。写真はそのうちの200番台旧色。商品名は1999年発売品の「185系新特急」から「新幹線リレー号」となり、車体の標記類や同梱のシール類が『新幹線リレー号』時代のものとなった。



国鉄185系200番台「新幹線リレー号」・ベストリニューアル（7両セット/A4121/¥22,785）

Model Guide マイクロエース 185系

マイクロエースの185系は、前身のしなのマイクロ時代の製品を継承したもの。1999年12月に新旧『踊り子』色、新特急色、エクスプレス185の4モデルを発売。動力車がサロ185にあてがわれていたり、200番台なのに前面の汽笛カバーがないなど、しなのマイクロ製品時代ならではの大らかさが残っていた。



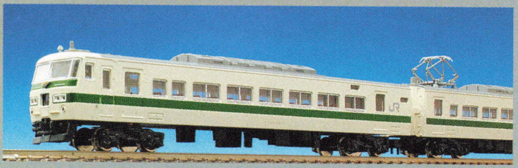
185系踊り子号
（7両セット/A4110/¥14,490）

クハ185-0 製造初年：1981年
（旧塗色）台車：TR69K



東京向きの先頭車で、偶数向きT'c車。117系では偶数車と奇数車を形式で分けたが、185系では番台で区分した。車体長は中間車より350mm長い19,850mm。緑色のストライプは60度の傾きで1,600mm、800mm、400mm。帯に重ならないように、車番がオフセットされている。●KATO（参考品）

クハ185-300 製造初年：1981年
（旧塗色）台車：TR69K



上野向きの先頭車で、奇数向きTc車。耐寒耐雪構造が強化され、空気笛の蓋や前位台車のスノープラウなどが特徴。碓氷峠ではこの車両がEF63と連結した。車番は切り抜き文字が車体中央に入れられたが、JNRマークは幕板部への転写標記だったため、JR化後は比較的早く消された。●KATO（参考品）



 185系0番台●KATO（参考品）

大胆なストライプで国鉄に新風を

1981年1月に落成した185系は田町電車区(現・田町車両センター)に配属され、3月26日の普通列車で初営業に就いた。

優等列車での運用は3月28日の急行『伊豆』の付属編成から。153系との併結が開発時より考慮されており、153系の10両基本編成に185系の5両付属編成を併結して運転された。

衝撃的だったのはその外観だ。クリーム色10号の車体色には緑14号の3本帯が斜めに入れられた。横向きの塗り分けが一般的だった国鉄型において、色もデザインもきわめて斬新だった。80年代の国鉄に「変革」をもたらしたカラーリングといえるだろう。

前面に特急マークとヘッドマークが付くのは従来の車両と同じだが、左右2連ずつ並んだヘッドライトや大型の前面窓なども新鮮だった。

急行『伊豆』でしばらく活躍した後、同年10月1日のダイヤ改正で伊豆行き列車が再編された。特急『あまぎ』と急行『伊豆』は統合されて特急『踊り子』となり、急行の特急格上げ分は185系が、『あまぎ』からの移行分は引き続き183系が充当された。

旧態依然の殻を破ったデザイン

0番台は東京～伊豆、200番台は上野～北関東を結ぶ列車で始動した。ここで注目されるのは両番台とも急行列車でのデビューという点だ。当時、各地で進捗していた急行の特急格上げという国鉄の営業方針が、汎用性の高い車の出現に結びついたのだろうか?

200系新幹線に合わせた塗色

0番台に続き、高崎・上越線で使われている165系の置き換えを目的に、耐寒耐雪仕様の200番台が1981年12月に登場。新前橋電車区(現・高崎車両センター)に配属され、急行『ゆけむり』や『あかぎ』などに充当され、165系を順次置き換えた。

185系の特徴だった斜めスト

Model Guide マイクロエース 185系

1994年12月から1995年6月にかけて、スキー列車『フルフル号』用に塗色変更された185系200番台。イラストが描かれた車体を2001年に再現して発売したところ、これまでにない塗色の再現技術で、マイクロエースの評判を一気に高めた記念すべき製品だ。2010年にリニューアル版が発売された。



185系200番台「シュプール」号フルフル塗装・ベストリニューアル(7両セット/A4141/¥23,940)

Model Guide KATO 185系

KATOでは古くから185系を製品化しており、0番台、200番台ともに旧色時代からラインナップ。現在は0番台、200番台ともに現行塗色に交代している。「エクスプレス185」の実車は強化型スカートに改造されているが、模型は改造前の姿。別売の増結用台車を使用すれば、14両編成も再現できる。



185系200番台「エクスプレス185」(7両セット/10-349/¥14,490)

東海道本線の名所、根府川～真鶴間を行く急行『伊豆』。シンプルな文字ヘッドマークが入っている。基本編成が185系0番台10連で、後方に153系の付属編成5連が連結されている。根府川～真鶴間にて　1981年4月　写真◎松尾よしたか



ライプは、1982年6月に大宮～盛岡間で暫定開業した東北新幹線に接続する『新幹線リレー号』(上野～大宮間)に充当するため、200系新幹線と統一感のある側帯になった。平凡に見えるが、関東の国鉄では珍しい塗色だった。

1985年3月14日のダイヤ改正で東北・上越新幹線が上野まで乗り入れを開始。『新幹線リレー号』は役割を終え、200番台は当初の目的通り高崎・東北線系統の近郊特急に充当された。



絵入りヘッドマークも誇らしげに、石内まで延長運転された185系200番台の新特急『谷川』。国鉄時代なので、側面幕板部にJNRマークが入る。越後湯沢～越後中里間にて　1982年11月21日　写真◎松尾よしたか

この際に急行の特急格上げがあり、高崎線に新特急『谷川』『草津』『あかぎ』が、東北本線に新特急『なすの』が誕生した。新特急とは、特急券を購入すれば定期券でも乗車でき、50km以内の自由席特急料金は当時の急行料金と同額に設定された列車だ。

また、この改正で余剰となった200番台4編成が田町電車区に転属。特急『踊り子』に充当され、横帯7連+ストライプ5連の混結編成も見られた。

0番台と200番台の違い

0番台は平坦・温暖な地域、200番台は寒冷・積雪地帯と運用エリアが区分されている。そのため200番台では、耐寒耐雪型パンタグラフPS16J、耐雪ブレーキ、クハ車前位台車へのスノープラウ装備、さらに床下配線・配管にも耐寒耐雪装備が施されている。



前面では、200番台にのみ前部空気笛にカバーが取り付けられている。右から0番台●KATO、200番台●マイクロエース

元祖『新幹線リレー号』

東北・上越新幹線の上野～大宮間の工事は遅れ、1982年6月23日に大宮～盛岡間、同年11月15日に大宮～新潟間が先行開業した。

そこで上野～大宮間の開業(1985年3月14日)までの間、新幹線利用者向けに接続列車『新幹線リレー号』が設定された。乗車には新幹線特急券が必要だった。



前面には飾り気のないヘッドマークが掲げられていた。11月15日の本開業までは、一部に455系や115系も充当されていた。185系200番台●マイクロエース

モハ185-0 (新塗色)

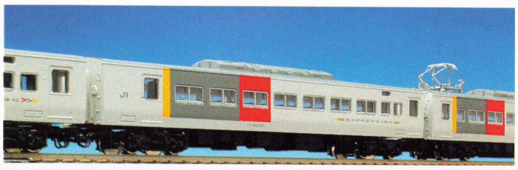
製造初年：1981年
台車：DT32H
主電動機：MT54D



主抵抗器や主制御器などの主回路機器とパンタグラフを搭載するM車。国鉄ではモハユニットの内側にパンタグラフを搭載するのが一般的だが、前年に登場した117系や201系と同様にユニットの外側に搭載される。写真は1999年以降のリニューアル車。●KATO

モハ184-200 (新塗色)

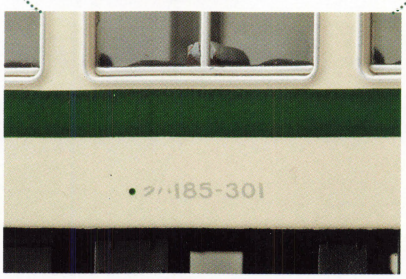
製造初年：1981年
台車：DT32H
主電動機：MT54D



電動発電機(MG)やMG起動装置、空気圧縮機(CP)、自動電圧調整装置などの補助機器類を搭載するM'車。前位に便洗面所を設置している。1000㎜幅の客用扉が片側2か所設けられているのが185系の特徴。写真は1995年以降のリニューアル車。●KATO

碓氷峠対策の200番台

185系200番台では、信越本線横川～軽井沢間の碓氷峠への入線を考慮して、台枠や連結器の強化、補機のEF63との連結(協調運転はしない)、空気バネパンク機能などの横軽対策が施され、編成も重量のあるモハを峠の下側(上野寄り)に集中させていた。同区間の下り最終・上り始発の普通列車のほか、季節特急『そよかぜ』や団臨列車にも充当された。



車両番号の左側には、丸いGマーク(横軽対策施工車)が表記されていた。1997年の碓氷峠廃止後は順次塗り潰された。

Model Guide マイクロエース 185系

2011年11月に発売されたばかりの、マイクロエースの最新の185系モデルのひとつ。2010年のリニューアル品と同様の改良が加えられたほか、クハ185-313の運転台側にマイクロカプラーを標準装備し、同時発売の湘南色と併結が可能。号車札も湘南色から連続した、8～14号車が印刷されている。



185系200番台「エクスプレス185」改良品
(7両セット/A4131/¥24,990)

国鉄
185系

国鉄
185系



2006年から大宮総合車両センター東大宮センターの所属となった185系200番台。波動用の183系がともに配備されるほか、団臨で運転される583系や、検測車のE491系『East i-E』と顔を並べることもある。右から583系●TOMIX、185系200番台エクスプレス185、185系湘南色、E491系『East i-E』●すべてマイクロエース



カラーを楽しむ 最後の特急型車両

1990年代半ばのリニューアル工事を経て、
185系は特急車両の風格を獲得したように思える。
さらにここへ来て、湘南色やリバイバル塗色も登場。
ステンレス車が増える中で、カラーバリエーションの変化を楽しめる
最後の車両として再び注目を集めている。



大胆にも湘南色に塗装された185系200番台。サロ185の窓下に入れられた等級帯がファン心をくすぐる。吹上～行田間にて 2010年10月10日　写真◎林 要介



185系0番台『踊り子』新塗色●KATO

分割・併合で多彩な運転を実施

185系と183系の2本柱でスタートした特急『踊り子』は、1985年3月の200番台車転属により185系に統一。183系は長野電車区に転属し、編成数の不足していた『あずさ』運用に補充された。

185系0番台には10両編成（A編成）と5両編成（C編成）がある。A編成は伊豆急行へ、C編成は伊豆箱根鉄道へと、国鉄時代から続く異色の乗り入れ運用は、個性的な185系にふさわしい。また、東京～熱海間では在来線特急最長の15両編成も見られる。

JR化以降、田町区所属車は細かな改良が加えられている。1989年にB編成（200番台転属車）のパンタグラフを中央東線の小断面トンネルに対応したPS24に換装。1990年にはC編成のパンタグラフを、追従性を高めたPS21に換装している。

Model Guide マイクロエース 185系

マイクロエースの新『踊り子』色は、7両編成の200番台車、B編成がプロトタイプだ。1999年発売品では0番台の前面だったが、2010年のリニューアルでしっかりと200番台の顔につくり直された。KATO製品と同じ塗色だが、編成が異なるのはユーザーにもありがたい配慮だ。



185系200番台 田町車両センター新塗装・ベストリニューアル（7両セット/A4151/¥22,785）

Model Guide KATO 185系

2011年10月に発売された、KATO最新の185系モデル。とはいえ、基本的には従来品と同じで、強化型スカートに変更された姿を再現。中間車のみの2両増結セットは従来品を継続している。スカートは0番台と100番台でつくり分けられており、別売の増結用台車で基本編成と増結編成の併結も可能だ。



185系0番台「踊り子」新塗色
（8両基本セット/10-219/¥16,485、
2両増結セット/10-225/¥2,678、
5両セット/10-220/¥13,440）

Model Guide KATO 185系

KATOの185系200番台は、現行の強化型スカートに変更される前の姿なので、2011年5月に発売された湘南色は、ラウンドハウスブランドのタイプモデルとなった。それ以外はKATOらしいクオリティでの製品。50周年の記念ヘッドマークは、印刷済みのプラ製パーツが同梱されている。



185系200番台 湘南色タイプ
（7両セット/10-925/¥15,750）

そのほか1990年代にはトイレやATC・ATS関連の改造を実施。編成ごとや、該当する一部編成のみという改造内容も多い。

リニューアル工事で特急らしく

1995年9月から97年3月にかけて、新前橋区所属車では普通車の回転式リクライニングシート化、グリーン車のシート交換などを実施。外装も上毛三山をイメージしたブロックパターンに塗色変更され、「EXPRESS 185」のロゴが入れられた。

田町区所属車も1999年6月から2002年3月にかけて、同様の内外装の改造を施工。外観はストライプから、湘南色のブロックパターンに変更され、同時に普通列車兼用で物足りなかった車内設備も特急用車両らしく一変した。

また車両基地の再編により、新前橋区所属車は2006年から大宮総合車両センター東大宮センターの所属となった。

これまであまり脚光を浴びることがなかった185系だが、最近になって新たな注目も集めている。

2010年10月に「特急草津号50周年感謝キャンペーン」の一環として、OM03編成が80系を模した湘南色で登場。さらに2011年7月には、田町区のA8編成が登場時のストライプ塗色に復元された。

185系も登場から30年が経過し、転配などによる置き換え計画が立てられているという。今のうちに、乗ったり撮ったりして記録しておきたい隠れた名車だ。

参考資料
鉄道ピクトリアル（No.838 2010年9月号）
電気車研究会
形式185・117系　イカロス出版

貴賓車クロ157との関係

1960年に登場したクロ157は皇族の小旅行や外国からの賓客用に活躍した。当初は157系に組み込まれて運用されたが、1980年以降は183系1000番台、1985年以降は185系と編成を組んだ。

157系時代は車高が揃っていたが、車高の低い183系とは凸凹編成となった。185系との組み合わせでは再び車高が同じになり、統一感が出た。



157系・183系時代は写真の特急色だったが、185系に交代後はクリーム10号に緑14号の帯となった。1993年以来運転されてないが、現在も車籍は残っている。クロ157●KATO

185系の強化型スカート

JR東日本では2005年頃から在来線車両のスカート（前面排障器）を強化型に変更し、既存の車両も交換改造を実施。185系でも2010年頃から強化型に交換された。

ただし田町車は東京総合車両センター、大宮車は大宮総合車両センターと施工工場が違うため形状が異なる。



従来よりも大きな強化型スカートが装備されて、外観の印象が変化した185系。右から0番台●KATO、200番台●マイクロエース

80系と似ている？湘南色比較

特急『草津』の50周年を記念して2010年10月に登場した湘南色の185系200番台。モチーフは1960年当時に使用されていた80系だ。両者の類似具合を並べて比較してみよう。80系●KATO、185系●マイクロエース



おでこと裾部が特徴的な前面の塗り分け。上部のヘッドライトがないので印象がだいぶ違う。腰板部は前照灯とヘッドマークで欠けてやや分かりにくい。



かつて2等車やグリーン車の窓下に入れられていた等級帯も、サロ185に再現された。金色の窓枠と合わせて、特別感を高めている。

国鉄 185系

サロ185-0（新塗色）　製造初年：1981年　台車：TR69K



グリーン車は他の国鉄特急型と同様の狭窓だが、普通車と同様に開閉可能だ。0系新幹線のグリーン車の乗降扉にならい、レモンゴールド色に着色された窓サッシがサロ185の特徴。10両編成にサロが2両連結されるのは今や珍しい。写真はリニューアル車。●KATO

サロ185-0（湘南色）　塗色変更年：2010年　台車：TR69K



往年のグリーン車を再現した窓下の緑帯が目を引く、湘南色のサロ185-206。耐寒耐雪構造が強化されたほかは0番台とほぼ同じだが、200番台では3位車端部に臭気抜きの小窓が追加された。乗降口は片側1か所だが、普通車と同じ1000㎜幅だ。●マイクロエース

Model Guide マイクロエース 185系

2011年11月に『エクスプレス185』の改良版と同時発売された湘南色。こちらは強化型スカートが再現されている。7号車のクハ185-206にマイクロカプラーが装備され、『エクスプレス185』と併結可能。号車番号は1～7号車が印刷されている。また、プラ製パーツに印刷された50周年記念ヘッドマークが付属する。



185系200番台 湘南色 特急「草津」
（7両セット/A4132/¥24,990）

匠の妙技 stage Ⅱ

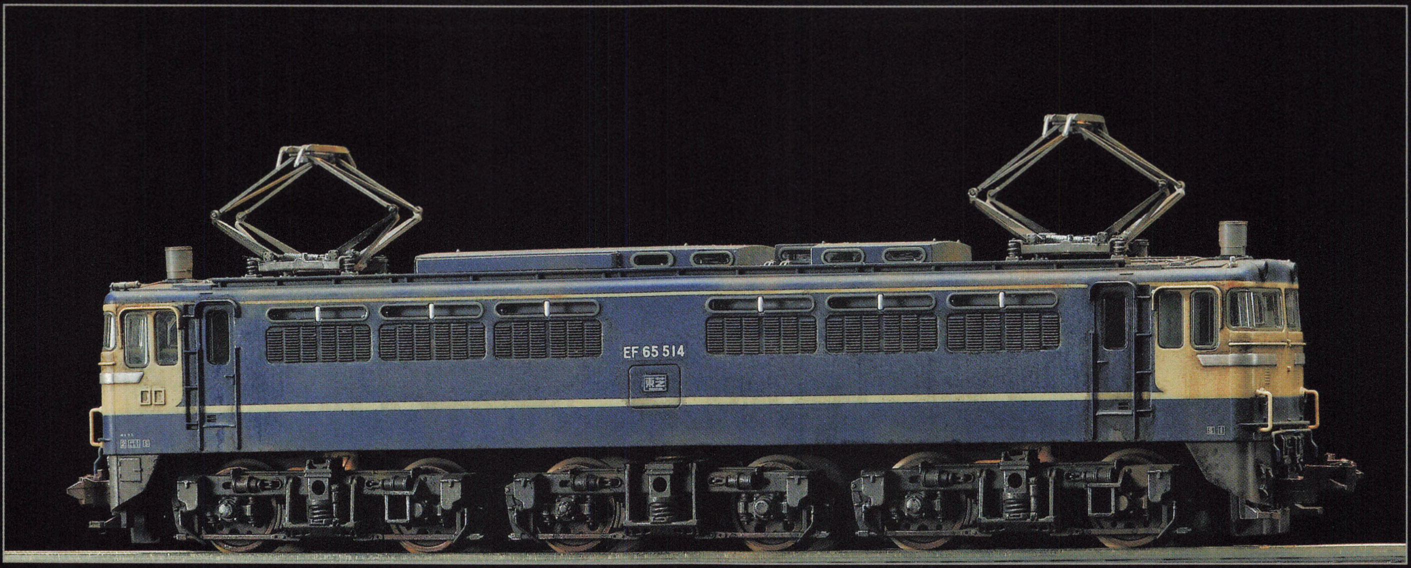
走り込んだ姿を描き込む醍醐味

諸星昭弘
撮影◎奈良岡忠



500番台の「顔」はどことなく気品があると思う。
ブルートレインのイメージがあるからだろうか。





貨物機ということを印象づける意味もあり、車体のブルーに退色の表現を加えた。

この青い車体を見て一番に思い浮かぶのは、１９７０年代のブルートレインブームだ。ＥＦ65の牽く寝台特急を追い求め、多くの少年がカメラを手にホームに立っていた。私もその中の１人である。鉄道模型を始めたのと同時期だ。

そんな今回のお題「ＥＦ65」にハードなウェザリングを施すにあたり、貨物牽引用に製造されたＦ形をチョイスした。少年時代の記憶にあるのは、輝くＰ形のボディ。その記憶は時を重ねるごとに美化され、ますます輝かしいイメージだけが強調される。その記憶と資料とのギャップがおもしろい。

ウェザリングは「汚し塗装」とも言われるが、決して汚くするのではない。むしろその逆である。実

機関車の好みの姿を自分の手で再現する



車は定期的に磨いて美しさを保つが、走り込んだ状態こそがその機関車らしさであり、それを描くのがウェザリングの醍醐味だ。

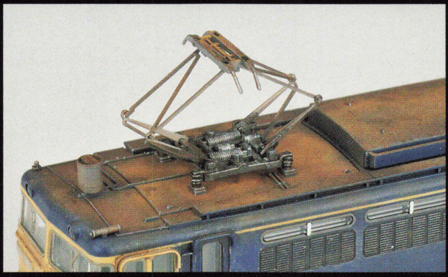
だがその程度は私たちの「好み」に任されている。記憶の中にある輝く車体も、油や汚れを身にまとった貨物機もどちらも美しい機関車の姿なのだ。自分の手でその姿を再現するのがメイクアップの楽しさである。

この「匠の妙技」は今回で最終回を迎える。ご覧いただいた方々に深く感謝を申し上げたい。





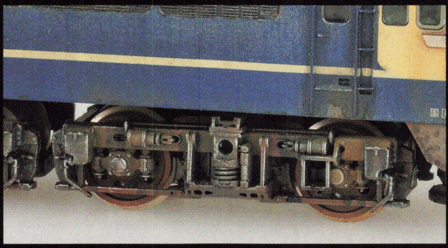
ボディの角に薄く錆が流れている機も多い。
クリーム色とのコントラストが強くなりすぎないように、
エアブラシで軽く吹き付け。



パンタグラフ下は錆の赤みを強くした。
パンタグラフの印象を強くする効果がある。



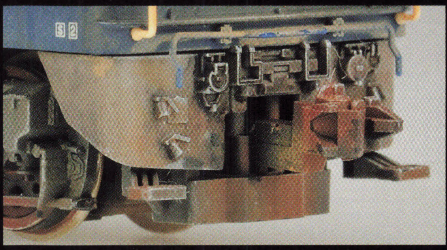
機関車としてはすっきりとした屋根。
広い面に深みを出すには、
色を重ねていくのが効果的である。



表情が豊かな機関車の台車。
機械部分の仕上げは、銀色での
ドライブラシが効果的である。



クリーム色の部分に汚れがかかり、
ラインに強弱が付く。その強弱のバランスを
考えながら雨だれを表現していく。



連結器やスカートはディテールが集中している。
細かいチップ（剥げ）を描き込む。
各種ペンや鉛筆なども使用できる。



ハードウェザリングになればなるほど、
色の置く場所とその程度が重要になる。
特に錆色の使い方が重要になる。





1day Modeling

お手軽改造にチャレンジ!

講師●宮城幸路
(ホビーショップカシオペア)
写真●米山真人

今回のお題

伊豆急行2100系『リゾートドルフィン号』タイプ

用意するもの

車両
KATO 伊豆急行2100系『リゾート21』7両セット

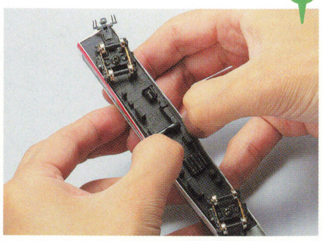
パーツ
KATO LED室内灯 クリア(11-211)7両分

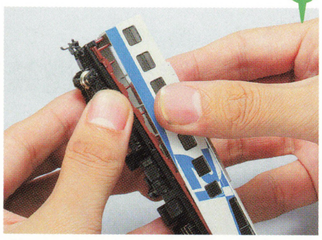
伊豆急行の開業50周年を記念し、開業時に走っていた100系の塗色に塗り替えられた伊豆急行の『リゾートドルフィン号』。2011年10月22日の営業運転開始以来、脚光を浴びている。KATOのロングセラーモデルを用意し、さっそく塗り替えに挑戦してみよう!

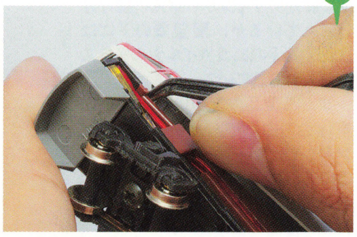
phase 01

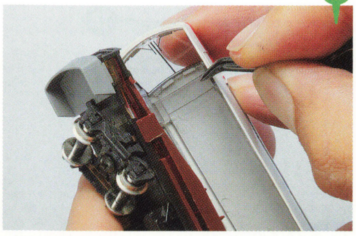
車体の分解

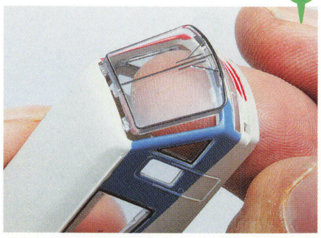
車体の分解方法は一般的なKATO製品と同様、車体裾を両側に開いて床下を取り出す。先頭車は力ずくで分解しようとすると、ライトユニットが引っかかってバラバラになりやすく修復が面倒なので、注意しながらバラしていこう。
全塗装するので、窓パーツ類は外しておく。側窓は小窓側(青色側面)のみ外すが、天井をまたいで反対側面(赤色側面)のドア窓まで一体で成型されている。やや外しにくいので、外側から押し込み、内側からピンセットで隙間を広げて取り出す。

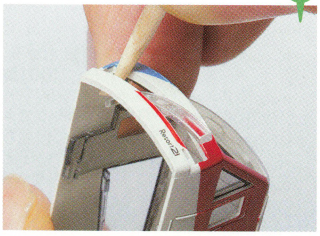

1 まずはボディの左右側面にツメを入れ、両側に開く。

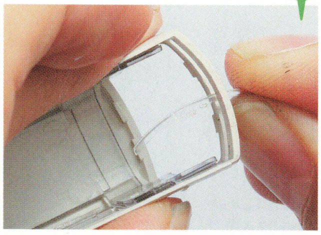

2 床下を取り出す。先頭車はライトユニットで外しにくいので、後ろ側から取り出す。


3 ライトユニットに引っかかって外しにくい場合は、ピンセットの先端を差し込んで裾をやや広げる。


4 裾が広がると窓裾のツメも外れやすくなる。ライトユニットが分解されてしまうと、再組み立てが面倒なので慎重に。


5 前面窓は内側から指で押し出せば簡単に外せる。


6 ライトまわりのクリアパーツは、爪楊枝でどちらかの端を外側から押し込む。

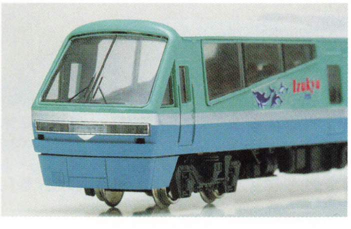

7 押し込むと中央を軸に回転するので、ライトまわりのパーツが取り外せる。

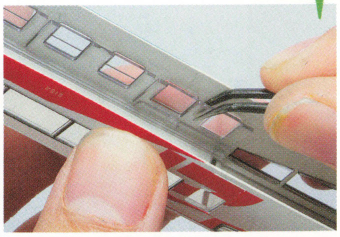
実車解説

『リゾートドルフィン号』

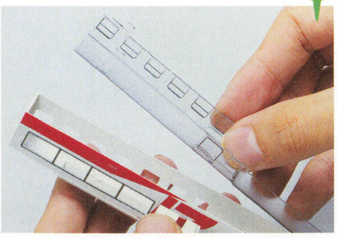
1985年に登場した伊豆急行2100系『リゾート21』は、観光地らしく普通列車用ながら前面や側面の展望を高めた車両で、伊豆急の人気を一気に高めた。
今回取り上げた『リゾートドルフィン号』は、伊豆急の開業50周年を記念し、2100系3次車を開業時の100系のカラーリングに塗色変更したもの。伊豆急のイメージを打破した『リゾート21』が、当時の主力車種の色をまとうのも不思議なものだ。
加工したKATOの『リゾート21』は2次車なので、ワイパーの向きや中間車のイベントスペースの有無などの差異がある。

意外と似合っている!?『リゾートドルフィン号』。これにより、オリジナルカラーの『リゾート21』は消滅した。

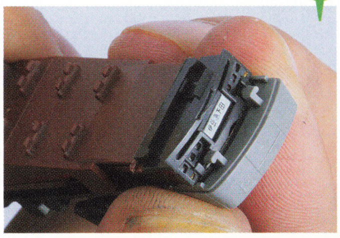




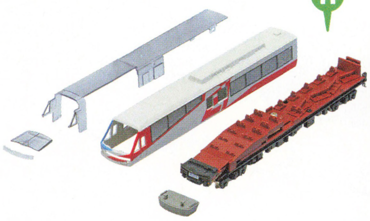
8 窓パーツは小窓側（青色側面）のみ大きな一体成型になっている。外側から押し込み、ピンセットで隙間を広げて取り出す。



9 乗務員室の側窓まで一体なので、傷付けないように取り出そう。連続窓（赤色側面）は外さない。



10 スカートも塗り替えるので、忘れずに取り外しておこう。

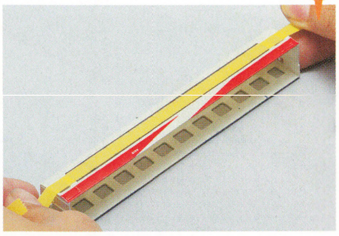


11 バラバラに分解された先頭車。赤色側面の連続窓（中間車を含む）と展望席の側窓は、マスキングして窓枠を塗装するため、付けたままでよい。

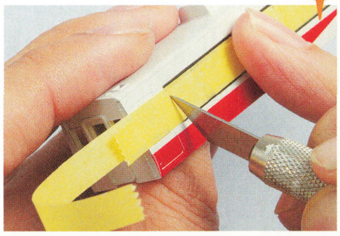
phase 02
窓のマスキング

『リゾートドルフィン号』の窓枠は車体色に塗られている。再現する方法はいくつかあり、窓パーツを外して筆塗りでもいいが、直線がメインな上に取り付け時に塗装が剥がれやすそうなので、作例では連続窓をマスキングして車体と一緒に全塗装した。

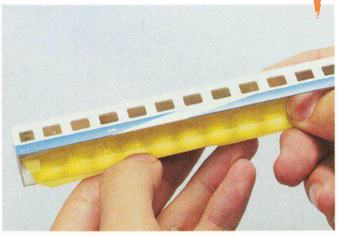
もっとも、どちらの方法も手間はかかるので、面倒なら分解時に連続窓も外し、窓枠の塗装を省略するのも手だ。この辺は時間と技量で判断してほしい。ちなみに小窓側は数が多くマスキングも大変な上、連続窓ほど剥がれても目立たないので、筆塗りとした。



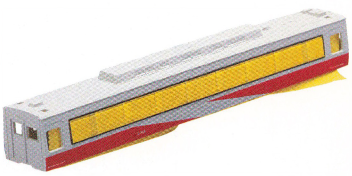
12 連続窓にマスキングテープを貼る。窓枠も塗装されているので、窓部分のみ覆うのがベスト。面倒なら連続窓も外してしまおう。



13 窓に塗料が吹き込まないように、マスキングテープを密着させ、よく切れるデザインナイフを用意し窓枠部分でカット。

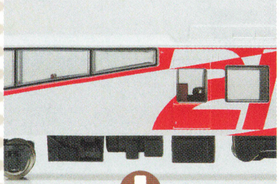


14 さらに内部から吹き込まないように、連続窓の内側もしっかりマスキングする。

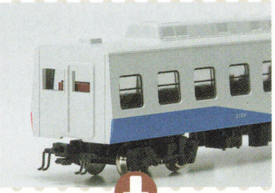


15 マスキングの終わった連続窓側。窓枠以外に塗料が入り込まないように、もう一度しっかり確認しよう。

Modeling Point



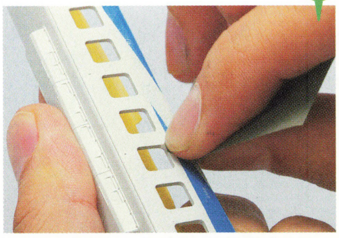






ポイントは伊豆急行開業以来の名車、100系に由来するカラーリングだ。先頭車のドアは「21」をモチーフにしたデザインから平凡に塗り分けられているが、展望室の下には「Izukyu」のロゴやイルカのイラストが入れられている。

また、製品の妻面は実車同様に車体色の白だが、『リゾートドルフィン号』ではツートーンが塗られているので、きちんと塗り分けた。さらに貫通扉にも色を塗り、模型としての見栄えを高めている。



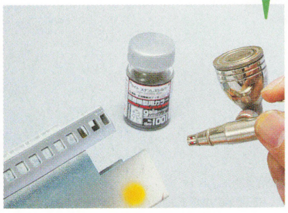
16 作例では塗装前に元の印刷の段差消しはしていないが、気になる場合は1200番以上の耐水ペーパーで磨いておく。

phase 03
車体の塗装

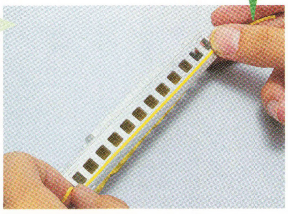
車体の塗装は、まずツートーンを引き締める銀色のラインから。銀塗料は剥がれやすいが、作例で使ったガイアノーツ1001番『ライトステンレスシルバー』なら、塗装後も問題なくマスキングできる。ほかの銀色を使う場合は帯色を最後にしよう。

車体色のペールブルー（上半分）とハワイアンブルー（下半分）はどちらから塗ってもよいが、作例ではペールブルーを先に塗装した。

屋根は車体と一体成型されているので、ボディ全体をマスキングしてから、ガイアノーツ071番『ニュートラルグレーI』もしくはGM37番『白3号』で塗装する。



17 まずはラインの銀色から。作例のガイアノーツ1001番『ライトステンレスシルバー』は、問題なくマスキングできる。薄めに希釈して何回も吹き付けるときれいに仕上がる。



18 銀色が乾燥したら、1.5mmのアイスマスキングテープで帯のマスキングをする。



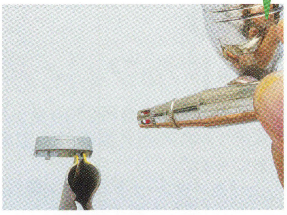
19 前面には行先表示器の下にV次形のラインが入るので、忘れないようにマスキング！



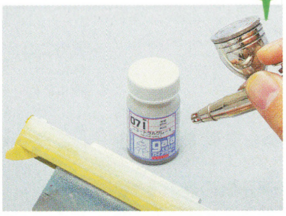
20 GM41番『ブルーC（伊豆急ペールブルー）』をマスキングより上を中心に、薄くいろいろな方向から吹き付け塗装する。



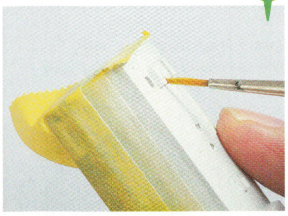
21 上半分が乾いたら、しっかりマスキングしてGM42番『ブルーD（伊豆急ハワイアンブルー）』を塗装する。



22 スカート部品も忘れずにGM42番『ブルーD』で塗装しよう。



23 屋根は車体と一体成型なので、ボディをしっかりマスキングして、ガイアノーツ071番『ニュートラルグレーI』で塗装する。GM37番『白3号』でもいいだろう。



24 『リゾート21』のパンタグラフまわり（特にヒューズボックス周辺）は意外と塗料がまわりにくいので、吹き残しがある場合は筆でタッチアップしておく。

今回使った塗料

車体のツートーンは、グリーンマックス（文中はGMと略）41番『ブルーC』、同42番『ブルーD』を使用。以前はそれぞれ『伊豆急ペールブルー』『伊豆急ハワイアンブルー』の名称で発売されていただけに、それだけで伊豆急らしく仕上がる。

銀色の帯にはガイアノーツ1001番『ライトステンレスシルバー』を選択。銀色はマスキングをすると剥がれやすいが、この塗料なら大丈夫なので1色目に使用した。

もしGM8番『銀色』、同39番『アルミシルバー』、GSIクレオス8番『シルバー』などを使う場合は、アルミ粒子の固着力の関係から銀色が安定しにくいので、帯は車体色を塗って最後に塗装するとよい。

メーカー	品番	塗料	用途
グリーンマックス	37	白3号	屋根（別案）
	41	ブルーC（伊豆急ペールブルー）	車体色上半分
	42	ブルーD（伊豆急ハワイアンブルー）	車体色下半分
ガイアノーツ	1001	ライトステンレスシルバー	車体帯・パンタグラフ
	071	ニュートラルグレーI	屋根
	P-01	ガイアマルチプライマー	パンタグラフ下地処理

▶左からグリーンマックス41番『ブルーC』、42番『ブルーD』、ガイアノーツ1001番『ライトステンレスシルバー』、071番『ニュートラルグレーI』、P-01番『ガイアマルチプライマー』。



phase 04
細部の色差し

車体の塗装が終わったら、最後に小窓の窓枠を筆塗りする。片側とはいえ7両分と数が多いので、大変だが効果は十分にある。窓にはみ出さないようにコツコツと根気よくやっていこう。

注意したいのは窓パーツのはめ込みだ。車体と擦れて剥がれ落ちてしまう場合があるので、最大限の注意を払い、剥がれたらタッチアップで修正しておこう。

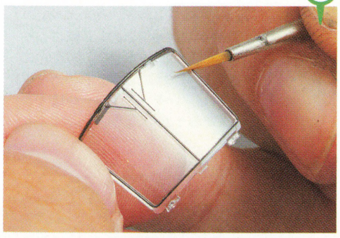
ここまで聞いて、色差しが多くて面倒だと思うなら、連続窓ともども、窓枠の塗装を省略してもいいだろう。

25



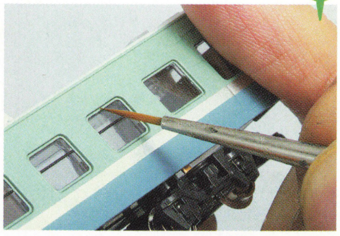
山側の客室窓（小窓）を色差しする。GM41番『ブルーC（伊豆急ペールブルー）』を筆でていねいに塗装するが、数が多いので気長に塗っていこう。

26



前面窓の窓枠も忘れずに塗装しておこう。

27



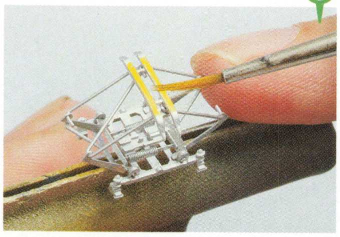
塗り終わったら窓パーツをボディにはめ込むが、この時に剥がれてしまう場合があるので、見つけたら筆でていねいにタッチアップ修正する。

28



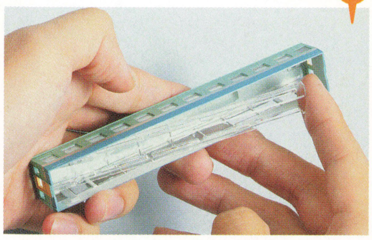
作例ではパンタグラフも塗装した。パンタグラフは金属製なので、そのままではプラスティック用塗料が乗らないため、必ずプライマーで下地処理をしてから塗装する。

29



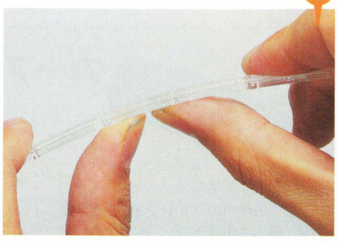
シューはカッパー色などで色差しをしておくと効果的だ。

30



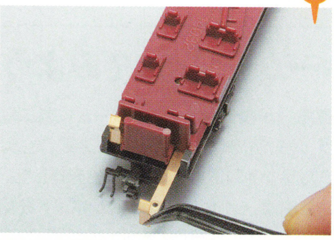
KATOから新しく発売された『LED室内灯 クリア』を天井に組み込む。従来のようにアルミ箔シールを貼る必要はない。

31



先頭車は客室部分のみ入れるので、板チョコを折る要領で溝に沿って導光材を短くカット。

32



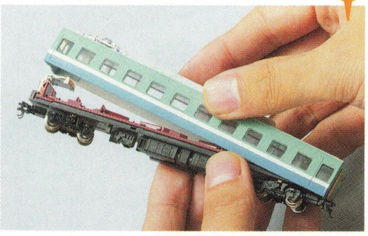
床板の台座両脇にある隙間に、集電シューを差し込む。

phase 05
仕上げ

塗装が終わり十分乾燥したら、傷を付けないように車体を組み立て直す。今回はKATOから新しく発売された高照度の室内灯『LED室内灯 クリア』を組み込んだ。従来の室内灯よりはっきり発光するので、『リゾート21』のように側窓が大きい車両には効果的だ。

使い方は従来よりも簡単だ。導光材を中間車はそのまま、先頭車は客室部分の長さに折り天井に組み込む。床板に集電シューを差し込み、導光ユニットを付けて車体を被せれば完成だ。また、作例では自作デカールを貼り付けた。詳細はコラムを参照してほしい。

33

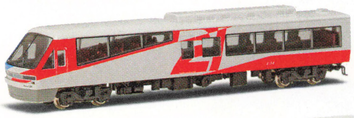


導光ユニットの集電端子が集電シューと接触するように台座に組み込み、再びボディと合体させる。



完成!

Before





After

自作デカールに挑戦

名前の由来にもなっているドルフィンマーク。なくても様になるが、もし窓枠まで塗り分けたなら、デカールも入れて完璧に仕上げたい。

作例では写真からパソコンで自作した。自分で撮影した写真がなくても、インターネットで検索して画像を保存すれば大丈夫。フォトショップなどの専用ソフトがあるとイラスト周囲を透明に抜けるが、なくても同色の車両だからそれほど違和感ないだろう。

サイズ調整もワードへの画像貼り付けでできる。普通紙に出力して現物合わせでサイズ調整し、OKになったらデカール用紙に印刷。あとは一般的なデカールと同様に貼り付ければよい。



◀プリンター用紙で自作したデカール。Izukyuロゴだけなら、KATOの現行製品の模型をスキャンし、ソフトで色を塗り替えれば製作できる。



◀デカールを切り出し水に浸したら、貼り付け位置に『マークセッター』を塗布。その上にデカールを貼り、乾燥したら上から『マークソフター』を塗って固着させる。



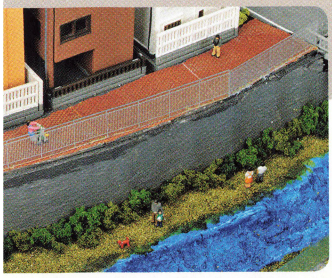
◀ドルフィンマークは、両先頭車の展望席部分と3号車のトイレ部分に入る。このほか、先頭車の前面と乗務員室扉後方には開業50周年記念マークも入るので、こだわり派は挑戦してみては!?

今回のテーマ

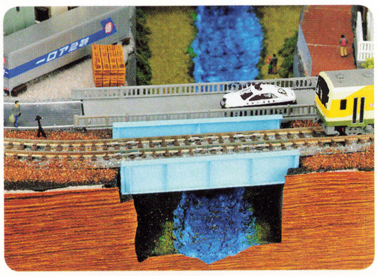
「橋のある風景」

場所はいるし、お金もかかる…。
レイアウトはほしいけど、
ついあきらめてしまうファンも少なくない。そこで！
簡単でお手軽、しかも低コストでコンパクト。
ビギナーにもつくれて、見た目もそこそこ…。
いいこと尽くしの楽しく遊べるレイアウトを大提案！

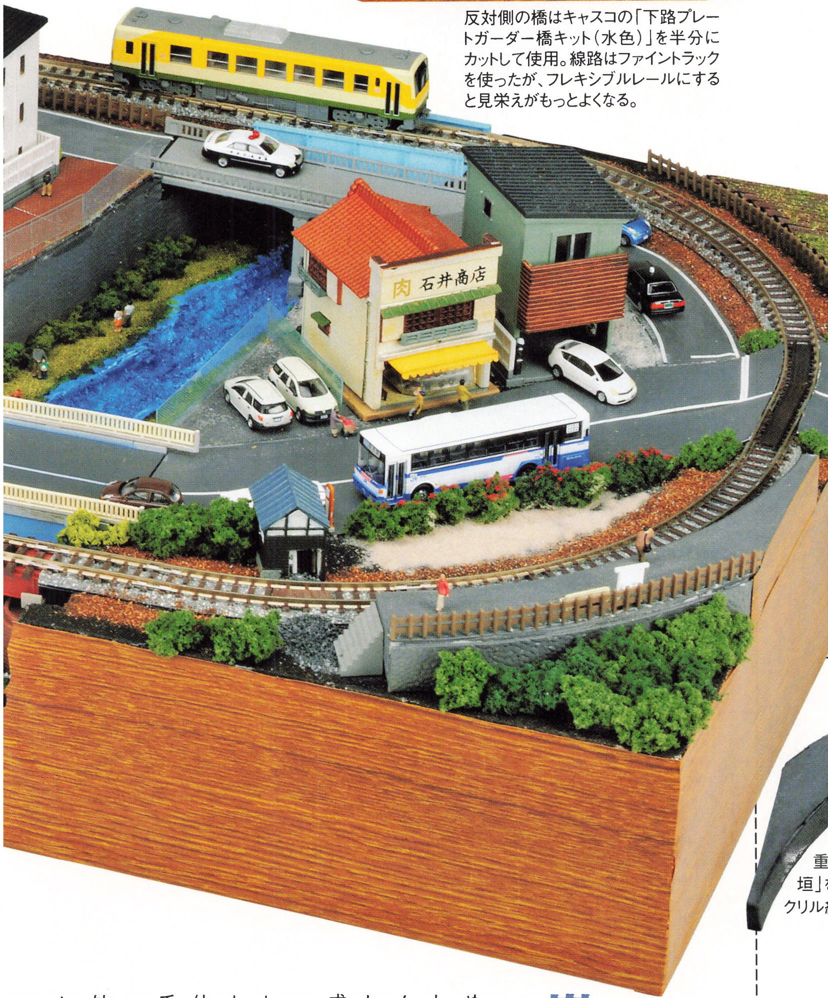
講師◎模型情景舎　完成写真◎奈良岡 忠



河川敷にはターフを撒き、絶壁沿いに明緑色と緑色のフォーリッジを置いた。川沿いの歩道のフェンスは、キャスコの「パイプフェンス」を使用した。



反対側の橋はキャスコの「下路プレートガーダー橋キット（水色）」を半分にカットして使用。線路はファイントラックを使ったが、フレキシブルレールにすると見栄えがもっとよくなる。





駅舎のストラクチャーでは大きすぎるので、ジオコレ「駅前セット」に含まれていた便所を改造。駅名板を付け、バス停を立てれば紛れもなく駅だ。

嵩上げをして橋を架けよう

今回は「橋」を取り入れるため、レイアウトの中心に川を配した。そのため、スタイロフォームを用いて地面を大きく嵩上げし、川を一段下がった位置に作成した。

川は奥を細く、手前を広めにして遠近法の効果を狙ってみた。また川の色は、ディオラマ全体を明るい印象にするため、派手目にしてある。

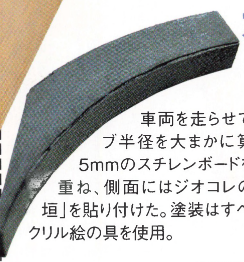
全体のイメージとしては、郊外の開発がはじまった住宅地とし、新しい住宅を川沿いに並べてみた。その向かい側には畑をつくり、まだ開発途中の雰囲気も演出。駅は無人駅で、駅前に小さな商店を1つ置きローカル線の風情を出した。

橋は鉄道橋2本、道路橋2本の計4本が架けられている。このうち鉄道橋はTOMIXの「デッキガーダー橋」のほか、キャスコのペーパー製品を半分の長さにして使用した。ペーパーなので簡単に切れ、組み立てもしやすかった。値段も安いのでおすすめだ。

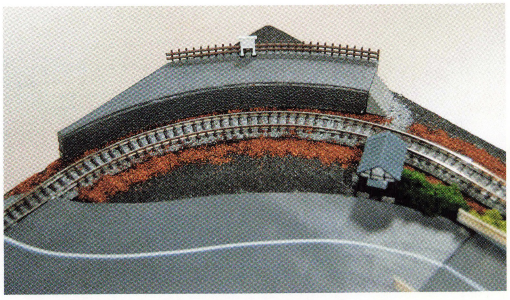
カーブホームをつくってみよう

直線部分が橋になるので、ホーム位置に悩んだが、消去法でカーブホームに決定。ただ、既存の製品では対応できないので、自作した。

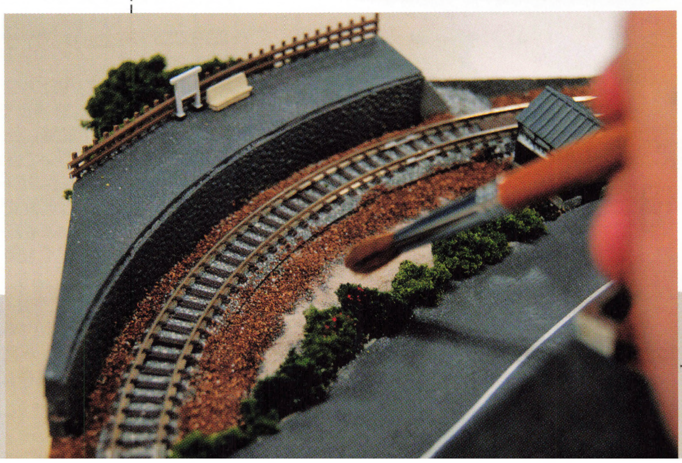
工法は簡単。5mm厚のスチレンボードを切り出し、ジオコレの「石垣」を貼っただけ。駅名板などを立てればホームのでき上がり!



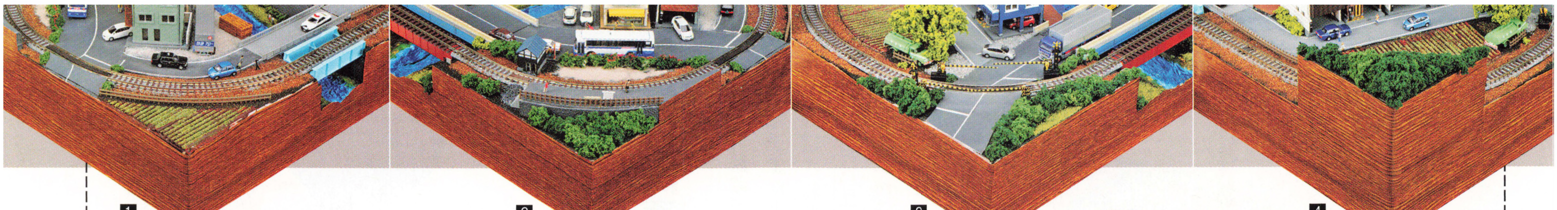
車両を走らせてカーブ半径を大まかに算出。5mmのスチレンボードを3枚重ね、側面にはジオコレの「石垣」を貼り付けた。塗装はすべてアクリル絵の具を使用。



他製品で余った柵や駅名板を付け、ホームをディオラマに設置。端部に階段を付け、駅舎からは構内踏切で渡る設定にした。



道路と駅の境界に、フォーリッジで植え込みをつくった。いまひとつ華やかさに欠けるので、ドライブラシの要領で赤い絵の具を付けてみた。



1 2 3 4

1 四隅の1か所は定番の畑に。段ボールの芯に着色をして、黄緑色のパウダーを振りかける。
2 こちらは手づくりのカーブホームを設置。隙間にフォーリッジを置けば、それらしくなる。
3 大きな通りを角に抜けさせ、踏切には遮断機を設置。道路のラインはICテープを使用した。
4 木目シートが目立つ一角は断崖絶壁。不要になったスタイロフォームを重ねて作成した。

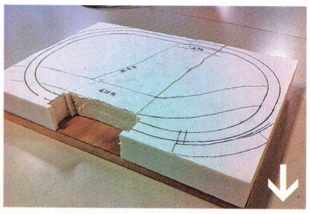
角地に変化を付けよう

モジュールの中央を大きな川が横切るため、盛り込みたい要素は角地につくるしかない。ということもあり、今回はカーブホームを持つ駅も出現。独特の表情を与えてくれる。

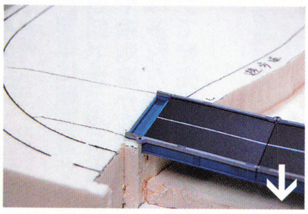


土台のつくり方

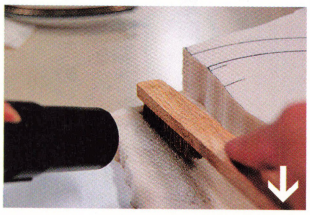
橋を架けるには川が必要。川をつくるには高さが必要だ。これまでは木製パネルの上にケント紙を貼って情景を製作していたが、今回はスタイロフォームで嵩上げし、川を彫っていった。



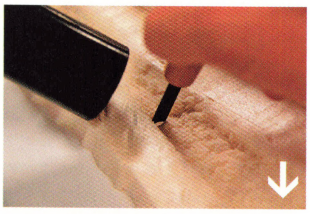
薄いスチレンボードをタッカーでパネルに固定し、その上に「スチのり」でベージュのスタイロフォームを貼り付けた。線路、道路、川などの配置を決めてカットする。



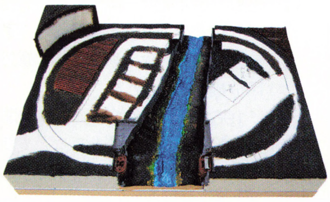
橋を設置するところは一段彫り込んでおくと、橋を設置した時にぴったりはまる。



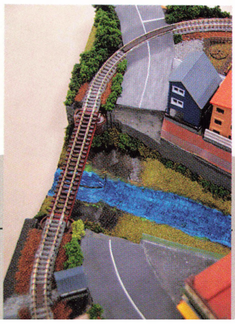
スタイロフォームをワイヤーブラシでこすって、川底の凹凸を表現。



さらに彫刻刀も用いて、川底をもっとゴツゴツさせた。



川底、畑、川沿い、その他と地面をアクリル絵の具で塗装する。それぞれ少しずつ色を変えるのがポイント。線路や建物のところはあえて塗装しなかった。



橋の下は日が当たらず、草が生えていない様子を表現。植物が育たずジメジメしている感じだ。この部分の川底のみ、木のチップを使った「木粘土」を使用した。



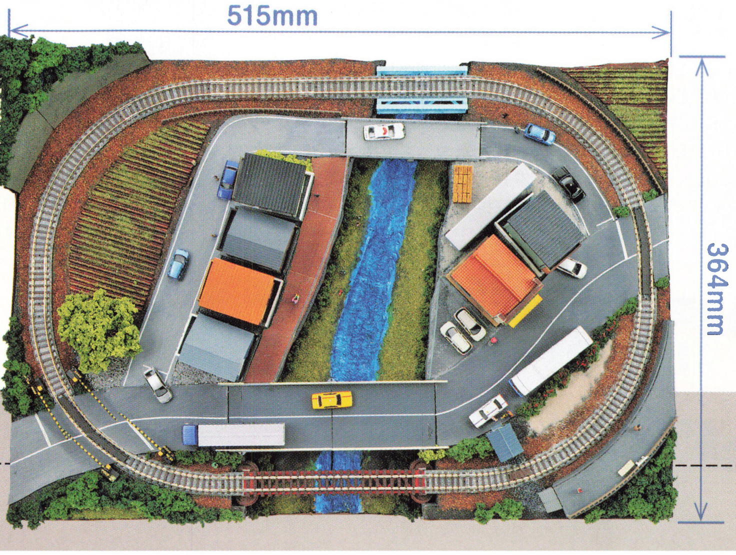
ジオコレの「狭小住宅」なら、小面積でも家を多く建てられる。外側を畑にして、ディオラマの開放感も高めている。

ディオラマなら橋を架けたい！

道床付きレールのラインナップに橋脚は定番だが、お座敷レイアウトでは使いづらい。それだけに、ディオラマをつくるなら組み込みたいアイテムとして人気が高い。

ポイントは中央を二分する川の造形。自然に見えるように、直線的にならないようにしたい。また、このサイズでは既製品の橋は意外と大きく、そのまま使うと直線部分をほとんど占めてしまうので工夫が必要だ。

道路はトレーシングペーパーで型紙をつくり、ケント紙で作成して塗装した。踏切のスロープもケント紙だ。



B3（364×515mm）の木製パネルをスタイロフォームで嵩上げし、中央に川を渡した。線路と道路の橋を4本も設置して、川と橋の存在感を高めている。線路の外周には、全体に渡ってターフを撒いた。

ユ&ニに詳しくなる

郵便車 荷物車

Vol.04

郵便・荷物気動車

気動車の郵便・荷物車は輸送量が小さいため、普通列車などに連結できる合造車が一般的だ。古くなった車両や余剰車からの改造車が多いため、バリエーションは多彩だ。ここではNゲージで発売されている車両を中心に解説していこう。

文◎高橋政士　模型写真◎米山真人

西高東低の車両配置

気動車が投入される線区は輸送量が小さく、旅客列車に併結されての運転が多いため、キハユニやキユニなどの合造車が多く、全室タイプは少数派なのが特徴。特に全室郵便車はキユ25のみだ。

気動車は戦後になってから本格的に登場したため歴史が浅いが、郵便・荷物車は戦前の機械式や、戦後の気動車黎明期の電気式を改造した車両が多く存在している。

それらはもともとの種車が少数で、さらに地域の実情に合わせて改造されたものが多いので、1形式あたりの両数が少ない。これら改造車は西日本に多く配置され、東日本にはキハ20系のキハユニ26が大量に配置されるなど、改造車の配置は西高東低だ。

気動車の荷物専用列車は少なく、常磐線のみに見られた。



会津若松で停車中のキハユニ26-41以下3連。2両目がキハ51、3両目がキハ40という、塗色も車体断面も凸凹列車。写真◎高橋政士

旧型気動車

キニ05

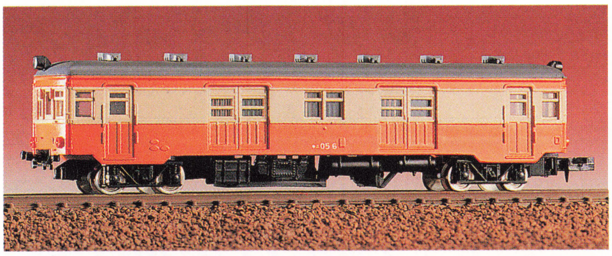
戦前の機械式ガソリン動車のキハ04を、戦後ディーゼル動車として再製造したうち、機関にDA58を搭載したキハ05（キハ41400）の改造車。戦後製の車体は溶接で製造されたため、戦前製のキハ04とくらべ車体にリベットがないのが特徴だ。

制御方式は機械式のままで、単独走行時は機械式気動車として自走できるが、このままでは液体式気動車と総括制御ができないため、併結する際は無動力で総括制御のみおこなう。いわば「キクニ」として機能する。

実車は9両のみの存在で、すべて四国内で使用。電気式やキハ10系の改造車の登場で置き換えられた。

旧型気動車の郵便・荷物車

形式	新製/改造	製造/改造初年
キハニ5000	新製	1929年
キハニ36450	新製	1931年
キユニ07	キハ07改造	1960年
キクユニ04	キハ04改造	1961年
キニ05	キハ04改造	1960年
キハユニ15	キハ09初代改造	1957年
キハユニ15	キハ15改造	1973年
キハユニ16	キハ44100改造	1956年
キユニ16	キハユニ16再改造	1964年
キユニ19	キニ16再改造	1965年
キニ16	キハ19改造	1964年
キニ19	キハ19改造	1966年
キユニ01	キハ01改造	1962年



側面は中央部の側窓2個を残してすべて埋められ、代わりに幅1800㎜の荷室扉を2か所設置。全長16mの小型車で荷重は6tだが、堂々としたスタイルだ。キニ05（写真提供◎グリーンマックス）

キハ10系

キユニ17

前位寄りが郵便室、後位寄りが荷物室で、郵便室には幅1200㎜の両開き荷室扉、荷物室には幅1800㎜の荷室扉が新設された。

0番台の1・2は、後位寄りの事務室扉がキハ17のままの引戸だったが、10番台の11～15では乗務員室扉と同じ開戸となった。事務室扉を改造したのは荷物室を拡大するためで、これにより荷重は0番台の4tから5tに拡大。郵便室荷重は3tだ。

なお15番台となる16～19は事務室内のレイアウトが変更されたため、この部分の扉が後位寄りに移設され、区分室部分には採光窓が設けられている。

キハ10系の郵便・荷物車

形式	新製/改造	製造/改造初年
キハユ15	キロハ18改造	1960年
キハユニ17	キハ50改造	1960年
キハユニ18	キハ16改造	1965年
キハニ15	キハ18改造	1963年
キユニ11	キハ11改造	1965年
キユニ15	キハユ15再改造	1962年
キユニ17	キハ17改造	1966年
キユニ18	キハユニ18再改造	1969年
キニ15	キロハ18改造	1960年
キニ17	キハ17改造	1966年
キニ55	キハ51改造	1965年



キユニ17は3タイプあるが、製品化されているのは1967年から改造された中期型グループの10番台。改造車とはいえ、比較的まとまったスタイルだ。キユニ17●TOMIX

レールバスにもあった郵便・荷物車

セミクロスシートのキハ01 55を改造したキユニ01は、ただ1両の存在だ。車内は座席をすべて撤去、中央部に仕切りを設け、前位寄りが郵便室、後位寄りが荷物室となった。それぞれ独立して事務机が設置され、郵便室には簡易区分棚も設けられた。

1962年に改造され、浜田機関区に配置されて三江北線などで使用されたが、1966年には廃車になった。



機械式で総括制御できないため、他の気動車と併結する際は牽引されて運転された。キユニ01●TOMIX（参考品）

荷物気動車のピンチランナー

気動車の郵便・荷物車は需要に対して車両数が少なく、予備車などがない場合も多かった。このため検査などで郵便・荷物車が足りない場合は、他の気動車が代役に仕立てられた。

かつて、紀勢本線の急行『きのくに』の一部にキハユニ16を連結した列車があったが、郵便・荷物車のやりくりができないと、代わりにキハ35が連結されたりした。



代走は、荷物を出し入れする側扉や車内が広いほうがよいので、キハ35系はうってつけだ。またキハ20系には、座席の半分または全部をロングシート化して、アコーディオンカーテンで仕切った簡易郵便・荷物車もあった。手前からキハ35、キハ20●ともにKATO

キハ20系

キハユニ26

輸送量の少ないローカル線用に新製され、北海道と関東を除いて、ほぼ全国に配置された座席郵便荷物気動車。新製車なので、寒冷積雪地帯の東北地方に配置が偏っている。

前位寄りから荷重3tの荷物室、荷重2tの郵便室、客室となり、ちょうど車体中央部に区分室があり、細長い採光窓が幕板部に設けられている。便所設備はない。どの郵便車でも区分室が車体中央部分にあるのは、係員が立って区分作業をするのに、揺れが少ない車体中央部分が最適だからだ。

キハ20 200番台相当と、室内が蛍光灯化されたキハ20 500番台相当のタイプがあるが、番台区分はされず、外観もテールライトが内ばめか外ばめかの違いしかない。北海道用にはキハユニ25が新製された。

キハ20系の郵便・荷物車

形式	新製/改造	製造/改造初年
キハユニ25	新製	1958年
キハユニ26	新製	1958年
キユニ21	キハ21改造	1969年



模型では、KATOが古くから発売しているほか、TOMIXもハイグレード仕様で製品化した。手前からキハユニ26首都圏色、一般色●ともにTOMIX

キハ55系

キユニ26

電気式やキハ10系改造車の置き換え用に、25両というまとまった数が1973年から登場した、キハ26を改造した郵便・荷物車。大きく分けて5タイプが存在する。

改造種車のキハ26は100番台と300・400番台があり、300番台はキロハ25、400番台はキロ25からの格下げ車なので、それぞれキユニ26となっても外観が異なる。

模型の塗色は急行色だが、実際のところ急行色は少なく、大半が一般色で登場。1970年代後半から首都圏色に塗り替えられている。

前位寄りが荷重4tの郵便室、中央に区分室、後位寄りが荷重5tの荷物室となっている。300番台（キロハ25）改造車は前位寄りに便所、最後位寄りに事務室があり、100番台と400番台（キロ25）改造車は最後位寄りに便所、その前位寄りが事務室と、それぞれ車内の配置が異なる。1980年頃まで改造が続き、キユニ28と改造時期が重なっている。



製品は300番台からの改造車で、その中でもキロハ25の二次車からの4・5・7・8・10～13・17の9両が該当。急行色は改造当初浜田機関区に配置され、その後伊勢運転区に転属した4・5のみといわれている。キユニ26●TOMIX

キハ55系の郵便・荷物車

形式	新製/改造	製造/改造初年
キユニ26	キハ26改造	1973年
キニ26	キハ26改造	1973年
キニ56	キハ55改造	1971年

キハ58系

キユ25

形式番号は25だが、キハ58系の新製全室郵便車で、気動車で唯一の郵政省所有車かつ全室郵便車。前位寄りが締切郵便室、後位寄りが区分郵便室になっていて、車体中央部に区分室があり、側面に採光窓がある。

荷室扉は前位が1200㎜の両開き、後位が900㎜の片開きで、全体的なレイアウトはオユ10などによく似ている。急行色なので、急行列車の先頭に立っても違和感のないデザインだった。



初期の1～6は朱色4号とクリーム4号の国鉄一般色で登場。現在キハ40系で登場している国鉄一般色を先取りしたようだが、後に全車が首都圏色となった。7～28は朱色5号の首都圏色で落成している。キユニ28一般色●マイクロエース

キユニ28

キユニ26の後継として、老朽化した電気式気動車改造車やキハ10系改造車の置き換え用に、1977年から改造により登場。当初はキユニ26の改造と並行して増備が進められた。

各地に散らばる雑多な形式を置き換える標準車という性格から、改造郵便・荷物車としては28両と両数が多い。しかし、郵便・荷物輸送末期に登場したため注目される前に廃車となった。

余剰気味となっていたキロ28を種車に、キハ40系並みの車体を新造。前位寄りが郵便室で荷重6t、荷室扉は1200㎜幅で車体中央部分に区分室がある。後位寄りは荷物室で荷重5t、荷室扉は1800㎜幅で、キユニ17を近代化したようなスタイルだ。



1・2は平窓タイプ、3・4はパノラミックウィンドウ・スカート付きで模型は後者。4両全車が四国で使用され、いずれも最後まで急行色だった。キユ25●TOMIX

キハ58系の郵便・荷物車

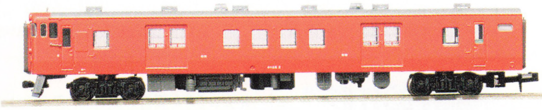
形式	新製/改造	製造/改造初年
キユ25	新製	1964年
キユニ28	キロ28改造	1977年
キニ28	キロ28改造	1978年
キニ58	キロ58改造	1978年

キニ28・キニ58

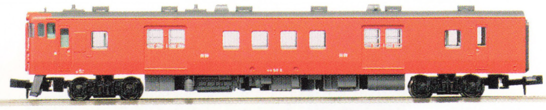
キニ28はキロ28の改造、キニ58はキロ58の改造車で、1978年から改造が開始された。キユニ28と同じく車体を新製したもので、両車の違いは1基機関か2基機関かだ。

全室荷物車なので、荷室扉は1800㎜幅のものが片側2か所。荷室扉間には側窓が4個あり、後位寄りには事務室があるため乗務員室扉が設けられている。

また、キニ58は常磐線でキニ55やキニ56とともに荷物専用列車として運転され、特急・急行・普通列車のほとんどが電車で走る中、その間を縫って「爆走」という形容詞がピッタリ来るような力走をしていた。



キニ28では車体裾のラジエータの水張込口が1個になる。屋上に常磐線用無線アンテナがないので、キニ58とは換気装置の位置が異なる。キニ28は福知山と高松、キニ58は水戸の配置なので、兄弟車だが出会わなかった。キニ28●マイクロエース



キニ58は後位側の車内に水タンクがあるため、車端部の窓がない。また、車体裾のラジエータの水張込口が2個になる。キニ58は全車が常磐線用なので、屋上に常磐線用無線アンテナが設置されている。キニ58●マイクロエース

事業者特注品の季節だ！

鉄コレ大作戦

エヌにしちゃえ〜！

今年も事業者特注品が集中する季節がやってきた。別売部品でNゲージ化したモデルの写真で、2011年に発売されたモデルを振り返ろう。さらにミュージアムグッズとして発売された1両の鉄コレを、改造で編成化してみよう。 構成◎江口明男

今年のラインナップを総括する

事業者特注品とは、鉄道事業者など、メーカーのトミーテック以外の会社の企画によりユーザーに届けられる鉄コレモデル。発売する事業社により呼び方は異なるが、ここでは事業者特注品と総称する。

いずれも自社の車両を愛する鉄道のプロが企画する製品で、嬉しいサプライズも魅力のひとつだが、鉄コレ一般製品のような流通ルートに乗らないので、製品ごとに入手方法が異なるのはつらいところ。だがその分、手に入れた時の喜びもひとしおだ。

2011年に発売された商品は、9社から各1種の計10種類。2010年よりも若干増えたが、発売事業者は今年も西高東低だ。人気車両やあっと驚く個性派も登場し、話題は尽きない盛況さとなった。



凡例
① 発売事業者　② 価格
③ セット両数　④ 発売日　※（先行）は先行販売日
⑤ 発売場所　※（先行）は先行販売場所
⑥ 適合動力ユニット／動力台車用台車枠／適合パンタグラフ

小田急キハ5000形（新塗装）

非電化だった国鉄御殿場線に乗り入れるために投入された、電鉄会社のディーゼルカー。譲渡後の関東鉄道キハ751形が鉄コレ第13弾でラインナップされたので、2つの時代がモデルで楽しめる。実車が2両のみだったためか、商品の数量に余裕があり、落ち着いて購入できる状態だ。



国鉄の準急気動車色と同じ新塗装をまとった2両編成。本誌Vol.60では、旧塗装化改造の記事を紹介した。

①小田急グッズショップTRAINS
②¥2300　③2両セット（両運）　④6月20日〜
⑤楽天ネット販売、小田急グッズショップTRAINS
⑥TM-16／付属／−

南海1000系

南海本線の特急11001形を更新して、6両編成の冷房車とした車両。先頭車と中間車の2両セットで、それぞれに交換用の屋根が付属する。4セットあると、実車通りの編成がつくれる。台車軸距の関係で、動力ユニットは付随車にしか取り付けられない。



実車通りの6両編成に仕立てた例。余剰となる2両の先頭車は、京福3000形の種車にできる。

①南海電気鉄道株式会社　②¥2500　③2両セット　④9月3･4日（先行）、9月11日〜
⑤和歌山市駅展示会場（先行）、難波駅サービスセンター、楽天ネット販売　⑥TM-08／付属／PG16

京阪2000系

3000系特急に続く京阪2作目は、同時代の通勤電車である2000系『スーパーカー』。3000系と同じく中間車なしの2両セットとなったが、2編成を連結した4両編成あたりにまとめて走らせたい。主要駅での発売だったが、早々に売り切れる人気商品となった。



改造された2600系のモデルは他社からも発売されているが、非冷房大型ヘッドライトの原型ははじめてだ。

①京阪電気鉄道株式会社　②¥2000　③2両セット（先頭＋先頭）　④9月23日〜
⑤京阪主要14駅、京阪百貨店守口店、京急百貨店上大岡店　⑥TM-12／−／PG16

阪急3000系（初期冷房改造車）

毎年欠かさずリリースする阪急は、今年で6作目。価格はだんだん高くなってきたが、交換用屋根や付属パーツなど、ファンの心理をとらえた納得の内容に進化している。一部の販売所では、ジオマトリックス社のインレタとのコラボもあり、完成度の高いモデルに仕上げられる。



写真はジオマトリックス社のインレタを使用。インレタに含まれる前面のナンバーはデザインの要所となるので、使用効果は抜群だ。

①阪急電鉄株式会社　②¥2600　③2両セット（先頭＋中間）　④10月8･9日（先行）、10月22日〜
⑤日比谷公園鉄道フェスティバル（先行）、阪急主要駅、はんしんまつり、
阪神コンテンツリンクオンラインショップ　⑥TM-12／動力ユニット付属／PG16

阪神5311形

普通用の『ジェットシルバー』と『ジェットカー』。そして急行用の『赤胴車』と発売してきた阪神の新作は、第2世代の『ジェットカー』。冷房改造された後の姿で、2編成連結した4連での運転が最適だ。

①阪神電気鉄道株式会社　②¥2200　③2両セット（先頭＋先頭）　④10月8･9日（先行･申し込み葉書配布）、10月15日〜、はんしんまつり　⑤日比谷公園鉄道フェスティバル（先行）、阪神主要駅、はんしんまつり、阪神コンテンツリンクオンラインショップ　⑥TM-12／−（第5弾の阪神3303付属台車枠利用可）／PT4816-AM



一見同じに見える2両だが、屋上の形状など細かくつくり分けられている。ホロも別付け部品となり、表情が引き締まった。

大阪市交通局20系

緑のラインの中央線で、帯の形態は昔の姿。4セットから6両編成をつくるとフル編成となる。第三軌条方式なので、集電装置付きとなしの台車が装着されており、実車をよく観察して再現してみたい。

①大阪市交通局　②¥2000　③2両セット（先頭＋中間）　④10月1日（先行）、10月5日〜、10月8･9日（特販）　⑤学研奈良登美ヶ丘駅前 けいはんな夢フェスタ2011会場（先行）、グッズセンターなんば、市営交通案内コーナー、日比谷公園鉄道フェスティバル（特販）、通販（葉書による）　⑥TM-06／−／−



台車枠は付属しないので、製品の台車を切り取って使用する。軸受け部分をドリルで軽く広げておき、ゴム系接着剤で取り付ける。

※改造には、メーカー保証範囲外の内容が含まれています。すべて自己責任で作業してください。

MISSION 01

モハ52形をフル編成にする

2011年3月にオープンしたJR東海の『リニア・鉄道館』のオリジナル商品として発売されたのが、同館に展示保存されている昭和初期の流線型電車。展示品通りの1両での販売だが、中間車をつくって編成展示にしてみよう。

走行には不向きのスカート形状

カーブ通過の障害となる大きなスカートだが、製品はディスプレイモデルと割り切って、リアルな形態としている。それでも台車の回転を少しでも確保するような削り込みが裏にあり、車輪を交換するだけで大きなカーブなら通過できる。

しかし動力台車は完全にNGで、スカートの中に収めるのがやっとの状態。スカートをかき取るなどの無理な細工はしないで、ディスプレイモデルの美しいスカートのまま編成化してみた。

どうしても運転したい場合は、台車枠を省略した動力ユニットを中間車に取り付け、大きなカーブをゆったりと走らせたい。

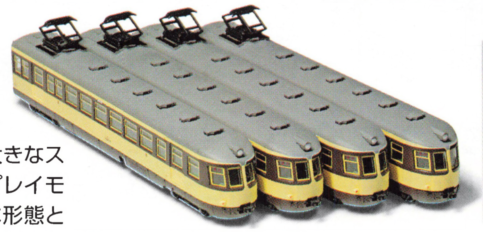
工作のポイントは2等車の大窓

流電は、モハ52+サロハ46+サハ48+モハ52の4両編成。改造ではきれいに塗装された先頭車には手を付けず、中間車のみを2個一（2両から1両をつくる）で作成し、色調を合わせた自家調合塗料で塗装しよう。

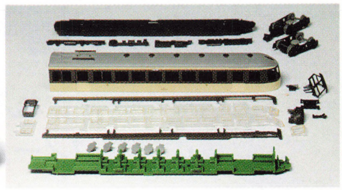
サハはベーシックな切り接ぎ加工のみでつくれるが、サロハは2等車部分の窓配置の変更が必要だ。

この部分はいったん柱を取り去って、新たな柱を取り付ける。切り接ぎで余ったボディを使えば、材料の厚みを揃えられる。新たな窓は利用可能なパーツがないので、透明プラ板から作成。窓枠は塗装で表現する。

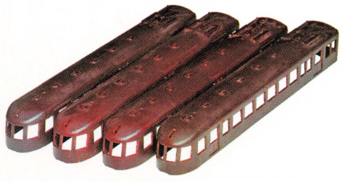
単体でも美しい流線型だが、編成にするとその姿がより流麗に見える。



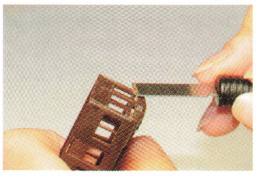
1 中間車の製作に使う4両の種車。塗りに多少の個体差があるので、状態のよい物はそのまま先頭車として使う。



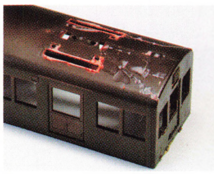
2 分解した1両分の車体。スカートは車体と別成型で、窓パーツにはめ込むように固定されている。



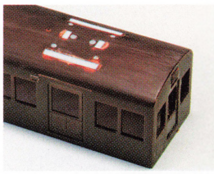
3 塗装を剥がすと成型色は何と茶色。工作にはあまり向かない色だが、光が透ける心配はない。



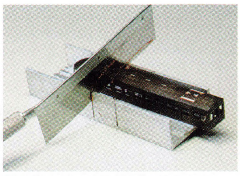
4 妻板の配管を削る。一部のディテールのみ削る場合は、平刀を使うと便利。



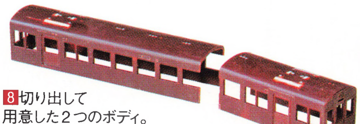
5 パンタグラフまわりのディテールはすべて削り落とす。



6 穴をプラ板とランナー引き延ばし線で埋め、ヤスリで平滑にする。



7 4両分の屋根の穴を埋めたら、レザーソーで必要な部分を切り出す。治具を使うと直角に切り出せる。



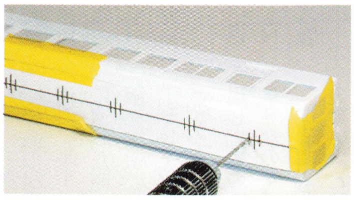
8 切り出して用意した2つのボディ。接合はズレが出ないように注意して、裏に補強を入れて接着する。



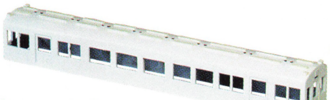
9 接合が終わったボディ。サハはこれで、塗装前の工程は終了だ。



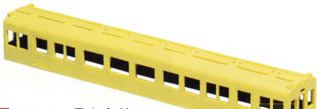
10 ホワイトサーフェイサーを吹き付けて、加工箇所の仕上げをチェック。写真は、一部の窓位置を変更したサロハのボディ。



11 ベンチレーター取り付け穴を1mm刃のドリルで開ける。作例では貫通位置を記した紙をパソコンでつくり、印刷してガイドとして貼り付けた。



12 0.8mmプラ板から切り出したランボードを屋根に貼り付ける。



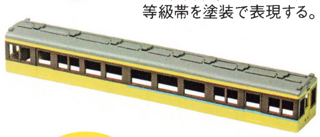
13 クリーム1号を全体に吹き付ける。色味は先頭車に合わせて、少量の緑と白で色調を調整している。



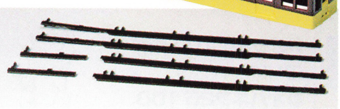
14 マスキングして窓まわりのブドウ色を吹き付ける。これも先頭車に合わせて多少の色調整をおこなっている。



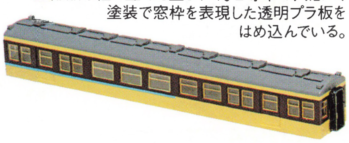
15 マスキングして屋根を塗り分ける。サハの場合はこれで車体の塗装はおしまい。



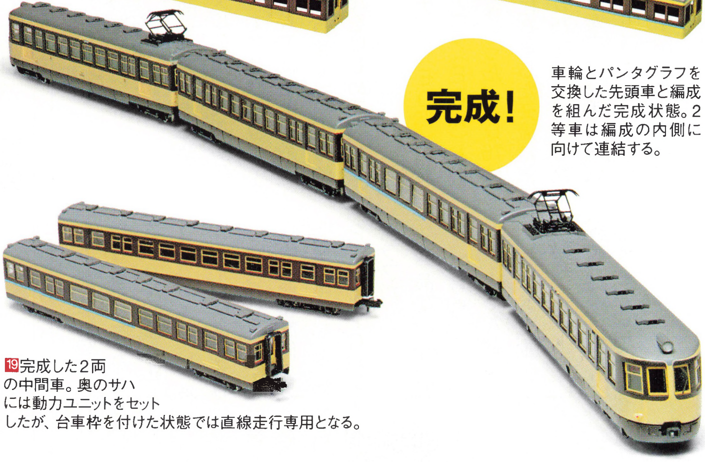
16 サロハは、2等車部分の窓下に青い等級帯を塗装で表現する。



17 スカートは筋の入った部分で切り継げば、再塗装なしでそのまま使用可能だ。写真上の2個が、加工の終わった状態。



18 部品を組み立てた上まわり。2等車の大窓は、塗装で窓枠を表現した透明プラ板をはめ込んでいる。



完成！

車輪とパンタグラフを交換した先頭車と編成を組んだ完成状態。2等車は編成の内側に向けて連結する。

19 完成した2両の中間車。奥のサハには動力ユニットをセットしたが、台車枠を付けた状態では直線走行専用となる。

今年も東武から出たゾ！

本原稿の締め切り直後に、昨年同様、東武ファンフェスタに合わせて事業者モデルの先行発売が発表された。今回は現役バリバリの日光・鬼怒川線の快速電車だ。会津鬼怒川線開業25周年を記念して、共通運用される野岩鉄道のバージョンも同時発売される。（写真提供◎東武商事）

東武鉄道6050系／野岩鉄道6050系



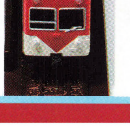
写真は東武鉄道6050系（登場時）。現在適合動力はないが、2012年夏期にトミーテックより発売予定の旨が、パッケージにも記されている。

①東武商事株式会社　②¥2,200　③2両セット（先頭+先頭）　④12月4日（先行）、12月13日～　⑤東武ファンフェスタ（先行）、東武鉄道駅売店／野岩鉄道駅窓口（一部駅を除く）、東武商事ネット販売　⑥－／－／PT4816-AM（東武）、TM-08／付属／PT4816-AM（野岩）

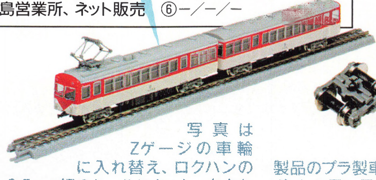
下津井電鉄モハ103／クハ124

現在は鉄路を保有しない会社から発売された驚きの鉄コレは、何とナローゲージ。付属の車輪は1/150スケールの軌間5.1mmだが、軌間6.5mmのZゲージの車輪も装着できる。クリア成型されたボディを塗り分ける構造で、走行化も夢ではない車内スペースを確保している。

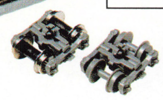
①下津井電鉄株式会社　②¥2500　③2両セット（先頭+先頭）　⑤本社ビル、児島営業所、ネット販売　⑥－／－／－



製品の展示用レールは、762mmゲージの1/150となる5.1mm幅。



写真はZゲージの車輪に入れ替え、ロクハンの6.5mm幅のレールにセット。小さな台車なので、Zゲージの動力ユニットをそのまま流用することはできない。



製品のプラ製車輪（写真右）はピボットの長い長軸で、Zゲージの車輪と交換可能。写真左はアキアの485系車輪をセットした状態。

富士急行1000系1002号編成

1000系の分散冷房車は、第11弾の組み合わせでも製作できるが、今回は電気連結器付きダミーカプラーと、ヘッドライトレンズをはめ込んでちょっぴりバージョンアップ。河口湖での販売では、来年の優先購入券が付属した。

①富士急行株式会社　②¥2200　③2両セット（先頭+先頭）　④10月30日（会場）、10月31日～（駅）、11月1日～（ネット販売）　⑤富士急電車まつり2011会場、日本鉄道模型ショウ会場、河口湖／富士山麓駅、楽天ネット販売　⑥TM-06／動力ユニット付属／GM製PT71Dなど



実車では後継車の搬入がはじまり、最後の活躍となった1000系。その雄姿を、事業者自身が企画したモデルで残したい。

New Models 実車プロファイル

文◎編集部
イラスト◎江口明夫

間もなく発売される新製品。購入する前に実車のプロフィールのおさらいと、モデルの概要を知っておこう。


昔からKATOのカニ24は、妻面に貫通扉が付く100番台が製品化されてきた。1984年5月20日 大井町～品川間にて 写真◎森嶋孝司

profile_001 | ●2012年1月予定

KATO

24系25形
ブルートレインの勇姿をもう一度

ブルトレ客車の決定版

14系を集中電源方式に変更し、1973年に登場した24系客車は翌74年の増備車から、マイナーチェンジ版の24系25形となった。最大の特徴はB寝台の2段式化により、居住性が大幅に改善されたことだ。

ビジネス需要の高い関西～九州間の『あかつき』『彗星』投入を皮切りに、1976年には個室A寝台のオロネ25も登場。東京～九州間の『はやぶさ』『富士』『出雲』に充当され、増備が続いた。

1985年には『はやぶさ』にロビーカーを連結。オシ14・オハネ14からの改造車で、翌86年には『富士』にも採用された。

しかし1990年になると、短編成、併結運転化など、ブルートレインの運転規模は縮小。1993年には東海道ブルトレでの食堂車営業が休止。その後、各地でブルートレインは廃止に追い込まれていった。

模型の楽しみ方を再発見

製品の24系25形は、1980年代のブルートレインを再現するのに適した商品だ。注目したいのは販売方法。最近のKATOのブルートレインは14系『さくら』、24系『ゆうづる』など、特定の列車を再現したものだったが、今回はすべて単品なのだ。

つまり、昔のブルートレイン客車の買い方と同じだ。自分の予算や運転の仕方に応じて、まずはカニ、オハネ、オロネ、オハネフの4両で編成を組み、次第にオシ、オハといった目玉車両や、オハネの大量購入などで長編成にしてもいい。

「同じ車両ナンバーが続いちゃう」と思うかもしれないが、編成を組んでしまえば意外と気にならないもの。少しずつ買い足し、好みの編成を組んでみよう。メーカー既成のセットに頼らず、自分らしく工夫して模型を楽しむ醍醐味を味わってほしい。

商品構成
- ●**オシ24 100 銀帯**（5174/¥1,680）
- ●**オハネフ25 100**（5181/¥2,520）
- ●**オハネ25 100**（5182/¥1,680）
- ●**オロネ25**（5183/¥1,680）
- ●**カニ24 100**（5184/¥2,520）
- ●**オハネフ25 200**（5185/¥2,520）
- ●**オハ24 700 ロビーカー**（5186/¥1,680）

profile_002 | ●2012年1月予定

KATO

ED76
九州のブルトレ牽引機はコレだ

KATO初のED76モデル

客車と機関車を同時期に発売して、トータルで楽しめる商品構成は、各社でここ数年続いている。今回KATOでは24系25形の発売に合わせて九州内の牽引機、ED76をはじめて製品化した。

東北のナナゴー（ED75）に対し、南のナナロク（ED76）という対比は定番だった。ED76は1965年に登場した交流電気機関車。ED75を60Hz用にした機関車だが、客車暖房用の蒸気発生装置（SG）の搭載により車体長が延び、中間台車を設けてBo-2-Boの6軸となった。

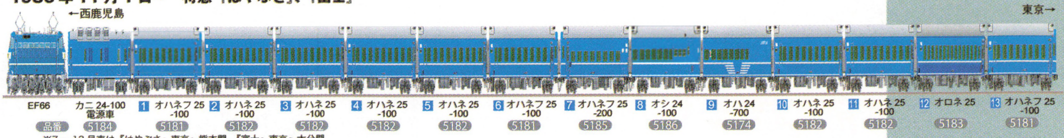
0番台と1000番台があるが、今回製品化されるのは、0番台の55号機以降で、KATOでは「ED76 0後期形」と銘打っている。外観上の特徴は、運転席側のみとなった前面通風口や下枠交差型のPS102Cパンタグラフだ。

製品には60、66、87、94号機のナンバープレートが含まれ、『はやぶさ』『富士』のクイックヘッドマークが付属。もちろん、表面が曲面の九州タイプだ。


九州のブルートレイン牽引機といえばED76だ。これによりKATOでは直流のEF65PF・EF66、関門トンネルのEF81 300、九州内のED76・ED73まで揃った。1984年3月14日 伊集院～薩摩松本間にて 写真◎荒川好夫

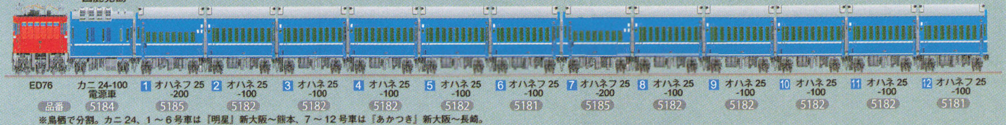
商品構成
- ●**ED76 0 後期形**（3013-1/¥7,350）

1986年11月1日～ 特急『はやぶさ』、『富士』



※7～13号車は『はやぶさ』東京～熊本間、『富士』東京～大分間
※『はやぶさ』牽引機 東京～下関：EF66、下関～門司：EF81 300/400、門司～西鹿児島：ED76
※『富士』牽引機 東京～下関：EF66、下関～大分：EF81 300、大分～宮崎：ED76

1977年10月～ 特急『明星』＋『あかつき』（下り明星5号・あかつき2号、上り明星4号・あかつき3号）



※鳥栖で分割。カニ24、1～6号車は『明星』新大阪～熊本、7～12号車は『あかつき』新大阪～長崎。
※牽引機 新大阪～下関：EF58、下関～門司：EF81 300、門司～熊本：ED76／鳥栖～長崎：DD51

profile_003 | 2011年12月以降予定

グリーンマックス

近鉄21020系

近鉄の看板特急がようやく登場



『アーバンライナー』の進化型なのが一目でわかる『アーバンライナーnext』の車体デザイン。この車体色に、21000系の改良版の『アーバンライナーplus』も変更された。写真◎私鉄特急年鑑

外観も変わった進化型車両

近鉄21020系は、21000系『アーバンライナー』の更新と増備を目的に、2002年に2編成が製造された。愛称は21000系の進化型という意味で『アーバンライナーnext』と命名された。

6両貫通編成で、最高速度130km/h運転をする上に、勾配区間も多いが、全車電動車だった21000系とは違い、21020系では3M3Tに変更されている。前面窓は大きな1枚窓になり、窓の上下は黒く塗装され、前から見ると21000系よりもシャープな印象になった。

基本的には名古屋～大阪間の名阪甲特急および大阪～奈良間の特急に限定運用されていて、現在の近鉄の看板特急だ。

改良版の前に新造車が登場

21000系は比較的早くKATOとTOMIXから製品化されたが、再生産も長いことなく、改良版の『アーバンライナーplus』の発売も遠そうだ。

そんな中、グリーンマックスが新鋭の『アーバンライナーnext』を発売する。最近増えてきた同社の近鉄ラインナップの中で、ついに本命の登場だ。

製品は3両基本セット+3両増結セットで、基本セットには紙パッケージを初採用。増結セットは8両用ケースで、基本セットの車両も収納できる。

また、2009年12月12日から2010年3月まで21122Fに貼り付けられていた、名阪特急直通運転開始50周年の記念ロゴマークが入った車両も、6両セットで追加発売される予定だ。

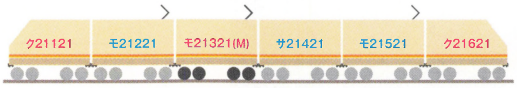


ゆりかご型リクライニングシートが並ぶデラックスシート。近鉄のフラッグシップトレインへの意気込みを感じる。写真◎私鉄特急年鑑

商品構成

●**近鉄21020系アーバンライナーnext**
(基本3両編成セット/4227/¥15,750、
増結用中間車3両セット/4228/¥11,550)

近鉄21020系アーバンライナーnext



profile_004 | 2011年12月発売

KATO

103系

昔年の定番モデルがカムバック！



低窓・丸目1灯のヘッドライトで常磐快速線を走る103系。実はKATOの103系では、この仕様のリニューアル品は発売されていない。金町～亀有間にて　写真◎荒川好夫

ビギナーも安心の入門モデル

103系は1963年から84年までの長きに渡り、日本の旅客車では最多の3447両が製造された通勤型電車だ。山手線をはじめ、京浜東北線や大阪環状線など、大都市の通勤路線で活躍。103系の新仕様や201系や205系の投入後は、各地に転属して旧型電車を置き換えた。

KATOの103系はリニューアル品も発売されているが、このモデルは1966年に発売された製品の商品構成を見直したものだ。ヘッド・テールライトは点灯しない、動力もフライホイール搭載の最新仕様ではない。だが、このモデルの最大の魅力は定価だ。

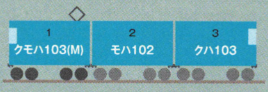
クモハ103+モハ102+クハ103のきちんとした編成で、何と5千円を切る設定なのだ。最近はBトレや鉄コレといった安価なモデルが人気で、それに対するKATOの回答とも受け取れる。

買って走らせて楽しむのはもちろん、色差しをすると見違えるほど見栄えがよくなり、当時のKATO製品の成型のよさを実感できるはずだ。多彩な楽しみ方ができるモデル、ビギナーの入門用に終わらせるのはもったいない。

商品構成

●**通勤電車103系 KOKUDEN-001 ブルー**
(3両セット/10-035/¥4,725)
●**通勤電車103系 KOKUDEN-002 オレンジ**
(3両セット/10-036/¥4,725)
●**通勤電車103系 KOKUDEN-003 ウグイス**
(3両セット/10-037/¥4,725)
●**通勤電車103系 KOKUDEN-004 カナリア**
(3両セット/10-038/¥4,725)
●**通勤電車103系 KOKUDEN-005 エメラルドグリーン**(3両セット/10-039/¥4,725)

通勤電車103系 KOKUDEN-001 ブルー





欧州の名列車と日本の名機の組み合わせに、多くのファンがしびれた。こういう感動は、もうないだろう。1988年12月23日　川口〜西川口間にて　写真◎荒川好夫

profile_005 | ●2012年2月以降予定

KATO

D51 498 オリエントエクスプレス'88

あの感動が蘇る

現行のD51でエンブレムを再現

1988年に来日し、完成したばかりの青函トンネルや瀬戸大橋も越えて日本を1周し、多くの人を感激させた『オリエントエクスプレス'88』。12月23日発の営業運転に控えていたサプライズが、D51 498の復活運転とEF58 61との重連だった。

動態復元作業が続けられていたD51 498は、この運転が復活後の初始業となった。テンダーには『オリエントエクスプレス』のエンブレムが金色で装飾された。ちなみにEF58 61が『オリエントエクスプレス』を本線上で牽引するのも、この運用が最初だった。

KATOでは2008年末に『オリエントエクスプレス'88』の客車を製品化した際に、D51旧製品に装飾を表現したものをラウンドハウスから発売したが、今回の再生産に合わせて、現行のD51 498で再製品化。EF58 61も再生産され、最終日の勇姿を楽しめる。

商品構成
●D51 498 オリエントエクスプレス'88
(2016-2/¥13,125)

profile_006 | ●2011年12月予定

TOMIX

189系『あさま』

TOMIX初の189系!



信州の山々をイメージした塗色になった189系『あさま』色。グレードアップ改造車は側窓が上方向に拡大されている。1991年8月4日　中軽井沢〜軽井沢間にて　写真◎松本正敏

信越特急の「顔」が登場

1975年に登場した189系は、信越本線の横川〜軽井沢間にあった66.7‰の碓氷峠を、補機のEF63と協調運転できるように開発された直流特急型電車。おもに上野〜長野・直江津間の特急『あさま』で活躍した。

従来は181系を使用していたが、協調運転ができないため最大8両編成に限られていたが、189系は12両編成が可能になった。ほかにも、協調運転可能な車両として489系があったが、こちらは交直両用で、おもに上野〜金沢間の特急『白山』に充当されていた。

1990年になると、座席の交換や床の嵩上げをして展望を改善したグレードアップ改造車が登場。塗色もフォギーグレーにアイビーグリーンとグレーの帯に変更された。

編成には改造車と塗色変更のみ(自由席)が混在したグレードアップ編成と、塗色変更車のみの標準編成があった。

増結セットの使い分けも楽しみ

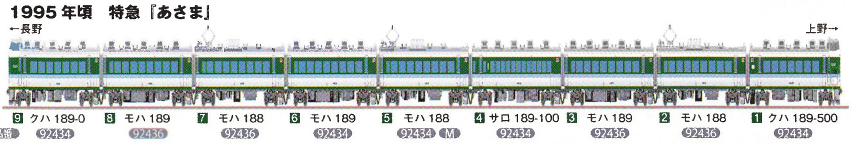
TOMIXでは両タイプをハイグレード仕様で製品化。いずれも基本セットはグリーン車を含む5両とし、増結セットの組み合わせで9両ないし11両のフル編成を再現できる。

標準編成は増結セットを必要分だけ買い足せばいいが、グレードアップ編成を組む場合は2種類の増結セットを使い分けるので、車両と商品の構成は、編成イラストを参照してほしい。

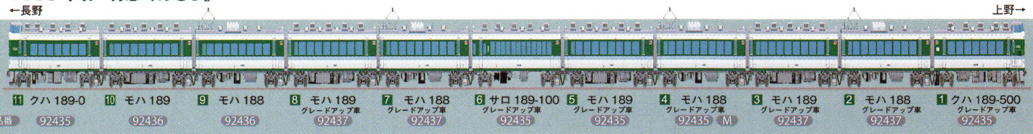
これまでTOMIXの183系は、485系から改造されたJR西日本の7000番台のみで、完全な183系・189系は初製品化となる。これを皮切りに、183系1000番台や国鉄色の189系などの展開も期待したい。

商品構成
●JR 189系特急電車(あさま)
(5両基本セット/92434/¥19,950、2両増結セット/92436/¥6,195)
●JR 189系特急電車(あさま・グレードアップ車)
(5両基本セット/92435/¥19,950、2両増結セット/92437/¥6,195)

1995年頃　特急『あさま』



1995年頃　特急『あさま』



profile_007 ●2012年1月予定

EF63(1次形・青色) TOMIX

あの人気モデルがリニューアル



つねに勾配の下側(横川側)に連結されたEF63。下り列車では押し上げ、上り列車ではずり落ちるのを支えた。製品は以前と同様にM車+T車の重連セットとなる。1997年6月29日　熊ノ平(信)～横川間にて　写真◎荒川好夫

一世を風靡したモデルが再登場

189系の製品化に欠かせないのがEF63だ。碓氷峠の専用補機として開発され、1963年の運用開始から1997年の新幹線開通による碓氷峠廃止まで、重連ですべての列車をサポートした、まさに碓氷峠の主だ。

TOMIXでは碓氷峠が廃止された1997年に、EF63をハイグレード仕様で製品化し、一世を風靡した。しかしその後は再生産もなく、2007年にはKATOが発売したため、すっかり影が薄くなっていた。

今回のリニューアルでは、まず2～13号機の1次形に着手。フライホイール付き動力を搭載し、手スリ、解放テコの別パーツ化といった、ここ数年の進化を反映。前面腰板部は、1990年代に追加されたCアンテナの取り付け穴が開いたパーツを装着し、開いていない前面パーツが付属する。

商品構成
●JR EF63形電気機関車(1次形・青色)セット
(2両セット/92167/¥14,910)

profile_008 ●2012年2月以降予定

京王6000系 マイクロエース

引退したての京王本線の主役





写真左／アイボリーの車体色にブルーとピンクの帯が特徴の新塗色。一般的な貫通型前面のようでありながら、左右で窓の大きさが異なるのが特徴。　写真◎編集部
写真右／先頭車にATC機器や都営地下鉄線用無線アンテナを装備した30番台は、アイボリーのボディにえんじ色の帯の旧塗色で製品化される。1990年3月16日　明大前～代田橋間にて　写真◎森嶋孝司

304両が長期投入された主力

1972年に登場した京王6000系は、同社初の20m級車両で、片側4扉の通勤型電車だ。京王本線は踏切も多いため、鋼製車体で製造された。

増備は1990年まで続き、91年にはラッシュ対策として5扉車も製造された。そう考えると、2011年3月での引退は早いように思われる。

6000系は形式の下2ケタで番台区分されている。最初に登場した6両貫通編成(後に5+3両分割編成)が0番台で、8両貫通編成が10番台、5扉車を加えたのが20番台だ。そして、都営新宿線乗り入れ用にATCや無線装置を搭載したのが30番台で、MT比率は地上用編成よりも高められている。

マイクロエースから模型化されるのは30番台の旧塗色と、2002年以降に施工されたピンクと紺色の2色帯からなる新塗色をまとった10番台だ。

商品構成
●京王6000系 新塗装
(8両セット/A7057/¥27,300)
●京王6000系
都営地下鉄線乗入仕様車 旧塗装
(8両セット/A7063/¥27,300)

品番A7057　10番台新塗色

1	2	3	4	5	6	7	8
6717	6017	6067	6117(M)	6567	6217	6267	6767

品番A7063　30番台旧塗色

1	2	3	4	5	6	7	8
6740	6040	6090	6140(M)	6190	6240	6290	6790

profile_009 ●2012年1月予定

スハ43系 TOMIX

ブルーの単品が登場


10系寝台車と組み合わされた急行や、ぶどう色の車両と混結の普通列車などが1980年代前半まで見られた。写真はED75が牽引する東北本線の普通列車。最後尾の車両のみぶどう色だ。1985年6月29日　千曳～野辺地間にて　写真◎高木英二

いろいろ楽しめる旧客の定番

スハ43系は1951年に登場した急行用の旧型客車。当初のぶどう色塗色は1960年代後半からの近代化改造とともに、車体色が青15号に変更された。

基本形式としてスハ43と緩急車のスハフ42があり、北海道向けにスハ45・スハフ44、軽量型のオハ46・オハフ45、台車交換改造のオハ47・オハフ46などが存在し、これらをまとめてスハ43系と通称されている。

TOMIXはここ数年、1年に1形式の割合で旧型客車を製品化しており、2011年には「旧型客車(高崎車両センター)セット」としてスハ43系を初製品化した。

今作はその単品化で、現役末期の青色で発売。スハ43、スハフ42、オハ47のほか、オハ61系の合造車オハニ63をTR52台車に交換したオハニ36の4種類をラインナップする。

車番はインレタによる選択式で、乗降ドアは鋼製プレスドアを再現。別売の交換ドアセット「Hゴム窓・青」「Hゴム窓大・青」で鋼製Hゴム窓ドアへの交換もでき、旧客ファンにも満足の内容だ。

商品構成
●国鉄 スハ43形(青色)(8547/¥1,890)
●国鉄 スハフ42形(青色)(8548/¥2,415)
●国鉄 オハ47形(青色)(8549/¥1,890)
●国鉄 オハニ36形(青色)(8550/¥2,625)

profile_010 ｜ ●2012年2月以降予定

キハ32

マイクロエース

小さく遊べる16m級気動車



分割民営化直前の1987年に登場したキハ32。何でも繋げる国鉄型気動車らしく、キハ20との併結も見られた。JR四国はCIカラーへの変更が早かったので、この塗色は短期間だった。1987年5月5日　市坪〜北伊予間にて　写真◎高木英二



現在もJR四国色で活躍するキハ32。新潟鐵工所製は丸ライト、富士重工製（12〜21）は角ライトと表情が異なる。写真◎普通列車年鑑

国鉄型最小の気動車を製品化

国鉄の分割民営化を目前に控えた1987年、その後の厳しい経営が予想される北海道・四国・九州の4島会社向けに、数種類の一般型気動車を製造した。四国の閑散区間用に開発されたキハ32もそのひとつだ。

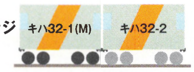
特徴は廃車発生品やバス用部品の多用による、軽量化と製造コストの低減だ。また、ワンマン運転化改造が可能な設計とされ、JR化後の1988年にワンマン化改造された。当初はアイボリーに斜めストライプだったが、後にJR四国色に変更された。

模型は登場時塗色とJR四国色で製品化。前者は松山地区のオレンジ色帯でJRマークが入る。前面は両製品とも丸ライトを持つ新潟鐵工所（現・新潟トランシス）製（1〜11）を再現している。床下機器にもこだわりの精密成型がされ、小さな模型ながら満足感の高い仕上がりが期待できる。

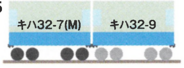
商品構成

●キハ32 旧塗装・オレンジ 松山気動車区
（2両セット/A7880/¥11,550）
●キハ32 JR四国色 丸型ライト
（2両セット/A7885/¥11,550）

品番A7880
旧塗装・オレンジ



品番A7885
JR四国色



profile_011 ｜ ●2012年1月予定（旧塗装）　●2012年2月以降予定（新塗装）

都営5000形

グリーンマックス

都営地下鉄初の電車を製品化



旧塗色時代の都営5000形。新塗色の写真とくらべると、前面方向幕の左右方向や、ヘッドライトの大きさが大きいのがわかる。京成立石〜四ツ木間にて　写真◎荒川好夫



新塗色になった都営5000形。写真は2両編成で、併結相手は旧塗色の4両編成だ。転換期にはこういう混結編成も見られた。1985年4月21日　上大岡〜屏風浦間にて　写真◎森嶋孝司

新旧塗色が存在

1960年に都営地下鉄初の路線として開業した浅草線。その開業時に投入されたのが5000形だ。当初は2両編成だったが、その後の延伸で4両になり、68年の全通で6両に増強。1991年から95年にかけて8両編成に統一された。

車体色は上がクリーム色、下がオレンジ色のツートーンで、オレンジ色部分にステンレスの飾り帯が入れられていたが、1981年からはクリーム色に赤帯への塗色変更と車体更新工事が実施された。

1995年7月2日に営業運転から引退し、5300形に完全に交替。これにより都営浅草線の車両は冷房化率100％を達成した。

多彩な競演相手と楽しもう

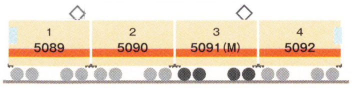
グリーンマックスでは、新旧両仕様を製品化。一見、色が変わっただけのようだが、更新の前後で方向幕やヘッドライトの大きさや手スリの位置、ホロ枠の形状などが変更されており、この辺もしっかり再現される予定だ。

商品構成は、旧塗色では貫通4両編成セットと、2両編成を併結した先頭車4両編成セット、そして増結用の2両セットの3種類。新塗色では貫通4両編成の基本セットと増結セット、さらに2両増結セットの3種類になる。京浜急行や京成電鉄の車両たちと併走させて楽しみたい。

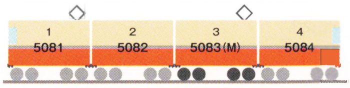
商品構成

●都営地下鉄5000形 旧塗装・未更新車
貫通4両編成セット/M付/4259/¥18,900
先頭車4両編成セット/M付/4260/¥21,000
増結用先頭車2両セット/Mなし/4261/¥10,500
●都営地下鉄5000形 新塗装・更新車
基本4両編成セット/M付/4274/¥18,900
増結4両編成セット/Mなし/4275/¥15,750
増結用先頭車2両セット/Mなし/4276/¥10,500

基本4両編成セット（品番4274）



貫通4両編成セット（品番4259）



profile_012 ｜ ●2012年1月予定

EF81（北斗星色）

TOMIX

星ガマをリニューアル

いろいろな客車を牽引させよう

EF81は1968年に登場した交直両用の電気機関車で、日本海縦貫線や常磐線など、交流と直流の切り替わる路線を中心に活躍してきた。

1988年の青函トンネル開通に合わせて、寝台特急『北斗星』の牽引機に抜擢され、上野〜青森のロングランに投入された。田端運転所所属のEF81のうち、『北斗星』に充当される機関車は赤2号の車体色に流星の描かれた塗色に変更された。

TOMIXでは以前より豊富なEF81ラインナップを展開してきたが、今回はディテールの旧式化に対応したリニューアルとなった。

改良点はフライホイール付き動力の採用、前面手スリ、解放テコ、屋根上ホイッスル、信号炎管の別パーツ化などだが、注目したいのは周辺の製品だ。

青森到着後に間合いで牽引していた普通列車の50系が同時期にリニューアル予定。さらにたびたび牽引した『夢空間』も再生産されるなど、活躍の場も用意されている。



『北斗星』といえば星ガマのイメージだったが、これも今やEF510-500に交代した。赤い機関車に青い客車も捨てがたい魅力だった。写真は前面窓にツララ切りが付くタイプ。写真◎編集部

商品構成

●JR EF81形電気機関車（北斗星色）
（9126/¥6,825）

年末年始のニューモデル SPECIAL！

ニューモデル・スペシャルダイジェスト

Check Up Brand New Models!

クリスマスやお正月など、年末年始にはたくさんのNゲージモデルが発売される。今回は10月に開催された全日本模型ホビーショーと、模型問屋の宮沢模型が小売店向けに毎年11月に開催しているイベントでの取材写真を中心に紹介しよう。

写真◎米山真人

KATO

北海道形のC62が好評のKATO。1月にはED76や24系25形の発売が控えている。今後の新展開として、103系の「KOKUDEN」シリーズに続くビギナー向け第2弾、「Local-Sen」のキハ20系が発表された。気動車標準色はともかく、スカ色のキハ20系が発売されるのは実に久々だ。



KATO
通勤電車103系
KOKUDEN-003 ウグイス
（3両セット/10-037/¥4,725）



KATO
通勤電車103系 KOKUDEN-001
ブルー（3両セット/10-035/¥4,725）

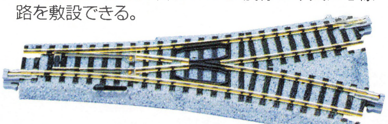


KATO
通勤電車103系
KOKUDEN-002
オレンジ（3両セット/10-036/¥4,725）

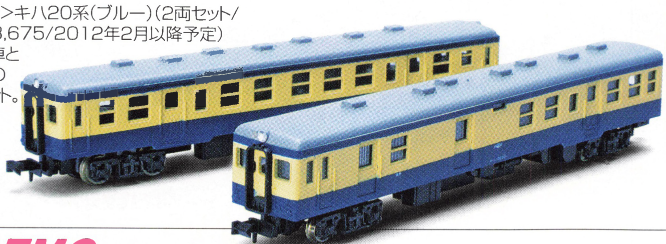


低窓、1灯式ヘッドライトという登場時の姿がプロトタイプ。写真の3色のほかに、カナリアとエメラルドグリーンもラインナップされる。

KATO
ユニトラック 電動Y字ポイント2番（20-222/¥2,520/12月予定）
ローカル線のY字分岐はもちろん、V15複線駅構内線路セットと組み合わせると、複線の中央にも線路を敷設できる。



KATO
<Local-Sen>キハ20系（ブルー）（2両セット/10-043/¥3,675/2012年2月以降予定）
キハ20のM車とキハユニ26のT車の2両セット。





KATO
<Local-Sen>キハ20系
（オレンジ）（2両セット/10-042/¥3,675/2012年2月以降予定）
キハ20のM車とT車の2両セット。

MODEMO

広島電鉄のグリーンムーバーのような、新しい路面電車を手がける一方で、寝屋川市と京阪電鉄による「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」にも参加。京阪60型「びわこ号」の製品化も発表した。

MODEMO
東京都電9000形"9001赤塗装"（NT127/¥7,770/2012年5～6月予定）





車体に描かれたラッピング広告も、鮮明な印刷で再現。完全限定生産アイテムとして、今回の生産分のみの発売になる。

MODEMO
豊橋鉄道市内線 モ784"日本通運号"（NT128/¥7,770/12月～2012年1月予定）





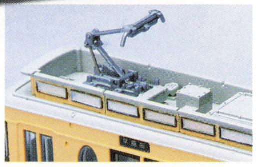
2011年5月から1年間の予定で運転されている、パトカーを模した「嵐電パトトレイン」。前面に掲げられたヘッドマークは、嵐電が走る右京区の制定80周年を記念したもの。模型にはシールで付属する。

MODEMO
京福電鉄 モボ101形"嵐電パトトレイン"（NT129/¥7,770/2012年3～4月予定）

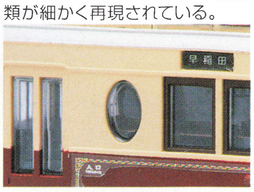




2007年のデビューながら、レトロ風のデザインが施された9000形。このほかに青色の9002もあり、そちらの模型化も期待したくなる出来だ。



ダブルルーフ風の屋根の内側には、パンタグラフをはじめ、機器類が細かく再現されている。



味わいのある丸窓も、いい雰囲気で表現されている。

※ 予定品はすべて試作品となっています。また、キット品は一部完成見本、組み立て見本で掲載されています。表記価格は、すべて税込みの予定価格です。

TOMIX

EF63や189系『あさま』、115系といった碓氷峠を彩る仲間たちに、懐かしい489系『白山』色が追加される。また、C57 180号機と牽引される『ばんえつ物語号』の客車や、北近畿タンゴ鉄道KTR8000形の製品化、300系3000番台の限定生産がアナウンスされた。



かつてブームとなったTOMIXのEF63がリニューアル。手スリが別パーツ化され、腰板部はアンテナ取り付け穴の開いたものと、装着前の穴のない2種類から選べる。



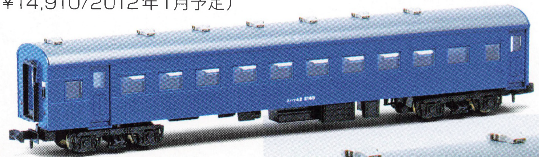
TOMIX
189系（あさま·グレードアップ車／写真）（5両基本セット/92435/¥19,950、2両増結セット/92437/¥6,195/12月予定）
189系（あさま）（5両基本セット/92434/¥19,950、2両増結セット/92436/¥6,195/12月予定）



TOMIX
489系（白山）（5両基本セット/92446/¥19,950、4両増結セット/92447/¥13,650/2012年春予定）



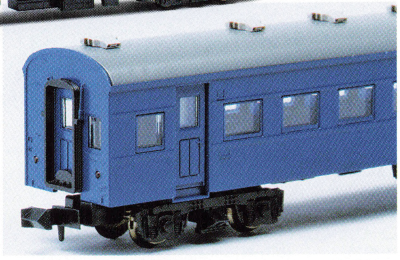
TOMIX
EF63（1次形·青色）セット（2両セット/92167/¥14,910/2012年1月予定）



TOMIX
スハフ42（青色）（8548/¥2,415/2012年1月予定）



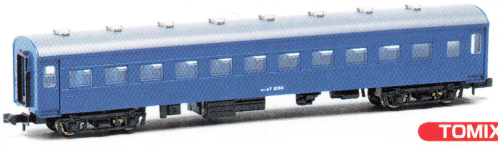
TOMIX
スハ43（青色）（8547/¥1,890/2012年1月予定）



ようやく青色の旧客が登場。Hゴム化されたドアを再現した「交換ドアセット」も2種類用意される。



TOMIX
オハニ36（青色）（8550/¥2,625/2012年1月予定）



TOMIX
オハ47（青色）（8549/¥1,890/2012年1月予定）



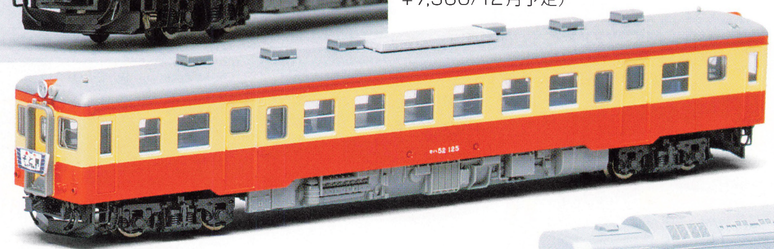
TOMIX
JR 583系電車（JR東日本N1·N2編成）セット（6両セット/92841/¥23,100/2012年2月予定）



2011年に仙台車両センターから秋田車両センターに転属した、最後の国鉄色の583系を模型化。現在はおもに団臨列車で活躍している。特徴的なグレーの床下や台車を再現。



大糸線からいすみ鉄道に移籍したキハ52を製品化。急行『そと房』の印刷済みヘッドマークが付属する。



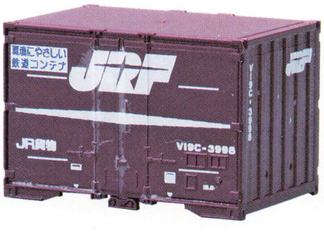
TOMIX
いすみ鉄道キハ52-125（2639/¥7,560/12月予定）



TOMIX
カヤ27-500番台（カシオペア）（M付/8541/¥5,460/2012年春予定）



TOMIX
E1系上越新幹線（Max·新塗装）（6両基本セット/92834/¥18,690、6両増結セット/92835/¥16,800/2012年春予定）



TOMIX
JR V19C形通風コンテナ（3個入）（3142/¥735/2012年1月予定）

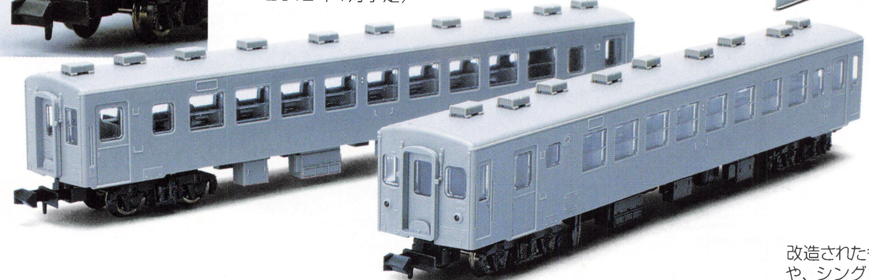


TOMIX
私有 U20A-500形コンテナ（日本通運·3個入）（3144/¥735/2012年1月予定）

※ 予定品はすべて試作品となっています。また、キット品は一部完成見本、組み立て見本で掲載されています。表記価格は、すべて税込みの予定価格です。



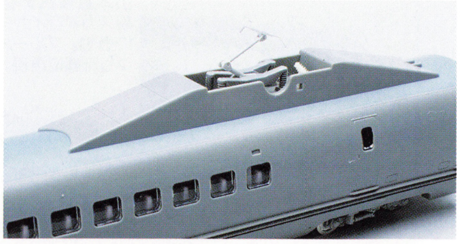
定番の50系客車が、ベンチレーターの別パーツ化、新集電システムの採用など、客車の現行仕様にリニューアルする。



TOMIX
オハフ50(2501/¥2,205/手前)、オハ50(2502/¥1,575/奥)、マニ50(2511/¥2,415)いずれも2012年1月予定)



TOMIX
500-7000系山陽新幹線(こだま)セット(8両セット/92815/¥22,050/2012年2月予定)

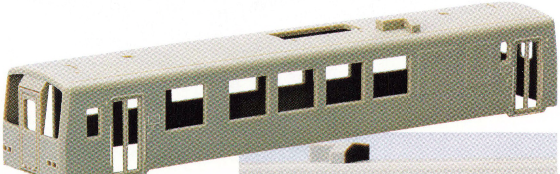


改造された各中間車や、シングルアーム式に改造されたパンタグラフなども忠実に再現される。

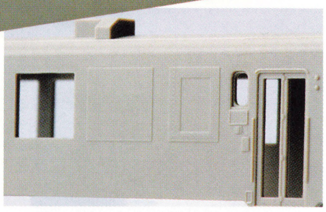


TOMIX
キハ58系(アルプス・八ヶ岳)(4両基本セット/92442/¥18,900、4両増結セット/92443/¥16,275/2012年春予定)

このセットのために、中央線の名物だった2基エンジン搭載のキロ58も製品化される。



TOMIX
キハ120(越美北線・首都圏色)セット(2両セット/92171/¥10,290/2012年春予定)



首都圏色に変更されたキハ120ではトイレが追加されたため、窓を2か所埋めた形状が再現されている。



W18F形コンテナは、使用済みの製品や廃棄物の輸送に使用されている。実物も10個しかないため、最新のコキ107(2両)に満載して製品化される。



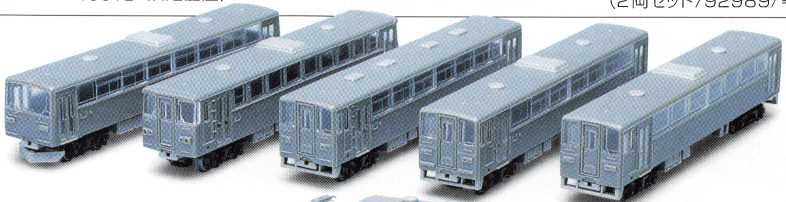
TOMIX
キハ48-500形(五能線)セット(2両セット/92990/¥11,340/12月予定/限定生産)



TOMIX
コキ107形貨車(W18Fコンテナ付)セット(2両セット/92989/¥3,990/12月予定/限定生産)

トミーテック

『リニア・鉄道館』のおみやげアイテムとして、流電ことモハ52を製品化したが、新たに現役時代の飯田線を2種類発売する。さらに弘南鉄道6000系 青帯2両セットの発売予告では、譲渡元の東急6000系が、東急車輌電車市場で発売される旨が告知された。



トミーテック
鉄道コレクション第15弾(各¥840/2012年3月予定)
右からわたらせ渓谷鐵道わ89-100型、天竜浜名湖鉄道TH1型、明知鉄道アケチ1型、名古屋鉄道キハ20形、長良川鉄道ナガラ1型。



トミーテック
国鉄52系1次車 飯田線(横須賀色)(4両セット/¥4,620/2012年1月予定)



トミーテック
国鉄72系仙石線アコモ改造車(ウグイス+警戒色)(4両セット/¥3,780/2012年1月予定)



103系の高窓車と同等のボディに、旧型国電の足まわり、というアンバランスさが魅力の72系。動力ユニットはTM-17(20m級B2)を使用する。



飯田線で現役だった頃の流電が、一般流通品として登場する。スカートが外されていた時代なので、TM-17動力ユニット(20m級B2)で走行可能。旧国に欠かせないPS11パンタグラフも新規製作される。



トミーテック
国鉄52系1次車 飯田線(飯田線快速色)(4両セット/¥4,620/2012年1月予定)



トミーテック
国鉄72系仙石線アコモ改造車(スカイブルー)(4両セット/¥3,780/2012年1月予定)

※ 予定品はすべて試作品となっています。また、キット品は一部完成見本、組み立て見本で掲載されています。表記価格は、すべて税込みの予定価格です。



屋根から妻板に至る配管類や、特徴的な端部の丸窓なども成型で表現されている。



印象的な側面のロゴ。こういったものの印刷表現は、マイクロエースがピカイチだ。

マイクロエース

2012年春の引退が表明された300系新幹線の、0番台と3000番台での製品化を発表。どちらも通常ドアタイプなので、TOMIX製品とは異なる印象になるはずだ。東武200系「復興メッセージマーク付き」は、売り上げの一部が被災地に寄付される特別企画商品だ。



マイクロエース
伊豆急100系 冷房車
(7両セット/A8170/¥27,300/2012年1月以降予定)



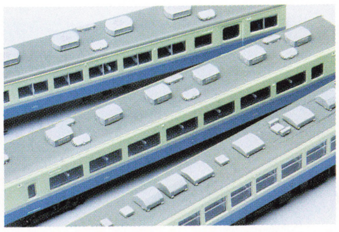
山本寛斎氏デザインの新スカイライナーがついに登場。ブルーメタリックも流麗に再現。



マイクロエース
京成 新AE形 スカイライナー
(8両セット/A7370/¥24,990/2012年1月以降予定)



100系の営業運転50周年を記念して、夏季輸送用に冷改車が集められた編成を製品化。前面は原型タイプ(左)と車体更新車(右)など、複数のタイプが含まれる。



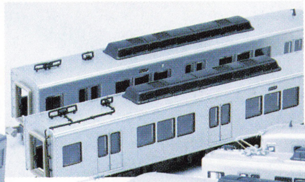
多種多様な側窓やクーラーの形状が、寄せ集め編成らしさを強調する。



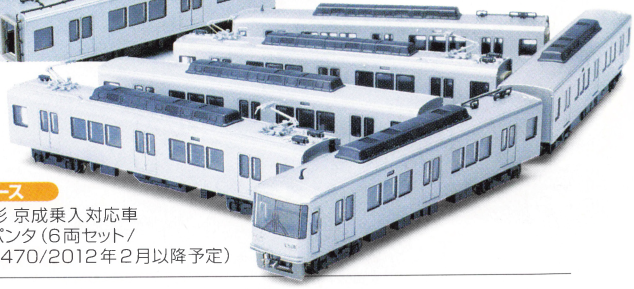
前面形状はほぼ同じだが、スカート付はクリーム色のボディに茶色帯の新京成塗色、京成乗り入れ対応車はクリーム色のボディにマルーン帯で製品化される。



マイクロエース
新京成8800形 スカート付
(8両セット/A6782/¥27,300/2012年2月以降予定)



スカート付(奥)はオリジナルの屋根。京成乗り入れ対応車(手前)は中間車からの改造のため、先頭車の方向幕位置や無線アンテナの配管などが異なる。

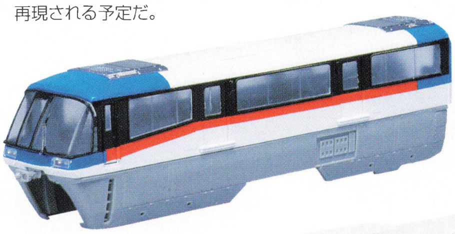


マイクロエース
新京成8800形 京成乗入対応車 シングルアームパンタ(6両セット/A6785/¥22,470/2012年2月以降予定)

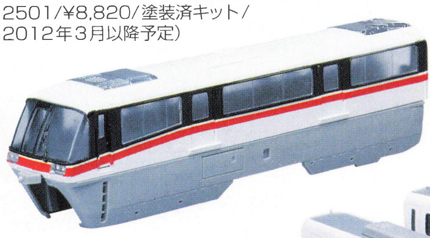
グリーンマックス

西武6000系や東京メトロ15000系など、現在の民鉄車両を多数手がける一方で、今度はすでに引退した都営地下鉄5000形も製品化する。また、ディスプレイモデルの東京モノレール1000形も、いよいよ塗装済みキットで発売になる。

グリーンマックス
東京モノレール1000形新塗装(車両6両・レール入り/2502/¥8,820/塗装済キット/2012年2月以降予定)
どちらの製品も、窓パーツはスモークガラスが再現される予定だ。



グリーンマックス
東京モノレール1000形旧塗装(車両6両・レール入り/2501/¥8,820/塗装済キット/2012年3月以降予定)





グリーンマックス
近鉄21020系
アーバンライナーnext
(基本3両編成セット/4227/¥15,750、増結用中間車3両セット/4228/¥11,550/完成品/12月予定)



グリーンマックス
キハ200 ハウステンボス色
(2両編成セット/M付/4215/¥13,650、同Mなし/4216/¥11,550/完成品/12月予定)



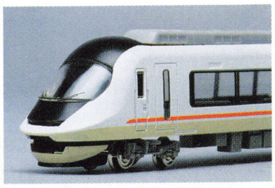
キハ200系のリニューアルに合わせてラインナップに加わったハウステンボス色。鮮やかな色彩とロゴが再現される。



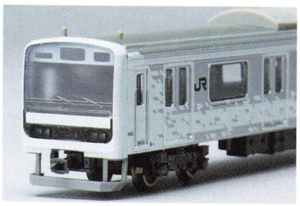
名阪特急の直通運転50周年を記念して、「サンクスキャンペーン」のラッピングが施されたUL22編成も6両セットで用意される。



側面に入るロゴマークも、鮮やかな発色で仕上がりに期待が持てる。



21000系とは異なる印象の前面を持つ、21020系。側面の行先表示器は、走行中(消灯)をイメージして、黒色で印刷される予定だ。



マイクロエース初の209系0番台改造車の一環として、試験車の「Mue-Train」が製品化される。



ステンレス車体に施された細かな柄やロゴ類も、得意の印刷技術で鮮明に再現する。



マイクロエース

北総開発鉄道7000形
無線アンテナ装備
(6両セット/A2171/¥21,420/2012年2月以降予定)



特徴的なΣ型の前面形状を再現。新京成に乗り入れていた6両編成がプロトタイプで、先頭車の屋上にはIRアンテナとSRアンテナが装着されている。

マイクロエース

209系 多目的試験車「MUE-Train」タイプ
(7両セット/A7654/¥27,405/2012年3月予定)





房総地区への転属にあたり、新設されたトイレのために側窓が塞がれた姿も再現。



マイクロエース

415系800番台タイプ あかね色
七尾線（3両セット/A4652/¥14,700/2012年1月以降予定)



マイクロエース

209系2100番台 房総仕様
(6両セット/A7661/¥24,675/2012年3月予定)

マイクロエース

415系800番台 福知山色（6両セット/A4653/¥23,520/2012年1月以降予定)





東京メトロ東西線乗り入れ用のE231系800番台を、強化型スカートを装着した現在の姿でリニューアル。台車には波打車輪を再現する。

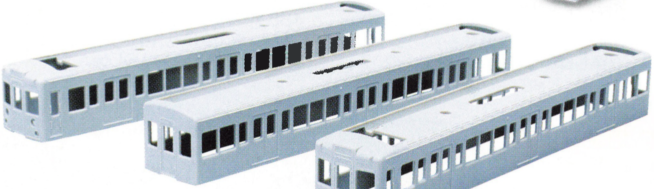


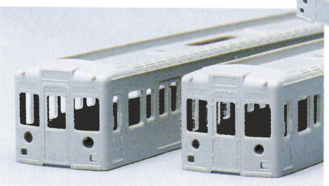
マイクロエース

E231系800番台 東西線
改良品（基本6両セット/A8460/¥24,675、増結4両セット/A8461/¥13,755/2011年12月以降)



あかね色は、昨今のJR西日本の単色化の一環で登場した車体色。福知山色は、早期落成した415系800番台が福知山線で短期間活躍していた姿を再現した。





旧塗色の前面（左）よりも新塗色ではヘッドライトや行先表示器の大きさが小さくなっている。

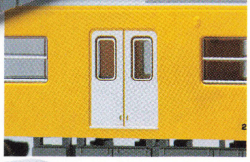
グリーンマックス

都営地下鉄5000形 旧塗装・未更新車
(貫通4両編成セット/4259/¥18,900/完成品/2012年1月予定)、都営地下鉄5000形 新塗装・更新車
(基本4両編成セット/4274/¥18,900/完成品/2012年2月予定)



グリーンマックス

西武2000系初期車更新車
2015編成（6両編成セット/4233/¥27,300/完成品/2012年1月予定)



窓パーツへの銀色の印刷で、金属押さえになった客扉を再現。



グリーンマックス

公団住宅（UR賃貸住宅)
(2702/¥2,730/完成品/12月予定)



グリーンマックス

公団住宅（公団)
(2701/¥2,730/完成品/12月予定)





個性的な前面を持つ15000系をさっそく模型化。模型は一部、東京メトロ05系13次車と部品を共通化している)

グリーンマックス

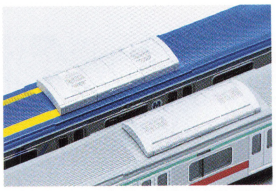
東京メトロ15000系
(基本4両編成セット/4220/¥19,950、増結用中間車3両セットA/4221/¥11,550、増結用中間車3両セットB/4222/¥11,550/完成品/2012年2月予定)

※ 予定品はすべて試作品となっています。また、キット品は一部完成見本、組み立て見本で掲載されています。表記価格は、すべて税込みの予定価格です。

マイクロエース
C56-160 改良品
(A6310/¥11,550/
2012年2月以降
予定)



東急5000系は日立製クーラーを搭載した偶数編成(手前)、Y500系は三菱製クーラーを搭載した奇数編成(奥)を再現しているので、屋上の形態も変わってくる。





東急の主力、5000系(手前)とそれを元にした横浜高速鉄道Y500系。後者の大胆な車体への印刷にも注目。

マイクロエース
C11-171
SL函館大沼号
(A7312/
¥11,025)



マイクロエース
東急5000系 6次車 偶数編成(基本6両セット/A7860/¥22,890、6扉車増強編成/増結4両セット/A7862/¥12,600/12月以降予定)







JR高山本線に乗り入れる名鉄の気動車特急『北アルプス』。中間車を含む5両編成で、先頭車の貫通ホロは、付属ホロアダプター部品を装着できる。

マイクロエース
名鉄キハ8500系
(5両セット/A7190/
¥22,155/2012年3月予定)



会津鉄道のキハ8500系は、2両編成を2セット組んだ4両セット。どちらにもM車が含まれる。こちらの前面は貫通ホロが装着済みで、脱着はできない。



マイクロエース
横浜高速鉄道 Y500系
奇数編成 登場時(8両セット/A7854/¥27,300/12月以降予定)

マイクロエース
会津鉄道キハ8500系(4両セット/A7191/¥22,680/2012年3月予定)





マイクロエース
485系レッドエクスプレス
特急『きりしま』(5両セット/A1095/¥18,165/2012年2月以降予定)

マイクロエース
クモニ83100+クモハ54100 スカ色 飯田線
(5両セット/A3995/¥25,725/
12月以降予定)





JR九州らしい、車体各部のレタリング類も鮮明な印刷で再現されている。



2011年3月に引退したJR九州の485系。短編成化改造で登場した半室グリーン車のクロハ481(手前)とクモハ485(奥)が『きりしま』らしい。

マイクロエース
クモユニ81+クモハ60 スカイブルー 大糸線
(5両セット/A3994/¥25,725/
12月以降予定)



マイクロエース
キハ32 JR四国色
丸型ライト
(2両セット/A7885/
¥11,550/
2012年2月以降予定)



マイクロエース
キハ32 旧塗装・オレンジ
松山気動車区
(2両セット/A7880/
¥11,550/
2012年2月以降予定)

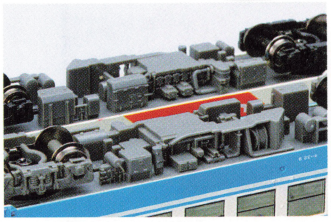




大糸線に含まれるクモハ60113(手前)と、飯田線のクハ68414。旧型国電らしい、前面の細かな違いもつくり分けられている。



手前から大糸線のクモユニ81 003と、飯田線のクモニ83 103。どちらも湘南顔で、動力ユニットを搭載している。タイフォンの網目まで成型されている。



国鉄がつくった軽快気動車。トレーラー車のエンジンの成型に注目。プラ製Nゲージのディテールも、ここまで緻密になった。



コンパクトに楽しめる16m級気動車。JR四国の現行塗色と、塗り替えられる前のオレンジ帯の2色をリリース。

※ 予定品はすべて試作品となっています。また、キット品は一部完成見本、組み立て見本で掲載されています。表記価格は、すべて税込みの予定価格です。

問い合わせ先:● KATO(ホビーセンターカトー東京):03-3954-2171 /●グリーンマックス:03-5943-1715 /● TOMIX・トミーテック(お客様相談室):03-3695-3161 /
●マイクロエース:048-444-2944 /● MODEMO(ハセガワ):054-628-8241(五十音順)

※このインフォメーションは、2011年12月8日現在の内容です。
※発売日・価格・品番等は変更になる場合があります。詳細はメーカーホームページや模型店等でご確認ください。
※カッコ内は(セット両数/品番/価格)となります。単品の商品はセット両数を省略してあります。
※M付はモーター車、T車は動力のないトレーラー車です。電車・気動車の基本セットは、動力車が含まれています。
増結セットには、特記のない限り動力車は含まれておりません。付属セットは商品により異なります。
※本欄では、鉄道模型メーカーが自社商品として発売するもののみ掲載しています。鉄道事業者等が独自に出す商品は掲載しておりません。

KATO

新製品情報

★12月予定
●103系 ブルー(3両セット/10-035/¥4,725)
●103系 オレンジ
(3両セット/10-036/¥4,725)
●103系 ウグイス
(3両セット/10-037/¥4,725)
●103系 カナリア
(3両セット/10-038/¥4,725)
●103系 エメラルドグリーン
(3両セット/10-039/¥4,725)
●東京メトロ有楽町線・副都心線10000系
(6両基本セット/10-866/¥16,800、
4両増結セット/10-867/¥8,400)
●急行「ニセコ」
(6両基本セット/10-873/¥12,600、
6両増結セット/10-874/¥12,600)
●C62 3 北海道形(2017-3/¥13,125)
●KATO Nゲージ・HOゲージ鉄道模型
カタログ 2012(25-000/¥1,575)
●ユニトラック 電動Y字ポイント2番
(20-222/¥2,520)
★2012年1月予定
●自動踏切S 基本セット(20-652/¥18,900)
●自動踏切S 複線化セット
(20-653/¥6,825)
●センサー線路用延長ケーブル
(20-654/¥840)
●キハ35 900 シルバー(6077-1/¥2,520)
●ヘッドマークセット EF65 1000用(国鉄)
(11-351/¥1,260)
●ヘッドマークセット ED76用(国鉄)
(11-352/¥1,260)
●ED76 0 後期形(3013-1/¥7,350)
●オシ24 100 銀帯(5174/¥1,680)
●オハネフ25 100(5181/¥2,520)
●オハネ25 100(5182/¥1,680)
●オロネ25(5183/¥1,680)
●カニ24 100(5184/¥2,520)
●オハネフ25 200(5185/¥2,520)
●オハ24 700 ロビーカー(5186/¥1,680)
●近鉄10100系 新ビスタカー
(A編成3両セット/10-591/¥11,550、
B編成3両セット/Mなし/10-592/¥7,875)
★2012年2月以降予定
●バス営業所 グリーン(23-461B/¥4,095)
●路線バス・ブルー(2台入)
(23-509/¥1,260)
●駅前タクシー営業所 グレー
(23-456B/¥2,573)
●101系 中央線
(6両基本セット/10-886/¥15,225、
4両増結セット/10-887/¥9,870)
●D51 498 オリエントエクスプレス'88
(2016-2/¥13,125)
●キハ20系(オレンジ)
(2両セット/10-042/¥3,675)
●キハ20系(ブルー)
(2両セット/10-043/¥3,675)
★2012年3月以降予定
●E2系東北新幹線〈はやて〉
全線復旧1番列車
(10両セット/10-868/¥25,200)
●EF81 一般色 敦賀運転派出
(3066-3/¥7,560)
●24系寝台特急「日本海」
(6両基本セット/10-881/¥12,600、
5両増結セット/10-882/¥10,500)
●D51 標準形(2016/¥11,550)
●ワム70000(2両入/8056/¥1,470)
●タキ9900 日本石油輸送(8058/¥1,260)

再生産情報

★2012年1月予定
●キハ30 一般色
(M付/6072-1/¥5,670、T車/6073-1/¥2,835)
●キハ35 一般色
(M付/6074-1/¥5,355、T車/6075-1/¥2,520)
●キハ36 一般色(6076-1/¥2,520)
●E2系1000番台〈はやて〉
(6両増結セット/10-279/¥10,710)
●N700系「のぞみ」
(4両増結セット/10-548/¥8,925)
●EF81 300番台(3067-1/¥7,560)
●EF58 後期形 小窓 Hゴム(3049/¥6,510)
●キハ58(M付/6048/¥4,620、
T車/6049/¥2,100)
●キハ28(6050/¥2,100)
●キハ65(6051/¥2,100)
●キロ28(グリーン帯あり)(6052/¥1,470)
●キロ28(グリーン帯なし)(6052-1/¥1,470)
★2012年2月以降予定
●コキ50000 C20・C21形コンテナ積載
(2両セット/10-815/¥3,465)
●コキ750000 C20形コンテナ積載
(8054/¥2,940)
●EF58 61 お召機(3038/¥7,035)
●オリエントエクスプレス'88
(7両基本セット/10-561/¥16,800、
6両増結セット/10-562/¥14,700)
●EF80 1次形(3064-1/¥7,350)
●オハ14(5036/¥1,260)
●スハフ14(5037/¥1,785)
●オハフ15(5038/¥1,785)
●DD51 842 お召機(7008-5/¥6,930)
●DD51 800番台(7008-6/¥6,825)
●コキ200 ISOタンクコンテナ積載
(8042-1/¥1,995)

TOMIX

新製品情報

★12月予定
●ベーシックセットSD ブルートレイン
(90159/¥15,750)
●ベーシックセットSD ドクターイエロー
(90160/¥16,800)
●国鉄 455(475)系
(3両基本セット/92413/¥14,700、
2両増結セット/92414/¥7,140)
●クハ455(8947/¥3,990)
●サハ455(8948/¥2,730)
●サロ455(帯入り/8949/¥3,045、
帯なし/8950/¥2,940)
●サハシ455(8951/¥3,045)
●JR 923形(ドクターイエロー)
(3両基本セット/92429/¥10,395、
4両増結セット/92430/¥10,395)
●JR 189系(あさま)(5両基本セット
/92434/¥19,950、2両増結セット
/92436/¥6,195)
●JR 189系(あさま・グレードアップ車)
(5両基本セット/92435/¥19,950、
2両増結セット/92437/¥6,195)
●JR 100系山陽新幹線
(K編成・復活国鉄色)セット
(6両セット/92987/¥18,480/限定生産)
●JR コキ107形貨車(W18Fコンテナ付)
セット(2両セット/92989/¥3,990/限定生産)
●JR キハ48-500形(五能線)セット
(2両セット/92990/¥11,340/限定生産)
●いすみ鉄道キハ52-125形(2639/¥7,560)
●トミックス総合ガイド
(2011-2012年版カタログ)(7033/¥1,890)
●トミックス パーツカタログ(2011-2012年
版)(7333/¥630)
★2012年1月予定
●JR EF63形(1次形・青色)セット
(2両セット/92167/¥14,910)
●JR EF81形(北斗星色)(9126/¥6,825)
●国鉄 オハフ50形(2501/¥2,205)
●国鉄 オハ50形(2502/¥1,575)
●JR オハネフ25-0形(北斗星仕様)増結用
(2507/¥1,890)
●JR オハネ25-0形(北斗星仕様)増結用
(2508/¥1,680)
●JR オハネフ25-200形(北斗星仕様)
増結用(2509/¥1,890)
●JR オハネ25-100形(北斗星仕様)増結用
(2510/¥1,680)
●国鉄 マニ50形(2511/¥2,415)
●国鉄 スハ43形(青色)(8547/¥1,890)
●国鉄 スハフ42形(青色)(8548/¥2,415)
●国鉄 オハ47形(青色)(8549/¥1,890)
●国鉄 オハニ36形(青色)(8550/¥2,625)
●JR V19C形通風コンテナ
(3個入/3142/¥735)
●私有 U20A-500形コンテナ
(日本通運・3個入)(3144/¥735)
●トミックスシステムガイド(基礎編)
〈パワーユニットN-600対応版〉(7311/¥315)
●トミックス 鉄道模型レイアウターF 2011
(6922/¥2,940)
●交換ドアセット(旧客用Hゴム窓・青・右開
き4個・左開き4個)(0893/¥1,575)
●交換ドアセット(旧客用Hゴム窓大・青・右
開き4個・左開き4個)(0894/¥1,575)
★2012年2月予定
●JR 500-7000系山陽新幹線(こだま)セット
(8両セット/92815/¥22,050)
●JR 583系電車(JR東日本N1・N2編成)
セット(6両セット/92841/¥23,100)
★2012年3月以降予定
●JR 225-0系(6両固定編成)セット
(6両セット/92982/¥20,580/限定生産)
●JR 225-0系(3両基本セット
A/92420/¥11,340、4両基本セット
B/92421/¥16,170、5両増結セット
/92422/¥13,440)
●JR 225-5000系
(4両基本セット/92438/¥16,170、
4両増結セット/92439/¥11,760)
●JR キハ120形(越美北線・首都圏色)セット
(2両セット/92171/¥10,290)
●JR E1系上越新幹線(Max・新塗装)
(6両基本セット/92834/¥18,690、
6両増結セット/92835/¥16,800)
●JR EF81形(カシオペア色)
(9127/¥6,825)
●JR EF510・E26系(カシオペア)
(3両基本セット/92408/¥10,395)
●JR E26系(カシオペア)
(4両増結セットA/92409/¥11,865、
6両増結セットB/92410/¥13,440)
●JR カヤ27-500形(カシオペア)
(M付/8541/¥5,460)
●JR 489系(白山)(5両基本セット
/92446/¥19,950、4両増結セット
/92447/¥13,650)
●JR キハ183系(旭山動物園号)セット
(5両セット/92988/¥19,740/限定生産)
●E231-800系(東京メトロ東西線直通用)
(品番/価格等未定)
●富士急行キハ58形(キハ58001・キハ
58003)セット(2両セット/92172/¥12,600)
●国鉄キハ58系(アルプス・八ヶ岳)
(4両基本セット/92442/¥18,900、
4両増結セット/92443/¥16,275)
●JR 24系25形(日本海・JR西日本仕様)
セット(7両セット/92816/¥15,540)
●JR 24系25-0形(日本海・モトトレール)
セット(7両セット/92817/¥16,800)
●国鉄 オハネフ25-0形(前期型)
(8536/¥2,625)
●国鉄 オハネフ25-0形(後期型)
(8537/¥2,625)
●国鉄 オハネ25-0形(8538/¥1,680)
●JR EF81形(敦賀運転所)(9125/¥6,720)
●JR EF65-1000形(1059号機・JR貨物試
験色)(9197/¥6,825/限定生産)
●JR 300-3000系東海道・山陽新幹線セット
(16両セット/92991/¥42,000/限定生産)
●JR C57形(180号機)(2005/¥17,220)
●JR 12系(ばんえつ物語・旧塗装)セット
(7両セット/92842/¥16,800)
●JR ED79-50形(登場時)
(9198/¥7,140/限定生産)
●小田急ロマンスカー10000形HiSE
(ロゴマーク付)セット(11両セット
/92845/¥17,850)
●北近畿タンゴ鉄道KTR8000形
(基本セット/92159/¥9,240、増結セット
/92160/¥4,200)
●183・485系特急電車(北近畿)セット
(92844/¥22,050)
●183・485系特急電車
(北近畿・クハ183-801)セット
(92992/¥22,050/限定生産)
●ワイドレール用壁S70・信号用
(3054/¥672)
●複線曲弦大トラス鉄橋(F)(赤)
(複線PC橋脚・2本付)(3221/¥4,200)
●複線曲弦大トラス鉄橋(F)(緑)
(複線PC橋脚・2本付)(3222/¥4,200)
●TCS自動踏切II(5569/価格未定)
●TCS5灯式信号機WP(F)(5570/¥4,830)
●TCS4灯式信号機WP(F)減速(黄・青)表
示型(5571/¥4,620)
●TCS3灯式信号機WP(F)(5572/¥4,410)
●コンビニエンスストア(ファミリーマート)
(4070/¥1,680)
●コンビニエンスストア(スリーエフ)
(4071/¥1,680)
●常緑樹(ライトグリーン・4本セット)
(8184/¥630)
●常緑樹(グリーン・4本セット)(8185/¥630)
●落葉樹(ライトグリーン・4本セット)
(8186/¥630)
●落葉樹(グリーン・4本セット)(8187/¥630)
●落葉樹(レッド・4本セット)(8188/¥630)

再生産情報

★12月予定
●国鉄 DD51-500形(2212/¥6,300)
●JR DD51形(JR北海道色)
(2215/¥6,510)
★2012年1月予定
●JR 24系25形(夢空間北斗星)セット
(7両セット/92792/¥17,325)
●国鉄 コキ10000形
(コンテナ付/2756/¥1,680、コンテナなし
/2757/¥1,050)
●国鉄 コキフ10000形
(コンテナなし)(2758/¥2,205)
★2012年2月予定
●国鉄 キハ58-400形
(M付/8411/¥6,510、T車/8412/¥3,885)

マイクロエース

新製品情報

★12月以降予定
●国鉄キニ28 首都圏色
(2両セット/A0719/¥10,815)
●国鉄キユニ28 首都圏色
(2両セット/A0721/¥10,815)
●EF12-16 スノープロウ付 高崎第二機関区
(A2105/¥8,295)
●ED16-1 立川機関区 改良品
(A2804/¥8,295)
●クモニ81+クモハ60 スカイブルー
大糸線(5両セット/A3994/¥25,725)
●クモニ83100+クモハ54100 スカ色
飯田線(5両セット/A3995/¥25,725)
●スハ43系 JR東日本イベント用列車
(5両セット/A6980/¥15,435)
●スエ78・スハフ32・オハニ36 JR東日本イベ
ント用客車(3両セット/A6981/¥12,600)
●横浜高速鉄道 Y500系 奇数編成 登場時
(8両セット/A7854/¥27,300)
●東急5000系 6次車 偶数編成
(基本6両セット/A7860/¥22,890、6扉車増
強編成 増結4両セット/A7862/¥12,600)
●E231系800番台 東西線 改良品
(基本6両セット/A8460/¥24,675、増結4両
セット/A8461/¥13,755)
★2012年1月以降予定
●415系800番台タイプ あかね色 七尾線
(3両セット/A4652/¥14,700)

●415系800番台 福知山色
(6両セット/A4653/¥23,520)
●キハ48型 リゾートしらかみ 青池編成
(3両セット/A6461/¥15,645)
●キハ48型 リゾートしらかみ ぶな編成 登場時(3両セット/A6462/¥15,645)
●京成 新AE形 スカイライナー
(8両セット/A7370/¥24,990)
●伊豆急100系 冷房車
(7両セット/A8170/¥27,300)
●19m級 完成動力ユニット SS170M・グレー
(E0002/¥4,200)
★2012年2月以降予定
●115系300番台 スカ色 豊田 M40編成
(6両セット/A0626/¥22,470)
●485系レッドエクスプレス 特急「きりしま」
(5両セット/A1095/¥18,165)
●コキ71+UM20A カーラックコンテナ車
(2両セット/A1262/¥5,040)
●コキ50000+UT8Cタイプ(日本石油輸送)
(2両セット/A1263/¥5,040)
●北総開発鉄道7150形 改良品
(8両セット/A1364/¥26,250)
●京急1000形 冷房新製車
(8両セット/A1365/¥24,780)
●北総開発鉄道7000形 無線アンテナ装備
(6両セット/A2171/¥21,420)
●コキ106+U47A(日本通運・エコライナー31)(8両セット/A3262/¥20,160)
●東京メトロ06系 千代田線 改良品
(基本6両セット/A5032/¥23,520、増結4両セット/A5042/¥13,230)
●813系 0+400番台
(3両セット/A6290/¥13,860)
●813系 100番台
(3両セット/A6291/¥13,860)
●C56-160 改良品(A6310/¥11,550)
●新京成8800形 スカート付
(8両セット/A6782/¥27,300)
●新京成8800形 京成乗入対応車 シングルアームパンタ
(6両セット/A6785/¥22,470)
●神戸電鉄3000系 前期型 登場時
(4両セット/A6990/¥17,325)
●神戸電鉄3000系 前期型 新塗装
(4両セット/A6991/¥17,325)
●京王6000系 新塗装(8両セット/A7057/¥27,300)
●京王6000系 都営地下鉄線乗入仕様車 旧塗装(8両セット/A7063/¥27,300)
●京成3300形 更新車 新塗装
(6両セット/A7676/¥22,470)
●京成3300形 更新車 復活青電塗装
(4両セット/A7678/¥17,745)
●京成3300形 更新車 復活赤電塗装
(4両セット/A7679/¥17,745)
●京成3300形 更新車 復活ファイアーオレンジ塗装(4両セット/A7680/¥17,745)
●キハ32 旧塗装・オレンジ 松山気動車区
(2両セット/A7880/¥11,550)
●キハ32 JR四国色 丸型ライト
(2両セット/A7885/¥11,550)
★2012年3月以降予定
●名鉄キハ8000系 全車普通車編成 特急「北アルプス」(6両セット/A1352/¥24,570)
●東武200系 復興メッセージマーク 特急「りょうもう」(6両セット/A2652/¥22,050)
●東武200系 シングルアームパンタ 妻板塗装 急行「りょうもう」
(6両セット/A2653/¥22,050)
●EF61-6 改良品・青色(A3604/¥8,085)
●キハ37 加古川線色
(2両セット/A6791/¥10,815)
●名鉄キハ8500系
(5両セット/A7190/¥22,155)
●会津鉄道キハ8500系
(4両セット/A7191/¥22,680)
●209系3100番台 八高線
(4両セット/A7653/¥20,475)
●209系 多目的試験車「MUE-Train」タイプ
(7両セット/A7654/¥27,405)
●209系2100番台 房総仕様
(6両セット/A7661/¥24,675)
●209系 訓練車タイプ 東京・大宮総合訓練センター(2両セット/A7662/¥12,075)
●国鉄10系・44系・スハネ30 急行「銀河」
(基本7両セット/A8564/¥18,480、増結7両セット/A8565/¥18,480)
★2012年4月以降予定
●京急600形・赤・シングルアームパンタ
(8両セット/A7173/¥27,090)
●京急600形(4両固定)(4両セット/A7176/¥17,325)
●京急600形・赤・更新車 前面スリットナンバー(8両セット/A7177/¥27,090)
●300系 東海道・山陽新幹線「J61」編成 シングルアームパンタ(基本8両セット/A7354/¥27,195、増結8両セット/A7355/¥25,515)
●300系 東海道・山陽新幹線「F9」編成 シングルアームパンタ(基本8両セット/A7360/¥27,195、増結8両セット/A7361/¥25,515)
●25m級 完成動力ユニット TDT203・グレー
(E0004/¥4,200)

再生産予定

★12月以降予定
●秩父鉄道デキ200・茶色(A2069/¥6,510)
●秩父鉄道デキ300・青色(A2075/¥6,510)
●秩父鉄道ヲキ100・ヲキフ100型
(10両セット/A2086/¥13,650)
●国鉄キハ42500・旧塗装
(2両セット/A2280/¥10,290)
●国鉄キハ07系200番台・標準色・樽見線
(4両セット/A2288/¥17,850)
●テム300(鉄製有蓋車)(2両セット/A3031/¥1,313)
●テラ1(2両セット/A3041/¥1,313)
●ワム70000(2両セット/A3051/¥1,313)
●ワム70000 急行(2両セット/A3052/¥1,313)
●レ5000(2両セット/A3061/¥1,313)
●レ6000(2両セット/A3062/¥1,313)
★2012年1月以降予定
●200系1000番台新幹線 リニューアル編成
(基本6両セット/A1594/¥18,375、増結4両セット/A1595/¥10,500)
●西鉄2000形 登場時
(6両セット/A1890/¥18,375)
●キハ59系
「アルファ・コンチネンタル・エクスプレス」
(4両セット/A1960/¥14,490)
★2012年2月以降予定
●マヤ34-2002 高速軌道試験車
(A0300/¥2,625)
●マヤ34-2004 クーラー増設
(A0304/¥2,625)
●西武701系 新色
(6両セット/A1062/¥19,740、4両セット/A1063/¥14,700)
●12系700番台「SLやまぐち号」用 レトロ調客車(6両セット/A2470/¥15,225)
●12系700番台「SLやまぐち号」用 レトロ調客車 リニューアル(5両セット/A2472/¥13,125)
●キハ140系 特急「はやとの風」
(3両セット/A6071/¥14,280)
★2012年3月以降予定
●東武鉄道1800系 急行「りょうもう」
(6両セット/A2091/¥18,375)

グリーンマックス

新製品情報

★12月予定
●キハ200 ハウステンボス色
(2両編成セット/M付/4215/¥13,650、Mなし/4216/¥11,550/完成品)
●JR九州キハ200形「赤い快速」
(2両編成基本セット/M付/4244/¥12,600、2両編成増結セット/4245/¥9,975/完成品)
●JR九州キハ200形「なのはな」(2両編成基本セット/M付/4248/¥12,600、2両編成増結セット/4249/¥9,975/完成品)
●近鉄21020系アーバンライナーnext
(基本3両編成セット/4227/¥15,750、増結用中間車3両セット/4228/¥11,550/完成品)
●公団住宅(公団)(2701/¥2,730/完成品)
●公団住宅(UR賃貸住宅)
(2702/¥2,730/完成品)
●JR211系5000番台
(4両編成セット/M付/4208/¥18,900/完成品、Mなし/4209/¥16,380/完成品)
★2012年1月予定
●西武2000系初期車更新車2015編成
(6両編成セット/4233/¥27,300/完成品)
●近鉄21020系 アーバンライナーnext名阪特急直通運転開始50周年ラッピング
(6両編成セット/4258/¥27,825/完成品)
●都営地下鉄5000形 旧塗装・未更新車
(貫通4両編成セット/M付/4259/¥18,900、先頭車4両編成セット/M付/4260/¥21,000 増結用先頭車2両セット/4261/¥10,500/完成品)
★2012年2月予定
●近鉄5800系L/Cカー(相直対応車)
(6両編成トータルセット/1115T/¥18,060/塗装済キット)
●近鉄1026系(相直対応車)
(6両編成トータルセット/1116T/¥18,060/塗装済キット)
●近鉄1252系(相直対応車)
(増結用先頭車2両セット/1116C/¥6,825/塗装済キット)
●近鉄1620系 VVVFロゴなし
(4両編成トータルセット/1117T/¥14,175/塗装済キット)
●近鉄1252・1436系 VVVFロゴなし
(増結用先頭車2両セット/1117C/¥6,510/塗装済キット)
●東京メトロ15000系
(基本4両編成セット/4220/¥19,950、増結用中間車3両セットA/4221/¥11,550、増結用中間車3両セットB/4222/¥11,550/完成品)
●高松琴平電鉄1070形
(2両編成/トータルセット/1118T/¥10,500、増結用先頭車2両セット/1118C/¥6,825/塗装済キット)
●高松琴平電鉄1100形
(2両編成トータルセット/1119T/¥10,500、増結用先頭車2両セット/1119T/¥6,825/塗装済キット)
●都営地下鉄5000形 新塗装・更新車
(基本4両編成セット/4274/¥18,900、増結4両編成セット/4275/¥15,750、増結用先頭車 2両セット/4276/¥10,500/完成品)
●東京モノレール1000形
(ディスプレイモデル)新塗装
(車両6両/レール入り/2502/¥8,820/塗装済キット)
●西武6000系副都心線対応
(基本3両編成セット/4291/¥16,695、増結用中間車 3両セット/4292/¥10,500、増結用中間車 4両セット/4293/¥14,175/完成品)
●カプラーアダプター(4204～4209)
(6713/¥630/パーツ)
★2012年3月以降予定
●京急2100形機器更新車
(基本4両編成セット/4251/¥18,900、増結用中間車4両セット/動力なし/4252/¥14,490/完成品)
●京急600形更新車
KEIKYU BLUE SKY TRAIN
(基本4両編成セット/4253/¥18,900、増結用中間車4両セット/4254/¥14,490/完成品)
●京急600形4次車CU71型クーラー搭載車
(基本4両編成セット/4255/¥18,900、増結4両編成セット/4256/¥15,750/完成品)
●京急600形CU71型クーラー搭載車
(基本4両編成セット/4272/¥18,900、増結用中間車4両セット/4273/¥14,490/完成品)
●東京モノレール1000形
(ディスプレイモデル)旧塗装
(車両6両/レール入り/2501/¥8,820/塗装済キット)
★2012年4月以降予定
●西武6000系
(基本3両編成セット/4294/¥16,695、増結用中間車3両セット/4295/¥10,500、増結用中間車4両セット/4296/¥14,175/完成品)

再生産予定

★12月予定
●車両ケース(2両)(8702/¥788)
●車両ケース(8両・グレー)
(8703/¥1,890)
★2012年1月予定
●阪神1000系
(基本6両編成セット/4132/¥26,250、先頭車2両セット/M付/4133/¥13,650、先頭車2両セット/Mなし/4134/¥10,290)
●JR103系 N40体質改善車 オレンジ 高運転台(4両編成トータルセット/1059T/¥10,290、増結用中間車4両増結セット/1059M/¥6,825/塗装済キット)
●JR103系 N40体質改善車 オレンジ 低運転台(4両編成トータルセット/1060T/¥10,290/塗装済キット)
●JR103系 N40体質改善車 スカイブルー
(高運転台4両編成トータルセット/1063T/¥10,290、増結用中間車2両増結セット/1063M/¥4,200/塗装済キット)
●JR103系 N40体質改善車 スカイブルー 低運転台
(4両編成トータルセット/1064T/¥10,290/塗装済キット)
●北総鉄道7300形
(4両編成トータルセット/1076T/¥13,650、増結用中間車4両セット/1076M/¥8,400/塗装済キット)
●阪急 8300系 京都線 3次車 シングルアームパンタ車
(8両セット/4083/¥31,500/完成品)
●名鉄空港特急2200系 一部特別車
(4両編成セット/4093/¥18,900、増結用中間車2両セット/4035/¥8,400/完成品)
●小田急8000形 未更新車
(基本6両編成セット/4158/¥24,150、基本4両編成セット/4159/¥17,850、増結4両編成セット/4160/¥15,540/完成品)

MODEMO

新製品情報

★12月～2012年1月予定
●豊橋鉄道市内線 モ784"日本通運号"
(M付/NT128/¥7,770/限定生産)
★2012年3～4月予定
●京福電鉄 モボ101形"嵐電パトトレイン"
(M付/NT129/¥7,770)
★2012年4～5月予定
江ノ島電鉄20形"リバイバルカラー"
(M付/NT126/¥11,340/限定生産)
★5月～6月予定
●東京都電9000形"9001 赤塗装"
(M付/NT127/¥7,770)

トミーテック(鉄道コレクション)

新製品情報

★12月予定
●JR201系京葉線K4+54最終編成
(5両セットA/¥4,725、5両セットB/¥4,725)
●銚子電鉄デハ1002(銚子カラー)(¥1,260)
●JR201系中央線H1編成(5両セットA/¥4,725、5両セットB/¥4,725)
★2012年1月予定
●国鉄72系仙石線アコモ改造車
(ウグイス＋警戒色)(4両セット/¥3,780)
●国鉄72系仙石線アコモ改造車
(スカイブルー)(4両セット/¥3,780)
●国鉄52系1次車 飯田線(飯田線快速色)
(4両セット/¥4,620)
●国鉄52系1次車 飯田線(横須賀色)
(4両セット/¥4,620)
★2012年2月予定
●弘南鉄道6000系 青帯2両セット
(¥2,520)
★2012年3月予定
●鉄道コレクション第15弾(各¥840)
●秩父鉄道1000系(1008編成)新塗装
(3両セット/¥3,465)
●秩父鉄道1000系(1009編成)
復活ウグイス色(3両セット/¥3,465)



長寿の輸入凸型電機『国鉄ED22』をつくる

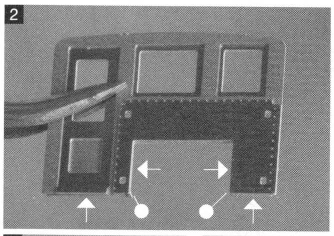
今回の題材は
アメリカ生まれの凸型電機ED22。
小型ながら味のあるスタイルで、
組み立てを終えた時の達成感も大きい。

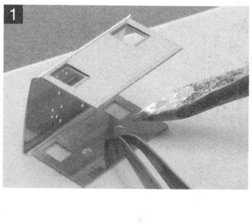
取材・文◎松尾よしたか　撮影◎米山真人
協力・組み立て◎ワールド工芸

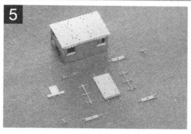
ワンポイントアドバイス！
各工程のハンダ付けでは、フラックスの塗布を忘れずに！金属表面の酸化皮膜を落とし、ハンダが流れやすくする必須工程だ。

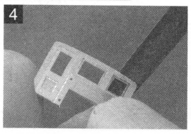
STEP 1 車体の組み立て

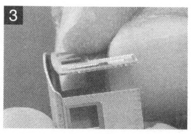
車体の本体（中間部）は側面と屋根が一体で、
前後に妻板を取り付けて箱状にする。
面の平行や直角をよくチェックしながら進めよう。

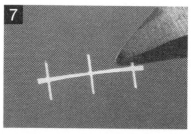


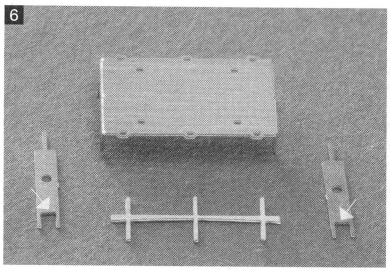


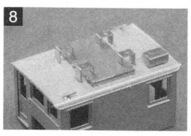






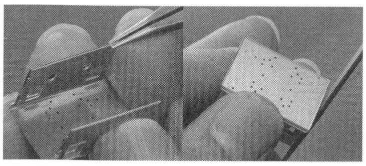




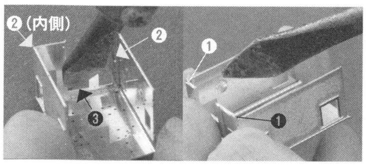


1二重になった側面をよく密着させ、内板の丸穴にハンダを流す。固定されたら、内板表面に盛り上がったハンダをヤスリで仕上げておく。これを怠ると、窓セル取り付けの際に密着しなくなる。2妻板の外板と内板を重ねる。矢印の部分で両者の輪郭をぴったり合わせ、丸印のところに少量のハンダを流して仮止めする。3妻板を車体にはめ込む。妻板と側面双方の内板の凹凸を合わせると位置が決まる。正しくはめ込んだ状態でハンダ付けする。4車体に対し妻板の上下方向が大きい場合は、屋根にあたる側をヤスリで少し削る。5屋根上にモニター、パンタ台、器具箱、ホイッスルを取り付ける。6モニターは本体の左右を下に曲げる。妻板（写真手前中央）は上辺が直線で、下辺が屋根に合わせてカーブしている。パンタ台は車端側の2本の足の間（矢印）に傾斜があり、左右で別の部品を使い分ける。7妻板は、上辺から出た3本足をニッパーで短くカットしてから、モニター本体にハンダ付けする。8屋根上の各部品を取り付けたところ。パンタ台と器具箱は、あらかじめ折り曲げて立体にしてから取り付ける。各部品とも、屋根の裏から足をハンダ付けする。

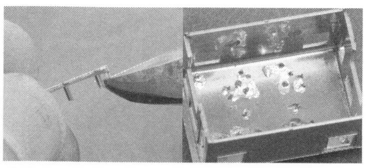
一歩差がつくテクニック



エッチング部品の輪郭には、ランナーから切り離した跡があるので、完成後に見える位置のものは、ヤスリで仕上げる（右）。二重に折り返した部品は、ブリッジの部分をヤットコでつまむとよく密着する（左）。



車体の妻板など、大きめの部品を取り付ける際は、まず接合部の端にハンダを点付けして仮止めし①、位置をチェックしてから全体にハンダを流す。車体の妻板の場合、仮止めの後に左右側面との接合部全体②、屋根との接合部③の順にハンダを流す。



屋根上の部品を取り付けると、裏に足が突き出す（右）。各部品を取り付ける前に、ニッパーで足を短めにカットしておくと（左）、必要以上に長く突き出すのを防ぐことができる。

Prototype Information

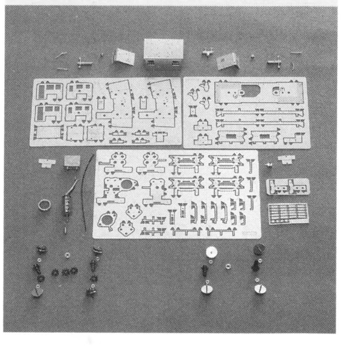
ED22は1926・27年に大糸線の前身である信濃鉄道がアメリカから3両輸入した凸型電機で、同鉄道とともに1937年に国有化された。第二次大戦後3両は別々の私鉄に譲渡され、ED22 1は今も弘南鉄道に在籍する。

金属キット製作講座
ハンダ・テクニック・アドバンス

これがキットの主なパーツ類だ！

国鉄ED22の主要パーツ。
ほかにネジ類などが加わっている。

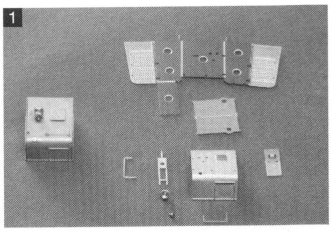
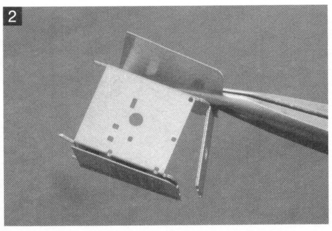
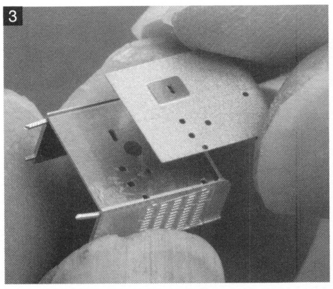
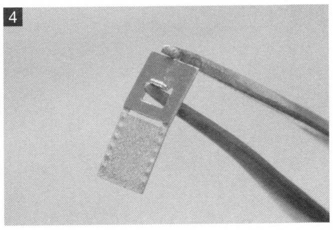
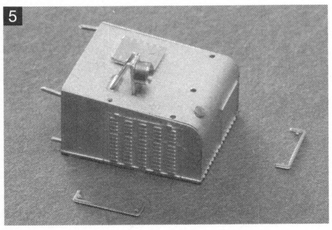
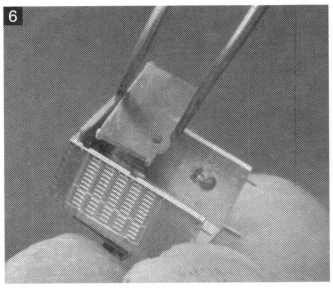
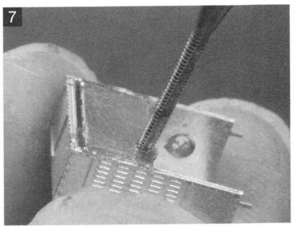
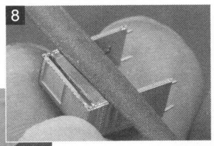
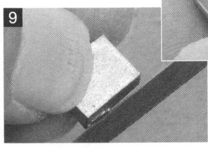
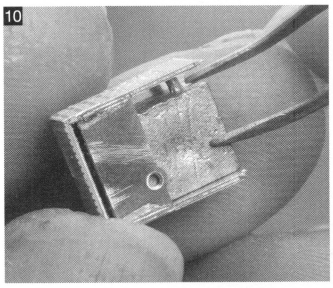
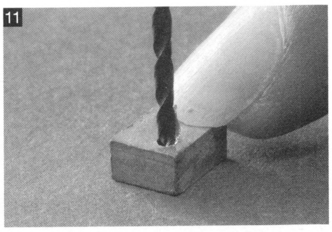
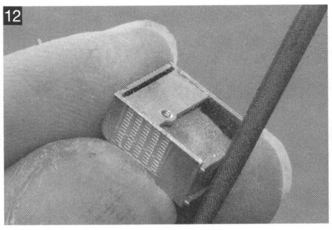
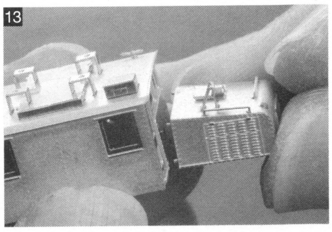
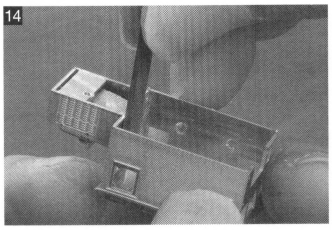
『国鉄ED22電気機関車組立キット』（￥13,650）。主要部分を真ちゅうおよび洋白のエッチング部品で構成し、曲面のある車体と前後のボンネットは折り曲げ加工済み。動力には小型モーターを使用し、片方の台車の2軸の動輪を駆動する。

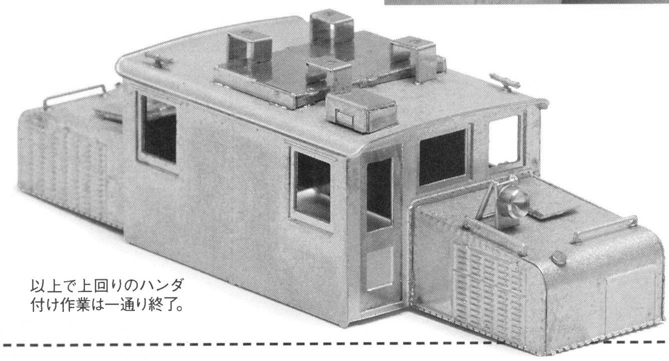


STEP 2 ボンネットの組み立て

**ED22のスタイルを特徴づける
ボンネットは、同じものを2個つくる。
車体本体に歪みなく
取り付けるのがポイントだ。**

1 右がこれから組み立てるボンネットの部品一式。左が組み立てを終えたボンネット。2 ボンネット本体は上面内板、側面、前妻内板を直角に曲げるとともに、側面を折り返して二重にし、それぞれの接合部をよく合わせてハンダ付けする。3 ボンネットのカバーは、上面内板と前妻内板に密着させてハンダ付けする。4 上面のハッチは、取り付け足になる部分を直角に曲げてから、全体を折り返して二重にする。5 ハッチ、ヘッドライト台、ヘッドライト、砂箱ふた、手すりを、それぞれ穴に差し込んで裏からハンダ付けする。6 床板取り付け用の座は、エッチングの溝を山折りにして二重にし、断面にハンダを流してからボンネットに取り付ける。側面内板との接合部の凹凸で位置が決まるので、浮かないように注意してハンダ付けする。7 床板取り付け用の座のネジ穴に、M1.4のタップでネジを切る。8 下面の余分なハンダと、側面下辺の折り返しのブリッジをヤスリで仕上げる。また、片方のボンネットの上板の下面もハンダをヤスリで仕上げ、ウェイト取り付けに備える。9 ウェイトは表面のバリをヤスリで仕上げる。2つ出ている丸いボスは、残しておいて構わない。10 ウェイトを仮に片方のボンネットに入れる。上板と進行方向右の側面の裏に密着させ、後方は側面の輪郭に位置を合わせる。11 ウェイトをボンネットから取り出し、前項でネジ穴と重なった位置に、φ2.0のドリルで深さ1㎜位の穴を彫る。12 ウェイトをエポキシ系接着剤で固定する。後方が側面の輪郭からはみ出した場合、ヤスリで仕上げておく。これを怠るとボンネットが車体の妻板に密着しなくなる。13 ボンネット側面後方の足を車体妻面の穴に差し込んで、裏からハンダ付けする。なお、屋根上に器具箱の付いている方（写真で表示されている方）が駆動部となるので、こちら側にウェイトの入ったボンネットを取り付ける。14 窓セル取り付けに備え、車体妻板内側に出たボンネットの足と余分なハンダを、ヤスリで仕上げておく。

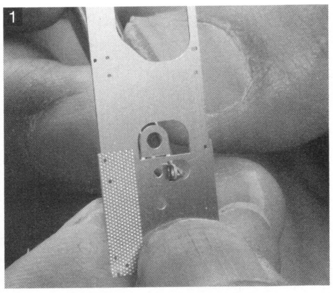
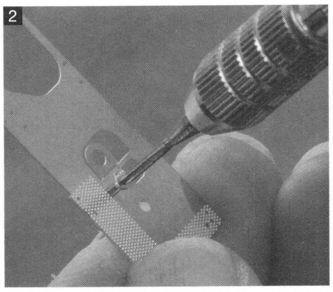
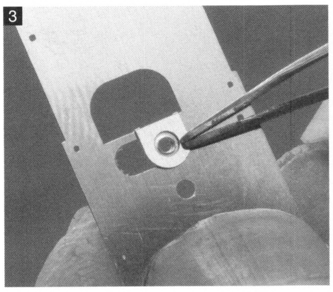
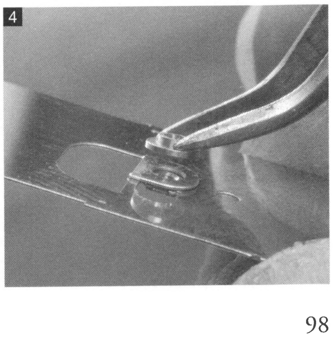
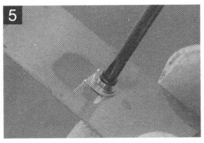
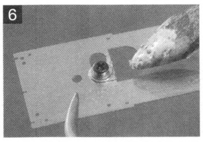
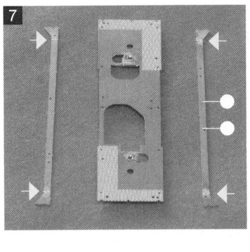
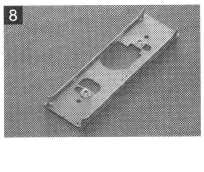
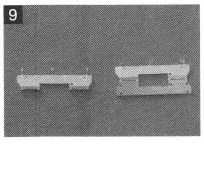
















以上で上回りのハンダ付け作業は一通り終了。

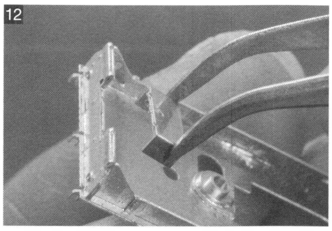
STEP 3 床板の組み立て

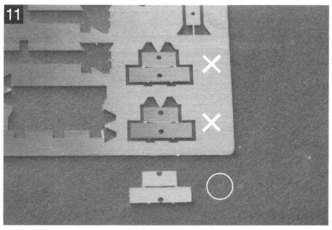
**床板は台車や車体を取り付ける
基本骨格にあたる部分だ。
ボンネットの周囲では上面が
ランボードとなり、前後には端梁が付く。**

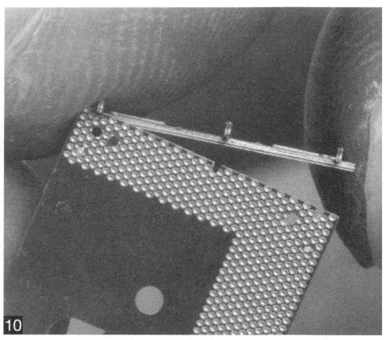
1 2つの台車取り付け用ボルスターのネジ穴部分を、折り返して床板に重ねる。2 前項の部分をハンダ付けし、穴にM1.4のタップでネジを切る。3 ボルスターのスペーサー部分を折り返し、床板に重ねる。4 真ちゅう挽き物の段付きボルスターを、前項のスペーサーの丸穴にはめ込む。段が小さい方を床板に向ける。5 段付きボルスターをネジで仮に止める。6 ボルスターの周囲と板材の折り返し部分にハンダを流す（ボルスター表面にハンダが付かないよう注意）。ネジを外すと、ボルスターが床板に固定されて台車を取り付ける基礎ができ上がっている。7 床板の左右にフレームを取り付ける。まず、フレームの矢印の箇所のディテールを折り返してハンダを流す。フレームは左右で部品が異なり、中間部の穴（丸印）が2個あるものを、床板のモーター用の穴から遠い側にする。8 フレームを床板に取り付ける。上辺にある足をあらかじめ短く切ってから穴に差してよく密着させ、前後2つずつの足のところを少量のハンダで仮止めする。9 端梁は折り重ねて断面にハンダを流し、解放テコ受けを直角にひねる（根元が細いので、切れないように慎重に）。右が部品の状態で、左が作業後。

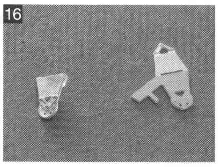










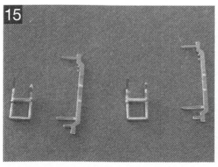
⑩端梁を床板に取り付ける。床板の凹みに解放テコを入れることで位置が決まるので、傾きがないかチェックのうえ、裏からハンダ付けする。⑪カプラー台はエッチングのB板のものは使わず、単体で入っている部品を使う。ネジ穴のある面を折り返して二重にし、左右を直角に曲げ、ハンダを流す。⑫カプラー台を床板に取り付ける。2つの突起を端梁の凹みに入れ、床板によく密着させてハンダ付けする。ネジ穴にはM1.2のタップでネジを切る。⑬解放テコ本体は左右の「握り」部を下向きに曲げ、テコ受けにはめ込んでハンダ付けする。⑭つかみ棒やテールライトを取り付ける際、穴がきつい場合はドリルで仕上げる。⑮ステップは洋白エッチングの部品で、折り曲げて接合部をハンダ付けする。2つの取り付け足の高さが同じもの(右)を乗務員ドア近く、足の高さが異なるもの(左)を車端側に取り付ける。⑯床下のプーリーは3個同じものを取り付ける。右の部品の2か所を折り返して左の形にし、接合の断面にハンダを流す。⑰テールライトはレンズ部分が開放テコより上に出るように、足を長めに切った状態で床板から浮かせて取り付ける。⑱つかみ棒、テールライト、ステップ、エアホース、プーリー、器具箱、ブレーキシリンダー台を取り付けると、その間にフレームと床板の接合部の大部分にハンダが回っている。残りの部分にハンダを流しておく。⑲端梁下辺の折り返しのブリッジをヤスリで仕上げる。⑳床板下面の余分なハンダをキサゲ刷毛で仕上げる。㉑ブレーキシリンダーをエポキシ系接着剤で取り付ける。

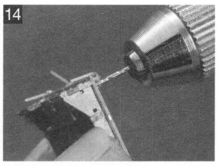

12

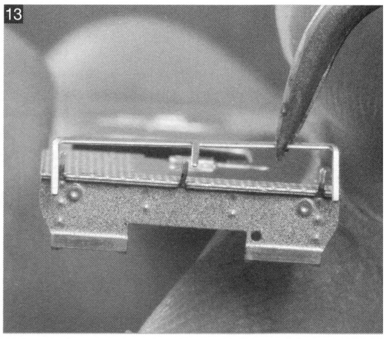

11

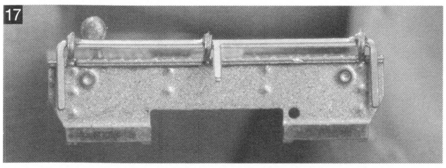

10

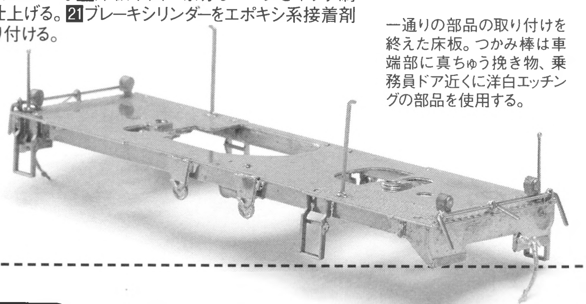

16


15

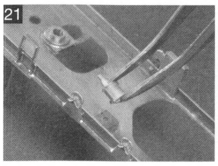

14

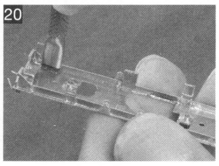

13

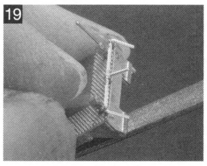

17

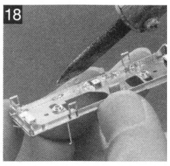


一通りの部品の取り付けを終えた床板。つかみ棒は車端部に真ちゅう挽き物、乗務員ドア近くに洋白エッチングの部品を使用する。


21


20

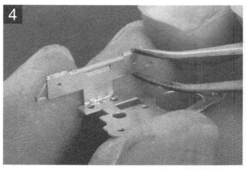

19

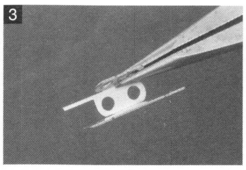

18

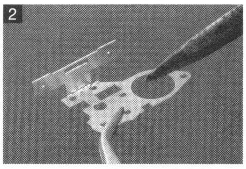
STEP 4 台車の組み立て

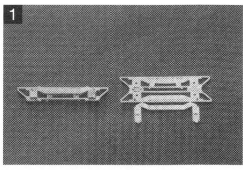
台車関係には強度にすぐれた洋白のエッチングを使用している。片方の台車が動力、もう片方が従動(非動力)となる。

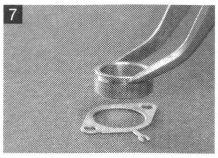
❶台車側枠は4つ同じものをつくる。右の部品を折り返して重ねて左の形にし、接合部にハンダを流しておく。❷車輪座は前後左右で別々の形状の部品だが、いずれもエッチングの溝で直角に谷折りする。❸絶縁側の車輪座は、ブッシュを入れる穴の面を山折りで二重にする。前項の折り曲げ部とともに、ハンダを流しておく。❹車輪座に台車側枠を取り付ける。車輪座と台車側枠の、下辺の高さと車軸の穴の位置を合わせてハンダ付けする。❺組み立てを終えた車輪座＋台車側枠。左が動力側、右が従動側で、それぞれ手前が非絶縁側、奥が絶縁側となる。矢印の穴にM1.4のタップでネジを切る。❻動力台車に取り付ける連動ギアの座を谷折りで直角に曲げ、溝にハンダを流して補強する。❼真ちゅう挽き物のモーターケースを、モーター座にはめ込んでハンダ付けし、モーター座にある配線ラグを上向きに曲げる。❽動力側非絶縁の車輪座、モーター座、床板を仮にネジ止めする。矢印の箇所でモーター座の配線ラグと床板が触れ、台車の首振りが制限されてしまう。❾車輪座とモーター台を取り外し、床板の前項の矢印の箇所を丸ヤスリで広げる。

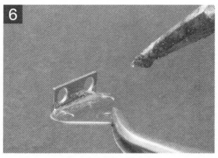

4

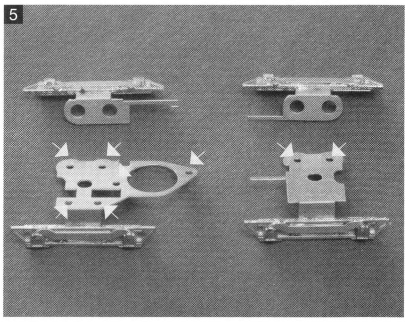

3

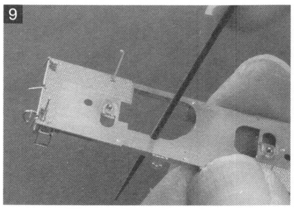

2

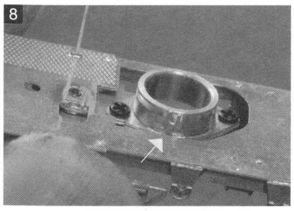

1

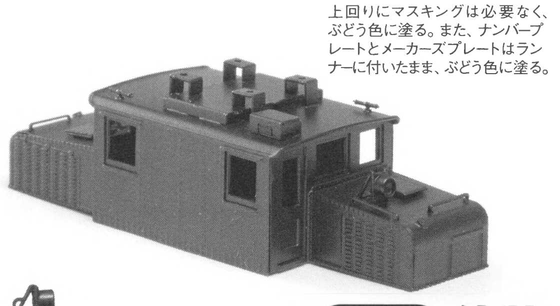

7


6

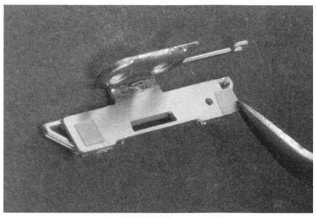

5


9

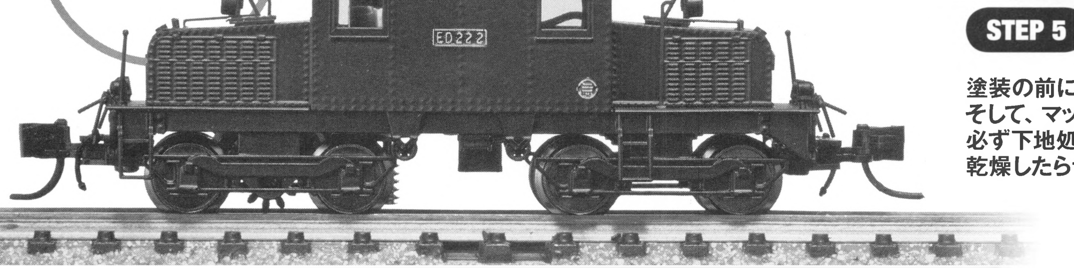

8



上回りにマスキングは必要なく、ぶどう色に塗る。また、ナンバープレートとメーカーズプレートはランナーに付いたまま、ぶどう色に塗る。



車輪座＋台車側枠は、車輪の軸穴をマスキングテープで覆ったうえで黒に塗る。床板も黒に塗る。



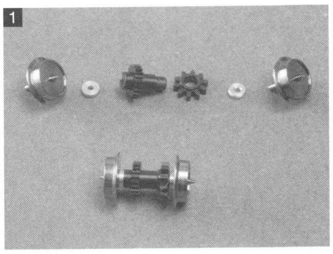
STEP 5 塗装

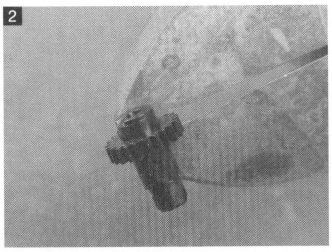
塗装の前にクレンザー等で洗浄し、よく乾燥させる。そして、マッハ『メタル用シールプライマー』等で必ず下地処理をし、乾燥したらラッカーによる吹き付け塗装にかかる。

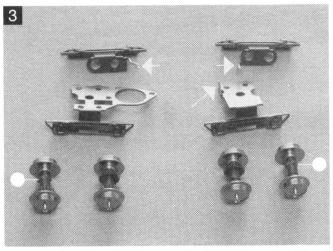
STEP 6 動力の組み立て

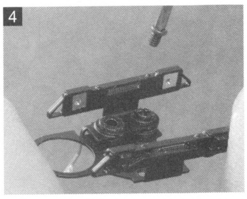
動力は片方の台車に小型モーターを搭載し、ギア連動で２軸の車輪を駆動する方式。組み立ては車輪座＋台車側枠の塗装後におこなう。

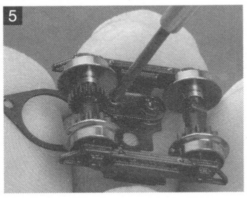
1動力台車の車輪は、車軸、ギア、真ちゅう製のカラーをはめて指先で圧入する。ギアはボスの段が大きい方を内側にし、車軸に差し込む際は平らな部分の位置を合わせる。従動側台車の車輪は、ギアを入れずに組み立てる。**2**両台車とも、車端側の車軸と一体のギアは、マグネマティックカプラーのポケットにあたるので、ニッパーで切り落とす。**3**左が動力台車、右が従動台車、それぞれの車輪と車輪座＋台車側枠。丸印の車軸は、前項の作業でギアを切り落としてある。車輪座の軸穴のマスキングテープは、次の組み立て工程に進む前にはがす。矢印の配線ラグは塗装をはがし、上向きに曲げる。**4**樹脂製のブッシュとワッシャを介し、絶縁側と非絶縁側の車輪座をネジ止めする。この時点ではネジは締め込まず、ガタがある状態にしておく。**5**車輪を入れてネジを締め込む。動力台車では、連動用のギアを非絶縁側車輪座に向ける。**6**車輪を回してみて引っかかる場合は、一度分解して軸穴をルーターの刃（写真）またはφ2.0のドリルで仕上げる。**7**連動ギアの座に、3組のギアとギア軸を取り付ける。**8**ギア座を動力台車の車輪座にネジ止めする。**9**ギア座の取り付けにはM1.4×1.5のネジを使うが、ネジ先端が床板にあたるので、ヤスリで少し削る（左）。**10**モーターの軸とウォームギアを、先端の位置を合わせてエポキシ系接着剤で取り付け、モーターをケースに差し込む。その際、白いリード線を配線ラグの方に向ける。**11**モーター座を動力台車に合わせ、ウォームギアの先端が車輪のギアより下に出ないことを確認し、ネジ止めする。**12**モーターの白いリード線をモーター座の配線ラグに、黒いリード線を絶縁側車輪座のラグに、それぞれハンダ付けする。配線のハンダ付けにフラックスは厳禁で、ペーストを使う。**13**従動台車はモーターやギア類以外、動力台車と同様の手順で組み立てる。2つの台車と床板を合わせる。**14**頭の大きいネジ（なベネジ）を使い、台車を床板のボルスターに取り付ける。

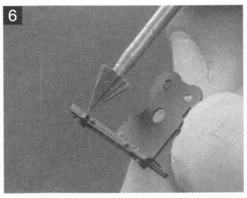

1

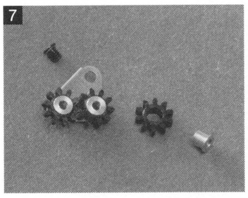

2

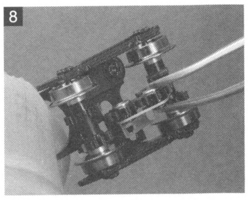

3

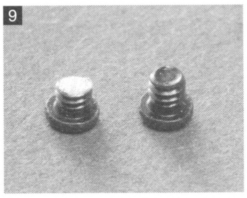

4

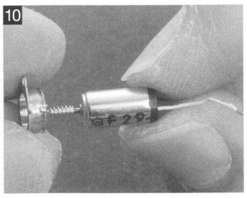

5

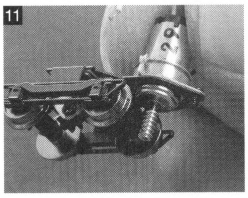

6

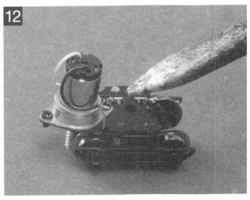

7

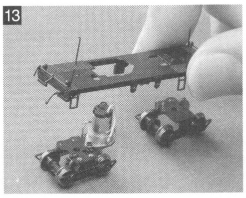

8

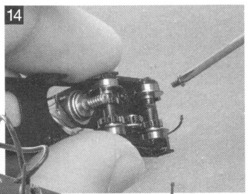

9

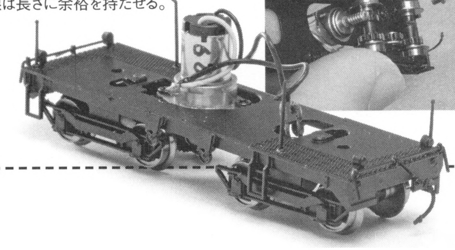

10


11


12


13

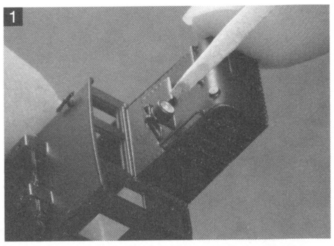

14

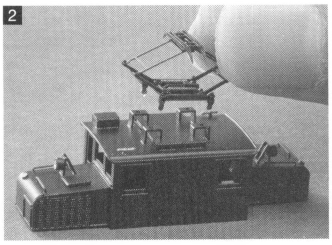

前後の台車の配線ラグ、絶縁側同士と非絶縁側同士それぞれをリード線で結ぶ。台車の動きに支障しないよう、リード線は長さに余裕を持たせる。

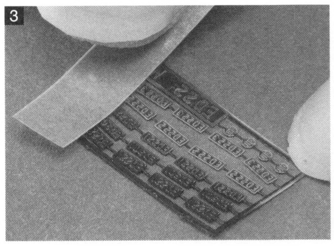
STEP 7 最終組み立て

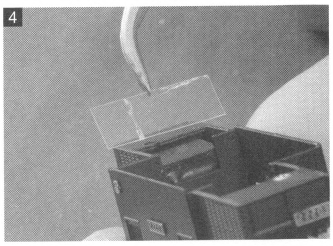
ここまで来れば、完成はもう間近。塗装を終えた車体や下回りを、汚したり傷付けたりしないよう、慎重に作業を続けよう。

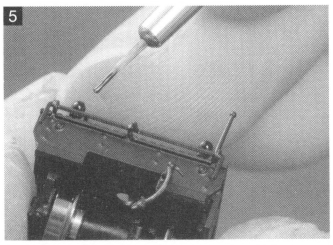
1上回りのヘッドライトに銀色、ホイッスルに金色を差す。前者は爪楊枝、後者は小筆を使うとやりやすい。（なお本項1～5は、必ず工程ごとに塗料や接着剤が乾くのを待ってから次に移るように）**2**パンタグラフはTOMIXのPS13を別途購入。4本の足をニッパーで短くカットし、ゴム系接着剤で取り付ける。**3**ぶどう色に塗っておいたナンバープレートとメーカーズプレートは、ランナーに付けたままサンドペーパーで磨き出す。次にランナーから切り離し、ゴム系かエポキシ接着剤で所定の位置に貼り付ける。**4**窓セルにはOHPシートを使用し、ゴム系接着剤で取り付ける。**5**下回りはテールライトに、小筆でクリアーの赤を差す。**6**ウェイトと駆動台車の向きを揃えて、上回りを下回りにかぶせる。絶縁側の配線ラグが車体内側やモーターケースなどに触れる場合は、曲げ角度を調整する。**7**2本のネジで下回りと上回りを固定する。**8**キットにはアーノルドカプラーが付属するが、作例はマグネマティック#2001ショート（別購入）を使用。カプラー付属のネジを短くカットして取り付ける。

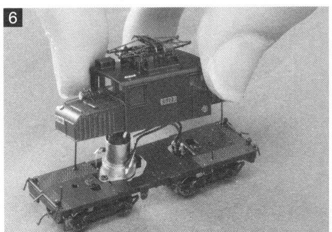

1

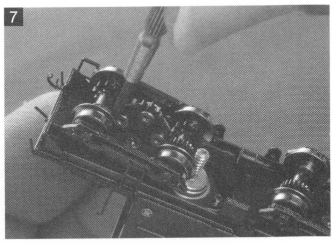

2

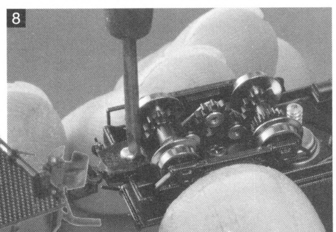

3


4

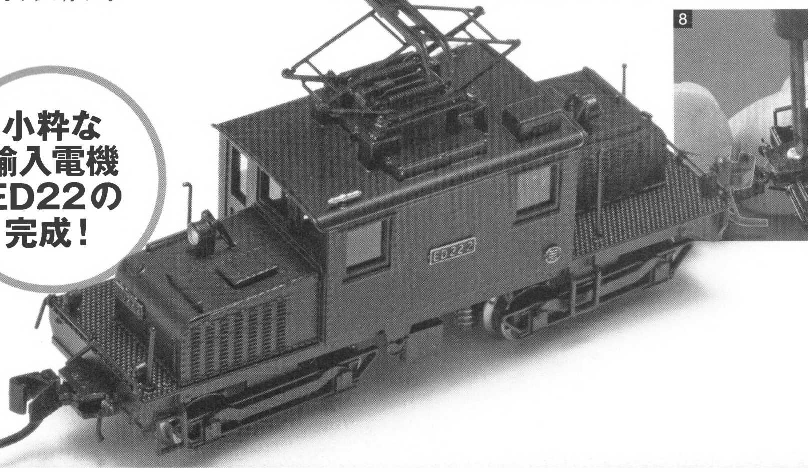

5


6


7


8

小粋な輸入電機ED22の完成！



アナタの？を一挙解決 N何でも相談室

鉄道模型に関することから、鉄道の実車についてまで。皆さんがギモンに思うあんなことやこんなことを、テツ道の達人がていねいに回答していこう。

Q バラストの上手な撒き方は？

埼玉県●秋元勉さん

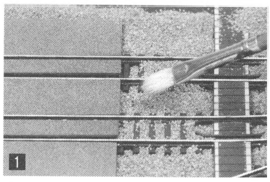
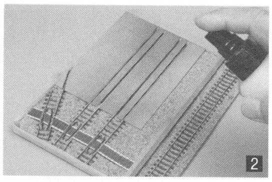
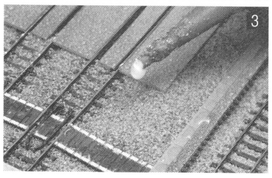
A バラストを均一に撒くのはなかなか難しいです。袋のまま撒こうとすると量がコントロールできないので、まず厚紙を2つ折りにしたものを用意し、レールの横にバラストを撒きます。

その後、筆で表面を整えて、霧吹きで全体を湿らせます。そしてボンド水溶液（木工用接着剤を水で3倍に薄めたもの）をスポイトで垂らしていき、乾燥させます。これが一般的な方法です。

ちなみに私の場合、バラストと水と木工用接着剤を混ぜてペースト状にして、レールの横に盛り付ける方法を採っています。こうすると調整も楽で、手間もずいぶんと省けます。

最近、ホビーセンターカトーより同様のペースト状バラストが発売されたので、こちらを使うのもいいでしょう。

回答 山崎裕介

1 まずは紙を2つ折りやロウト状にして、少しずつバラストを撒き、平筆で馴らす。
2 ボンド水溶液を塗布する前に、霧吹きをするのを忘れずに。バラストが玉になるのを防げる。
3 ボンド水溶液を垂らし、乾いたら出来上がり。

Q 不器用でもできる簡単なグレードアップは？

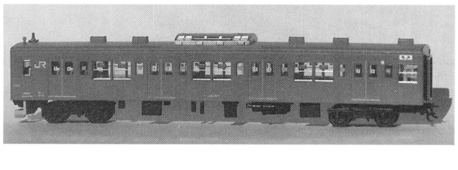
神奈川県●TOSHIさん

A まず、製品に付属するパーツを取り付けていますか？ 近年は取り付け済みの製品も増えましたが、アンテナや信号煙管などが別付けの製品も多いです。これを付けるだけでもぐっとリアルになりますし、工作の練習にもなります。

また、付属する行先表示器などのステッカーも貼り付けてみましょう。同梱のパーツをきちんと取り付けられるようになれば、別売のパーツやステッカーも、それほど苦労せずに付けられる（技術が身に付いている）はずです。

ステッカーなら切り出して貼るだけでリアル感が増します。また、金属製パーツにも塗装済み製品が増えていますので、模型店で探したり、相談してみてください。

回答 山崎裕介



▲写真の201系は方向幕のほかに、外部メーカーのドア・女性専用車・優先席のステッカーを貼ってある。塗り直しが必要な加工は一切してないが、意外とリアルになる。

Q 安くてきれいなプラキットメーカーはどこですか？

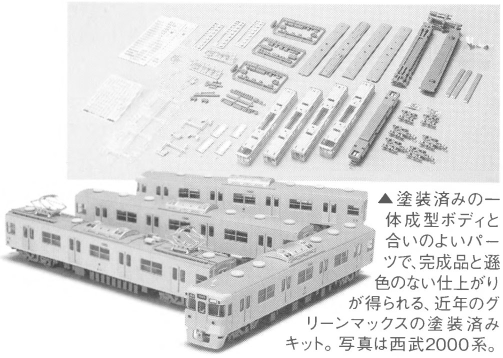
北海道●山田育実さん

A プラキットといっても、塗装済みキット、板状キット、箱状になっている一体成型キットなどいろいろあります。

有名なのは、昔からさまざまな製品を出しているグリーンマックスです。こちらの塗装済みキットは組み立てが比較的簡単で、完成品と遜色ない出来になりおススメです。

板状キットでは、近年はリトルジャパンモデルスがクオリティの高い製品を発売しています。板状キットにありがちな、合わせ面のズレなどがないので、ストレスなく組み立てられます。

回答 加藤富夫



▲塗装済みの一体成型ボディと合いのよいパーツで、完成品と遜色のない仕上がりが得られる、近年のグリーンマックスの塗装済みキット。写真は西武2000系。



▶板状のランナーから切り出し、立体的な車両に組み立てる板状キットでは、パーツの合いが仕上がりを左右する。写真はリトルジャパンモデルスのクモハ40。

編集部の一問一答

雪景色をつくりたい！

雪景色の簡単な表現方法を教えてください。

東京都●杉本尚昭さん

編 正直、あまりおススメしません。一度やると元に戻せませんし、レイアウトであれば走行に支障をきたす場合があります。

それでもやってみたいなら、クリスマスシーズンに売っているスノースプレーはいかがでしょうか。レールの表面だけマスキングしてスプレーをすれば、少々粒子が粗いですが雪っぽくなると思います。



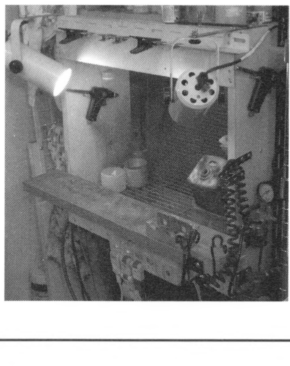
◀写真を見てつくりたいと思うのでしょうが、本誌であれメーカーカタログであれ、あくまで撮影用です。製作する場合は走行性能に影響するので、粉状のものが動力や車内に入り込まないように注意してください。

室内での塗装について

室内でスプレー塗装する方法や注意点は？

兵庫県●野上英則さん

編 理想はベランダや庭で塗装、ですが現実的に難しい人も多いでしょう。そんな時は、段ボールや新聞紙で簡易的な塗装ブースをつくるといいでしょう。換気や後片付けを考慮すると風呂場が楽でいいかもしれません。



◀本格的に室内で塗装するなら、換気機能のある専用の塗装ブースを製作したり、購入したほうがいいでしょう。

Nゲージに関する 疑問・質問 大募集！ Nゲージや鉄道模型に関すること、実車についての質問などがありましたら、読者ハガキ裏面の欄に、なるべく具体的に記入して質問してください。また、工作方法などで違う方法でアドバイスのある方は、読者ハガキの表面、ご意見・ご要望欄にご記入ください。

Nはこうしてつくられる!

仕事現場を徹底レポート

第10回 アルモデル

金属キットはハンダで組むもの、という常識を覆す「とても簡単な〜」シリーズで、ビギナーにも簡単な金属キットを提案するアルモデル。画期的な製品はどんな発想から生まれたのだろうか？

取材◎編集部

Bトレや鉄コレで新たな潮流が誕生

「スケールにとらわれず、いろいろなモデルをやってみたかったんですよ」

と、アルモデル代表の林佳孝さん。会社勤めをした後、オリジナル製品の製造も手がける模型店に勤務し設計を担当。退職後の2004年にアルモデルを旗揚げした。

「最初の製品はNゲージの名鉄3730系でしたが、すでにHOゲージの製品も同時進行していました」

フリースタイルの印象が強いアルモデルだが、最初のNゲージモデルは特定の形式だった。しかしHOゲージは「自由形B凸」というフリースタイルで、2004年のJAMコンベンションで初お目見えし、好評を集めた。

そして2005年6月に「とても簡単な〜」シリーズ（略称・とて簡）を発売する。でもなぜ、日本では難しいといわれているNゲージの自由形を手がけたのだろうか？

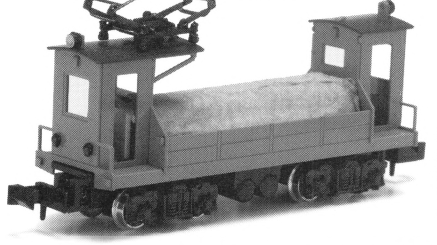
「当時、Bトレインショーティー向けの動力がKATOから発売されたり、トミーテックから鉄道コレクションの発売が決まるなど新たな兆候があり、新ジャンルに挑戦できそうな予感がしました」



➡「とて簡」シリーズ第1弾となった「とても簡単なBB凸電」。人気モデルのひとつだ。



⬇「とて簡」シリーズはボディの組み立てのみ。動力はおもにKATOの小形車両用動力ユニットを使用し、組み立てたボディを被せれば完成だ。写真は「凸形ディーゼル」。



⬅完成品にはないユニークな形状の「デト」も、人気モデルベスト3の一角を占める。

金属キットの難しいイメージを打破

アルナイン（アルモデルのNゲージ）の「とて簡」第1作目となった「とても簡単なBB凸電」は、自由形でありながら、いかにもありそうなデザインが注目を集め、たちまち話題の模型となった。

そもそも、この従来にないコンセプトは、どんなところから生まれたのだろうか？

「プラキット＝簡単、金属キット＝難しいという決め付けられたイメージを打破したかったですね。さらに、ハンダを使うと難しい、瞬間接着剤で組めば簡単、というのも決してそうではないので、その印象も変えたかった」

悩んだ結果生まれたのが、ハンダも接着剤も使わない、ツメで組むキットだった。

「かつてHOゲージではネジで組むキットや、真ちゅうでも難しい部分は組み立て済みの半完成キットがあったりと、意外と難しくなかったんですよ」

精密ディテールになった一方で、組み立てが難しくなり、ハードルが高くなってしまった近年の金属キット。でも、なぜそこまで金属素材にこだわるのだろうか？

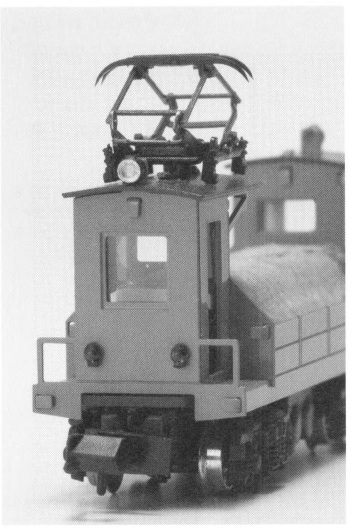
「実車と同じ金属製のほうが重厚感や質感が再現できるので、真ちゅうは鉄道模型に適した素材だと思います。それに金型がいらないので、少量でも低コストで製品化できるのも魅力です」



架空のようだが、実在した車両がおもしろいナローゲージ。夷隅軌道のHOナロー（中央）とOナロー（奥）は、Nゲージでは小さなKATOのチビ凸（手前）と比較しても、大きなスケールながらこんなにも小さい。これもアルモデルの製品だ。



アルナインの「デト」シリーズは4種類あり、目的に応じて楽しめる。手前からKATO小形車両用動力ユニットを使う「デト」、同動力ながら、集電ポールとクレーンが特徴の新製品「京都風デト」、鉄コレ動力TM-04（15m級）を使うロングデト（京浜タイプ）。このほか、デト【Bタイプ】も2011年7月に発売されている。



ハンダや接着剤を使わない代わりに、「とて簡」ではツメが表に出る。「なるべく見えにくい場所や、それらしい位置になるように設計しています」



路面電車はやや異色なラインナップだが、ユニトラムなど路面モデルの充実で、注目を集めているアイテムのひとつ。

まずはつくってみよう！

「誰でも組み立てられるのが特徴です。どれだけ簡単か、ぜひつくってみてください」

　と林さんは模型を取り出した。実は私、これまでプロの模型製作の現場には数え切れないほど立ち会っているが、実際につくった経験となると、子どもの頃にプラキットをいくつかつくったのみ。

金属キットはまったくはじめてだ。パーツを切り出し、エッチングの溝に沿って折り曲げ、パーツを組み合わせ、と説明書通りに組み合わせていくと、10分も経たずに車体が完成した。

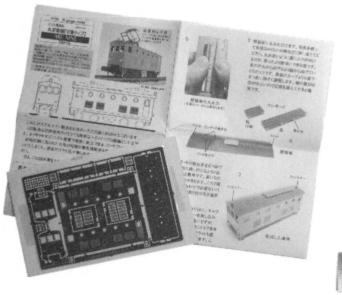
　缶スプレーで吹き付け塗装をし、パンタグラフを載せてKATOの小形車両用動力ユニットと組み合わせたら、愛らしい機関車が完成した。

「簡単だったでしょ？」

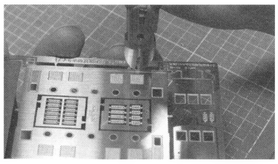
　難しいのは組み立てよりも、むしろ塗装だったが、これも慣れが必要なだけ。いやぁ、つくるっておもしろい！



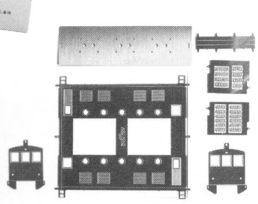
1 工作で使った工具類。右から金属用ニッパー、ピンセット、金属製定規、精密ヤスリ、カッター、丸パイプ。



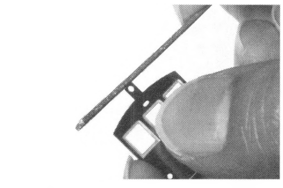
2 チャレンジしたのは「とても簡単な丸窓電機【切妻タイプ】」。袋の中にはエッチング加工された1枚の真ちゅう板と、写真で解説された説明書が入っている。



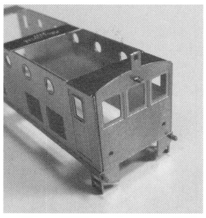
3 まずは金属用ニッパーで、パーツをランナーから切り出す。なければカッターでもよいが、傷むので刃が折れるものを使おう。



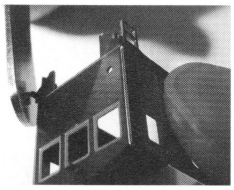
4 切り出されたパーツは、ボディ、前面、屋根、モニター屋根、ナンバープレート。



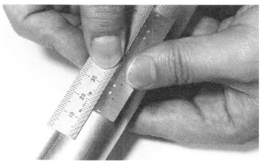
5 目立つ部分の切り出し痕は、精密ヤスリで削って仕上げておく。



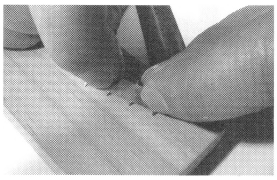
6 エッチングされた溝に沿って車体をコの字に曲げ、ツメに前面をはめ込む。



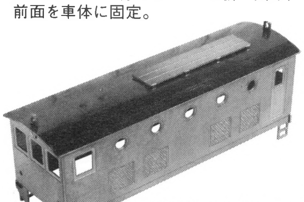
7 ピンセットの背などでツメを折り曲げ、前面を車体に固定。



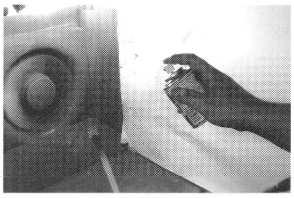
8 天井は弧を描いているので、丸パイプなどで屋根にRを付ける。裏面に溝があるので曲げやすい。



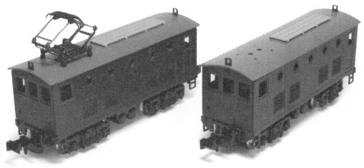
9 モニター屋根の取り付け足を、堅い板の上で直角に曲げる。



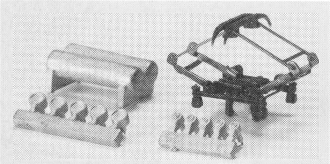
10 車体の完成！ この後、台所用クレンザーなどで洗い、よく乾かしたら塗装に入ろう。



11 缶スプレーで塗装する。メタルプライマーを吹き付けて下地をつくってから塗装するほかは、プラキットと塗装方法に違いはない。



12 塗装が乾いたボディを小形車両用動力ユニットに載せて完成！ 別売のヘッドライトを付ければ、車体と屋根の留め具になる。左のようにパンタグラフも搭載すれば、見るからに電気機関車だ。



13 ディテールアップさせる別売パーツも用意されている。手前右からガイコツ形テールライト、小型ヘッドライト、奥手前からPS13パンタグラフ（グリーンマックス製）、床下タンク。

工作を楽しむ人を応援したい

自由形でありながら、使うパーツや塗り分け次第でそれらしく見えるのが「とて簡」の最大の特徴だ。

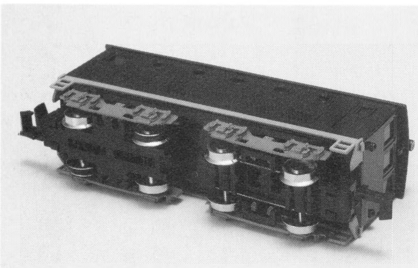
「まずは基本デザインを描き、展開を考えて図面に起こし試作します。組んで改良して、を繰り返し、イベントに間に合うように製品化しています」

　現在は4月から12月まで開催される模型イベントの趣旨に合わせて、各種スケールのモデルを製品化している。また、ヘッドライトやテールライト、床下タンクといったディテールアップパーツのほか、オリジナル動力のアルパワーなど周辺の製品も多岐に渡る。

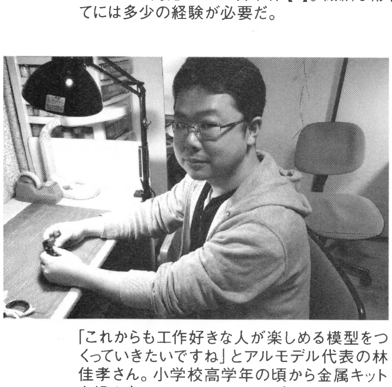
　1枚の小さな真ちゅう板には、無限の可能性が秘められている。

「素組みはもちろん、いろいろな色に塗ったり、グレードアップ加工したり、ハンダで組んでみたり、ほかのスケールに挑戦してみたり、と楽しみ方はひとつではありません」

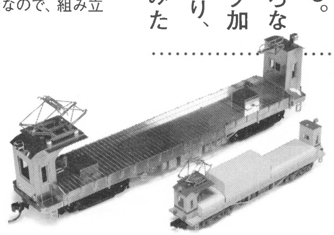
　この形式はこうあらねば、という風潮にある近年の鉄道模型界にあって、模型の原点を見るようなアルモデル製品。好みの車両がきっと見つかる豊富な製品については、ホームページも参照してほしい。自分らしく自由につくる、模型本来の楽しみをあなたも味わってみませんか？



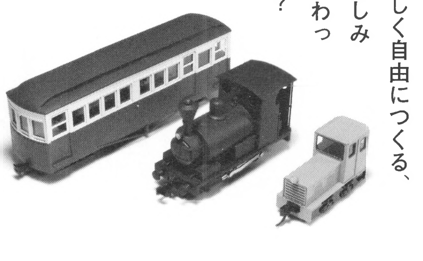
バンダイが発売した「Bトレインショーティー専用動力ユニット」の2と3に対応したEL台車枠【1】。繊細な形状なので、組み立てには多少の経験が必要だ。



「これからも工作好きな人が楽しめる模型をつくっていきたいですね」とアルモデル代表の林佳孝さん。小学校高学年の頃から金属キットを組み立てているベテランモデラーでもある。



⬅HOゲージの「ロングデト【京浜タイプ】」（奥）は、Nゲージの「とても簡単な【HG】ロングデト（京浜タイプ）」（手前）が好評で製品化された。



➡Nゲージの線路を使うHOナローの製品群。手前からクラフトの動力を使う「北陸4トンDL【HOナロー】」、TOMIXの「きかんしゃパーシー車両セット」から改造する「英国風ナローサドルタンク改造キット」、グリーンマックスの台車を使用する「軽便ボギー客車A1【Wルーフ北勢タイプ】」。



最終回

今さら聞けない 線路のハナシ

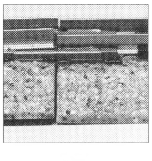
Nゲージを走らせるための製品を、レールシステムを中心に紹介してきたこのコーナーも最終回。最後に安定した運転を楽しむための、脱線しない工夫を考えてみよう。

構成◎江口明男

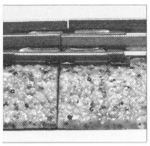
組み立て時の注意点

確実にジョイントされているか?

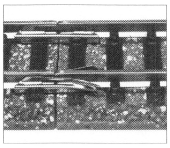
当たり前のことだが、意外に忘れられてしまうところ。メーカーにより不具合を起こしやすいクセもあるので、特性を理解して運転前にしっかりとチェックしたい。



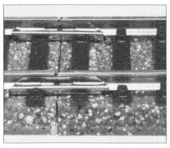
ユニトラックのジョイナーは、写真のような状態で段差が発生する場合がある。



正しくジョイナーで接続し、段差がないことを確認しよう。



ファイントラックのジョイナーが傷むと走行に悪い影響が出る場合がある。

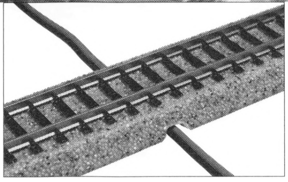


補修部品として販売されているので、新しいジョイナーに交換する。

接続か所の折れ曲がりに注意

無理な線路配置により起こる継ぎ目での折れ曲がりは避けなくてはならない。また勾配橋脚の使い方を間違えると、縦方向の折れ曲がりが発生することにも注意したい。

凸凹やねじれに注意

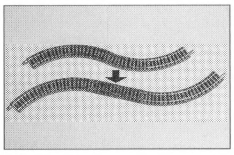


リード線でのレールの浮きさが脱線につながる場合、道床を切り欠いて平面を保つ方法がある。

フローリングの床なら理想的な平面が得られるが、畳や会議室の机を並べた場所などでは、特に注意したい。フィーダーやポイント制御のリード線をまたぐ場合も凹凸が発生しやすい。

極端なS字カーブを避ける

S字カーブはビューポイントとしてはおもしろいが、性能面では苦しいところ。長い編成を走らせたり、小さなカーブを使う場合、そして車体マウントのカプラーを使う場合は直線を挟むようにしたい。

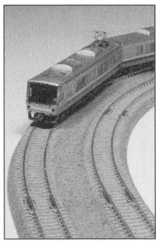


間に挟む直線の長さは、できれば1車体以上の長さを確保したい。

線路配置の注意点

可能なら緩和曲線を入れよう

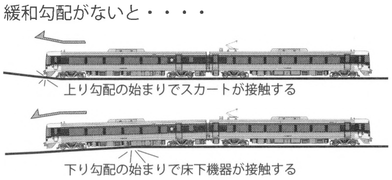
実物では当たり前だが、組み立て式レールでは難しい。Rの異なるカーブを組み合わせると、見た目も向上し、走行性能もアップする。



カントレールのアプローチ部に、大きなカーブを使った例。緩和曲線の働きをして、見た目にも自然になる。

緩和勾配は必須

特に勾配を登り切って水平に移行する部分の折れ曲がりに注意したい。床下機器や動力のカバーが接触し車輪が浮くと、集電不良や脱線に繋がる。



ポイントの選び方と使い方

大きなポイントを選ぼう

スペースが許す限り、大きなポイントを使いたい。分岐側を常用する部分では特に配慮したい。カーブポイントを上手に活用すると省スペース化できる。

本線は原則直進側とする

実物の世界でも使われる、安全のための基本ルール。分岐側を本線にすると、つねに速度制限に悩まされる。実物のルールに従うことは、リアルな線路配置をつくる重要なポイントだ。

複線の渡りは左分岐で

非常用折り返し設備などの複線の渡り線は、必ず左分岐の組み合わせでつくられている。これはポイントの対向側から進入するよりも、背向側から進入するほうが脱線のリスクが少ないからだ。

給電にも配慮しよう

レールクリーニングは専用品で

確実な通電はスムーズな走行には欠かせない。レールの頭を耐水ペーパーなどで磨くと効果はてきめんだが、小さな傷に入り込むゴミが錆を誘発して、長持ちしないのでおすすめできない。掃除は専用のクリーニング液を使って磨くとよい。



KATO(左)やTOMIX(右)から発売されているクリーニング液。特にレールメーカーを揃えて選択する必要はない。

電圧降下を考えたフィーダ設置

線路が長くなると、フィーダーから離れたところではジョイナー部の抵抗が累積して電圧が降下しスピードが落ちる。この場合、離れたところにもフィーダーを設置すると解決できる。

安定した低速が魅了のDCC

低速運転では電圧が低いので、通電不良や電圧降下の影響を受けやすい。しかしDCCでは速度にかかわらず常時12V程度の電圧が車両に供給されるので、安定した走行ができる。

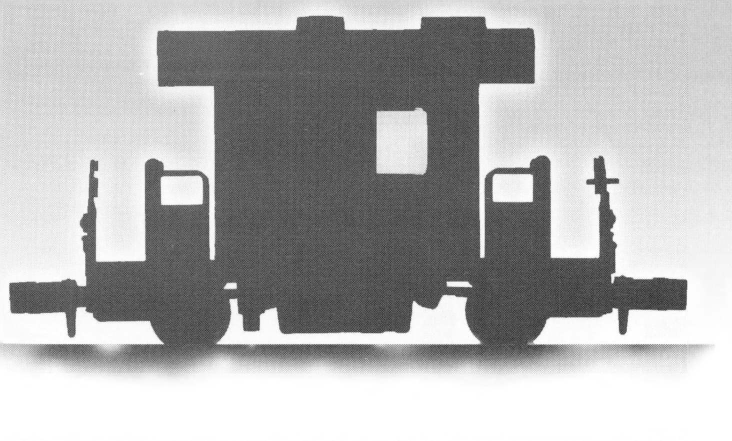


低速安定走行も有利なDCCのコントローラー。写真はKATO製品。

やはりNゲージの醍醐味は走らせて感じるもの。正しい知識で線路を整備し、気持ちのよいNゲージライフを楽しんでいきたい。



忘れがたき鉄道車両
貨車雑考



第36回 日本の貨車 形式別ガイダンス㉝

さまざまな形態の貨車たちを大研究! 用途は何か? どんな車両なのか? 形式ごとに紹介していこう。第33回目はホキ800だ。

文◎高橋政士／写真◎米山真人・編集部

旅客会社が保有する貨車

バラスト散布用の無蓋ホッパ車で、営業用貨車の形式を持ってはいるものの、実質は事業用貨車だ。このため現在では、貨車でありながら旅客会社が所有している。

2011年現在、JR北海道、JR東日本、JR西日本に約350両が在籍しているが、車籍がなくなり保線機械の扱いになっているものも多数あり、民鉄などに譲渡されたものや、民鉄が同一設計で新製したものなど、各地の鉄道でも同型車が多数存在する。

登場は意外と古く1958年で、1974年まで比較的長期に渡り1072両が新製された。現在でも多くのホキ800が現役なのは、使い勝手がよいためと思われる。

また、営業用貨車となっているのは、民鉄などへのバラスト輸送を考慮していたのかもしれない。



ホキ800を反対側から見ると、荷台へのステップがあるのみで、ハンドルやレバーもなくさっぱりとしている。



TOMIXの細密ディテールモデル、ホキ800は前期型をプロトタイプとしている。車番のほかハンドルやレバーなど、別付けパーツも多く、工作気分が味わえる。ホキ800● TOMIX

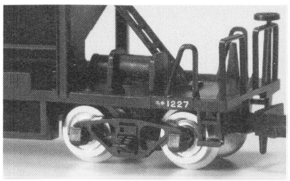
バラスト散布に適した改良

ホキ800は大きく分けて前期型と後期型があり、前期型は800～1760で、台車は枕バネが板バネで平軸受のTR41Cとなり、後期型の1773以降（ラストナンバーは1883のようだ）はコイルバネに密封コロ軸受のTR225となっている。

また後期型は台枠上の作業スペースを広くするため、全長が500mm長くなっているのが外観上の違いだ。

一般的なホッパ車では積み込んだ貨物を一度に降ろすだけだが、ホキ800の場合は低速で走行しながらバラストを散布するため特殊な構造になっている。

荷卸し方式は底開きとなっているが、流し板が設けられていて、バラストを軌間内と、軌間外の0・5～1mの範囲に散布できる。これはホキ800のプロトタイプとなった1957年製のホキ700が、軌間内に散布できなかったのを改良したものだ。



模型は前期型なので、台車は板バネのTR41Cだ。後位寄りの台枠上にある大きなパーツはブレーキ装置だ。

ハンドルとレバーで散布を調整

バラスト散布は、貨車に同乗した係員が手動で少しずつ降ろしていく。また左右で散布量を変えるため、大型のホッパ開閉ハンドルは左右で独立していて、広くなった台枠上に2基設置されている。このハンドルがある側が前位だ。

また、レール方向に操作するレバーが2本あるが、車体内側のものが軌間内と軌間外の散布切換用、外側のものが軌間外の散布範囲を調節する散布板を操作するためのものだ。ホキ700ではこのレバーが1本しかなく、操作方向も枕木方向のみなのが異なる。後位寄りの台枠上には、床下に設置できないブレーキ装置が搭載されている。

なお製品では、ホッパ開閉や散布板などを動かすシャフトと、ホッパ内部の左右に渡されている補強用のステーが省略されている。車体色は黒だが、ホッパ内部は赤3号（コキ5500の塗色）となる。

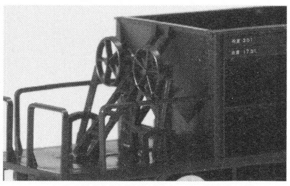
深夜が中心のホキ800の活躍

旅客会社が保有するホキ800は、基本的に旅客会社の機関車が数両のホキ800を牽引する「工事臨時列車」、略して「工臨」として運転されている。例外的に東北本線の一部でJR貨物に牽引を委託している列車があり、その場合はJR貨物の機関車が牽引する。

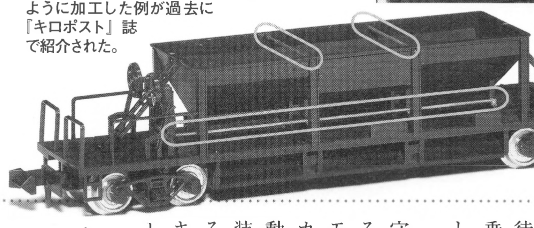
バラストの散布は、ほとんどの場合が夜間の保守間合いなので、作業中にお目にかかることはほとんどないが、ローカル線ではまれに日中にバラストが散布されることもある。

国鉄時代では営業用貨物列車に数両連結し、散布区間の手前で一旦停止し、待機していた保線係員がホキ800に乗車してバラストを散布する『途中卸し』と呼ばれる作業もあった。

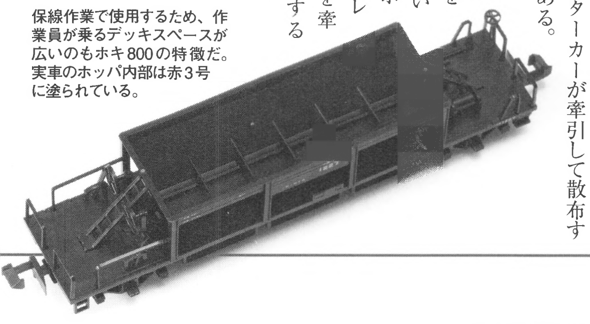
また夜間に線路閉鎖を実施して、保守用のモーターカーが牽引して散布する場合もある。モーターカーが自動連結器を装備しているのは、ホキ800やロールチキを牽引したりするためだ。



台枠上の荷台妻面に設置された、ホッパ開閉ハンドル。両脇の手スリ部分にあるパーツが、散布板を操作するレバーだが、細かいので模型では1本で表現されている。



ホッパの拡がり防止のため、上部に2本のステーが横渡しされ、ホッパ開閉ハンドルからは、片側3か所あるホッパ開閉部分に向けてシャフトが伸びている。いずれも再現されていないが、取り付け部分に穴が開いているので、金属線で写真のように加工した例が過去に『キロポスト』誌で紹介された。



保線作業で使用するため、作業員が乗るデッキスペースが広いのもホキ800の特徴だ。実車のホッパ内部は赤3号に塗られている。

新幹線バラスト散布車

ホキ800は東海道新幹線の建設工事でも使用された。台車をTR41Cの標準軌版であるTR8000としたもので、3000形として60両が新製された。外観はホキ800と変わらない。

DD13を標準軌化した2000形（後の912形）に牽引され建設工事に活躍したが、開業後は931形となり、最終的に126両が新製されている。

この3000形を名乗ったもののうち、12両は在来線のバラスト散布車ホキ300と台車交換をして在来線用となり、ホキ800前期型と後期型の間の1761～1772に編入されている。

ちなみに最終グループの117～126は、ホキ800後期型と同じく台枠延長と台車が変更され、TR225の標準軌版のTR8006となっている。

第38回 八高線・川越線 高麗川駅

シーナリー研究会 N(エヌ)の情景をもっとリアルに！



電化と非電化の交差点

文・写真◎岸本 亨

八高線の電化区間と非電化区間の境界が高麗川駅だ。ここへは川越線の電車も乗り入れ、両路線のジャンクションとなっている。2面3線の小さな駅には、模型で再現するのに参考になりそうなシーナリーがたくさん見られる。

情景づくりのネタの宝庫

八高線の高麗川駅は、川越線も乗り入れる小さな駅だ。しかしその構内は、2005年まで貨物駅でもあっただけに実に広大。このような駅舎と構内がアンバランスな駅が国鉄時代には各地にあった。が、貨物駅の廃止と跡地の転用により今では珍しい存在となった。

1985年に川越線が電化、1996年には八高線も南部の八王子～高麗川間が電化され、非電化区間は北部の高麗川～高崎間のみとなった。つまり高麗川が運転系統の分かれ目となっており、電車も気動車も乗り入れる。

ホームは2面3線で、駅舎のある1番線はおもに八高線の電車、島式外側の3番線は川越線となっているが、入れ替わる場合もある。一方2番線は八高線の気動車専用だが、架線は張られている。

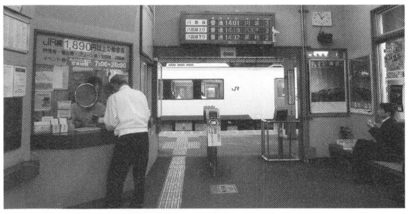
平日は中央線のE233系が拝島から青梅線経由で上下各2本乗り入れ、東京まで直通運転をしている。

かつての隆盛を伝える広大な構内は、駅舎に近い側に八高線の気動車が時折留置されているが、ほとんどは使われていないようで、線路踏面は錆びている。

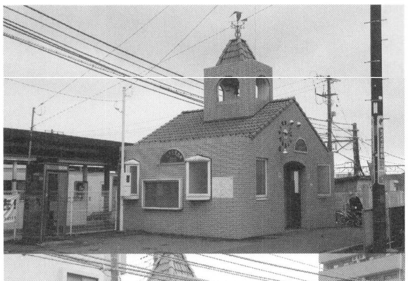
八高線、川越線ともに単線なので、南側は八王子に向けて次第に単線になっていき、北側は両路線に分岐していく。小さな地上駅舎と跨線橋からなる構成は、シーナリー製作の参考になるだろう。

駅本屋周辺

TOMIXの木造駅舎を台座から外し、小加工すれば再現できそうな高麗川駅。木造駅舎を残しながら、駅本屋周辺にはどのような建物や施設を配置すればいいのか、じっくり観察してみよう。


駅に入ると、左に自動券売機、右に木製のベンチ、正面左にはみどりの窓口がある。改札口は自動化され、簡易スイカの端末が設置されている。


改札口をホーム側から見る。木造駅舎なので、ラッチが残っていればいい雰囲気だろうが、簡易スイカ端末と近代的。右側には観光パンフレットが置かれている。




駅本屋の右手側には公衆トイレがあるが(上)、これは1番線ホームからも利用できる(下)。もちろん、中は通り抜けできない。


1番線ホームと2・3番線ホームの高崎寄りに設置された跨線橋。バリアフリー対策として増設されたため、エレベーターも付いている。


地下通路は白い壁面で明るくなっている。壁面には日高市の名所、巾着田の曼珠沙華が描かれている。

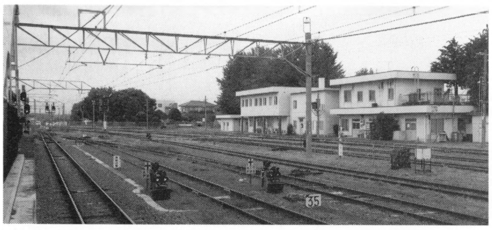

1番線ホームと2・3番線ホームは、もともと地下通路で連絡しており、現在も機能している。写真は2・3番線ホームの階段で、天井には番線案内が掲出されている。

駅構内

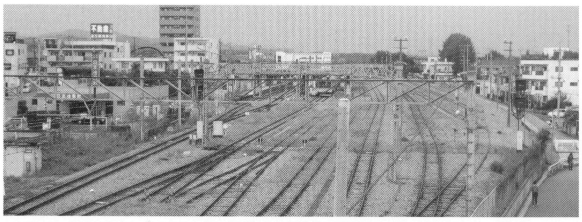
広大なヤードは、かつて貨物駅もあった時代の名残。日本セメント（現・太平洋セメント）への専用線も廃止され、駅寄りの２線が留置線として使われているようだ。



２・３番線ホームの階段から見た様子。２番線には八高北線のキハ110系、３番線には川越線の205系3100番台、左側の留置線にはキハ110系が駐車している。



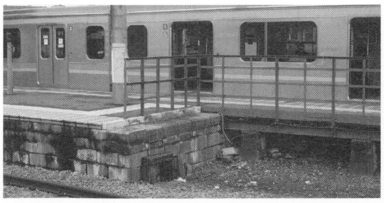
３番線ホームから見たヤード。構内信号や各種標識類は、構内の雰囲気を演出するのに重要な小物になる。右の詰所には「八王子運輸区高麗川乗務員休養室」の看板が掲げられている。



駅南側の県道15号の跨線橋から、高麗川駅を見下ろす。構内の広さと、東側には駅関係の施設が何もないのがわかる。



跨線橋はホームの端部にあるので、停車する列車などを見渡せる。車両の屋上加工の観察に絶好のウォッチングポイントだ。



２番線と３番線は同じ島式ホームの両岸ながら、長さが異なっている。短い２番線ホームの端部は、写真のように処理されている。



１番線（左）から３番線まで、各線に列車が停車中。１番線はカメラのさらに後ろまでホームがあり、各線の凸凹具合がわかる。１番線の途中と３番線の端部は、職員用の渡り板が設置されている。



ホーム上に設置された時刻表と自動販売機。天井の広告看板に医療機関が多いのは、地方駅でよく見られる特徴。



列車の折り返し地点で乗務員の交替が多いため、２・３番線ホームの端部には写真のような注意書きがされた看板が目立つ。

ホーム

２面３線のどこにでもあるような配置ながら、電車用の１・３番線と気動車用の２番線では、どことなく雰囲気が違っているのがおもしろい。



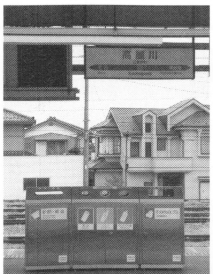
１番線と２番線の間には、編成両数ごとの停車位置標が設置されている。５両編成は２番線、６両編成は１番線に停車する車両なので、番線を示す矢印が入っている。



八王子方面に長い、１番線のホーム端部。フェンスの奥には、懐かしい国鉄コンテナを再利用した物置がある。模型のコンテナをウェザリングして再現しては？



１番線ホームより、２番線ホームの高崎寄りを見る。手前側と奥側でホームの土台の形態が異なる上に、高さを嵩上げしているのがわかる。手前の白い建屋は連絡通路のエレベーター、奥の小屋はドアの上に「八王子運輸区高麗川乗継詰所」の札が貼られている。



ホーム上の駅名板やゴミ箱は、JR東日本の駅では一般的なタイプだ。



２番線ホームは八高北線用で、ワンマン運転の列車もあるためホーム上にバックミラーが立てられている。



２・３番線ホームには空調設備のある待合室が設置されている。運転本数の少ない八高北線との接続への配慮だろう。

駅周辺

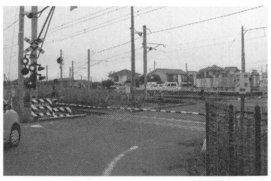
駅舎は西側のみで、ロータリーの「日韓交流の塔」が目を引く。駅前に大型の建物は少なく、小さなビルに商店や学習塾などが入る。西口とは、北側の踏切、もしくは県道15号の跨線橋で渡れるほか、南側に小さな地下通路がある。



駅の南側には、やや離れた位置に市営の青空駐輪場があり、その近くに歩行者と自転車用の地下通路がある。



駅舎は西側のみで、ロータリーの「日韓交流の塔」が目を引く。駅前に大型の建物は少なく、小さなビルに商店や学習塾などが入る。西口とは、北側の踏切、もしくは県道15号の跨線橋で渡れるほか、南側に小さな地下通路がある。



駅北側の踏切。手前側が八高北線、間に太平洋セメント専用線跡、奥が川越線と３線ある。八高北線は非電化区間だが、踏切のすぐ先まで架線が張られている。



駅舎の左側には、JRの職員詰所がある。社用車が駐車してあると、それらしい雰囲気をつくれる。



駅北側踏切の川越線線路上から、高麗川駅を見る。たくさんのポイントが設置され、線路ファンにはたまらない。左のヤードへの線路は錆びている。

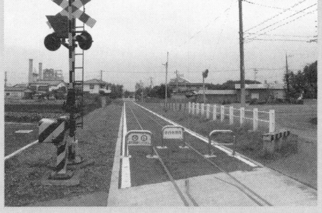
高麗川駅ショートヒストリー

高麗川駅は、1933年4月15日に八高線の途中駅として開業。1940年7月22日に、川越線が開通とともに乗り入れを開始した。

1963年には日本セメント（現・太平洋セメント）の埼玉工場とを結ぶ専用線が開通する。これは1999年まで使用され、2005年までは貨物駅も存在していた。

川越線、八高線の八王子～高麗川間の電化を受けて、青梅線・中央線への直通列車も設定された。

なお、駅の名称となった旧町名の「高麗川」は、668年に唐・新羅に滅ぼされて日本に亡命した高句麗からの帰化人が住んだことに由来している。



太平洋セメント埼玉工場への専用線跡地は、廃止後の2009年に日高市に寄付され遊歩道として整備。今も一部に踏切が残されている。奥に見える煙突が埼玉工場。

機器講座

目からウロコの大発見！

Vol.04

気動車編

鉄道車両の床下や屋上の機器を見て、それらがどんな役割を持っているか、わからない人も多いはず。そこで、さまざまな車両の機器を解説していきたいと思う。疑問が解ければ、模型の見方にまた新たな楽しみが加わるぞ！

文◎小寺幹久　写真◎米山真人

走らせるだけがエンジンではない

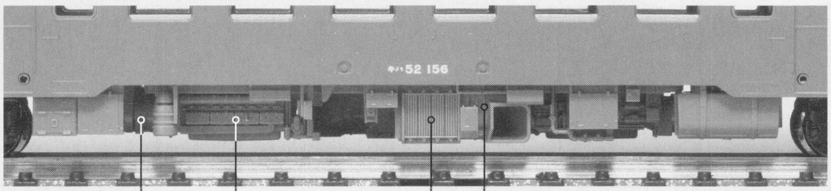
キハ52では、同じエンジンを2基搭載し、機器類も点対象で配置されている。エンジンの役割を見ていこう。

走る：ディーゼルエンジン（機関）からの動力を、液体変速機で回転数を調整。プロペラシャフトで力を伝え、逆転機（車輪の回転方向を変える）を経て車輪に伝達する。

1つの台車に車輪は2軸あるが、多くの国鉄型気動車では、伝達されるのはエンジンがある側のみだ。

止まる：空気ダメの圧縮空気を使ってブレーキをかける。この空気をつくるために、エンジンの動力を使い空気圧縮機を動かす。

電気：室内灯やATS（自動列車停止装置）を作動させる電源は、空気圧縮機とエンジンの間にある発電機で発電する。電圧や電流に変化があると装置が誤作動するので、電圧調整器などで安定させている。



液体変速機

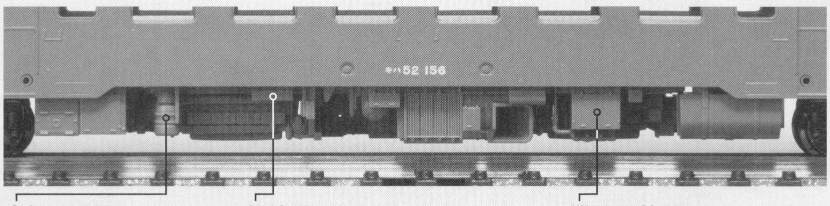
機関でつくられた回転力を台車に伝えるための機器。液体式と呼ばれる所以となったところで、車でいうMT車が機械式、AT車がこの液体式にあたる。ここの設計はかなり難しいらしく、「液体式ディーゼル動車研修指導書」（1964年・日本国有鉄道運転局）を見ると、1962年7月から1965年6月の間に31回も設計変更がおこなわれている。

DMH17H型機関

気動車を走行させるエンジン。DMH17は戦前に開発された機関で、DMH17Hは縦型（ピストンが上下に運動）の機関を横に寝かせて（ピストンが左右に運動）高さを低くした。そのため車内床板の点検用のフタがなくなり、機関の保守もしやすくなり、車内の騒音も少なくできた。

機関冷却装置

機関の冷却水、潤滑油、液体変速機油を冷やすための装置。放熱器、送風機などで構成されている。高温になったそれぞれの液体が放熱器を通る時に、送風機から送られた空気で熱を大気に放出する。つねに動いている装置なので音がかなり大きい。



空気ろ過器

機関に入る空気はホコリが混じると故障の原因となるので、ここでホコリを取り除く。油の中に空気を通すとホコリだけが油に残り、きれいな空気だけが機関に送られる。

整流器

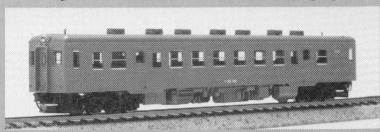
シリコン整流器またはセレン整流器が入っている。発電機でつくられた電流をここで整流して、発電機を安定して動かすための電流につくり変える。熱が出るのでスリットの入った箱に入れて、つねに自然冷却している。発電機はこのすぐ後ろの空気圧縮機と機関の間にある。

機関予熱器

機関を安定して動かすには、つねに水で冷やしておく必要がある。水温は低すぎてもだめで、60～80℃くらいがよい。そこで機関を動かす前にここで冷やす水（機関冷却水）を加熱してポンプで送り、機関などを暖めておく。車内の暖房にも使われる。

今回の車両

キハ52 100番台



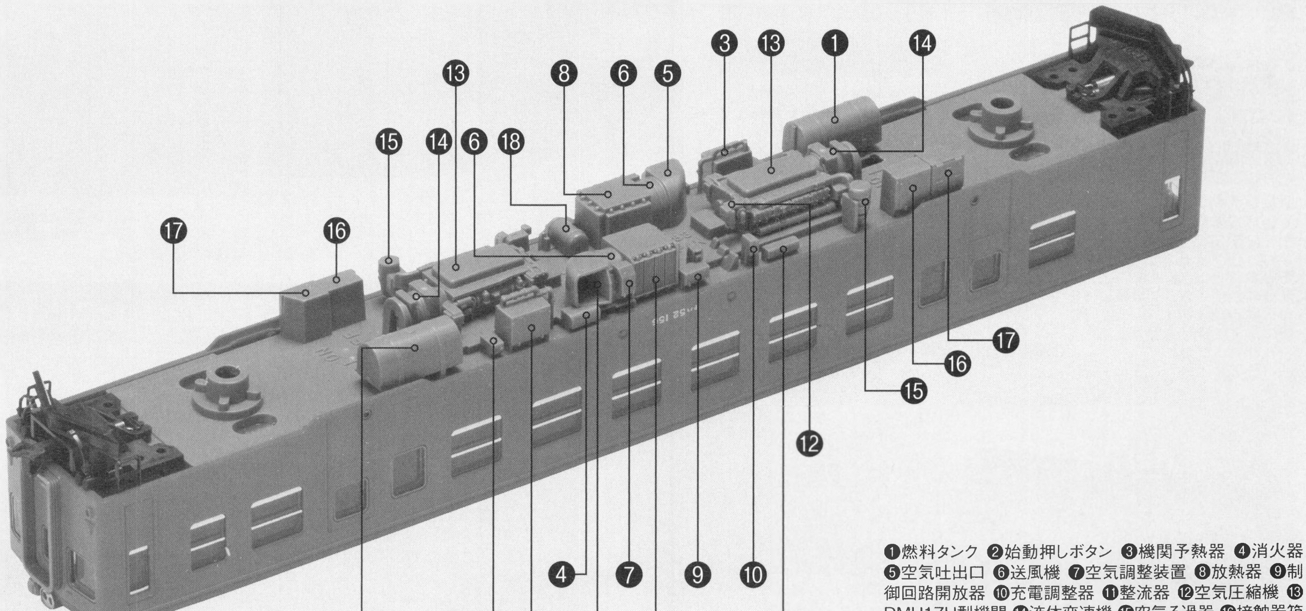
キハ52 100番台●TOMIX

キハ52は、キハ20系の2基エンジン搭載の両運転台車として勾配線区向けに登場。0番台と改良型の100番台があり、模型は後者だ。

外から見た0番台との違いは、車体を通る排気管の位置変更により、側窓の位置が変わった。また床下機器も、キハ58と似た配置に変更された。

2エンジンを持つ両運転台車は使い勝手がよく、車内設備が一般車用にも関わらず、一部では急行でも使われた。当時の国鉄には優等列車用の両運転台車がなかったためだ。

キハ52はJR移行後も活躍し、エンジンを強力なタイプに交換したり、冷房やワンマン化改造された車両もあった。JRでは2010年まで使用され、うち1両はいすみ鉄道に転属した。



❶燃料タンク ❷始動押しボタン ❸機関予熱器 ❹消火器 ❺空気吐出口 ❻送風機 ❼空気調整装置 ❽放熱器 ❾制御回路開放器 ❿充電調整器 ⓫整流器 ⓬空気圧縮機 ⓭DMH17H型機関 ⓮液体変速機 ⓯空気ろ過器 ⓰接触器箱 ⓱蓄電池箱 ⓲補助空気ダメ

Nゲージが楽しめるお店を紹介！

ショップデータ

SHOP DATA

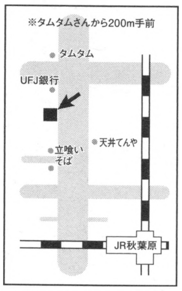
※本情報は2011年12月時点のものです。
※ここに記載された商品は既に売り切れの場合もございます。予めご了承ください。

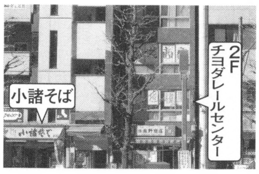
東京

チヨダレールセンター

SHOP

❶旧客[高崎車セ]（TOMIX）¥11,598、N700系R10編成（TOMIX）¥20,832、E233-5000系京葉線10両（KATO）¥16,698、東京メトロ01系（KATO）¥11,398、E5系はやぶさ10両（KATO）¥00,000、12系ゆうゆうサロン岡山（マイクロエース）¥13,272、8000系リニューアルしおかぜ（マイクロエース）¥11,118、113系マリS62湖南色（マイクロエース）¥16,296　❸中古・委託販売あり　❹通販可能　❺35～37%OFF（一部を除く）
❼目標!!買取額日本一!!　❾JR秋葉原駅徒歩5分





更に最安値を追求します！

通常の入荷可能な車輌は約35%off。日変わり4割5割引実施。レール、ストラクチャーも約35%off実施。在庫量によって値段が変わります。中古委託（手数料10%）実施。中古買取も随時実施中。買取時の送料は、査定額10,000円以上ならサービス。
下取りサービスも行っています。

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-15-7
TEL：03-3253-6860
営業時間：平日12：30～20：20、土・日・祝日11：00～19：40
定休：月曜日　※月曜日が祝日の際は、翌日火曜日が振替休日。

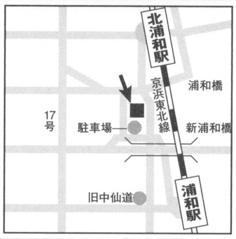
埼玉

トレインショップ

SHOP

❶Nゲージにも使えるZゲージ用カプラー　❸❹有　❺20%引（会員は25%）
❻E-10型蒸気機関車、トレジャーボックス10両用、11両用　❼アメリカ型のZゲージの機関車、貨車、レールも取り扱っています。　❾京浜東北線北浦和駅







#1015カプラー

店は狭いが品揃えは豊富！

米国マイクロトレイン社製の品物ならば車輌、カプラー、台車、Zゲージレールセットまですべて揃います。

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤3-2-22
TEL：048-834-2305　FAX：048-834-2320
HP：http://www.trainshop.com　E-Mail：sales@trainshop.com
営業時間：火～土曜12:30～20:00/日祭日12:00～18:00　定休：月曜

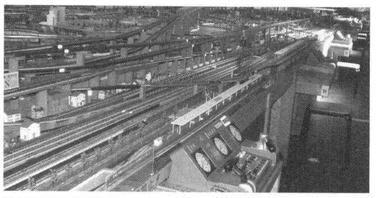
東京

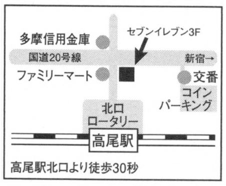
八王子N広場

LAYOUT

❼毎日2時間以上のレイアウト及びレールクリーニングによる快適走行日本一。日本一の直線レール15メートル。ターンテーブル設置路線アリ　❾JR高尾駅下車30秒







長時間運転対応・ロングレイアウト！

毎日2時間以上のレイアウト及びレールクリーニングによる、スロー走行が美しい。12路線共15メートル直線区間あり、一周40メートル以上のロングレール走行可能。全席トミックス最高級コントローラーによる本格派運転がお楽しみいただけます。

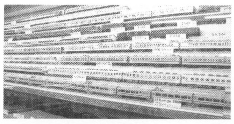
〒193-0844　東京都八王子市高尾町1585
TEL：042-663-5162　HP：http://n-hiroba.com
営業時間：平日12：00～18：00/土日祝10：00～18：00　★夜間貸切はご相談下さい
定休：毎週火・金曜日

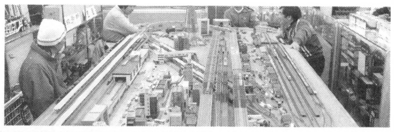
千葉

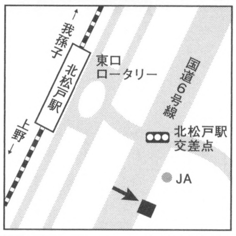
ミゼット北松戸店

SHOP
LAYOUT

❼常連さんはもちろんビギナーにもとことん親切な専門ショップ。メーカー各社のアイテムを常時可能な限り揃えている。　巨大レイアウトも併設。車両を保管する貸しロッカーもあり。







お店自体が"カタログの立体版"

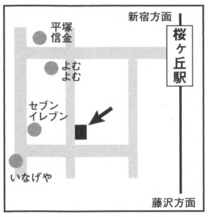
巨大レイアウトで、あなたの自慢の車両を走らせてみませんか？ ここに来れば、性別も模型歴も関係ありません。とにかくみんなで楽しみましょう。
模型を心から楽しむ人は大歓迎です。
そしてもちろん、品物も充実しています。メーカーカタログのアイテムは、できるだけ全商品を取り揃えるよう努力していますので、なかなか手に入らないお探しの商品でも、ここではきっと見つかるはずです。欲しい品物があって、いろいろな相談もでき、いるだけでワクワクするお店です。

〒271-0064 千葉県松戸市上本郷2283-2-101
TEL：047-369-1309
営業時間：16：30～23：00　定休：水曜

マークの見方：SHOP 模型販売　LAYOUT レンタルレイアウト
❶おすすめベスト　❷売り上げベスト　❸中古・委託品販売　❹通信販売　❺割引販売　❻オリジナル商品　❼お店の特徴　❽支店　❾最寄駅

神奈川
アライヴ
(SHOP)

❶C62 2 北海道形（KATO）¥10,500、C62 3 北海道形（KATO）¥10,500、急行「ニセコ」6両基本＋6両増結 12両（KATO）¥20,160、国鉄455系急行電車基本セット（TOMIX）¥11,760、[限定]JRキハ48 500形ディーゼルカー五能線2両セット（TOMIX）¥9,072、スエ78・スハフ32・オハニ36 JR東日本イベント客車3両セット（マイクロエース）¥10,080、横浜高速鉄道Y500系奇数編成登場時8両セット（マイクロエース）¥21,840、営団地下鉄6000系後期型冷房車 基本＋増結 10両（マイクロエース）¥29,400、小田急ロマンスカー 50000形VSEセット（TOMIX）¥16,632、マニ44 4両セット（グリーンマックス）¥7,392　❸中古・委託品販売　❹可能　❺20%割引 現金でお買い上げ⇒5%ポイント還元　❾小田急江ノ島線桜ヶ丘駅







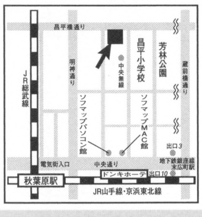
まごころでお客様のNライフをお手伝いしています！

車両、ストラクチャー ASSYパーツ・キット等鉄道模型専門店ならではの豊富な品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。又取り寄せも致しますのでお気軽に声をお掛けください。只今中古委託品も豊富に揃っております。買取り委託も随時お受け致します。

〒242-0024 大和市福田2-4-7　TEL&FAX：046-268-5552
HP：http://www.arriveat-shop. com　E-mail：info@arriveat-shop.com
営業時間：月曜～土曜11：00～20：00、日曜・祭日10：00～19：00
定休：水曜、第3火曜

東京
ポポンデッタ秋葉原店
(SHOP) (LAYOUT)

❶N700系新幹線基本セット（KATO、TOMIX）、バスコレクション第12弾、103系山手線セット（KATO）、各種外国型ストラクチャー、バスコレクション第11弾　❷E531系基本セット（KATO）¥9,240、鉄道コレクション第7弾（トミーテック）¥5,040、Fallerストラクチャー、Bトレインショーティー（バンダイ）¥1,008　❸中古販売有　❹可能　❺20%引き　❻オリジナルジオラマ、ジオラマ作成教室　❼鉄道模型がなんでもそろうお店　❽大阪日本橋店、川口グリーンシティ店、木曽川キリオ店、GLOBO蘇我店、横浜ビブレ店、トレッサ横浜店、ペルチ土浦店、鶴見リーファ店、モリシア津田沼店、越谷レイクタウン、イオンモールKYOTO店、アミュプラザ博多店、ポポンデッタwith小田急トレインギャラリー　❾JR秋葉原駅、東京メトロ末広町駅下車







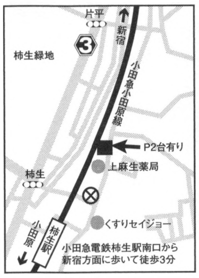
巨大レイアウトがあるお店!!

秋葉原で唯一レンタルレイアウトを併設したお店です。B1～4Fまで鉄道づくしのビルに中古、新品、Bトレ、鉄コレ、ジオラマ用品、外国型製品も多彩の品揃え。ただいま買取強化中!!　眠っている鉄道模型をぜひポポンデッタにお売り下さい!!

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-3
TEL：03-5297-5530　FAX：03-5297-5538
HP：http://www.popondetta.com/
営業時間：平日12：00～20：30/土日祝11：00～20：00　定休：毎月第3水曜日

神奈川
ホビーショップ カシオペア
(SHOP)

❶417系（国鉄色・冷房改造車）6両セット（マイクロエース）¥11,435＜45% OFF＞、475系（リバイバル急行色）6両セット（マイクロエース）¥10,973＜45% OFF＞、京急1000形（歴史ギャラリー号）4両セット（マイクロエース）¥9,125＜45% OFF＞、相鉄旧6000系（新塗装・冷房改造車）8両セット（マイクロエース）¥12,416＜45% OFF＞、相鉄10000系（旧塗装）8両セット（マイクロエース）¥12,416＜45% OFF＞　❸中古・委託可能、委託手数料は、店舗販売は販売税別価格の20%、オークション販売は落札価格の30%　❹可　❻101系〔南武支線〕2両組（鉄コレベース）¥14,700、営団銀座線2000形〔晩年塗装〕6両組（KitcheNベース）¥93,975　❼ネットショップ営業中。「カシオペアweb-shop」で検索　❾小田急線柿生駅







写真はお客様からお預かりしている品です。店頭販売品ではございせんので、ご了承下さい

加工のこと、店長がアドバイスします

店長製作の特製完成品を販売中。組立や加工についても、アドバイスいたします。当店で室内灯ご購入のお客様に、無料取付サービスも実施しています（要お預かり）。

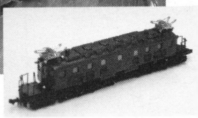
年内は12月30日（金）20時まで、年始は1月4日（水）12時から営業致します。（12月31日（土）～1月3日（火）はお休みさせていただきます）

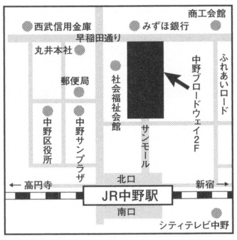
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生5-6-17 若井ビル202
TEL：044-986-6221　FAX：044-986-6221
HP：http://www.geocities.jp/hobbyshopcassiopeia/　E-mail：hobbyshopcassiopeia@ybb.ne.jp
営業時間：平日12：00～20：00　土休日10：00～20：00　定休：火曜日（祝日営業）

東京
モデルショップ ポッポ屋
(SHOP)

❶井の頭線3000系（エンドウ）、201系 試作ウグイス、201系シングルアーム 10両セット（KATO）、アメリカントレイン 12両（宮沢模型）、EF13（マイクロエース）　❸中古販売のみ　❹可能（TELで）　❺25%引　❼古いレアものがたくさんあるお店です。　❾JR・東京メトロ東西線「中野駅」







親切・丁寧な対応を目指します。

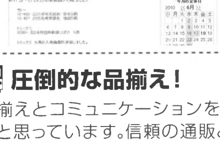
中野ブロードウェイでは初めてのNゲージ専門店です。品揃えが豊富で、今では珍しい絶版品も多数置いてあるので、見るだけでも楽しめます。
なかなか手に入らないお探しのものも、きっと見つかります。買取大歓迎です!!（郵送も可）

〒164-0001 東京都中野区中野5-52-15 中野ブロードウェイ2F
TEL&FAX：03-5380-1951
営業時間：12:00～20:00　定休：水曜

愛知
ホビーショップムラタ
(SHOP)

❶KATO：レジェンド101系中央線¥16,905、キハ81はつかり¥18,060、381系しなの¥18,648、ラウンドハウス キハ40漫遊¥7,056、20系ホリディーパル¥13,104、205系鶴見線¥7,980、223系関空¥12,600、205系仙石線マンガッタンライナー¥12,495　❸無　❹可能　❺10～30%引き
❼圧倒的な品揃え
❾豊橋駅東口徒歩10分







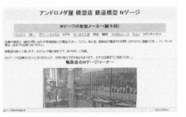
圧倒的な品揃え！

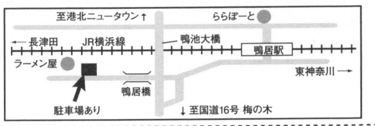
品揃えとコミュニケーションをより充実していきたいと思っています。信頼の通販と楽しい雰囲気の店作りをしたいと思っています。HPも見てね。
ご来店お待ちしてます。

〒440-0076 豊橋市大橋通3-152
TEL：0532-53-3334　FAX：0532-53-3327
HP：http://www.hsmurata.com　E-Mail：hsmurata@ag.wakwak.com
営業時間：10：00～20：00　定休：毎週水曜日と第三木曜日

神奈川
アンドロメダ屋模型店
(SHOP)

❶185系200番台シュプール号フルフル塗装¥19,152()、185系200番台　田町車両センター新塗装¥18,228（マイクロエース）、国鉄185系200番台新幹線リレー号¥18,228（マイクロエース）、185系200番台湘南色タイプ ¥12,600（ラウンドハウス）、185系エクスプレス185¥11,592（カトー）　❷EF81トワイライトエクスプレス色（カトー）、24系寝台特急トワイライトエクスプレス 基本セット（カトー）、旧型客車（高崎車両センター）セット（トミックス）、ED79-50形電気機関車（トミックス）、広島電鉄5000形グリーンムーバー（モデモ）　❸無
❹有　❺20～30%引き　❼安い価格で専門店のサービス　❽横浜線鴨居駅下車5分







安い価格で専門店のサービス！

通販の品は全品点検をしてから発送しております。お支払いは銀行振込がお得。みずほ、りそな、三菱東京、三井住友、郵貯が使えます。
簡単予約で新製品を確保。下記の何れかの方法でお申し込み頂き、受注完了のお返事でOK。

〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-11-2
TEL：045-934-3881　FAX：045-934-4665
HP：http://homepage2.nifty.com/andoromeda-ya　E-mail：ngrgf020@ybb.ne.jp
営業時間：平日12：00～21：00、土、日、祝日11：00～21：00　定休：毎週木曜、第2水曜日

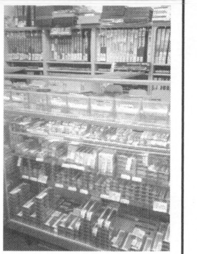
マークの見方：(SHOP) 模型販売　(LAYOUT) レンタルレイアウト
❶おすすめベスト　❷売り上げベスト　❸中古・委託品販売　❹通信販売　❺割引販売　❻オリジナル商品　❼お店の特徴　❽支店　❾最寄駅

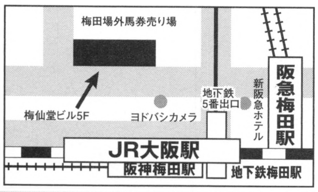
大阪

京鉄大阪店

SHOP

❶京阪8000系新塗装（マイクロエース）、阪急9000系神戸線・宝塚線（マイクロエース）、225系（KATO）、近鉄22600系（グリーンマックス） ❷京阪5000系（マイクロエース）、キハ181はまかぜ（KATO） ❸中古委託品販売 ❹有 ❺0～30%引き（30%はセール品含む） ❻阪急・京阪JR貨物コンテナ各種 ❼大阪駅、梅田駅から徒歩3分以内のところにございます。 ❾JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄梅田駅（地下鉄5番出口から50m先を左）





関西圏、国鉄の車両の在庫が豊富です！

関西圏と国鉄型の車両中心の品ぞろえが特長の店です。新品と中古品の取り扱いがございますので、お探しの車両が見つかるかも？

〒530-0012
大阪市北区芝田2-1-3　梅仙堂ビル5F
TEL：06-6359-4655　FAX：06-6359-4665
営業時間：12:00～19:00　定休：火曜

愛知

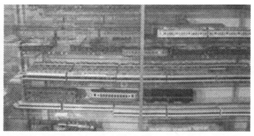
ラディッシュ

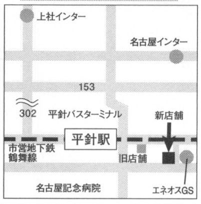
SHOP

❶名鉄 モ600形"急行塗装"〔M車〕(モデモ)¥5,760、名鉄 モ750形緑塗装〔M車〕(モデモ)¥4,960、国鉄 スユニ61〔オハニ61・オハユニ61改造車〕プラキット2両セット(リトルジャパンモデルス)¥3,510、名鉄 800系 未塗装プラキット2両セット(リトルジャパンモデルス)¥3,420、名鉄 3550系 未塗装プラキット2両セット(リトルジャパンモデルス)¥3,420 ❷383系 特急「しなの」基本6両セット(マイクロエース)¥14,400、383系「ワイドビューしなの」6両基本セット(KATO)¥14,400、オリエントエクスプレス'88 7両基本セット(KATO)¥12,800、D51-498・改良品(マイクロエース)¥6,880、オハ61系客車 各種(TOMIX)¥1,360～1,920 ❸有 ❹可能 ❻オリジナルトミカ（R33） ❾市営鶴舞線平針駅









高価買取、低価格販売でがんばります！

中古品を中心に、ミニカー、プラモデルなども販売しています。ご不要の模型は高価買取いたします。ホームページをぜひご覧ください。
※臨時休業する場合がございますので、お電話にてご確認ください。

〒468-0011 名古屋市天白区平針3-609-1F
TEL：052-802-0400　FAX：052-802-0435
HP：http://www.new-radish.com　E-Mail：info@new-radish.com
営業時間：12：00～19：30　定休：水曜

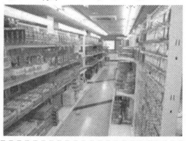
大阪

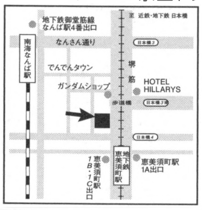
ポポンデッタ大阪日本橋店

SHOP
LAYOUT

❶キハ58系ディーゼルカー（あそ1962）セット（TOMIX）¥9,240、813系200番台3両セット（KATO）¥9,660、419系国鉄色改良品6両セット（マイクロエース）¥17,220 ❷JR24系25 100形特急寝台客車「瀬戸」（TOMIX）¥12,482、EF84系トワイライトエクスプレス色（KATO）¥6,048、C11-207 SL函館大沼号（マイクロエース）¥8,820 ❸中古品のみ ❹可能 ❺新品10～20%（一部除外品あり） ❻ミニジオラマキット、夜景LEDシステム ❼子供さんからお年寄の方まで楽しめるお店 ❽秋葉原店・川口店・木曽川店・蘇我店・横浜ビブレ店・トレッサ横浜店・土浦店・鶴見リーファ店・モリシア津田沼店・越谷レイクタウン店・イオンモールKYOTO店・アミュプラザ博多店・ポポンデッタwith小田急トレインギャラリー　ポポンデッタ with 京王トレインパーク、ダイエー三宮駅前店 ❾恵美須町、日本橋、なんば駅







初心者から上級者まで楽しめる！

大阪のホビーの街、日本橋にレンタルレイアウトからジオラマ用品、鉄道模型の中古と新品といった多彩な品揃えをしたお店としてオープンしました。ぜひお気軽に店内をご覧いただきたいと思います。ご来店お待ちしてます。

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-10-3 雅光産ビル3F
TEL：06-4396-5010　FAX：06-4396-5110
HP：http://www.popondetta.com/　E-Mail：[大阪]osaka@popondetta.com
営業時間：平日12：00～20：00/祝土日11：00～19：00　定休：第3水曜日

大阪

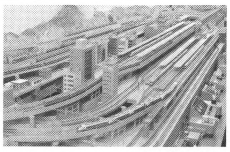
アオバ模型

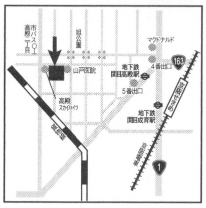
SHOP
LAYOUT

❹有 ❺通常20～25%引。期間・数量限定30%引（キャンペーンセール時） ❼商品の予約割引もあります。買ったその場で運転を楽しめます。 ❾地下鉄関目高殿・関目成育駅、京阪電車せきめ駅









店内に大型レイアウト・Nゲージを走らせよう！

大きなレイアウトでお気に入りのNゲージを走らせてみませんか？車両のお持込みももちろん大歓迎です。町の中から田舎、海岸から山岳地帯へと、風景の中で思う存分運転してみてください。鉄道模型の楽しみをさらにまた一つ味わっていただけるかと思います。皆様のお越しを心よりお待ちいたしております。

<特色ある6線のコース>
【S線】外回／内回、各線1周約20m（新幹線16両編成対応）
【A線】外回／内回、各線1周約20m（在来線16両編成対応）
【B線】外回／内回、各線1周約35m（在来線9～10両編成対応）

〒535-0031 大阪府大阪市旭区高殿3-27-11　TEL：090-8578-4062　FAX：06-6953-8380
HP：http://www.aoba-mokei.com/　E-mail：info@aoba-mokei.com
営業時間：[店舗]土曜12：00～21：00/日曜・祝日12：00～19：00（※連休等翌日が休日の場合は21:00まで営業）
[ネットショップ]ほぼ毎日営業　※レイアウトは営業時間外の貸切ご利用も承っております。

アンケートに答えてNグッズをもらおう！

PRESENTS

このページに掲載した15アイテムのなかから、抽選でお好きなアイテムをプレゼント。
とじ込みのアンケートはがきにお答えいただき、ドシドシご応募ください。
なお商品のなかには、本誌の撮影で開封・使用したモデルがあります。あらかじめご了承ください。

商品番号 1
トミーテック様より



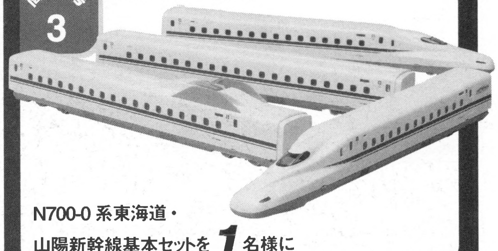
ベーシックセット SD N700 系のぞみを **1** 名様に

商品番号 2
トミーテック様より



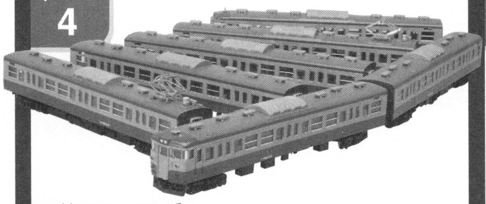
ベーシックセット SD 500 系のぞみを **1** 名様に

商品番号 3
トミーテック様より



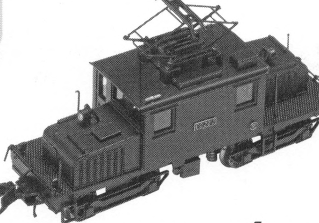
N700-0 系東海道・
山陽新幹線基本セットを **1** 名様に

商品番号 4
トミーテック様より



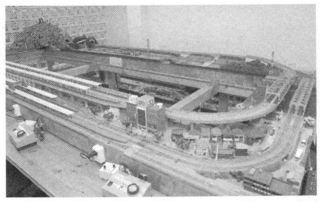
国鉄 115-1000 系
近郊電車（湘南色）基本セット A を **1** 名様に

商品番号 5
ワールド工芸様より



国鉄 ED22 電気機関車 組立キットを **1** 名様に

商品番号 6
ポポンデッタ様より



ポポンデッタ各店で使える
レンタルレイアウト 1 時間無料券を **5** 名様に

商品番号 7
トミーテック様より



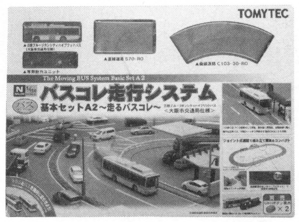
鉄道むすめ
コンテナコレクション
vol.6 を **1** 名様に

商品番号 8
トミーテック様より



三陸鉄道
復興支援ポスター(非売品)を 2 枚セットで **1** 名様に

商品番号 9
トミーテック様より



バスコレ走行システム　基本セット A2 を **1** 名様に

商品番号 10
トミーテック様より



手動前面方向幕
101 系中央線
（東海道・横須賀線）を **1** 名様に

商品番号 11
トミーテック様より



トレインマークキーチェーン
a：14 系
b：24 系①「東海道・山陽方面」
c：24 系②「東北・上越方面」を各 **1** 名様に
※商品番号の次に a ～ c の希望をご記入ください。（例：11a）

商品番号 12
トミーテック様より



ジオラマベース B
～寺院～を **1** 名様に

商品番号 13
キャスコ様より



ジオラマ用
下路ワーレントラス橋キット
（赤）を
1 名様に

商品番号 14
キャスコ様より



YP-008 10 両用
ウレタンセット（2 枚入）
ダークグレーを
1 名様に

商品番号 15
キャスコ様より



YP-027 電気機関車用
ウレタン A ライトグレーを
1 名様に

応募のしかた 左の読者アンケートはがきに、ご希望の商品番号、必要事項（氏名・性別・年齢・職業・郵便番号・住所・電話番号・E メールアドレス）、アンケートの回答をご記入のうえ、ご応募ください。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

＊お知らせいただいた個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の誌面づくりの参考資料としてのみ利用し、安全かつ厳密に管理いたします。

応募締め切り 2012 年 1 月 31 日（当日消印有効）

イカロス出版●新刊・近刊のご案内

定価はすべて税込価格

2012年1月20日発売予定

大手私鉄車両年鑑（仮）

◎AB判　予価2,500円

大手私鉄の営業用車両を完全網羅



大手私鉄15社（近鉄・阪急・阪神・京阪・南海・名鉄・京急・小田急・京成・東急・西武・東武・京王・相鉄・西鉄）の現有車両をふんだんなカラー写真と的確な解説で徹底紹介。
この一冊で、大手私鉄の車両の基本がわかる、今までにないガイドブックです。

2012年2月発売予定

昭和の地方私鉄カメラハイク（仮）

諸河 久 著　◎B5判　予価1,800円



ひなびた改札口、古めかしい車内…。昭和の懐かしい鉄道情景を楽しむ

昭和40年代、地方都市には国鉄線と近郷を結ぶ多くの私鉄が盛業していた。のどかな自然をバックに小振りな車両が活躍する様は鉄道の日本の鉄道原風景でもある。懐かしい写真とともに往時を偲び、現存する地方民鉄の今昔対比などによって、移りゆく鉄道情景に想いを馳せる。

好評発売中

首都圏貨物列車ハンドブック

◎A5判　定価1,800円



今すぐ役に立つ！首都圏を走る貨物撮影バイブル

東海道・東北・高崎線を始め、各地からの貨物列車が集まってくる武蔵野線を中心に、現行ダイヤで撮影できる首都圏の貨物列車を徹底ガイド。駅撮りのほか、駅間定番撮影地情報に貨物通過時刻をプラス。巻頭カラーでは“いま注目の機関車”“Fを追う”を特集、後半は機関車使用順序表や各線各駅通過時刻表を掲載。貨物ファン必携の一冊！

好評発売中

フツーじゃない！

普通列車こだわり旅

笹田昌宏 著　◎A5判　定価1,600円



見る「乗る」訪ねる！鉄道づくし全103スポット

のんびり、ゆったり。ひたすら鈍行列車に乗り続ける。あるいは1日数本の列車しか来ない超ド級のローカル線駅舎に佇む。はたまた古き良き時代の保存車両をとことん観察する。コアな鉄道ファンも納得の“100超”選りすぐり鉄道スポットを大紹介！

好評発売中

JR特急列車年鑑2012

◎AB判　定価1,800円



JRの特急列車ガイドの決定版 全形式・車両設備完全詳説

JR特急のすべてをこの一冊で知ることができる「JR特急列車年鑑」。東北新幹線・九州新幹線鹿児島ルートの全通で、大きく変わった在来線特急網に対応する最新版。全形式・全列車を徹底ガイド。

■新車詳解
JR東日本E657系／JR西日本287系　ほか

資料編　JR在来線定期特急列車の歩み

好評発売中

日本路面電車カタログ 2011-2012

神谷武志 著

◎B5判　定価1,800円



国内都市交通の「今」を知る！

エネルギー効率が高く、環境に優しい新型車両の開発、あるいは新たなる都市交通システムを推進自治体など、現代日本路面電車事情をわかりやすく解説。そして今、路面電車を運行する国内21事業者にスポットを当て、歴史や路線、車両、運行について、徹底紹介！

好評発売中

鉄道業界就職ガイドブック 2013

◎B5判　定価1,700円



鉄道の仕事のことならこの1冊でOK！

鉄道業界の基本的な知識や動向、就職活動をするときに心がけたいことなど、志望する会社に合格するための情報や、現場で活躍している先輩のインタビュー記事が満載。憧れの鉄道業界で仕事するために必要な知識、やっておきたいこと、知りたいことがすべてわかる、就職活動時に必携の一冊！

好評発売中

JR機関車ガイド 2011-2012

松尾よしたか 著

◎A5判　定価1,600円



旅客・貨物、JR7社に在籍する機関車全形式をわかりやすく解説

旅客・貨物、JR各社で活躍する現役機関車、17車種のプロフィール、運用、見られる線区などを写真・イラストとともに紹介。さらに車籍を維持している旧型電機や、人気の高い復活蒸機や機関車配置表から国内メジャー博物館情報など、関連情報も満載。

ネットからのご注文は **http://www.ikaros.jp/**

上記の本は全国の書店またはamazon.co.jp、楽天ブックスなどのネット書店でお求めいただけます。
詳しくはバックナンバーご案内ページの「イカロス出版の本お求め方法」をご覧ください。
イカロス出版販売部　TEL03-3267-2766　FAX03-3267-2772

N FRIENDS STATION

このコーナーでは読者の皆さんからの投稿と、Nゲージライフを充実させる情報を紹介しています。

183・485系「北近畿」のレストア

滋賀県　勝木利彦さん

13年前に鉄道模型をはじめてすぐに購入した183・485系『北近畿』（TOMIX）をレストアしました。購入直後、説明書の基本的な加工のほかに室内灯の取り付け、トイレ窓、ガイシ、高圧線、パンタのすり板などの色入れや、方向幕、号車番号他の標示シールなどの貼り付けを完了。その後、座席の青色塗装と枕カバーとトイレタンクの色入れを実施しました。

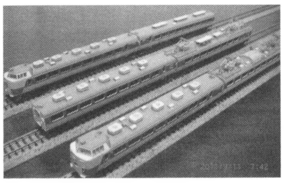
そして今回、①塗装割れのあるドアスソまわりのタッチアップ ②台車の清掃と集電性向上剤の塗布および動力部分に潤滑油の塗布 ③クーラーとベンチレーターをGM14番「灰色9号」で塗装後墨入れ ④ヘッド・テールライトに銀河モデルのライトケースリムを取り付け ⑤虎の子のJRマーク（TOMIX）を貼って一応完成としました。

やはり、ライトケースリムの取り付けによって、顔が引き締まったのと、上から見る機会が多いので、集中クーラーのAU71、きのこ型で初期型のAU12、そしてAU13と、3種類のクーラーとベンチレーターの塗装が効果的だったと思います。

古い車両ですが、なお愛着が湧いてきます。実車は287系『こうのとり』にその座を変わられようとしていますが、国鉄型である彼は、レイアウトではますます活躍しそうです。



▲レストアにチャレンジしていただき、ありがとうございます。古いモデルという感じがしないですね。



▶クーラーの塗り分けが決まっていますね。

急行列車「おが」を再現！

愛知県　アイさん

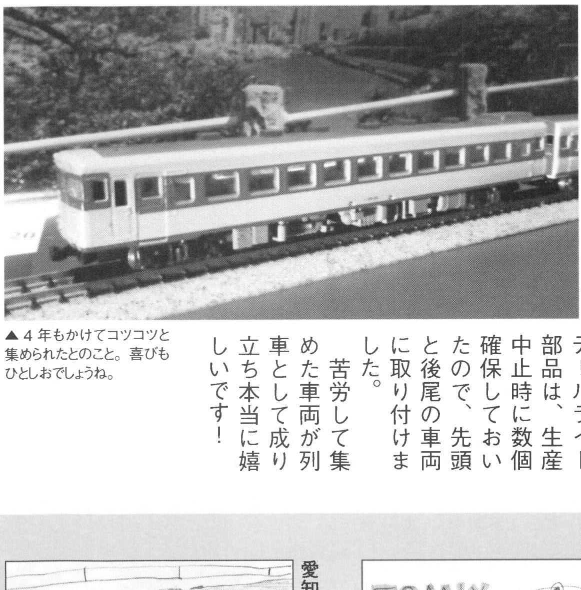
昭和50年代、上野～秋田を結ぶ急行『おが』はキハ58系の9両編成で、特に板谷峠を越えるためキハ58を多用した編成。キロ28以外は非冷房車が多く、時には修学旅行用の800番台が含まれる場合がありました。

さて、この列車を再現するためにはキハ58、キハ28のクーラーなしの製品が必要ですが、KATOのキハ58系クーラーなしは1989～90年で生産中止のため、中古店（ラディッシュとホビーオフを中心に4年ほどかかりました！）でコツコツ集めました。

最近ようやく7両集まったので、旧製品のキロ28も合わせて床下機器の黒色成型をクレオス31番「軍艦色1」で塗装したところ現行品に近い感じになりました。キハ58が1両足りないため、旧製品の800番台も同じように床下機器を塗装して編成に組み入れました。

中古のモーター車は入手時には動きませんでしたが、手持ちのパーツに交換して走行できるようにしました。またオプションのヘッド・テールライト部品は、生産中止時に数個確保しておいたので、先頭と後尾の車両に取り付けました。

苦労して集めた車両が列車として成り立ち本当に嬉しいです！

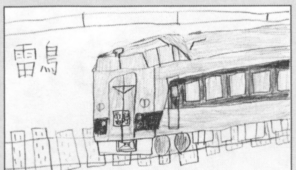


▲4年もかけてコツコツと集められたとのこと。喜びもひとしおでしょうね。

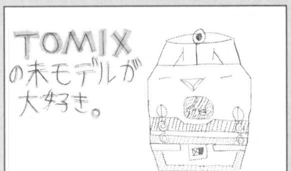
N美術館絵はがきGallery

Nを楽しみつつイラストを描いて送ってみよう。子どもだけでなく、大人の皆さんもぜひ投稿してくださいね！

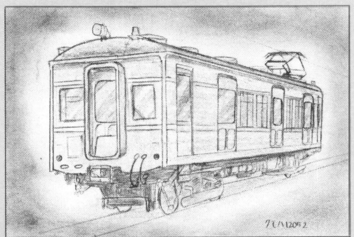
※投稿は郵便ハガキ、もしくはハガキサイズの紙に描いて送ってください。



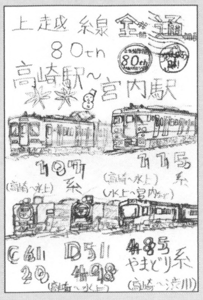
愛知県　加藤晴高さん



東京都　曽我聖奈さん



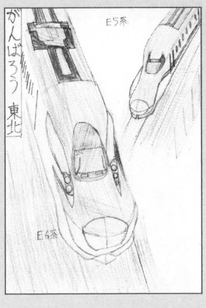
千葉県　神部智大さん



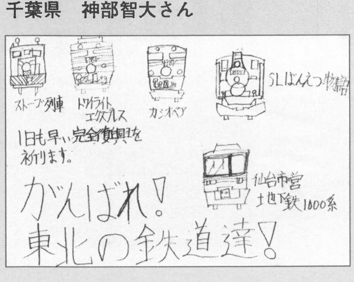
群馬県　福島孝典さん



岩手県　藤井剛さん



秋田県　高橋聡さん



神奈川県　梶ヶ谷大誠さん

Parts

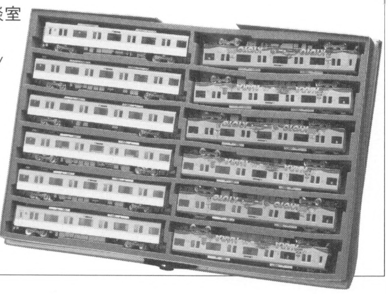
車両ケース CASCO

CASCOより21m級車両が12両収納できる車両ケースが発売された。今までの12両収納ケースでは19m級車両までだったが、車両ケースの収納部内寸（外寸は従来通り）を極限まで拡大して、21m級車両の収納を可能とした。

20m級車両もスペーサーの使用により収納可能で、6両編成の車両を2セット収納したり、10～11両編成の電車などを収納したりと、用途は自在。ケースはシルバーとブラックの2色で、ケースを傷から守るPP製スリーブが付属する。

21m級車両対応12両用車両ケース［シルバー］（YP-531/¥2,100）
21m級車両対応12両用車両ケース［ブラック］（YP-532/¥2,100）

お問い合わせ
キャスコ事業部　お客さま相談室
☎03-5626-5268
（月～金曜9～12･13～18時/祝･祭･休日を除く）



ウレタン形状の工夫により、21m級車両を効率的に収納できる。※車両は付属しません。

Event

西多摩武蔵野会「冬の鉄道模型まつり2012」（Nゲージ公開運転会）

東京都青梅市を拠点に活動を展開している「西多摩武蔵野会」では、毎年恒例、人気のイベント「冬の鉄道模型まつり2012」（公開運転会）を開催します。通常は毎年春･夏の開催ですが、今回は冬期も開催。新たなお客さまのご来場をお待ちしております。

今回も3部屋に長大レイアウトと複数のエンドレスを設け、運転を通じて鉄道模型の手軽さ、楽しさをアピールします。

開催日時 2012年2月4日（土）14:00～18:00　2月5日（日）13:00～16:00

開催場所 青梅市福祉会館　スイートプラム　2階第1～3集会室
※青梅市東青梅1－177－3　青梅市役所前。市役所駐車場がご利用できます。
※JR青梅線東青梅駅下車 徒歩5分。

お問い合わせ
http://www.geocities.jp/musashinoclubome/
お問い合わせもホームページからご利用下さい。
なお、新規会員の募集もおこなっております。
ぜひお問い合わせ下さい。



広い会場ならではの運転会。自宅ではできない長編成を見に出かけてみては!?

News

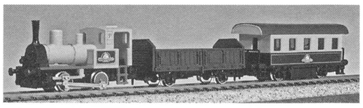
お店のコンセプトになったSLを模型化

「Cafe&Bar STEAM LOCOMOTIVE」は、鉄道模型専門店ポポンデッタが東京・有楽町にオープンさせた鉄道カフェバー。この店のウリはSLのボイラーで焙煎した豆を使ったコーヒー。お店のコンセプトも、「中米ホンジュラスのコーヒー運搬用のSL列車の機関士たちの間で、密かに愛飲されている『幻のコーヒー』を日本へ緊急輸入!」だ。

今回、店のコンセプトとなったコーヒー運搬用SL列車をKATOが模型化して発売する。1/150スケールの「Nゲージ規格」を採用しているので、レールやコントローラーがあれば、自宅ですぐに走行できる。

商品名　STEAM LOCOMOTIVE COFFEE　SL列車セット
内容　SL＋貨車＋客車（モーター入）の3両セット
発売日　2011年12月12日
価格　¥4,980
発売元　株式会社ポポンデッタ
http://www.popondetta.jp/
製造元　株式会社関水金属

お問い合わせ　ポポンデッタ秋葉原店
☎03-5297-5530



「Cafe&Bar STEAM LOCOMOTIVE」のかわいいマスコットが模型になった。

アナタも『エヌ』に参加しませんか？ 投稿大募集！

“N”FRIENDS STATIONとN美術館では、読者の皆さんからの投稿をお待ちしております。テーマ別に設けておりますので、それぞれのコーナー宛にお送りください。

■Reader's Square
がんばってつくったディオラマ、改造した車両、長年のNゲージ趣味で思うこと、仲間と開いた運転会の報告など、Nゲージを中心としたあなたのホビーライフを聞かせてください。なお、誌面の都合で適宜編集させていただくこともあります。また、応募多数の場合は次号以降に先送りさせていただくこともあります。あらかじめご了承ください。

■みんなの掲示板
皆さんの主催する鉄道模型関連のイベント、作品展などを、『エヌ』誌上で告知しませんか? Nゲージファンに一番多く読まれている雑誌なので、その効果は絶大! なお、掲載に関しては、誰でも参加できるものに限らせていただきます。

■マイテク・大公開
すごく便利なのに意外と知られていない…。そんなテクニックをお持ちの方、誌面で公開してみませんか? 別売りのパーツ、デカールなどを使用した作例でも構いません。改造前と改造後の写真があるとGOODです。アナタのテクで、みんなのNゲージライフに新しい楽しみを吹き込んでください。

■N美術館　絵はがきギャラリー
読者の皆様のイラストを大募集。画材は自由ですが、色が極度に薄い場合は印刷できないので、掲載できませんのでご注意ください。
作品は「官製はがき」または「はがきサイズ」の用紙にて、おひとり様1点でのご応募でお願いいたします。はがきサイズの用紙で応募の場合は、絵の裏側に住所、氏名を必ずご記入ください。
なお、規格外でのご応募は掲載選考の対象になりません。締め切りは奇数月の月末編集部到着分とし、それ以降の到着は次号の選考としますので、ご了承ください。
また、マンガやアニメのキャラクターなど、他の著作権に関わるものと特定できるものは掲載できません。あらかじめご承知置きください。

宛先はこちら！　応募先

郵便の場合は… 〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町2-3
イカロス出版「N」編集部
『“N”FRIENDS STATION』各係

Eメールの場合は… n@ikaros.co.jpに『“N”FRIENDS STATION』のどの係に応募するのか明記してお送りください。画像データはJPEG方式で添付してください。

ドシドシご応募ください。

編集部からお願い

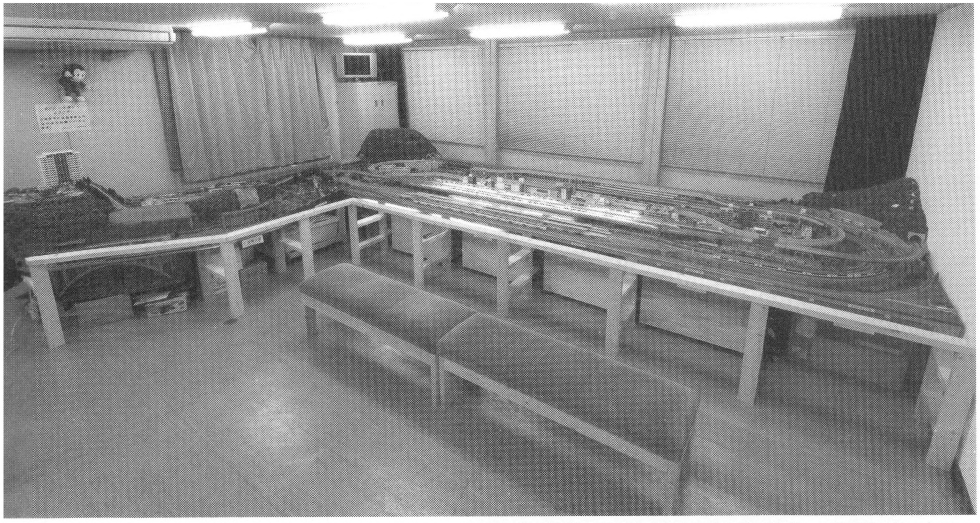
投稿には必ず、ご自分のお名前、郵便番号、住所、電話番号の記入をお忘れなく。投稿を採用された方には、掲載誌をもれなくプレゼント（N美術館のみは抽選で5名）しております。

また、デジカメや携帯電話で撮影した画像をメールで投稿される方は、画像サイズ2048×1536（解像度QXGA）以上、画質ファイン以上、拡張子:JPEGで送付してください。なるべく高画質で撮影されることをオススメします。

手ブレ、ピンボケの写真も多いです。デジカメですので、確認してからお送りください。せっかくお送りいただいても掲載できない場合や、再撮影をお願いする場合もあります。多くの皆さんに見ていただく写真ですので、ご了承ください。

なお、各コーナーとも、パソコンで書いた文章をプリントして同封する場合は、メールでもいただけると大変助かります。

さ〜くる探訪 エヌに夢中！



巨大過ぎて、全景を捉えるのはほぼ不可能なレイアウト。ベースを含め、子どもが乗り出しても大丈夫な手スリなどは、車両課の佐々木さんの手づくり。手前のベンチは、不要となった車両の座席を佐々木さんが改造。本来はこれに腰掛けて、ゆっくり見ていただきたいとのことだが…。

文・写真◎高橋政士

第30回

千葉モノレール鉄道模型同好会

今回は、鉄道会社内で結成されたちょっと変わったサークルの紹介だ。サフェージュ（懸垂）式モノレールでは世界最長の営業距離を持ち、ギネスブックにも登録されている千葉都市モノレール株式会社（以下、千葉モノレール）。会社内のサークルのため、参加資格は千葉モノレールの社員に限られる。

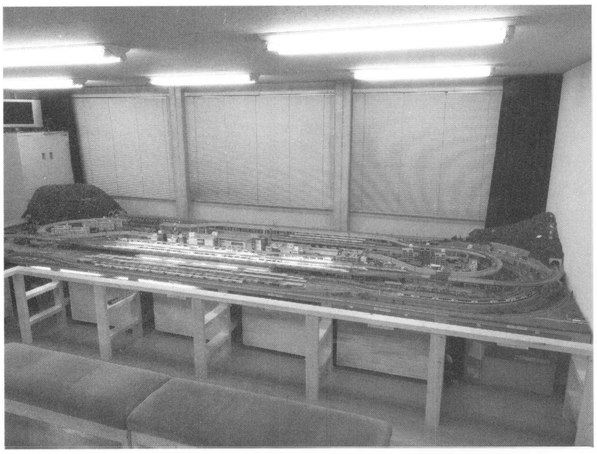
基本情報

メンバー人数：10名
参加資格：千葉モノレール社員のみ

長手部分



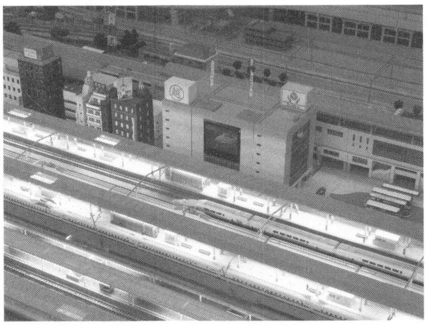
▲長手部分に張り巡らされた高架のうち、左側のカーブ内には京葉線検見川浜駅周辺をモチーフとした団地群を配置。要所で千葉の風景を取り込んでいるのもこのレイアウトの特徴だ。



▲L字の長手部分、見えやすい部分に大きな半径のカーブを使用して、実際のスペース以上にゆったりと見せている。



▲駅部分は線路のスペースが足りなくなってしまうので、一部を地下線としている。地下から突如電車が現れるのも、来場者に人気だ。



▶長手部分の中央に設置された巨大ターミナル。中央に建つのは、TOMIXの総合ビルを4棟まとめてつくった大きな商業施設。壁面に小型モニターを埋め込み、オーロラビジョンとして実際に映像を流している。ストラクチャーなどは、既製品に手を加えたり自作したりと、手が込んでいる。



▲地下部分の先には地下駅がある。ベースボードの下なので、小さな子どもにしか見つけられない駅だ。

イベントのためにサークルを設立

千葉モノレールでは年に1回、10月に『ちばモノレール祭り』を開催している。モノレールという性格上、一般的な鉄道ファンはあまり訪れないが、沿線には若い世代の家族が多く住んでいるため、イベントにはたくさんの家族連れが訪れる。

「子どもたちにもっと『ちばモノレール祭り』を楽しんでもらうために、Nゲージのレイアウトづくりを発案しました」

と会長で運転課の林達也さん。これに賛同した有志が集まり、2007年4月1日に『千葉モノレール鉄道模型同好会』を結成した。

会社側もその趣旨に応えて、会社内の空き部屋を同好会のために提供。そこに2×6・3mに、2.7×1・4mのL字部分が付いた巨大な固定式レイアウトを製作した。

見て喜んでもらうためのレイアウト

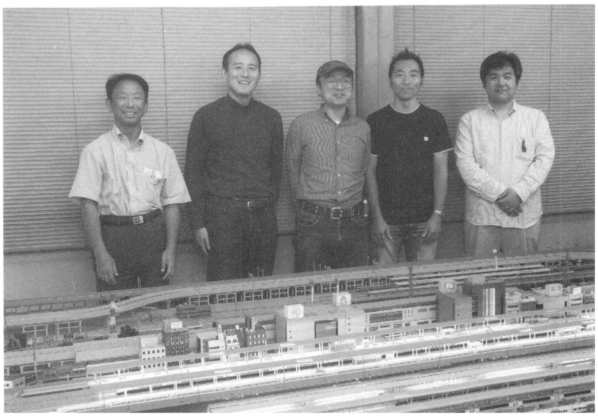
レイアウトのコンセプトは『子どもだけでなく、大人も楽しめるマルチレイアウト』。レイアウトはシーナリーに変化の付けやすいモジュール式ではなく、あえて固定式を採用している。

「列車の運転が単調になるモジュール式より、たくさんの列車が走ったほうが子どもが見て喜びますからね」

と林さん。通常なら「全体で見て運転を楽しむ」のが一般的だが、このレイアウトはあくまでも「見に来ていただいたお客様が第一」の設計だ。その分、コントロールパネルやメンテナンスヤードを見えない部分に設置できる。

線路の配置は複線が6組と単線が1本と自動往復が2線で、単純なエンドレスだが、線路の配置を工夫して単調にならないようにつくられている。一見しただけではどの線

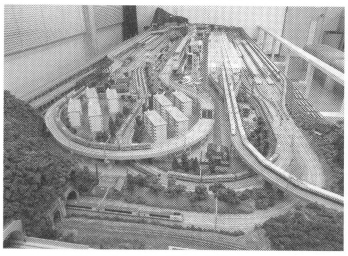
『千葉モノレール鉄道模型同好会』のレイアウト製作担当5名。左から遠藤真矢さん、林達也さん、佐々木武志さん、滋野清武さん、小倉康弘さん。



見え方に応じたレール選び

レールはTOMIXのファイントラックとKATOのユニトラックの両方を使用し、さらにフレキシブルレールを使い分けている。特に高架橋ではメーカーの違いがハッキリ出て、まったく違った性格の路線に見えるので、単調な風景になりにくい。

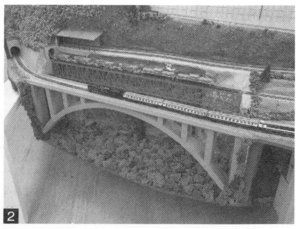
レイアウト製作では、利便性を考えてレールシステムは1つのメーカーにまとめるのが一般的だが、ここまで広大だとこういった方法もアリだ。

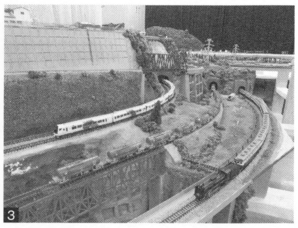


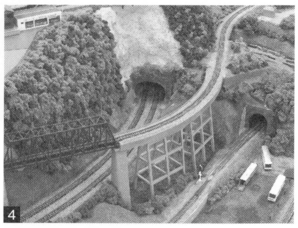
▲右手の新幹線が走る高架橋はTOMIX、中央で京葉線が走る高架橋はKATO。メーカーの違いで印象が変わってくる。写真はバックヤードから見たもので、見学者から見えない場所までシーナリーがつくり込まれている。団地は林さんと滋野さんがこだわった部分。

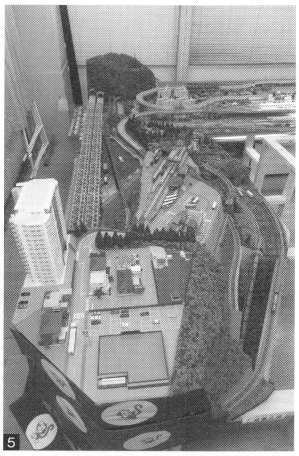
妻手部分











1 L字の妻手部分。矩形ではなく線路のカーブに合わせた形状にして変化を付けている。奥に見える複々線トラスは何と10連! 長さは総武本線江戸川橋梁の1/150だ。 2 台地下には大アーチ橋と上路式トラス橋が設置されている。ベースボードを大きく切り下げて、アーチの高さを確保している。 3 アーチ橋とトラス橋の取り付け部分。遠藤さんがもっともこだわった箇所とのこと。最大半径はR1000mmにもなる。こうして見ると、Nゲージがひとまわり大きく見えるので不思議だ。 4 外房線の土気〜大網間の通称「蔵前高架橋」を模した高架橋。フレキシブルレールを使って、滑らかなSカーブをつくっている。その下を行く線路もすべて、緩やかで自然なカーブを描いている。 5 2011年に追加されたマンションとショッピングセンター。その下のトンネル内にはヤードが隠され、TCS自動運転ユニットのモード5を使って、3つの列車が交互に台地上の駅に到着する。気付かれにくいが、おもしろい見せ方だ。 6 一段低くなった台地上のトンネルから出た場所には、小さな終着駅がある。バックヤード側から見ると、メンテナンス用の開口部が設けられている。見学者の目線が限定されるので、メンテナンスしやすいレイアウトを実現できる。

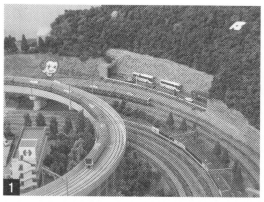


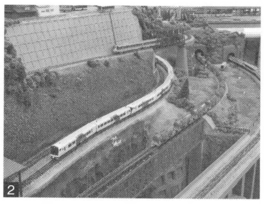
サイズを感じないリアルなカーブ

中央にターミナル駅が設置される巨大エンドレスは、特に来場者からよく見える部分にフレキシブルレールを使用して、最大R1000と大きな半径のカーブとし、継目部分のレールはハンダ付けして脱線を防いでいる。

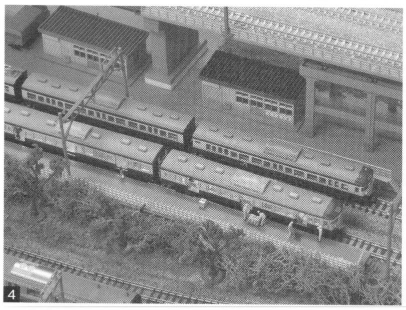
さらに実物通りに緩和曲線を導入して、カーブに入って「カクン」と列車が曲がってゆくおもちゃっぽさを解消。これにより列車がスムーズに走っているように見せられ、子どもだけでなく大人のNゲージファンも大満足の走行シーンとなる。

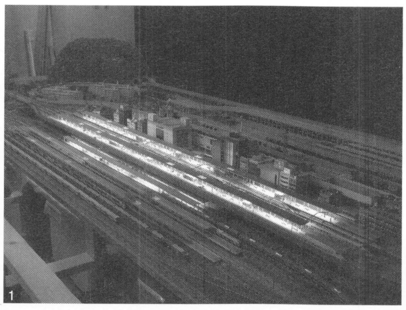
全体の線路配置で必要な急カーブは、トンネル内や地下線部分に設けてある。展示用レイアウトだけでなく、運転して楽しむレイアウトでも採用したい使い分けだ。





1 フレキシブルレールを使い、カントを付けた緩やかなカーブを実現している地上線。複線高架橋のカーブも大きい半径を採用しているが、それとくらべても地上線の半径がいかに大きいかわかる。 2 外から見える部分は、全体的に緩やかなカーブで統一されている。これだけ半径が大きいと、本来狭苦しく感じるSカーブも雄大に見える。



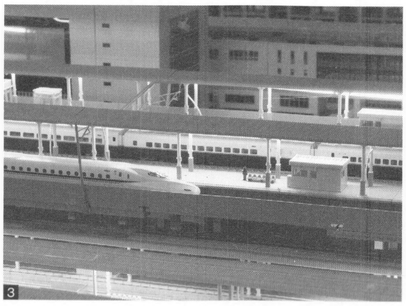


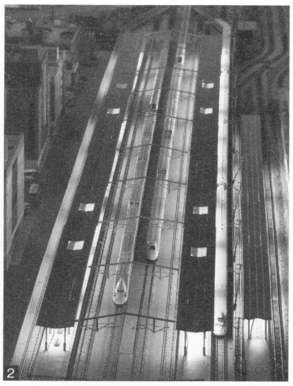
照明にもこだわりを!

新幹線ホームに仕込まれた照明は、部屋が明るくても点灯しているのがハッキリと見えるように、液晶モニターのバックライトなどに使用されている冷陰極管を用いている。照明は担当の小倉さんのこだわり。

またホーム上屋は、一体になった架線柱を表現するため嵩上げされている。これには停車中の車両がよく見える、という副次的効果もある。







1 長手部分の中央部に位置する駅。在来線部分の一部は未設置だが、新幹線ホームの照明にはコンパクトで明るい冷陰極管を採用。展示室が明るい状態でも、ホームを明るく照らしている。16両編成の新幹線が停車できるホームも見応えアリだ。 2 正面から見た新幹線駅。上屋間に渡された架線のビームとブラケットが非常に効果的だ。また、内側の線には特注の「2列車追越運転装置」を装備し、待避・追い抜きを自動でおこなう。 3 細長い冷陰極管によってまんべんなく明るくなり、列車が印象的に浮かび上がる。 4 新幹線と在来線駅の間にある小さなホームをよく見ると、113系に新聞の積み込みがおこなわれている。開け放たれた側扉には『荷物専用』と書かれた幕がちゃんとかけられている。 5 新聞積み込み中の113系は室内灯が点灯し、戸閉め用車側表示灯まで点灯しているという念の入りようだ。

路がどこに繋がっているかわからないほどだ。

行列のできる一番人気コーナー

複雑な線路配置をしているため非常に運転しづらいレイアウトだが、見る側からすると「あの列車が、今度はここを走っている」となって好評だ。

どれだけ好評かというと、毎回模型・プラレール館には長蛇の列ができ、1回の入場者数の制限と時間

制限を設け、総入れ替え式にして見学してもらうほどの状況だ。時折雨が降る取材日も行列ができていた。

メンバーの1人、総務部企画課の遠藤真矢さんも

「本当はゆっくり見ていただきたいのですが、待っているお客様もいらっしゃるので申し訳ない」

と恐縮の様子。年1回の展示だが「去年と同じ」といわれるのを避けるため、マイナーチェンジを続ける努力も怠ってはいない。

しかし、予算不足が頭の痛いところ。実際にメンバーからもイベントごとに万単位の持ち出しがあり、作業も業務終了後におこなうため時間がなかなか取れないのが悩みの種だ。

とはいえ進化を続ける千葉モノレールのNゲージレイアウト、これは一見の価値アリだ。皆さんも来年のイベントに足を運んでみよう！

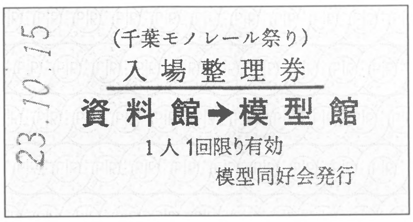


空いているように見えるのは、1回の見学者数を制限しているため。しかし、見学時間が限られるため、何度も見に来る来場者も多い。手前に広がるそれぞれ10連の複々線トラスは迫力の一言に尽きる。右端の線路のように、見学者から見えない距離を長くして、意表を突いた場所に列車が走っている効果を高めている。

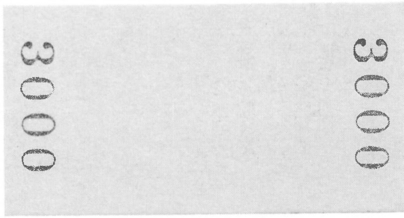


時折小雨の降るあいにくの天気でも、鉄道模型館は行列のできる大人気で、何と延べ2400人も来館した。

鉄道模型館の入館者に配られる硬券の入場券。日付はダッチングマシンで刻印。裏面は通し番号が振られている。模型館の手前が資料館なので、「資料館→模型館」と印刷されている。



23.10.15
(千葉モノレール祭り)
入場整理券
資料館➔模型館
1人1回限り有効
模型同好会発行
0003



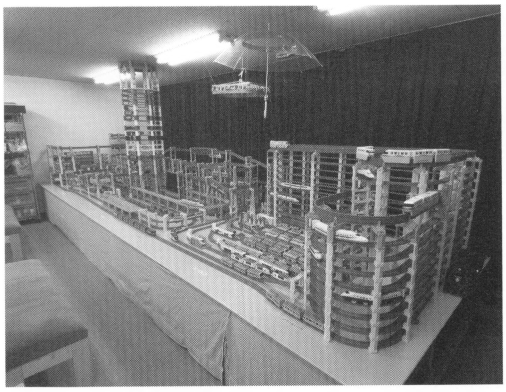
3000

もっとすごいぞプラレール

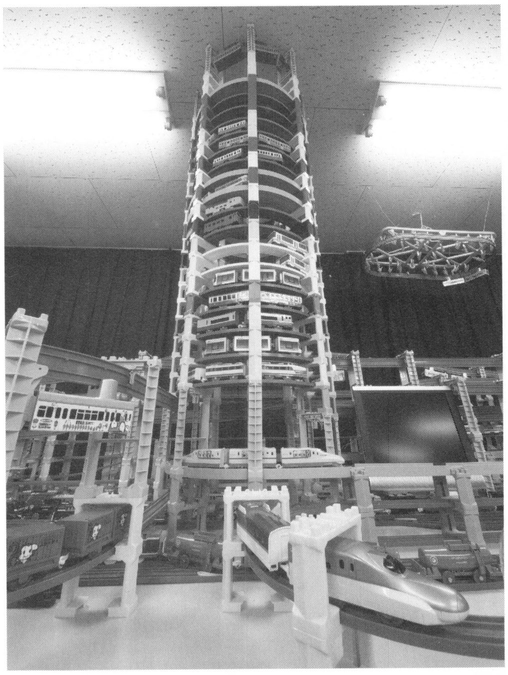
Nゲージレイアウトとともに、もうひとつの展示物がプラレールだ。しかし、そんじょそこらのプラレールではない。6.3×1.8mの圧倒的な規模に注目。これだけのレールと車両の密度はなかなか見られない。

中でも特筆されるのが懸垂式モノレールのプラレール。一時入手困難だったが、これを精力的に集め、展示している。

車体にはパソコンでつくったシールを貼り付けて、実際に千葉モノレールで走っているラッピング車両も再現している。



▲もはや子どものおもちゃを通り越して立派な展示物！手前の跨座式モノレールに加え、天井から下がる洗濯物干しとビニール傘には懸垂式モノレールが走っている。プラレールは常設ではなく、イベントに合わせて設置されるので準備や撤去も大変だ。



▲天井まで達する、人呼んで『千葉モノスカイツリー』。実はこの高さになると車両の走行でバランスが崩れ不安定となるため、天井まで嵩上げして固定している。最上部にはもちろん懸垂式モノレール! 右側にあるテレビモニターは、中央部を走る九州新幹線の車窓にセットされたテレビカメラから、九州新幹線の開業CMのような映像を映し出している。マスコットキャラクター「モノちゃん」の描かれた左手のコンテナにも注目。これらはすべて、担当の佐々木さんの個人コレクション。

ほかにも楽しい『ちばモノレール祭り』

千葉モノレールでは年に1回、10月に『ちばモノレール祭り』を開催している。2011年（10月15日）は、天気が優れなかったにもかかわらず、3000人もの来場者が訪れたそうだ。

会場は模擬店や出店、制服を着ての撮影会、ザリガニ釣り、運転シミュレーターなど、盛りだくさん。大人から子どもまで楽しめる内容だっだ。来年9月になったら、千葉モノレールのホームページを検索して開催日をチェックしよう！



▲イベントステージでは音楽演奏やダンスなど、さまざまなパフォーマンスが繰り広げられた。



▶車庫イベントの定番、洗車機体験もおこなわれた。懸垂式モノレールでは、車体の下側もブラシで擦られているって知ってた?

次はあなたのサークルにおじゃまします!

N編集部では、全国のNゲージサークルを訪問します。一定の条件を満たせば誰でも入会できるところなら大歓迎! 地域、職場、学校など、活動主体は問いません。取材に来てほしい、というサークルは、電話番号、メールアドレスなどの連絡先を明記の上、下記あてにご連絡ください。待ってま〜す!

■メールの場合
n@ikaros.co.jp
（件名にエヌに夢中! 取材希望と明記してください）

■ faxの場合
03-3267-2790

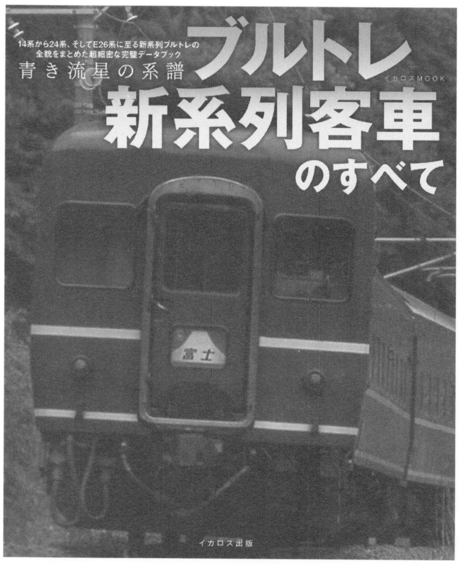
■郵便の場合
〒162-8616
東京都新宿区市谷本村町2-3
イカロス出版株式会社
エヌ編集部『エヌに夢中!』係

ブルトレ新系列客車のすべて

好評発売中

●AB判　定価2,500円(税込)

詳細な資料と写真でブルトレ客車を網羅



14系から24系、そしてE26系まで、新世代のブルトレ客車を完全に網羅。詳細な資料と形式写真で、それぞれの形式の特徴を余すところなく詳説するとともに、運用や車両の変遷をデータで追跡。
この一冊で新世代ブルトレ客車の全貌をすべて概観する。

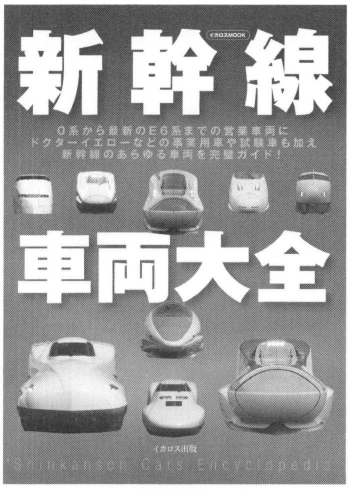
主な内容

- **新世代寝台客車ガイド**
  細密な形式写真と詳細な解説で、全形式全番代区分を紹介。車両の個体ごとの特徴まで網羅する。
- **新世代ブルトレ客車 その運用のあゆみ**
  14系の登場時から現在までの運用を編成図とともに振り返る。
- **国鉄固定編成客車の開発過程を振り返る**
  20系から始まるブルトレが、新系列に置き替えられても残っていた国鉄ならではの考え方とか?
- **懐かしきブルトレの旅路**
- **14系・24系の履歴表**
- **朝を目指す客車たち**
- **14系・24系の諸元表**

新幹線車両大全

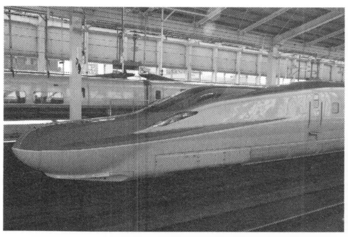
好評発売中

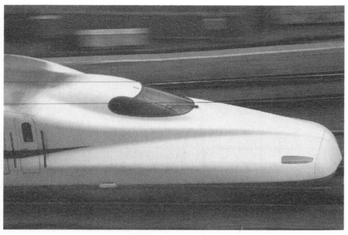
●B5判
定価3,200円(税込)



新幹線車両の決定版がついに発刊!
現在の配置や運用、消滅した車両の現役時の動向など、
基礎データも充実した一冊。

新幹線の元祖といえる0系から、最新で量産車の登場も間近なE6系まで、新幹線の営業車両全車種に加え、ドクターイエローやイーストアイなどの事業車、ファステックや300Xのような試験車両も徹底解説。新幹線の開発者やデザイナーのインタビューも掲載し、車両の位置づけや開発の苦労、技術的な要目などを技術者自身の言葉で紹介。新幹線のすべてがわかる!



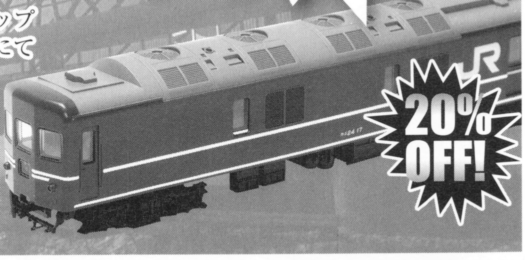


お求めは全国の書店およびamazon.co.jp、楽天ブックスなどのネット書店で。詳しくは、「イカロス出版の本 お求め方法」をご覧ください。
イカロス出版販売部　TEL.03-3267-2766　FAX.03-3267-2772　http://www.ikaros.jp/

のりもの倶楽部 ショッピングガイド

Nゲージ車両131セット（KATO・TOMIX） 大特価！

※下記期間のみご注文を承ります。



平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。模型・グッズのトータルショップ『のりもの倶楽部』ではKATO、TOMIX、Nゲージメーカー2社の車両セットを20%OFFにて大ご奉仕させていただきます。このチャンスをぜひご利用ください！

お申し込みはFAXのみとなります。左ページの専用申込書に必要事項を記入してご送付ください。人気が集中する商品もございます。売り切れの際はご容赦ください。また、メーカーから取り寄せのため、お届けに多少お時間を頂きます。何卒ご了承ください。

期間限定 2011年12月21日(水) 〜 2012年1月9日(月)

お申し込みは左ページの注文用紙で！

新幹線

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
0系2000番台新幹線基本8両セット	~~¥17,115~~	¥13,692	KATO	10-453
0系2000番台新幹線増結8両セット	~~¥13,650~~	¥10,920	KATO	10-454
100系新幹線「グランドひかり」基本6両セット	~~¥14,700~~	¥11,760	KATO	10-354
100系新幹線「グランドひかり」増結6両セット	~~¥9,450~~	¥7,560	KATO	10-355
700-3000系東海道・山陽新幹線(のぞみ)基本セット	~~¥9,345~~	¥7,476	TOMIX	92264
700-3000系東海道・山陽新幹線(のぞみ)増結セットA	~~¥12,390~~	¥9,912	TOMIX	92265
800系「さくら・つばめ」6両セット	~~¥16,800~~	¥13,440	KATO	10-865
九州新幹線800系つばめ基本セット	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	92279

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
E2-0系長野新幹線(あさま)セット	~~¥22,470~~	¥17,976	TOMIX	92805
E3系1000番台山形新幹線「つばさ」7両セット	~~¥19,215~~	¥15,372	KATO	10-222
E3-1000系山形新幹線(つばさ)セット	~~¥22,890~~	¥18,312	TOMIX	92804
E4系新幹線「Max」基本4両セット	~~¥13,125~~	¥10,500	KATO	10-292
E5系新幹線「はやぶさ」基本3両セット	~~¥11,025~~	¥8,820	KATO	10-587
N700系新幹線「のぞみ」増結8両セット	~~¥14,700~~	¥11,760	KATO	10-549
N700-8000系山陽・九州新幹線基本セット	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	92411
N700-8000系山陽・九州新幹線増結セット	~~¥12,810~~	¥10,248	TOMIX	92412

通勤型

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
103系ATC車山手線色10両セット	~~¥17,850~~	¥14,280	KATO	10-514
103系ATC車中央線色10両セット	~~¥17,850~~	¥14,280	KATO	10-515
205系埼京線色「KATO TRAIN」10両セット	~~¥23,100~~	¥18,480	KATO	10-481
205系埼京線基本5両セット	~~¥12,285~~	¥9,828	KATO	10-487
205系埼京線増結5両セット	~~¥8,190~~	¥6,552	KATO	10-488
205系1200番台南武線シングルアームパンタ6両セット	~~¥13,650~~	¥10,920	KATO	10-493
205系1200番台南武線6両セット	~~¥13,650~~	¥10,920	KATO	10-490
205系3000番台八高線色4両セット	~~¥12,075~~	¥9,660	KATO	10-494
205系京葉線<最終編成>基本6両セット	~~¥13,650~~	¥10,920	KATO	10-429
207-1000系通勤電車(新塗装)基本セット	~~¥15,540~~	¥12,432	TOMIX	92341
207-1000系通勤電車(新塗装)増結セット	~~¥9,135~~	¥7,308	TOMIX	92342
209系500番台武蔵野線8両セット	~~¥18,900~~	¥15,120	KATO	10-861
223系2000番台(2次車)新快速8両セット	~~¥20,475~~	¥16,380	KATO	10-536
223系2000番台(1次車)新快速4両セット	~~¥14,280~~	¥11,424	KATO	10-537

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
321系通勤電車(2次車)増結セット	~~¥10,815~~	¥8,652	TOMIX	92359
E231系500番台山手線基本セット(4両)	~~¥11,130~~	¥8,904	KATO	10-578
E231系500番台山手線増結セット(4両)	~~¥8,085~~	¥6,468	KATO	10-579
E231系500番台山手線増結セット(3両)	~~¥6,510~~	¥5,208	KATO	10-580
E231系東海道線・湘南新宿ライン増結A4両セット	~~¥8,505~~	¥6,804	KATO	10-595
E233系1000番台京浜東北線6両基本セット	~~¥16,800~~	¥13,440	KATO	10-543
E233系1000番台京浜東北線4両増結セット	~~¥7,350~~	¥5,880	KATO	10-544
E233系3000番台東海道線付属5両セット	~~¥14,910~~	¥11,928	KATO	10-842
E233系5000番台京葉線基本6両セット	~~¥16,800~~	¥13,440	KATO	10-862
E233系5000番台京葉線増結4両セット	~~¥9,450~~	¥7,560	KATO	10-863
E233-0系通勤電車(中央線・T編成)基本セット	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	92336
E233-1000系通勤電車(京浜東北線)基本セット	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	92348
E233-5000系通勤電車(京葉線)基本セット	~~¥14,490~~	¥11,592	TOMIX	92392

特急型

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
24系25形寝台特急「富士」7両基本セット	~~¥14,490~~	¥11,592	KATO	10-855
151系「こだま・つばめ」8両基本セット	~~¥19,950~~	¥15,960	KATO	10-530
151系「こだま・つばめ」4両増結セット	~~¥7,665~~	¥6,132	KATO	10-531
157系「あまぎ」基本7両セット	~~¥16,380~~	¥13,104	KATO	10-393
183系特急電車(たんば)セット	~~¥18,270~~	¥14,616	TOMIX	92400
185系0番台踊り子新塗装基本8両セット	~~¥16,485~~	¥13,188	KATO	10-219
185系0番台踊り子新塗装5両セット	~~¥13,440~~	¥10,752	KATO	10-220
189系国鉄色「あさま」7両増結セット	~~¥12,810~~	¥10,248	KATO	10-529
281系「はるか」6両セット	~~¥16,590~~	¥13,272	KATO	10-385
381系「しなの」9両セット	~~¥23,310~~	¥18,648	KATO	10-876
383系「ワイドビューしなの」6両基本セット	~~¥18,900~~	¥15,120	KATO	10-558
383系「ワイドビューしなの」2両増結セット	~~¥6,300~~	¥5,040	KATO	10-560
475系基本6両セット	~~¥16,275~~	¥13,020	KATO	10-461

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
475系増結6両セット	~~¥12,075~~	¥9,660	KATO	10-462
485系初期形「雷鳥」基本8両セット	~~¥19,550~~	¥15,640	KATO	10-241
651系「スーパーひたち」7両基本セット	~~¥18,900~~	¥15,120	KATO	10-173
651系「スーパーひたち」4両増結セット	~~¥10,290~~	¥8,232	KATO	10-174
683系2000番台<しらさぎ>基本5両セット	~~¥15,225~~	¥12,180	KATO	10-298
683系2000番台<しらさぎ>増結3両セット	~~¥8,400~~	¥6,720	KATO	10-299
883系<ソニック>リニューアル車7両セット	~~¥20,685~~	¥16,548	KATO	10-288
E259系成田エクスプレス増結3両セット	~~¥7,140~~	¥5,712	KATO	10-848
E259系特急電車基本セット	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	92418
E259系特急電車増結セット	~~¥7,560~~	¥6,048	TOMIX	92419
E351系「スーパーあずさ」増結4両セット	~~¥9,240~~	¥7,392	KATO	10-359
EF66ブルートレインセット	~~¥8,400~~	¥6,720	TOMIX	92332
EF510+E26系カシオペア基本セット(4両)	~~¥15,540~~	¥12,432	KATO	10-833

機関車・客車・貨車

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
10系寝台急行「妙高」基本6両セット	~~¥11,025~~	¥8,820	KATO	10-563
10系寝台急行「能登」増結6両セット	~~¥10,815~~	¥8,652	KATO	10-817
14系「ゆとり」6両セット	~~¥12,075~~	¥9,660	KATO	10-250
20系特急寝台客車7両基本セット	~~¥12,600~~	¥10,080	KATO	10-366
20系さくら基本7両セット	~~¥13,020~~	¥10,416	KATO	10-367
24系24形特急寝台客車セット	~~¥15,015~~	¥12,012	TOMIX	92814
24系寝台特急「北斗星」<デラックス編成>6両増結セット	~~¥12,075~~	¥9,660	KATO	10-832
117系中国地域色4両セット	~~¥11,550~~	¥9,240	KATO	10-860
C57「SLばんえつ物語」増結4両セット	~~¥8,505~~	¥6,804	KATO	10-829
DE10・50系ノスタルジックビュートレインセット	~~¥17,430~~	¥13,944	TOMIX	92403

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
DE10・ワム80000形貨物列車セット	~~¥7,875~~	¥6,300	TOMIX	92404
E26系カシオペア増結A3両セット	~~¥7,875~~	¥6,300	KATO	10-834
E26系カシオペア増結B6両セット	~~¥13,860~~	¥11,088	KATO	10-835
EF64-1000形電気機関車(1001号機・茶色)	~~¥7,140~~	¥5,712	TOMIX	9110
EF65-500形電気機関車(P形・後期型)	~~¥6,615~~	¥5,292	TOMIX	9105
EF66・ワム380000形(専用貨物列車)セット	~~¥34,230~~	¥27,384	TOMIX	92977
EF210コンテナ列車セット	~~¥9,345~~	¥7,476	TOMIX	92263
EH500形電気機関車(2次形・GPS付)	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	2147
ホキ2500 8両セット	~~¥10,080~~	¥8,064	KATO	10-824
旧型客車(高崎車両センター)セット	~~¥17,850~~	¥14,280	TOMIX	92829

気動車

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
キハ47アクアライナー2両セット	~~¥6,300~~	¥5,040	KATO	10-854
キハ48-300形ディーゼルカーセット	~~¥10,185~~	¥8,148	TOMIX	92162
キハ48-500形ディーゼルカーセット	~~¥10,185~~	¥8,148	TOMIX	92163
キハ58系修学旅行色セット	~~¥16,800~~	¥13,440	KATO	10-464

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
キハ71系(ゆふいんの森1世・4両編成化後)セット	~~¥18,375~~	¥14,700	TOMIX	92396
キハ130形ディーゼルカー(日高線)セット	~~¥10,290~~	¥8,232	TOMIX	92148
キハ181系「はまかぜ」8両セット	~~¥17,010~~	¥13,608	KATO	10-875
南部縦貫鉄道キハ10形レールバスセット	~~¥7,140~~	¥5,712	TOMIX	92134

私鉄・地下鉄

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
東京メトロ銀座線01系6両セット	~~¥16,800~~	¥13,440	KATO	10-864
富山ライトレールTLR0601(赤)	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-801-1
富山ライトレールTLR0607(紫)	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-801-2
富山ライトレールTLR0606(青)	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-801-4
富山ライトレールTLR0605(緑)	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-801-5
富山ライトレールTLR0603(黄)	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-801-6
富山ライトレールTLR0605とやまグリーントラム	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-801-8
富山市内電車環状線9001<セントラム>白	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-802-1
富山市内電車環状線9002<セントラム>銀	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-802-2

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
富山市内電車環状線9003<セントラム>黒	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-802-3
万葉線MLRV1000形「アイトラム」	~~¥9,975~~	¥7,980	KATO	14-803
阪急6300系増結4両セット	~~¥4,725~~	¥3,780	KATO	10-051
伊豆急リゾート21 7両セット	~~¥15,750~~	¥12,600	KATO	10-150
相模鉄道11000系基本セット	~~¥14,490~~	¥11,592	TOMIX	92382
名鉄700系パノラマカー(2次車)白帯車セット	~~¥17,640~~	¥14,112	TOMIX	92319
西武E851セメント列車8両セット	~~¥15,750~~	¥12,600	KATO	10-431
西武新101系新塗装色基本4両セット	~~¥9,555~~	¥7,644	KATO	10-457
西武新301系旧塗装色10両セット	~~¥18,900~~	¥15,120	KATO	10-460

全商品とも送料別の金額です！

まだまだ受付中!!送料着払いでお送りください！

「古書・ビデオ・DVD」高価買取実施中!!

いらなくなった、雑誌・ムック・臨時増刊・別冊・書籍・文庫・洋書・ビデオ・DVDなど、鉄道関係をはじめ、のりもの関連の商品を買い取ります！（なお、弊社イカロス出版のものは除きます）送料着払いで、10冊以上まとめてお送りください！

送り先：〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町2-3 イカロス出版㈱ のりもの倶楽部
（TEL）03-3267-2724 （FAX）03-3267-2855

Special Price 「近郊形電車」16セットが安い!! 25% OFF

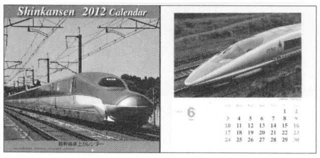
バリエーション豊富な115系やグッドデザインを受賞した313系、最新型の225系など、近郊形電車を期間および数量限定で大特価25%OFF！で販売します！！数量が限られていますので、早いもの勝ち！在庫無くなり次第、販売を終了させて頂きます。

商品名	定価（税込）	ご奉仕価格（税込）	メーカー	商品番号
113-1500系近郊電車(横須賀色)基本セットB	~~¥14,700~~	▶ **¥11,025**	TOMIX	92825
115系1000番台新潟色3両セット	~~¥8,715~~	▶ **¥6,536**	KATO	10-583
115-1000系近郊電車(長野色)セット	~~¥13,440~~	▶ **¥10,080**	TOMIX	92416
115-1000系近郊電車(信州色)セット	~~¥13,440~~	▶ **¥10,080**	TOMIX	92389
115-1000系近郊電車(コカ・コーラ塗装)セット	~~¥14,700~~	▶ **¥11,025**	TOMIX	92390
117系福知山線色6両セット	~~¥13,650~~	▶ **¥10,237**	KATO	10-479
117系オーシャンカラー4両セット	~~¥11,550~~	▶ **¥8,662**	KATO	10-480
225系0番台「新快速」8両セット	~~¥19,740~~	▶ **¥14,805**	KATO	10-871
313系5000番台6両セット	~~¥16,800~~	▶ **¥12,600**	KATO	10-586
313系2300番台2両セット	~~¥7,875~~	▶ **¥5,906**	KATO	10-588
813系200番台3両セット	~~¥12,075~~	▶ **¥9,056**	KATO	10-813
813系200番台福北ゆたか線3両セット	~~¥12,075~~	▶ **¥9,056**	KATO	10-814
E127系100番台大糸線1パンタ編成2両セット	~~¥7,875~~	▶ **¥5,906**	KATO	10-593
E127系0番台新潟色2両セット	~~¥7,875~~	▶ **¥5,906**	KATO	10-581
E217系横須賀線・総武線(新色)増結A4両セット	~~¥8,505~~	▶ **¥6,378**	KATO	10-844
E231-1000系近郊電車(東海道線)基本セットA	~~¥10,395~~	▶ **¥7,796**	TOMIX	92369

※メーカー名：KATO（カトー）／TOMIX（トミックス）　※通販のみでご購入できます。店舗販売はございませんので、何卒ご了承下さい。

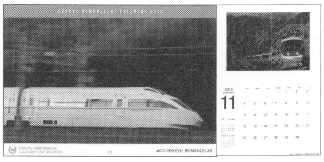
新しい年を鉄道と共に祝う！ 2012年 鉄道カレンダー大特集!!

「のりもの倶楽部」厳選の鉄道カレンダーを一挙ご紹介！蒸気機関車から新幹線まで、豊富なバリエーションの中から、お気に入りのカレンダーをお選びください。



新幹線卓上カレンダー 2012

商品番号：126-00539KP
税込価格：900円
迫力ある新幹線の写真にカレンダーを配置した表面と、シンプルでメモ書きも出来る日付欄が入った裏面の両面仕様。19×16.5cm（組み立て時）・両面印刷（表面カラー／裏面モノクロ）13枚綴り。



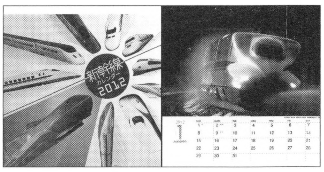
小田急カレンダー 2012

商品番号：126-00538KP
税込価格：1,000円
「ロマンスカーフォトコンテスト」受賞者の作品をカレンダー化。季節感あふれる風景の中を走る小田急ロマンスカーが美しい！A3サイズ28ページ中綴じオールカラー。



世界の鉄道カレンダー 2012

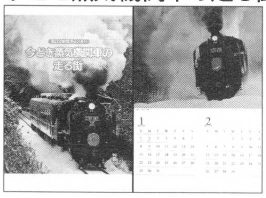
商品番号：116-03095CO
税込価格：1,500円
風景と列車が織りなす美しさにこだわって厳選した、ドイツやスイスなど12カ国の写真でつづるカレンダー。旅情あふれる海外の風景カレンダーをお探しの方もぜひ!仕様：縦515×横515mm・オールカラー13枚綴り。



新幹線カレンダー 2012

商品番号：116-03094CO
税込価格：1,600円
大迫力の写真で新幹線の魅力が満喫できるカレンダー。特別付録：「新幹線ポストカード」12点、仕様：515×515mm・オールカラー14枚綴り、付録：ポストカード。

今どき蒸気機関車の走る街 2012



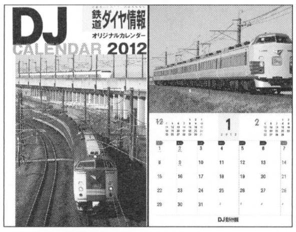
商品番号：800-03218
税込価格：1,260円
全国各地で現在運転されている数少ないSLの貴重なショットを収めたカレンダー。59×42cm、7枚綴り（表紙込み）



鉄道ヘッドマークシールカレンダー 2012

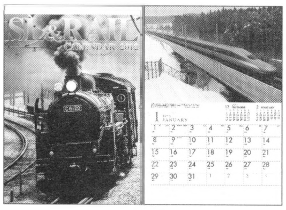
商品番号：111-02448CO
税込価格：1,500円
過去から現在まで、計53種の鉄道ヘッドマークを実物に近い精細なイラストで表現した、週めくりのカレンダー。〔カレンダー本体〕縦145×横110×厚さ18mm、オールカラー55枚綴り。

鉄道ダイヤ情報オリジナルカレンダー 2012



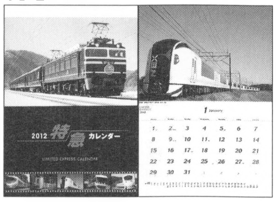
商品番号：116-03093CO
税込価格：1,300円
国鉄型車両だけを『鉄道ダイヤ情報』編集部で厳選。巻末には収録した車両・列車のミニガイドも掲載。B4判・オールカラー14枚綴り（二つ折り／天ホルダー付き）。

SL&RAIL カレンダー 2012



商品番号：116-03096CO
税込価格：1,200円
SLから新幹線まで話題の車両が続々登場。列車カレンダーの決定版です！特別付録：「SLイラストのポストカード」8点、B3判・オールカラー14枚綴り（付録：ポストカード1頁含む）。

特急カレンダー 2012



商品番号：116-03098CO
税込価格：1,300円
都市間輸送の主役を担う多彩なJR特急列車。北から南まで美しい情景のなかを駆け抜ける華やかな姿を一堂に集めたカレンダー。B3判・オールカラー13枚綴り。

全国蒸気機関車カレンダー 2012



商品番号：116-03097CO
税込価格：1,300円
現役で活躍する車両から懐かしい写真まで、蒸気機関車の勇姿が存分に堪能できる迫力いっぱいのカレンダー。B3判・オールカラー13枚綴り。

キリトリ線

エヌ〔N〕vol.62専用注文用紙　FAX 03-3267-2855　ファクシミリはこの方向で！

24時間受付中!!

お申し込み日 ＿＿＿ 年 ＿＿ 月 ＿＿ 日　受注締切：2012年1月9日

お名前	フリガナ	お電話 （　　）	性別	生年月日
		ご連絡先電話 （　　）	男・女	M・T S・H 年 月 日
ご自宅住所	〒　－　都・道　府・県		メールアドレス（お持ちの方） @	

商品番号	商品名	数量	税込価格	小計
			送料	
			合計	

通信販売お申し込み方法
・通信販売ご利用の場合は、このページの専用FAX用紙に必要事項をご記入いただき、上記番号まで送信（24時間受け付け）してください。
・専用FAX用紙に書ききれない場合はコピーでもOKです。

お支払い方法　数字に○をつけてください。

1．宅急便コレクト（代引）	2．クレジットカード（5,000円以上。一括払い）		
カードの種類	1．JCB　2．VISA	3．MASTER	4．DC
カード番号			
	カード有効期限	年	月
カード名義人（カタカナで）			

発送方法　○をつけてください。

□	クレジットカード	1回　800円（税込）北海道・沖縄は1,000円（税込）
□	宅急便コレクト	1回 1,000円（税込）北海道・沖縄は1,200円（税込）

【個人情報の取り扱いについて】
お知らせいただいたお客様の個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、ご注文の商品（情報）の発送とそれに関わるお問い合わせ、今後の当社の商品情報のご提供のみに利用し、安全かつ厳密に管理いたします。

〒162-8616
東京都新宿区市谷本村町2-3
●商品に関するお問い合わせは：TEL 03-3267-2724
●営業時間：11:00～20:00（毎日営業中）

注意事項
・数量に限りがある商品もございますので、ご希望の注文数量をお届けできない場合があります。
・カタログ有効期限内でも売り切れ等によりお届けできない場合があります。あらかじめご了承ください。

N. 特選街

Nゲージを「買う」「集める」「楽しめる」ショップが大集合!
あなたの大切な1両を探しにショップへ出掛けよう。



※本欄に掲載の商品情報等は直接各ショップ様にお問合わせ下さい。また、ご来店時は定休日等を各ショップ様にご確認の上ご来店下さい。

●本コーナーへの広告掲載のお問合わせは・・・イカロス出版広告部　03-3267-2716

レアモデルに会える店!

モデルショップ ポッポ屋



買取大歓迎!

お客様の身になっての親切な買取!!

ご自宅に眠っている
Nゲージがございましたら、ご相談ください。
持ち込みでも郵送でも、どちらでも対応いたします。
お気軽にお問い合わせください。

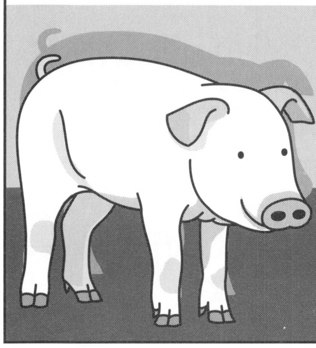
新製品25%OFFで販売中

新品はもちろん、中古模型も品揃え豊富

他では手に入らない貴重な車両も
このお店にならあります!
見るだけでも楽しいので
お気軽にご来店ください!

〒164-0001
東京都中野区中野5-52-15 中野ブロードウェイ2F
TEL&FAX 03-5380-1951
【営業時間】12:00〜20:00　【定休日】水曜

鉄道模型 中古・新品取扱店 ラディッシュ



高価買取 大量出張

ゲージ状態不問 ミニカー プラモデル模型全般対応致します。

店舗拡大でますます充実! 新店舗に是非ご来店を!!

〒468-0011 名古屋市天白区平針3-609-1F

http://www.new-radish.com

電話 052-802-0400 FAX 052-802-0435

営業時間 12時から19時30分(水曜定休)

愛知県公安委員会 第541430401900号

Nゲージ圧倒的な品揃え

そしてわくわく2割引

Nゲージ HO ➡ 20%引き(一部商品を除く) で販売いたします。

ホームページに在庫表満載!

◎お知らせ◎
送料等一部変更があります。
予約品は従来通り。
詳しくは当店にお問い合わせ下さい。



ホビーショップ ムラタ

お客様とのコミュニケーションを大切にしています。
お蔭様で創業60余年になりました。

通信販売OK TEL&FAX等で確認の上

http://www.hsmurata.com/

e-Mail hsmurata@ag.wakwak.com

TEL(0532)53-3334 FAX(0532)53-3327

〒440-0076 豊橋市大橋通3-152

営業時間 10~20時

定休日 毎週水曜日、第3木曜日

小田急江ノ島線桜ヶ丘駅 徒歩2分

鉄道模型専門ショップ アライヴ

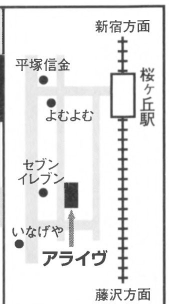
2011年新春セール

1月4日(水)~1月9日(月)迄開催

店内在庫品(車両/ストラクチャー/レール/パーツ/中古品等)

通常割引金額より、さらに10%OFFにてご奉仕!

皆様のご来店を心よりお待ち申しあげております。 ※一部対象外及び割引率の違う商品もございます。



上記セール期間中5,000円以上お買上げのお客様に「金券スクラッチカード」をプレゼントいたします!

〒242-0024 神奈川県大和市福田2-4-7 TEL・FAX:046-268-5552

●営業時間 月曜~土曜AM11:00~PM8:00 日曜・祭日AM10:00~PM7:00

●定休日:毎週水曜日/第3火曜日 年末は12/29(木)迄営業・年始は1/4(水)から営業いたします。

★ホームページ http://www.arriveat-shop.com ★E-mail:info@arriveat-shop.com

---

Nゲージ運転フロア(予約制)

八王子N広場

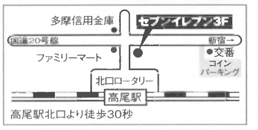
http://n-hiroba.com

●JR中央線高尾駅北口より徒歩30秒
●12路線共1周40~60メートルのビッグサイズレイアウト
●パワーユニットは全路線共TOMIX社N-S2-CL設置

年末31日まで営業、新年1/7から営業開始!

時間	平日(月・水・木) 12:00~18:00 土日祝 10:00~18:00	※夜間貸し切りはご相談ください
料金	平日(月・水・木) 2時間¥1,000(高架は¥1,500) 土日祝も 2時間¥1,000(高架は¥1,500)	
予約TEL	042-663-5162	

〒193-0844 東京都八王子市高尾町1585 TAKAMOビル3F ■定休日:金曜日/点検日:火曜日(休業)



高尾駅北口より徒歩30秒

特製完成品

阪急・京阪・阪神・近鉄・南海・国鉄・JR・SL・コンテナなど



西宝模型車両工房

★過剰在庫一掃セール中! 1/9(月)まで

京鉄大阪店

12:00~19:00 火曜定休

TEL FAX 06-6359-4655

〒530-0012 大阪市北区芝田2-1-3 梅仙堂ビル5F

小田急線 柿生

鉄道模型専門店 ホビーショップ

カシオペア



写真はお客様からお預かりしている品です。店頭販売品ではございませんので、ご了承ください。



TEL/FAX 044-986-6221

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生5-6-17 若井ビル202

営業時間 平日12:00~20:00 土休日10:00~20:00 火曜日定休(祝日営業)

http://www.geocities.jp/hobbyshopcassiopeia/ hobbyshopcassiopeia@ybb.ne.jp

年内は12月30日(金)20時まで、年始は1月4日(水)12時から営業致します。(12月31日(土)~1月3日(火)はお休みさせていただきます)

北松戸

北松戸店 ☎047-369-1309
〒271-0064 千葉県松戸市上本郷2283-2-101

◆N運転場(7.0M×1.8M・6路線)開通◆

JR、千代田線「北松戸駅」下車 営業時間16:30~23:00

Nゲージ(鉄道模型)を楽しみ始めた方のお店

ミゼット

両店 水曜日 お休み

新松戸店 ☎047-347-6779
〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-280-101

新松戸

JR武蔵野線、千代田線「新松戸駅」下車 営業時間14:30~20:30

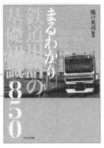
定価はすべて税込です

日本路面電車カタログ 2011-2012
B5判　定価1800円　神谷武志 著
現在路面電車を運行する国内21事業者にスポットを当て、歴史や路線、車両、運行について徹底紹介。



●知識を得る！

まるわかり 鉄道用語の基礎知識850
A5判　定価2520円　池口英司 編著
わかったようでわからない鉄道用語を厳選して収録。



鉄道利用術 素朴なギモン101連発!
B6判　定価1700円
鉄道での旅行、マメ知識、さらには知って得する鉄道の雑学などの素朴なギモンを101のQ&Aで解き明かす。



通勤電車もの知り大百科
B6判　定価1800円
裏の事情が見えてくれば、通勤が100倍おもしろくなり、みんな同じに見えていた通勤電車の特徴が見えてくる。



山手線のヒミツ70 地下鉄のヒミツ70
各B6判　定価1700円
素朴なギモン、少しマニアックなヒミツ70を徹底解説。




バスの常識と秘密
B6判　定価1800円
バスファンが知っておくべき基礎知識をソフト・ハードの両面から網羅するとともに、日本全国のさまざまなバス事情を徹底チェック。



●鉄道を撮る！

首都圏JR15路線301駅 ロケガイド
A5判　定価1800円
首都圏のJR301駅を対象に、鉄道車両の撮影に適したロケーションを徹底紹介。



●Nゲージファンに贈る！

1/160【N-Gauge】Scale 新幹線車両ガイド Since1964
A4変型　定価1800円
1964年から今日までの新幹線車両の変遷を1/160スケールの精密イラストと写真で形式ごとに紹介。



JR鉄道図鑑 上巻・下巻
各A4変型　定価2200円
国鉄からJR7社に引き継がれた車両、JR化の後に登場した車両をNゲージスケールの精密なイラストで再現。車体の大きさの違いがひと目でわかる。



Nゲージカタログ 2011-2012
A4変型　定価1500円
この1年のNゲージ・プラ製完成品の主要5社の新製品・再生産品を車両カテゴリーごとに網羅。



鉄道きっぷクロニクル
A4判　定価2520円　辻阪昭浩 著
明治5年の鉄道開業から国鉄終焉までの国有鉄道の歴史を、きっぷの変遷とともにたどる鉄道クロニクル。貴重な資料をふんだんに盛り込んだ一冊。



都電の100年 Since1911
B5判　定価1600円
綿密な系統ガイド、新旧車両紹介から、廃止への経緯などをふりかえりつつ、都電という交通機関の多彩な魅力を紹介。



●車両ガイド決定版！

JR機関車ガイド
A5判　定価1600円　松尾よしたか 著
旅客および貨物、JR各社で営業路線上に定期運用をもつ現役機関車、全17形式のプロフィールを写真・イラストとともに紹介。



交直流電気機関車 EF81
AB判　定価2100円
全機の形態分類、メカニズム、列車史のほか、登場時から貨物輸送を支える今日までの歩みを網羅的に解説。



EF15×EF58 機関車ハンドブック
B5判　定価1800円
EF15、EF58が最後の輝きを放った昭和50年代の記録を詳しく解説していく。



国鉄機関車 1976-1987
B5判　定価1800円
1976年のSL全廃から1987年3月の国鉄終焉までの激動期を力一杯疾駆した電気・ディーゼル機関車の足跡を、形式別に振り返る。



現役国鉄色特急電車 完全ガイド
AB判　定価1800円
国鉄時代の塗装を残す現役車両に密着し、車内のディテールまで詳しく紹介。



首都圏 新系列車両 Profile
A4変型　定価2200円
E231系やE233系とその仲間たち。その首都圏新系列車両のディテールと動き、さらには新系列車両を守る舞台裏に迫る。



JR特急列車年鑑2012
AB判　定価1800円
JR各社に在籍する特急列車用車両の全形式・全塗装を完全網羅。車両や列車史の解説、さらに車内設備も紹介。



JR普通列車年鑑2011-2012
AB判　定価1800円
日本各地を走る普通列車、快速列車を線区別、形式別に紹介。ベーシック資料としてファン必携の一冊。

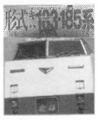


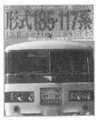
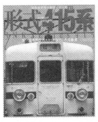
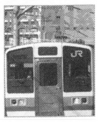
私鉄特急年鑑2011-2012
AB判　定価1800円
大手・準大手15社で運行される特急列車の運転概況や使用車両の詳細、各私鉄の路線網を徹底解説。



●国鉄型車両の系譜シリーズ

形式キハ183・185系
形式205系
形式211系
形式415系
形式185・117系
各AB判　定価2500円
車両の歴史や技術的な特徴、構造、詳細な履歴まで、知りうる事実のすべてを1冊に凝縮。



●鉄道車両選書シリーズ

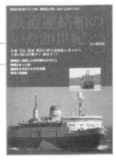
特急形電車 Part1
昭和30年代の特急形電車
特急形電車 Part2
昭和40年代の特急形電車
特急形電車 Part3
昭和50年代の特急形電車
各B5判　定価2100円
現在の特急形電車の基礎を作ったといわれる車両の特徴や技術的なエポックを解説する。





●歴史を感じる！

鉄道連絡船のいた20世紀
B5判　定価2300円
青函・宇高・関釜・稚泊連絡船の歴史と運用、船の詳細から桟橋のあった駅、連絡船に接続する名列車の数々など、鉄道連絡船をトータルに紹介する貴重な1冊。



東海道線誕生
四六判　定価1700円　中村建治 著
鉄道の父、井上勝のユニークな人間像を絡ませながら、つねに日本の鉄道の最先端を走る東海道線の誕生物語（年表・歴史地図つき）。



ある機関士の回想
B5判　定価3500円　川端新二 著
花の東海道の歴代機関車の乗務体験をはじめ、国鉄黄金期の現場の様子など、経験者のみが知るエピソードは、機関車ファンのみならず、鉄道ファン必見の一冊。



ブルトレ興亡録
AB判　定価1800円
ブームを飾った歴代のブルトレのあゆみ、車両ガイド、各線区のけん引機を解説し、ブルートレインの全貌を紹介する。



実録 鉄道連隊
B5判　定価2900円
明治から昭和にかけて、戦地での陸軍の「鉄道連隊」の足跡を貴重な写真・資料を用いて解き明かす。



進駐軍時代の国鉄型車輌1947-1948
B5判上製本　定価4800円　直販
進駐軍専用、または進駐軍向けに改造された客車、電車、貨車の車両形式図、車両改造歴、車両配置区などの詳細データを完全復刻。
※小社へ直接ご注文下さい



酷道 vs 秘境駅
A5判　定価1260円
松波成行・牛山隆信 著

「酷道」走破の第一人者と「秘境駅」の名付け親が鉄道・道路趣味界全体について語りつくす。



●親子で楽しむ！

学ぼう 遊ぼう おやこ鉄っ！ 東日本編
A5変型　定価1200円

鉄道大好き親子のために、首都圏&東日本エリアの魅惑の鉄道スポットを大紹介。



新幹線大集合！
B5変型　定価980円

新幹線の駅や東京駅大探検、各ディテールの解説など、子どもだけでなく、大人が読んでも楽しめる内容になっている写真絵本。



新・東京でんしゃ図鑑
B5変型　定価980円

東京には新幹線からJR、私鉄、地下鉄、さらにモノレールまで、さまざまな電車の仲間たちが走っている！



楽しい東京の電車たち
B5変型　定価980円

車両基地の見方、130円でたくさんの電車に乗る方法、博物館の楽しみ方など、盛りだくさんの内容の写真絵本。



東京私鉄図鑑
B5変型　定価980円

東京を走るたくさんの私鉄電車を、魅力ある写真と楽しい読み物で紹介。大人も子どもも楽しめる写真絵本。



にほんのしんかんせん
150×150mm　定価500円

のりもの好きの子どもたちに、わかりやすく丁寧に日本を走る新幹線を紹介する写真絵本。本文はひらがな、ルビ付き。



（2011年12月10日現在）

イカロス出版の本は、全国の書店およびamazon.co.jp、楽天ブックスなどのネット書店でお求めいただけます。ただし 直販 マークの本は直接小社にお申し込みください。詳しくは、バックナンバーのご案内ページの「イカロス出版の本 お求め方法のご案内」をご覧ください。

イカロス出版販売部　TEL.03-3267-2766
http://www.ikaros.jp/

韓国鉄道の旅完全ガイド
B5判　定価1600円

ソウルの楽しみ方、列車・路線解説、主要駅利用ガイド、地下鉄利用術、鉄道グルメ、韓国語会話便利帳など。



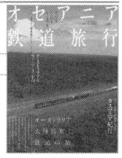
アメリカ西海岸鉄道旅行
A4変型　定価1500円

車内の様子や車窓風景はもちろん、駅周辺の観光情報も詳しく紹介。アメリカ西海岸を鉄道で旅する魅力が満載。



オセアニア鉄道旅行
A4変型　定価1500円

鉄道ジャーナリスト・櫻井寛氏によるオセアニア鉄道紀行をはじめ、オーストラリア&ニュージーランド各地の鉄道と基礎知識を紹介。



ヨーロッパ鉄道旅行2012
A4変型　定価1500円

TGV、ユーロスター、ICEなどの高速ネットワークが発達したヨーロッパでは、鉄道旅行がなんといってもおすすめ。そんなヨーロッパ鉄道の魅力を、乗車ガイドやモデルプランとともに紹介。



●鉄道業界を目指す

電車運転士になる本
B5判　定価1600円

運転士になるために必要な知識や鉄道会社における運転士養成の内容、運転士の仕事の実際などを詳しく解説。



●サブカル系鉄道本

新幹線をゆく
B5判　定価1575円

新幹線を「日本の土木技術の最高峰」という観点からとらえた、まったく新しいテーマの新幹線本。



東京メトロをゆく
B5判　定価1575円

誰もが当たり前のように使っている地下鉄を徹底取材。この一冊で東京メトロのすべてがわかる。



珍駅巡礼
B5判　定価1575円

「なんだこれ？」と思わず言いたくなるような「ヘンな駅」＝「珍駅」をJR線にあるものを中心に221ヵ所を厳選してテーマ別に紹介。



●乗りこなす！

青春18きっぷ パーフェクトガイド2011-2012
B6判　定価1470円　谷崎 竜 著

購入方法から利用できる列車の紹介までお得なきっぷを有効に使いきるノウハウを詳しく伝授。



青春18きっぷでゆく 全国ローカル列車旅 完全ガイド
B6判　定価1470円

全国の魅力的なローカル線の車窓や「青春18きっぷ」で乗れるお得感のある列車を紹介。



青春18きっぷでゆく 鉄旅プラン BEST 49
B6判　定価1470円

札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、博多の8大都市の魅力ある49プランを紹介。



おとなのための青春18きっぷ活用術 ニッポン旅湯めぐり編
B6判　定価1470円　菊地秀一 著

格安きっぷだからできる、ちょっと贅沢な温泉旅を紹介。



東京一日乗車券ガイド
A5変型　定価1260円

JR、東京メトロ、都営地下鉄、都バス、都電、ゆりかもめなど、便利でオトクな一日乗車券の特徴や使い方、おすすめ周遊プランを紹介。



130円の鉄道大旅行
B6判　定価1400円　谷崎 竜 著

JR初乗り運賃「130円」で1日中電車に乗れる“大回り乗車”のテクニックを徹底紹介。800km超えの旅も可能！



のりもの勝席ガイド2011-2012
B5変型　定価2500円

鉄道、航空、夜行バス…座りたい席をGETするためのシートマップ・データブック。誰よりも快適に移動するために指定したい座席を紹介。



●海外で鉄道旅行！

台湾鉄道の旅完全ガイド［最新版］
B5判　定価1800円

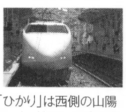
新幹線から在来線まで、台湾の鉄道を見て、乗って、撮影して楽しむための最新情報を網羅。台湾の鉄道がより身近になる一冊。



イカロス出版●鉄道誌　税込定価

日本初の新幹線専門マガジン
新幹線 EXPLORER EX
1、4、7、10月の21日発売
A4変型 定価1,200円（税込）送料100円
年間購読料4,800円（送料・税込）

Vol.22●2012年1月21日発売
定価1200円・送料100円



特集
山陽「ひかり」の歴史を振り返る
西側だけの「ひかり」ものがたり
東海道新幹線の看板列車だった「ひかり」は西側の山陽新幹線ではまったく別の顔を持っていた。特異な歴史を刻んだ山陽「ひかり」の歩みをたどる。
［綴込付録］新幹線まるごとガイドブック（九州新幹線編）

鉄道にあこがれ、夢を抱く、すべてのファンに…
j train 季刊Jトレイン
2、5、8、11月の21日発売
AB判 定価1,200円（税込）送料100円
年間購読料5,000円（送料・税込）

Vol.44●好評発売中
定価1200円・送料100円



特集
国鉄色583系
583系ディテール徹底解説／現場が見た寝台特急電車
レッドトレイン50系
さようなら有蓋貨車
ワム80000形のすべて

蒸機を愛するすべての人へ
Steam Locomotive EXplorer 蒸気機関車EX
Vol.07●好評発売中
A4変型　定価2,100円

■蒸機最終の地　室蘭・岩見沢
ディテール解析C57 135
・機関助士が見た
　昭和50年12月14日
・岩見沢第一機関区の
　C57/D51
■竜ヶ崎の古典蒸機
鹿島参宮鉄道の4・5号機
■氷点下の蒸機
釧網本線撮影ガイド



デザインから鉄道を斬る新感覚マガジン
鉄道デザインEX Rail Design Explorer
Vol.03●好評発売中
A4変型　定価1,700円・送料300円

特集
都市デザインとしての路面電車・LRT
架線レス車両が切り拓くLRTのカタチ／アルナ車両のものづくり／富山市が目指すLRTのあるべき姿／道路を走る電車たち総まくり／欧州と北米の最新LRT事情　ほか



次号N.【エヌ】2012年4月号（VOL.63）は

2012年2月20日（月曜日）発売予定です!

Vol.63の内容は、ぜひYouTubeでご確認ください。

http://www.youtube.com/user/Nchannel2000

2月15日アップ予定。イカロス出版ホームページ（http://www.ikaros.co.jp）からも、リンクを貼ってあります。

本誌は2、4、6、8、10、12月発売の隔月刊誌です。

定期購読＆バックナンバー、イカロス出版の本 お求め方法のご案内

N.【エヌ】はお買い忘れのない定期（年間）購読がおススメです！

1冊1200円（税込）

定期購読（年6回）　7000円（送料・税込）

定期購読のお申し込み方法

①本誌とじ込みの青い払込取扱票に必要事項を記入のうえ、郵便局でご入金ください。
②小社ホームページよりお申し込みください。http://www.ikaros.co.jp

バックナンバー＆イカロス出版発行の本のお申し込み方法

①綴じ込みの青い払込取扱票に必要事項を記入の上、郵便局でご入金ください。バックナンバーのみのご注文は送料100円、その他の書籍は送料300円となります。
②代金引換（送料800円）氏名・住所・電話番号・雑誌名を明記のうえ、FAX（03-3267-2772）でお申し込みください。
③クレジットカード（送料500円）氏名、住所、電話番号、ご希望のバックナンバー号数、カード会社名、カード番号（16桁）、カード有効期限（西暦年月）を明記のうえ、FAX（03-3267-2772）でお申し込みください。
④小社ホームページよりお申し込みください。http://www.ikaros.jp

お申し込み・お問い合わせは

〒162-8616　東京都新宿区市谷本村町2-3　郵便振替00100-1-62696
イカロス出版㈱販売部　電話03（3267）2766　FAX03（3267）2772

Nゲージにこだわる鉄道模型ファンのための専門誌
Nine Scale World N.【エヌ】 2012 2 FEB. VOL.62

2012年2月1日発行
表紙デザイン◎COLUMBUS
本文デザイン◎アズワン／AD S.K.I／RBデザインズ／岩崎圭太郎／木澤誠二／COLUMBUS／須鑓 威／高橋恵美／宗方健之輔・大坪よしみ・加藤祐生・品川秀樹（日創）／橋岡俊平／華本達哉／松元千春／柳沢 隆／吉村朋子【五十音順】
発行人◎塩谷茂代
編集人◎廣部 妥
編集◎林 要介／森田政幸
編集補助◎矢澤悠人／吉田康友／加藤和毅
編集協力◎松尾彦孝／高橋政士
カメラマン◎金盛正樹／奈良岡 忠／米山真人
モデル・資料協力◎ポポンデッタ／ホビーショップカシオペア／モデルショップポッポ屋
広告◎日下部由実／木村義明
販売◎野尻龍平／国井耕太郎／太田和利
発行所◎イカロス出版株式会社
〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町2-3
TEL 03-3267-2766（販売部）
FAX 03-3267-2790（編集部／ファクシミリ）
TEL 03-3267-2716（広告部）
TEL 03-3267-2724（ショップ：のりもの倶楽部）

Eメールアドレス n@ikaros.co.jp
※編集部へのお問い合わせは、FAXまたはEメールにて承ります。電話でのお問い合わせはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

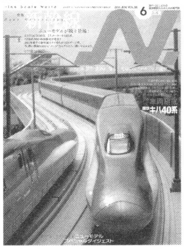
印刷　大日本印刷株式会社
Printed in Japan

●広告索引（五十音順）

バックナンバー好評発売中!

★在庫僅少の号は在庫をお問い合わせのうえ、直接小社にご注文ください。

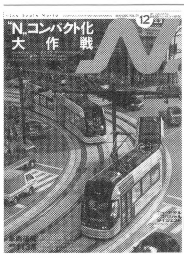
2011.6月号 VOL.58



第一特集
新幹線 Next Generation
E5系、N700系7000・8000番台が発売され、2011年前半は新幹線ネタで持ちきりのNゲージ界。今、熱い視線を浴びる"クール"なモデルたちに狙いを定めよう。

第二特集
車両研究　キハ40系
国鉄時代の1977年に登場し、全国の非電化路線に投入。現在もJR旅客鉄道各社に多数が在籍し、主に普通列車用として活躍する一般・近郊型気動車にアプローチ。

2010.12月号 VOL.55　★売切



第一特集
Nコンパクト化大作戦
たった1両から3両未満の短い編成でも、Nの世界は存分に楽しめる。「小さくまとめてでっかく遊ぶ」そこに大きな遊び心が…。本特集でその掘り下げ法を徹底習得してね!

第二特集
車両研究 113系
東海道本線、東京口の混雑緩和のエースとして登場。後に大阪圏、中京圏など幅広く活躍した国鉄近郊型電車のスタンダード車の運用、変遷をひもといてゆく。

2011.8月号 VOL.59



第一特集
国鉄型モデルなう
幅広いジャンルやカテゴリーが魅力の国鉄型。往年の名車からリバイバルカラー、さらに改造車まで、JRとなった今なお大人気の"国鉄型"に大接近!

第二特集
車両研究　名鉄7000系
日本初の前面展望室、そして大胆なスカーレットの車体色。2009年の引退まで半世紀近く活躍し、名鉄の知名度を確固たるものにした名車を研究する。

2011.2月号 VOL.56



第一特集
電車特急大図鑑
数ある鉄道車両のなかでも花形のスターに位置づけられる特急型電車たち。時代、地域、所有会社を超えて、ファンを魅了するスペシャルなモデルをコレクションしよう!

第二特集
車両研究 EF210
JR貨物が新規に開発したオリジナル電気機関車のなかで、最も長期にわたって増備されたEF210。いよいよ最大勢力となったパフォーマンスに優れる名機の足跡を追う。

2011.10月号 VOL.60



第一特集
Nゲージ進化論
実感的な形状表現と走行性能の向上、そして小技の利いたギミックから、多彩な商品展開まで…。Nゲージモデルに息づく進化の足跡を見つめる。

第二特集
車両研究　DF50
亜幹線を中心に、貨物列車からブルートレインまで幅広く活躍。日本のディーゼル動車の黎明期に登場した電気式・箱型車体の機関車にアプローチ。

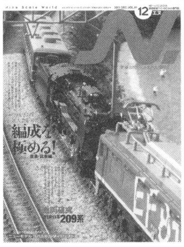
2011.4月号 VOL.57



第一特集
エヌ・オブ・ザ・イヤー2010
本誌恒例『エヌ・オブ・ザ・イヤー』発表！2010年発売のNゲージモデルを読者が徹底審査。走り、ディテール、デザイン…、総合評価の頂点に立つモデルはいかに？

第二特集
車両研究 101系
オレンジバーミリオン、カナリア、スカイブルー、ウグイス色と、カラーバリエーション豊かに新性能電車の礎を築き、40余年にわたって大活躍した国鉄通勤型電車を大研究。

2011.12月号 VOL.61



第一特集
編成を極める!（客車・貨車編）
現代の列車はほとんどが固定編成で変化に乏しい…。そこで、異種車両や異形式同士のちょっと変わった編成の数々を大公開!

第二特集
車両研究 209系
新鮮で効率的に富んだ新コンセプトで登場した209系。E231系、E233系へと至るJR東日本の通勤・近郊型電車の礎を研究する。

TOMIX

信越本線の輸送力アップに貢献、189系(あさま)新登場。

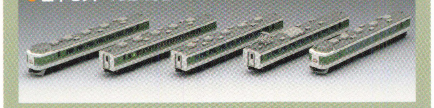
N GAUGE




基本セット<92434>


増結セット<92436>

あさま

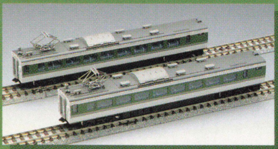

基本セット<92435>

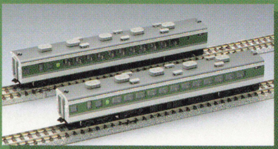

増結セット<92437>

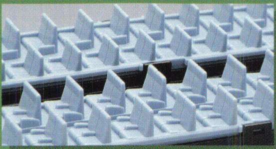
あさま グレードアップ車


●特急シンボルは撤去済みの189系(あさま)の先頭部。189系(あさま・グレードアップ車)も同様です


●189系(あさま・グレードアップ車)の先頭部。0番代、500番代でのジャンパ栓の違いを再現。189系(あさま)も同様です


●モハ188の第2パンタグラフは撤去済みで、高圧線は車体内に引き込まれた姿とし、(あさま・グレードアップ車)では側窓が拡大された姿を再現(写真向こう側)


●サロ189-100は(あさま)と(あさま・グレードアップ車)を作り分け。グレードアップ車は電話室付(写真向こう側)


●(あさま・グレードアップ車)の側窓が拡大された車両は、室内シートのかさ上げも再現(写真手前)

昭和40年代後半、全国の国鉄主要幹線では輸送力増強が叫ばれ、特急電車は12両編成が珍しくはなくなりました。幹線である信越本線の「あさま」へもこの流れは影響し、それまでの8両編成としていた制限を大幅に見直す必要が急務となりました。これに対応するため、横川—軽井沢でEF63と協調運転を行ないつつ、編成の拡大を実現させ、当時の信越本線での輸送力アップを果たしたのが189系です。トミックスでは当時のこの線区で功績を残した189系を製品化、明るいグレーを基調とした時代の「あさま」とし、先頭部の特急シンボルやモハ188の第2パンタグラフが撤去された姿を再現いたします。また、指定席車の側窓が拡大されたグレードアップ車も同時発売いたします。189系(あさま)は基本セットと増結セット<92436>×2で、9両フル編成を再現可能。また189系(あさま・グレードアップ車)も基本セットと増結セット<92436>、増結セット<92437>×2で、11両フル編成を再現可能です。共通仕様としてTNカプラー(SPタイプ)を標準装備し、ヘッド・テールライト、トレインマークは電球色LED仕様(トレインマークはカラープリズムにより白色点灯)、フライホイール付き動力ユニット、新集電機構、黒車輪を装備します。

189系

特急電車(あさま)

- **JR 189系特急電車(あさま)5両基本セット <92434>予価¥19,950**(本体価格¥19,000)
- **JR 189系特急電車(あさま)2両増結セット <92436>予価¥6,195**(本体価格¥5,900)
- **JR 189系特急電車 (あさま・グレードアップ車)5両基本セット <92435>予価¥19,950**(本体価格¥19,000)
- **JR 189系特急電車 (あさま・グレードアップ車)2両増結セット <92437>予価¥6,195**(本体価格¥5,900)

High Grade

JR東日本商品化許諾申請中
※写真は試作品です。

12月 発売予定

EF63(1次形)、リニューアル同時発売。



EF63(青色)は2～13号機の1次形で、その特徴を各部で再現。製品はM車とT車の2両セットで、横川側に双頭式TNカプラーを装備、手すりや解放テコを別パーツ化、屋根上モニターの採光窓へもクリアパーツを取り付け、フライホイール付き動力ユニットを装備しています。


EF63(M)


EF63(T)


●手すりや解放テコを別パーツ化、M車(軽井沢側)、T車(横川側)にはヘッド、テールライト基板を装着済み(写真はテールライトの点灯状態)


●屋根上モニターの採光窓へもクリアパーツを取り付け済

EF63形

電気機関車(1次形・青色)

- **JR EF63形電気機関車(1次形・青色)2両セット <92167>予価¥14,910**(本体価格¥14,200)

High Grade

JR東日本商品化許諾申請中
※写真は試作品です。

2012年1月 発売予定

新製品速報

489系「白山」もリニューアル発売予定。

High Grade N GAUGE





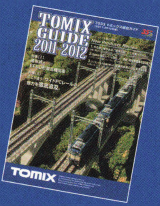
碓氷峠をEF63との協調運転を行ない、東京—北陸圏での直通運転により輸送力増強を果たした489系「白山」もリニューアル発売予定です。ヘッド・テールライト、トレインマークは電球色LED仕様(トレインマークはカラープリズムにより白色点灯)、フライホイール付き動力ユニット、新集電機構、黒車輪を装備します。

- **JR 489系特急電車(白山)5両基本セット <92446>予価¥19,950**(本体価格¥19,000)
- **JR 489系特急電車(白山)4両増結セット <92447>予価¥13,650**(本体価格¥13,000)

JR西日本商品化許諾申請中　※写真は試作品です。

2012年 春 発売予定

新トミックス総合ガイド、発売予定!



今年も新版総合ガイドが年末に発行予定です。トミックスの現行製品のラインナップや、近く発売予定の新製品を掲載しています。特集などの読みものも充実、最新のトミックス製品の全情報をこの一冊に凝縮いたしました。

- **トミックス総合ガイド(2011-2012年版) <7033>予価¥1,890**(本体価格¥1,800)

12月 発売予定

トミックス製品情報はトミーテックホームページで…
http://www.tomytec.co.jp/tomix/

タカラトミーグループ

株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
(株)トミーテック
お客様相談室トミックス係
TEL.03-3695-3161(代)
※月～金曜 10～17時/祝・祭・休日を除く

本 税込¥1200

2 080200 000244

1277 ¥1,200

4910018830222

01143

定価1200円 本体1143円 雑誌01883-02 Printed in Japan

▼ N(エヌ) 「年間購読・バックナンバー」「イカロス出版の本」専用ご注文書

※イカロス出版の書籍・雑誌は下記の用紙でご注文下さい。

キリトリ線

払込取扱票

00 東京

口座記号番号	00100-1-62696
加入者名	イカロス出版株式会社
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ※
料金	
特殊取扱	

通信欄

※

●N(エヌ)年間購読のお申し込み　年間購読料7,000円(送料・税込)

会員番号

年　vol.　より　1.新規　2.継続(前年度から)

(バックナンバー、書籍等のお申し込み)

誌名　(vol.　)

払込人住所氏名

おところ(郵便番号　)※マンション・アパート名もご記入下さい。

※

おなまえ　様

(電話番号　-　-　)

受付局日附印

各票の※印欄は、払込人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(私製承認番号東第19689号)

これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないでお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

キリトリ線

払込票兼受領証

口座記号番号	00100-1-62696
加入者名	イカロス出版株式会社
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ※
払込人住所氏名	おなまえ ※　様
料金	(消費税込み)
特殊取扱	

受付局日附印

この受領証は、大切に保管してください。

N(エヌ)「年間購読・バックナンバー」「イカロス出版の本」専用ご注文書

※イカロス出版の書籍・雑誌は下記の用紙でご注文下さい。

キリトリ線

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼　付

印

■N(エヌ)の年間購読のお申し込み方法

この振替用紙のおもて面の「通信欄」に、年間購読を開始する号数(例:vol.23)、住所、氏名、電話番号、金額7,000円をご記入のうえ、切り取って最寄りのゆうちょ銀行・郵便局でお振込みください。

■その他の本のお求め方法

この振替用紙のおもて面の「通信欄」にご希望の書名、住所、氏名、電話番号、本の代金と送料の合計金額を記入のうえ、切り取って最寄りのゆうちょ銀行・郵便局でお振込みください。

お申し込み・お問い合わせ
〒162-8616 東京都新宿区市谷本村町2-3 TEL.03(3267)2766
URL http://www.ikaros.jp　イカロス出版株式会社販売部

＊個人情報のお取り扱いについて
お知らせいただいたお客様の個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、ご注文の商品(情報)の発送とそれに関わるお問い合わせ、今後の当社の商品情報のご提供のみに利用し、安全かつ厳密に管理いたします。

この場所には、何も記載しないでください。

キリトリ線

郵便はがき

恐れ入りますが
50円切手を
お貼り下さい

162 - 8616

<受取人>
東京都新宿区市谷本村町 2-3
イカロス出版(株)

N.〔エヌ〕VOL.62

読者アンケート係

フリガナ						定期購読
お名前						有・無
性別	男 ・ 女	年齢	歳	職業		
ご住所 〒						
電話 ☎ ( )						
Eメールアドレス：						
お名前の掲載について □本名可 □ペンネーム ( )						
ご希望の商品番号 (112 ページ参照) をひとつご記入ください。				希望商品番号		

◆「N.〔エヌ〕VOL.62」に関するご意見・ご要望をお書きください。

キリトリ線

★次号のN.[エヌ] 2012 4月号（VOL.63）は 2月20日（月）発売予定です！

キリトリ線

Research!! [アンケート回答欄]

■この本をどこで（どなたから）お知りになりましたか？

□書店　□模型店　□友人・知人　□弊社雑誌　□弊社ホームページ

□その他（　　　　　　　　　　　　）

■本誌を何号目から購読されていますか？ また、何冊お持ちですか？

はじめて　　Vol.（　　）から／（　　）冊

■本誌でおもしろかった記事は？ 左の表から記事の番号を3つ選んでください。

ベスト1（　　）ベスト2（　　）ベスト3（　　）

■模型化してほしい車両は何ですか？

（鉄道会社名：　　　　　　　　形式：　　　　　　　　）

■あなたの好きな車両カテゴリーは何ですか？ 3つまでお選びください。

1.SL　2.EL・DL　3. 新幹線　4. 特急・急行型電車　5. 近郊・通勤型電車
6. 特急型気動車　7. 一般型気動車　8. ブルートレイン　9. 旧型客車　10. 貨車
11. 私鉄特急型　12. 私鉄近郊型　13. ローカル私鉄　14. 外国型　15. その他

■あなたが『エヌ』で掲載してほしい記事をご記入してください。

［　　　　　　　　　　　　］

■『N. 何でも相談室』で質問したいことはありますか？

［具体的な内容：　　　　　　　　］

■あなたの「Nゲージに関する2012年の抱負」を教えてください。（やっぱNが大好き・次号テーマ）

［　　　　　　　　　　　　］

ご協力ありがとうございました。お好きなイラストをどうぞ →

あなたが選ぶベスト・ニュー・モデル『エヌ・オブ・ザ・イヤー2011』投票記入欄

2011年に発売されたNゲージモデルのなかで、あなたの選ぶベストモデルは何ですか？ 22～23ページの開催要項をお読みになって、下記にご記入ください。投票された方のなかから抽選で20名様に、エヌ・オブ・ザ・イヤー2011の投票結果を掲載したVol.63号を進呈いたします。どしどしご応募ください。

●エヌ・オブ・ザ・イヤーにふさわしいモデルを番号でおひとつお答えください。

（番号：　　　理由：　　　　　　　　）

● 2011年のNゲージ界のご感想をお書きください。

（　　　　　　　　　　　　）

投票締め切り　集計の都合上、エヌ・オブ・ザ・イヤーの投票は2012年1月10日編集部到着分までとさせていただきます（プレゼントコーナーについては1月31日到着分まで有効です）。
※ノミネートモデル、投票方法など、詳細は22～23ページをご覧ください。